

廃プラスチックの再資源化等に係る調査
報告書

令和3年11月

墨田区

目 次

第1章	家庭ごみ排出実態調査.....	1
1.1	調査概要.....	1
1.2	調査方法.....	1
1.3	調査結果.....	5
第2章	区民アンケート.....	13
2.1	調査概要.....	13
2.2	調査結果.....	13
第3章	事業所アンケート.....	27
3.1	調査概要.....	27
3.2	調査結果.....	27
第4章	調査結果の分析.....	45
4.1	プラスチック類を分別収集した場合の収集量等の推定.....	45
4.2	プラスチック類を分別収集した場合の効果・課題.....	49
4.3	収集運搬・選別処理体制について.....	57
4.4	プラスチックごみの発生抑制施策について.....	58
第5章	資料編.....	59
5.1	区民アンケート調査票.....	59
5.2	区民アンケート調査 集計表（詳細）.....	67
5.1	事業所アンケート調査票.....	113
5.2	事業所アンケート調査 集計表（詳細）.....	121

第1章 家庭ごみ排出実態調査

1.1 調査概要

(1)調査目的

墨田区内の家庭ごみについて、組成等の排出状況を確認し、分別状況等の実態を把握することを目的として実施した。

(2)調査対象

- ①家庭ごみにおける燃やすごみ
- ②家庭ごみにおける燃やさないごみ

(3)調査項目

- ①組成（湿重量）
- ②プラスチック製容器包装の容積調査

(4)調査期間

自 令和3年5月15日
至 令和3年5月28日

(5)分析作業場所

墨田清掃工場で実施した。

1.2 調査方法

(1)調査地域及び調査実施日

調査地域は13地域で、調査は5月15日（土）～28日（金）の12日間（日曜日は除く）で実施した。調査地域及び調査実施日を図表1-1に示す。

図表 1-1 調査地域及び調査実施日

可:燃やすごみ 不:燃やさないごみ

5月		15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
		第3曜日						第4曜日							
丁目	地域	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
A	江東橋3 繁華街地域										可		不	可	
B	錦糸2 繁華街地域			可			可						不		
C	亀沢2 職住混在地域(観光拠点)	不		可			可								
D	業平1～3 職住混在地域(観光拠点)				可									不	可
E	京島3 職住混在地域				可		不								可
F	立花6 職住混在地域					可		不	可						
G	吾妻橋1 職住混在地域			不				可				可			
H	横川5 住居地域(集合住宅)					不					可			可	
I	文花3 住居地域(集合住宅)					可			可						不
J	墨田5 住居地域(集積所)	可			不								可		
K	千歳3 住居地域(集積所)								不		可			可	
L	東向島6 住居地域(戸別偏在)	可										不	可		
M	向島4 住居地域(戸別偏在)							可			不	可			
サンプル数		3		3	3	3	3	3	3		4	3	4	4	3
		プラスチック製容器包装容量調査													

(2)分析の流れ

①試料採取と搬入

墨田区職員が調査対象の集積所からごみを回収し、墨田清掃工場に搬入する。

②回収量の把握と事業系ごみの除外

回収したごみを袋別に計量し、合計量により回収量を把握する。事業系ごみは対象外のため、事業系ごみを取り除く。

③縮分

燃やすごみは、袋の状態で重量 50kg 程度に縮分する。燃やさないごみは、基本的には全量を分類するが、量が多い場合は袋の状態で重量 50kg 程度に縮分する。

④組成分類

破袋して、組成分類項目別に分類する。

⑤プラスチック製容器包装の容積調査

5月17日(月)～22日(土)の期間中に排出されたプラスチック製容器包装を、入口を結べる程度に45Lごみ袋に入れて重さを計量する。一日3袋程度計量し、期間中の計量結果からひと袋あたりの重量の平均値を求める。

⑥組成別計量

組成分類項目毎に重量の計量を行う。

⑦片付け

分別後の燃やすごみはピットへ投入する。燃やさないごみはすみだ清掃事務所に搬入し処分する。

図表 1-2 組成分類項目（1）

No.	大分類	中分類	小分類	
1	紙類	新聞紙・チラシ		
2		雑誌		
3		書籍		
4		段ボール		
5		紙パック		
6		雑紙		チラシ
7				紙箱
8				包装紙
9				紙袋
10				OA用紙(旧コピー用紙)
11				その他の雑紙
12		シュレッド用紙		
13		紙おむつ		
14		その他紙類	(資源化不可な紙類)	
15	厨芥類	直接廃棄(手付かづず食品)	直接廃棄①(100%残存)	
16			直接廃棄②(50%以上残存)	
17			直接廃棄③(50%未満残存)	
18		食べ残し		
19		調理くず		
20		その他		
21	繊維類			
22	草木類			
23	廃食油			
24	プラスチック類	フィルム系	ごみ袋	
25			レジ袋	
26			その他(容器包装対象)	
27			その他(容器包装非対象)	
28		PET ボトル	食料用	
29			飲料用	
30			その他	
31		その他の形状のボトル	食料用	
32			飲料用	
33			その他	
34		ボトルのキャップ		
35		パック・カップ類	食料用	
36			飲料用	
37			その他パック・カップ類	
38		食品トレイ	無色発泡樹脂	
39			有色発泡樹脂	
40			その他	
41		その他プラスチック類	その他(容器包装対象)	
42	その他(容器包装非対象)			
43	ゴム・皮革類			
44	その他可燃物等	その他可燃物		
45		粗大系ごみ・適正処理困難物		

図表 1-3 組成分類項目（2）

No.	大分類	中分類	小分類
46	ガラス類	透明リターナブルビン	飲料用
47			食料用
48		透明ワンウェイビン	飲料用
49			食料用
50			その他
51		色付きリターナブルビン	飲料用
52			食料用
53		色付きワンウェイビン	飲料用
54			食料用
55			その他
56			割れたビン
57			その他ガラス類
58	金属類	鉄類	飲料用缶(鉄)
59			食料用缶(鉄)
60			カセット式ボンベ・スプレー缶
61			その他の缶類
62			調理用具(なべ、やかん、フライパン)
63			調理用具(その他)
64			その他(鉄類)
65		非鉄金属	飲料用缶(アルミ)
66			食料用缶(アルミ)
67			カセット式ボンベ・スプレー缶
68			その他のアルミ缶
69			調理用具(なべ、やかん、フライパン)
70			調理用具(その他)
71			その他(非鉄金属)
72	家電類	小型家電製品(区が回収している 12 品目)	携帯電話
73			コード類(AC アダプタ含む)
74			その他小型家電(10 品目)
75		小型家電製品以外の家電製品	
76	その他不燃物	陶磁器類	
77		乾電池等	乾電池
78			その他
79		蛍光灯	
80		水銀含有廃棄物	
81		電球	
82		傘	
83		ライター	
84		その他(不燃物)	

1.3 調査結果

家庭ごみ排出実態調査の結果を以下に示す。なお、構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも 100%とはならない。

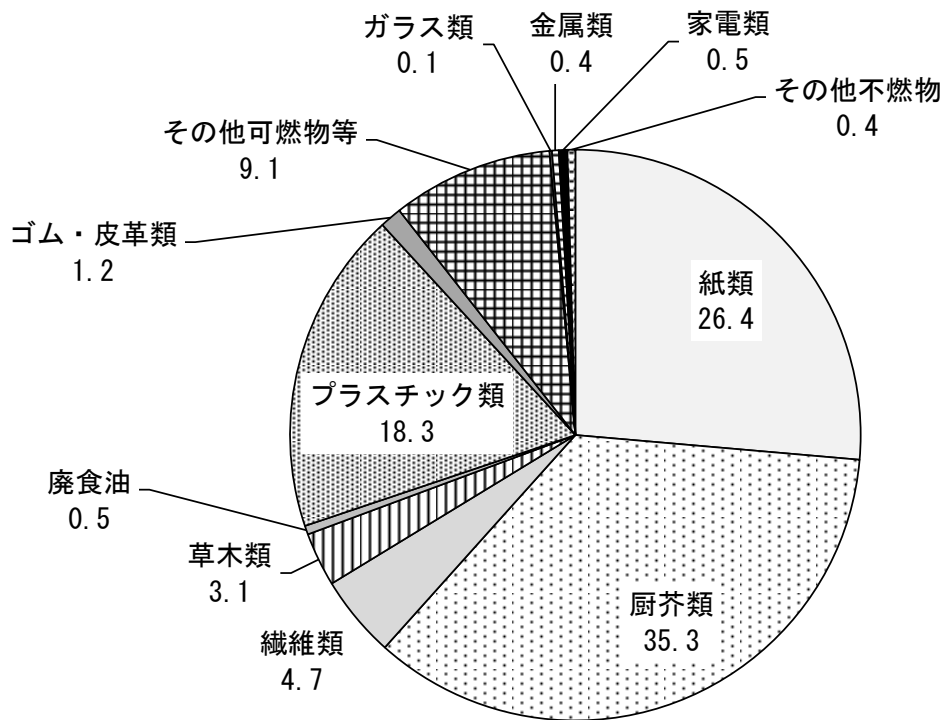
(1)燃やすごみ

①組成

ごみの組成を大分類でみると、全体では厨芥類の占める割合が最も高く 35.3%であった。次いで紙類が 26.4%、プラスチック類が 18.3%であり、この 3 分類で全体の約 8 割を占めている。

図表 1-4 調査結果（燃やすごみ 調査地域別）

大分類	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	(%)
調査地域	江東橋3	錦糸2	亀沢2	業平1~3	京島3	立花6	吾妻橋1	横川5	文花3	墨田5	千歳3	東向島6	向島4	全体
地域特性	繁华街地域		職住混在地域 (観光拠点)		職住混在地域			住居地域 (集合住宅)		住居地域 (集積所)		住居地域 (戸別偏在)		全体
紙類	21.3	32.6	30.6	34.4	27.3	33.4	28.3	24.5	26.8	21.0	23.3	20.3	18.5	26.4
厨芥類	37.3	26.5	28.4	33.2	31.9	30.8	44.2	46.1	31.8	36.1	38.4	38.7	36.5	35.3
繊維類	4.0	3.6	5.4	5.1	2.0	9.7	4.0	4.4	3.9	5.5	5.8	2.2	4.6	4.7
草木類	2.5	3.1	2.4	1.3	3.7	2.9	3.3	2.4	1.7	6.9	0.6	3.8	5.0	3.1
廃食油	0.2	1.6		0.3	0.3	0.8		1.7	0.3	1.1		0.3	0.0	0.5
プラスチック類	19.4	21.2	18.9	15.1	17.3	16.0	15.2	16.5	23.7	15.5	20.3	19.6	19.7	18.3
ゴム・皮革類	0.4	0.9	0.8	5.4	1.0	1.5	0.1		0.5	1.6	1.7	1.9	0.1	1.2
その他可燃物等	9.0	8.8	13.0	4.0	14.8	4.5	4.0	4.1	10.7	11.3	7.0	12.0	15.2	9.1
ガラス類	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1		0.0	0.1			0.3	0.1	0.1
金属類	0.5	1.3	0.1	0.8	0.2	0.4	0.2	0.1	0.5	0.2	0.4	0.1	0.2	0.4
家電類	3.5	0.2	0.1	0.3	1.0	0.0	0.7			0.1	0.4	0.0	0.0	0.5
その他不燃物	1.5	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2		0.7	2.2	0.9	0.0	0.4
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



図表 1-5 調査結果（燃やすごみ 全体）

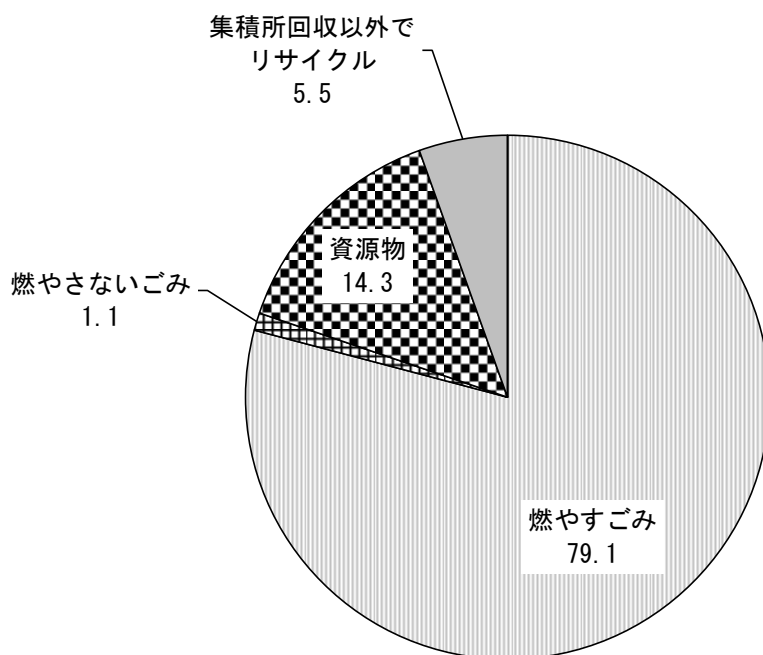
②適正排出

適正に排出されているごみの割合は、全体では79.1%であった。適正に排出されていないごみの内訳を割合が大きい順にみると、資源物が14.3%、集積所回収以外でリサイクルが可能なごみが5.5%、燃やさないごみが1.1%であった。

図表 1-6 適正排出調査結果（燃やすごみ 調査地域別）

(%)

大分類	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	全体
調査地域	江東橋3	錦糸2	亀沢2	業平1~3	京島3	立花6	吾妻橋1	横川5	文花3	墨田5	千歳3	東向島6	向島4	
地域特性	繁華街地域		職住混在地域 (観光拠点)		職住混在地域			住居地域 (集合住宅)		住居地域 (集積所)		住居地域 (戸別偏在)		
燃やすごみ	76.3	72.3	77.5	81.8	82.1	73.7	82.1	76.8	80.5	79.8	75.1	86.5	84.5	79.1
燃やさないごみ	4.3	1.0	0.3	0.9	1.5	0.4	0.2	0.2	0.6	0.8	2.5	1.2	0.3	1.1
資源物	13.9	21.5	16.5	11.8	14.0	15.4	12.9	16.8	14.6	12.6	16.1	9.6	10.5	14.3
集積所回収以外 でリサイクル	5.4	5.1	5.7	5.4	2.5	10.6	4.8	6.2	4.3	6.8	6.4	2.7	4.7	5.5
粗大系ごみ・適正 処理困難物														
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



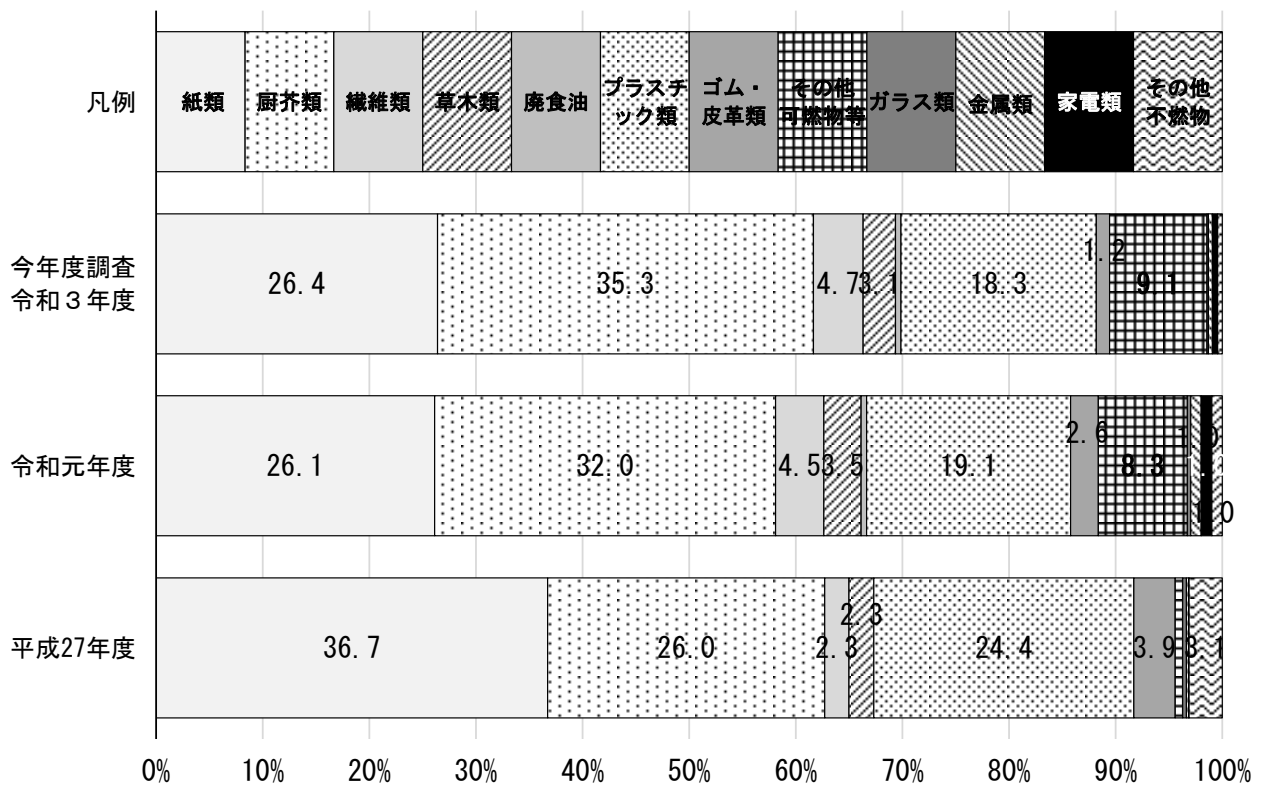
図表 1-7 適正排出調査結果（燃やすごみ 全体）

③経年変化

前回調査と比較して、厨芥類が 3.3 ポイント増加しているが、その他はおよそ同じような割合である。

図表 1-8 調査結果の経年変化（燃やすごみ）

大分類	（%）			
	平成 27 年 度	令和元年度	今年度調査 令和3年度	前回との比較
紙類	36.7	26.1	26.4	0.3 ポイント
厨芥類	26.0	32.0	35.3	3.3 ポイント
繊維類	2.3	4.5	4.7	0.2 ポイント
草木類	2.3	3.5	3.1	-0.4 ポイント
廃食油	-	0.5	0.5	0 ポイント
プラスチック類	24.4	19.1	18.3	-0.8 ポイント
ゴム・皮革類	3.9	2.6	1.2	-1.4 ポイント
その他可燃物等	0.7	8.3	9.1	0.8 ポイント
ガラス類	0.4	0.4	0.1	-0.3 ポイント
金属類	0.2	1.0	0.4	-0.6 ポイント
家電類	0.0	1.0	0.5	-0.5 ポイント
その他不燃物	3.1	1.0	0.4	-0.6 ポイント
合計	100.0	100.0	100.0	-



図表 1-9 調査結果の経年変化（燃やすごみ）

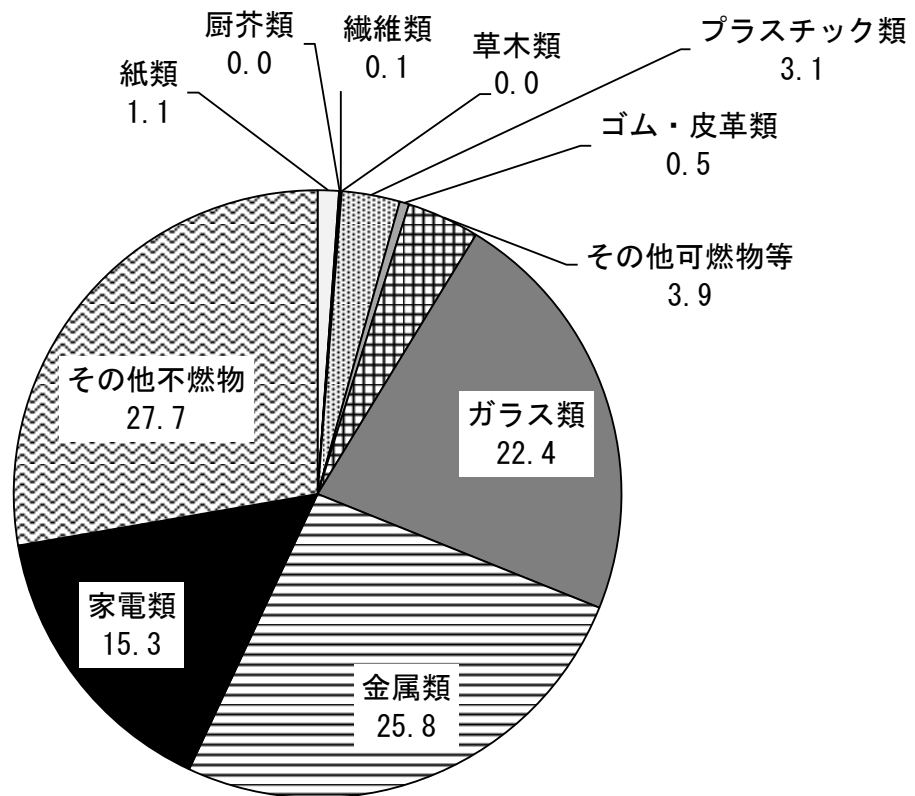
(2)燃やさないごみ

①組成

ごみの組成を大分類で見ると、全体ではその他不燃物の占める割合が最も高く 27.7%であった。次いで金属類が 25.8%、ガラス類が 22.4%であり、この3分類で全体の約7割を占めている。

図表 1-10 調査結果（燃やさないごみ 調査地域別）

大分類	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	(%)
調査地域	江東橋3	錦糸2	亀沢2	業平1~3	京島3	立花6	吾妻橋1	横川5	文花3	墨田5	千歳3	東向島6	向島4	全体
地域特性	繁華街地域		職住混在地域 (観光拠点)		職住混在地域			住居地域 (集合住宅)		住居地域 (集積所)		住居地域 (戸別偏在)		全体
紙類	2.5	0.8	0.4	0.6	1.0	4.6	0.3	1.2	0.6	0.9	0.3	0.6	1.7	1.1
厨芥類									0.1		0.5			0.0
繊維類			0.0		0.4	0.5	0.2							0.1
草木類		0.0	0.0					0.2						0.0
廃食油														
プラスチック類	1.5	3.1	6.1	3.5	1.1	5.1	3.4	5.0	3.6	1.7	1.2	3.8	1.2	3.1
ゴム・皮革類		0.3	0.4	0.0	0.1		5.4		0.4		0.7	0.1	0.2	0.5
その他可燃物等	4.7	0.6	0.1	4.6	13.3			12.0		5.9	2.5	0.1	5.0	3.9
ガラス類	27.0	14.4	36.8	26.9	17.9	17.8	17.2	19.4	14.1	14.0	35.2	31.5	13.7	22.4
金属類	30.6	33.1	21.8	33.6	20.4	17.7	33.7	25.2	23.7	17.2	26.3	38.4	12.4	25.8
家電類	14.8	22.2	13.2	9.6	12.3	12.7	20.1	17.4	35.8	13.7	7.2	15.0	10.9	15.3
その他不燃物	19.0	25.5	21.2	21.1	33.4	41.6	19.7	19.7	21.7	46.6	26.1	10.5	54.8	27.7
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



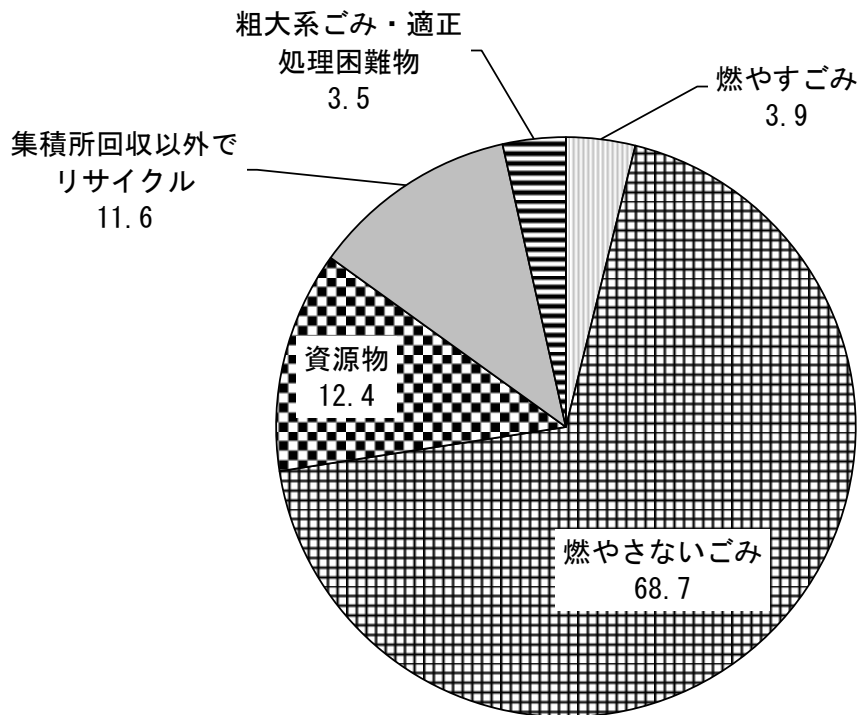
図表 1-11 調査結果（燃やさないごみ 全体）

②適正排出

適正に排出されているごみの割合は、全体では68.7%であった。適正に排出されていないごみの内訳を割合が大きい順にみると、資源物が12.4%、集積所回収以外でリサイクルが可能なごみが11.6%、燃やすごみが3.9%、粗大系ごみ・適正処理困難物が3.5%であった。

図表 1-12 適正排出調査結果（燃やさないごみ 調査地域別）

大分類	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	(%)
調査地域	江東橋3	錦糸2	亀沢2	業平1~3	京島3	立花6	吾妻橋1	横川5	文花3	墨田5	千歳3	東向島6	向島4	
地域特性	繁華街地域		職住混在地域 (観光拠点)		職住混在地域			住居地域 (集合住宅)		住居地域 (集積所)		住居地域 (戸別偏在)		全体
燃やすごみ	1.9	4.0	6.2	2.8	0.9	6.9	8.3	5.1	4.0	1.6	4.7	3.8	1.1	3.9
燃やさないごみ	49.0	69.3	73.0	59.5	67.9	78.9	67.1	62.1	80.3	77.7	59.8	66.7	86.9	68.7
資源物	22.2	10.9	13.9	22.9	10.4	8.3	8.4	13.8	3.1	9.7	8.0	19.7	4.8	12.4
集積所回収以外 でリサイクル	23.1	15.8	6.9	10.3	7.4	5.9	16.1	6.9	12.6	5.2	27.6	9.8	2.3	11.6
粗大系ごみ・適正 処理困難物	3.8		0.1	4.6	13.3			12.0		5.8			5.0	3.5
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0



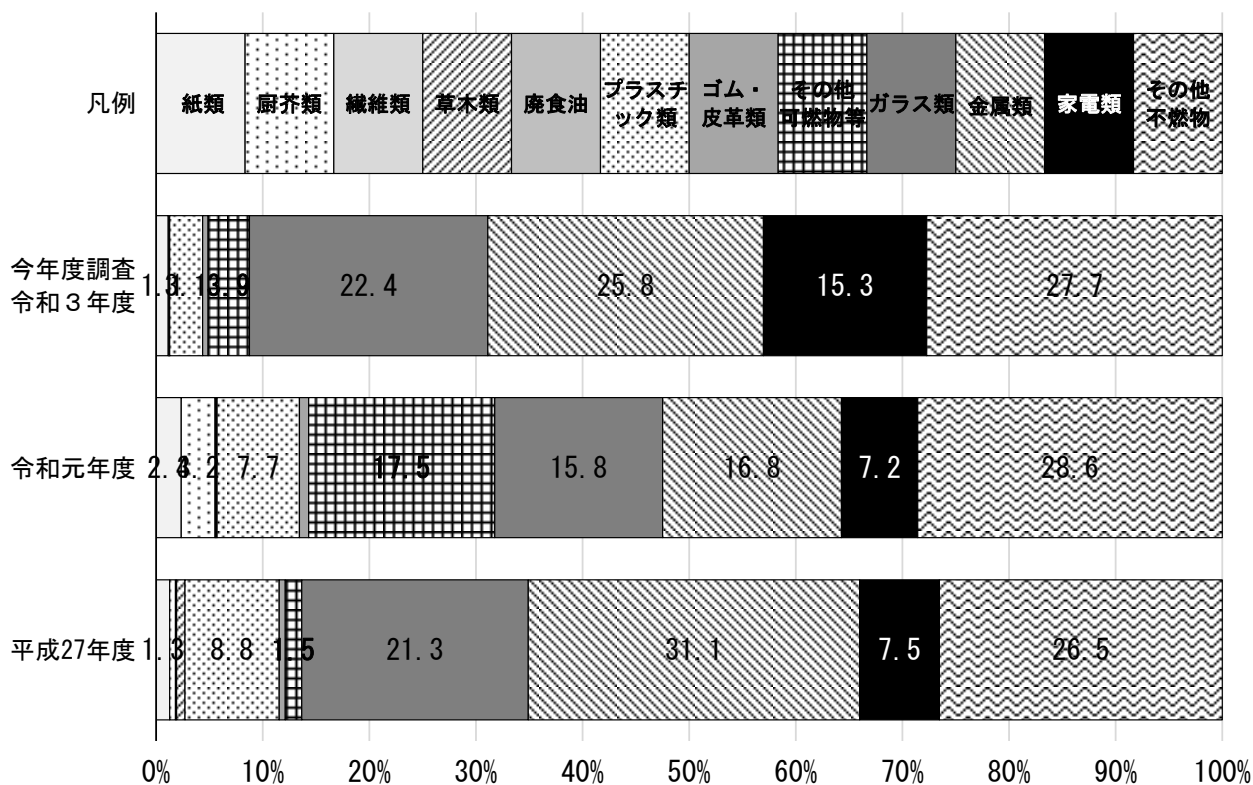
図表 1-13 適正排出調査結果（燃やさないごみ 全体）

③経年変化

前回調査と比較して、金属類が 9.0 ポイント、家電類が 8.1 ポイント、ガラス類が 6.6 ポイント増加しており、その他可燃物等が 13.6 ポイント、プラスチック類が 4.6 ポイント、厨芥類が 3.2 ポイント減少している。その他はおよそ同じような割合である。

図表 1-14 調査結果の経年変化（燃やさないごみ）

大分類	平成 27 年度	令和元年度	今年度調査 令和3年度	前回との比較
紙類	1.3	2.4	1.1	-1.3 ポイント
厨芥類	0.5	3.2	0.0	-3.2 ポイント
繊維類	0.1	0.1	0.1	0 ポイント
草木類	0.8	0.1	0.0	0 ポイント
廃食油	-	0.0		0 ポイント
プラスチック類	8.8	7.7	3.1	-4.6 ポイント
ゴム・皮革類	0.6	0.9	0.5	-0.4 ポイント
その他可燃物等	1.5	17.5	3.9	-13.6 ポイント
ガラス類	21.3	15.8	22.4	6.6 ポイント
金属類	31.1	16.8	25.8	9.0 ポイント
家電類	7.5	7.2	15.3	8.1 ポイント
その他不燃物	26.5	28.6	27.7	-0.9 ポイント
合計	100.0	100.0	100.0	-



図表 1-15 調査結果の経年変化（燃やさないごみ）

(3)プラスチック製容器包装の容積調査

45L ごみ袋ひと袋あたりの全体平均重量は 1.03kg/袋であった。

図表 1-16 プラスチック製容器包装の容積調査

5月	kg/袋					
	17日 月	18日 火	19日 水	20日 木	21日 金	22日 土
1回目	0.68	0.73	1.57	1.37	0.89	1.40
2回目	0.89	1.02	0.86	0.99	1.14	1.18
3回目	0.80	0.74	1.04	1.04	1.07	1.11
平均	0.79	0.83	1.16	1.13	1.03	1.23

全体平均	1.03
------	------

(4)プラスチック製容器包装と製品プラスチック

プラスチック製容器包装は、燃やすごみは 13.7%、燃やさないごみは 1.3%であった。製品プラスチックは、燃やすごみは 2.8%、燃やさないごみは 1.5%であった。

図表 1-17 プラスチック製容器包装と製品プラスチック

(%)

	中分類	小分類	No.	燃やすごみ		燃やさないごみ	
プラスチック製容器包装	フィルム系	レジ袋	25	1.1	13.7	0.6	1.3
		その他(容器包装対象)	26	4.9		0.0	
	PET ボトル	食料用	28	0.1		0.0	
		飲料用	29	0.6		0.0	
		その他	30	0.0		0.1	
	その他の形状のボトル	食料用	31	0.4		0.1	
		飲料用	32	0.4		0.0	
		その他	33	1.1		0.4	
	ボトルのキャップ		34	0.1		0.0	
	パック・カップ類	食料用	35	2.8		0.0	
		飲料用	36	0.8			
		その他パック・カップ類	37	0.0		0.0	
	食品トレイ	無色発泡樹脂	38	0.2			
		有色発泡樹脂	39	0.4			
		その他	40	0.4		0.0	
その他プラスチック類	その他(容器包装対象)	41	0.3	0.0			
製品プラスチック	その他プラスチック類	その他(容器包装非対象)	42	2.8		1.5	

(5)全体平均

図表 1-18 全体平均

(%)

No.	大分類	中分類	小分類	燃やすごみ	燃やさないごみ	分別区分	容器包装対象	品目例	
1	紙類	新聞紙・チラシ	新聞紙・チラシ	1.5	0.4	資源		新聞、新聞折込チラシ	
2			雑誌	1.1		資源		雑誌	
3			書籍	0.7		資源		書籍	
4			段ボール		1.0	0.3	資源	容器包装対象	段ボール
5			紙パック		0.6		資源	容器包装対象	紙パックマークの付いている牛乳・飲料パック
6				チラシ	1.0		資源		投函チラシ、ダイレクトメール、新聞折り込みチラシ以外のチラシ
7			雑紙	紙箱	3.8	0.0	資源	容器包装対象	お菓子の箱、ティッシュの箱
8				包装紙	0.6	0.0	資源	容器包装対象	包装紙
9				紙袋	1.0	0.2	資源	容器包装対象	紙袋
10				OA用紙(旧コピー用紙)	0.2	0.0	資源		コピー用紙、FAX用紙(感熱紙以外)
11				その他の雑紙	1.5	0.0	資源		封筒、はがき、トイレットペーパーの芯、メモ用紙、カレンダー、紙製の紙パック、歯用紙、製菓用の袋、取り扱い説明書
12			シュレッド用紙		0.2		燃やすごみ		シュレッターで裁断された紙
13			紙おむつ		4.5		燃やすごみ		紙おむつ
14	その他紙類 (資源化不可な紙類)		8.9	0.1	燃やすごみ		アルミ貼りの箱・紙パック、感熱紙、カーボン紙、臭いが付いている紙		
15	屑芥類	直接廃棄①(100%残存)	3.6	0.0	燃やすごみ		(食品ロス) 野菜、果物、卵、魚介類、肉類、パン類、缶詰、瓶詰め、調味料		
16		直接廃棄②(50%以上残存)	1.3		燃やすごみ		(食品ロス) 半分のりんご、容器の半分だけ残ったドレッシング		
17		直接廃棄③(50%未満残存)	1.3		燃やすごみ		(食品ロス) 半分未満のりんご、容器の半分未満のドレッシング		
18		食べ残し	3.0	0.0	燃やすごみ		(食品ロス) 食卓に一度上がり廃棄されたご飯、パン、麺類おかず		
19		調理くず	24.8		燃やすごみ		野菜、果物の皮、卵の殻、骨、内臓、エビ・貝の殻		
20	その他		1.2		燃やすごみ		出しガラ、コーヒーガラ、出がらしの茶葉		
21	繊維類		4.7	0.1	イベント回収		着物、スーツ、セーター、タオル、カーテン		
22	草木類		3.1	0.0	燃やすごみ		枝、草花、落ち葉、割り箸、竹串		
23	廃食油		0.5		拠点回収		紙や布にしみ込ませた油、凝固剤で固めた油		
24	プラスチック類	フィルム系	ごみ袋	0.9	0.3	共通		ごみ袋	
25			レジ袋	1.1	0.6	燃やすごみ	プラスチック包装対象	レジ袋	
26			その他(容器包装対象)	4.9	0.0	燃やすごみ	プラスチック包装対象	レトルト袋、菓子袋、入浴剤の袋	
27			その他(容器包装非対象)	0.9	0.1	燃やすごみ		ラップ、市販袋、レジヤシート、ブルーシート	
28			PET ボトル	食料用	0.1	0.0	資源	プラスチック包装対象	調味料ペットボトル(しょうゆ、しょうゆ加工品、めんつゆ、食酢等)
29				飲料用	0.6	0.0	資源	プラスチック包装対象	飲料ペットボトル、酒ペットボトル
30			その他の形状のボトル	その他	0.0	0.1	燃やすごみ	プラスチック包装対象	日用品等飲食以外のペットボトル
31				食料用	0.4	0.1	燃やすごみ	プラスチック包装対象	調味料ボトル、食料ボトル
32				飲料用	0.4	0.0	燃やすごみ	プラスチック包装対象	飲料ボトル、酒ボトル、乳酸菌飲料
33				その他	1.1	0.4	燃やすごみ	プラスチック包装対象	シャンプーボトル、洗剤ボトル
34				ボトルのキャップ		0.1	0.0	拠点回収	
35			バック・カップ類	食料用	2.8	0.0	燃やすごみ	プラスチック包装対象	カップラーメン容器、豆腐容器、卵容器、ヨーグルト容器
36				飲料用	0.8		燃やすごみ	プラスチック包装対象	バック飲料等の容器
37	その他バック・カップ類	0.0		0.0	燃やすごみ	プラスチック包装対象	飲食用以外のバック・カップ類		
38	食品トレー	無色発泡樹脂	0.2		資源	プラスチック包装対象	白色発泡系トレー		
39		有色発泡樹脂	0.4		資源	プラスチック包装対象	色・柄付き発泡系トレー		
40		その他	0.4	0.0	燃やすごみ	プラスチック包装対象	発泡素材でないトレー		
41	その他プラスチック類	その他(容器包装対象)	0.3	0.0	燃やすごみ	プラスチック包装対象	トロ箱、緩衝材、納豆容器、果物保護ネット		
42		その他(容器包装非対象)	2.8	1.5	燃やすごみ		(製品プラスチック)ビデオテープ、CD、DVD、歯ブラシ		
43	ゴム・皮革類	その他	1.2	0.5	燃やすごみ		革靴、かばん、ベルト、財布、グローブ、ボール、ゴム靴、ホース、ゴム手袋		
44	その他可燃物等	その他可燃物	9.1	0.4	燃やすごみ		汚れた可燃系資源、猫砂、ペットシート、髪の毛、ほこり、タバコの吸い殻、保冷剤		
45		粗大系ごみ・適正処理困難物		3.5			粗大系ごみ・適正処理困難物		
46	ガラス類	透明リターナブルビン	飲料用			資源	容器包装対象	飲料用透明リターナブルビン	
47			食料用			資源	容器包装対象	食料用透明リターナブルビン	
48			飲料用	0.0	0.7	資源	容器包装対象	飲料用透明ワンウェイビン	
49			食料用	0.0	4.0	資源	容器包装対象	食料用透明ワンウェイビン	
50			その他	0.0	1.1	燃やさないごみ	容器包装対象	その他透明ワンウェイビン	
51		色付きリターナブルビン	飲料用			資源	容器包装対象	飲料用色付きリターナブルビン	
52			食料用			資源	容器包装対象	食料用色付きリターナブルビン	
53			飲料用	0.0	2.0	資源	容器包装対象	飲料用色付きリターナブルビン	
54			食料用	0.0	1.6	資源	容器包装対象	食料用色付きリターナブルビン	
55			その他	0.0	0.8	燃やさないごみ	容器包装対象	その他色付きリターナブルビン	
56		割れたビン		0.5		燃やさないごみ	容器包装対象	割れびん	
57		その他ガラス類		0.0	11.7	燃やさないごみ		板ガラス、ガラスコップ、耐熱ガラス、手鏡	
58		鉄類	飲料用缶(鉄)	飲料用缶(鉄)	0.0	0.4	資源	容器包装対象	飲料用スチール缶
59				食料用缶(鉄)	0.0	2.2	資源	容器包装対象	食料用スチール缶
60				カセットボンベ・スプレー缶	0.0	1.6	燃やさないごみ	容器包装対象	カセットボンベ、スプレー缶
61	その他の缶類			0.0	1.8	燃やさないごみ	容器包装対象	塗料缶、一斗缶、ペットのエサ缶	
62	調理用具(なべ、やかん、フライパン)				3.7		イベント回収		なべ、やかん、フライパン
63	調理用具(その他)			2.7		燃やさないごみ		おたま、フライ返し、包丁	
64	その他(鉄類)			0.1	7.5	燃やさないごみ		ハンガー、釘、ネジ、ボルト	
65	非鉄金属		飲料用缶(アルミ)	飲料用缶(アルミ)	0.0	0.3	資源	容器包装対象	飲料用アルミ缶
66				食料用缶(アルミ)	0.0	0.2	資源	容器包装対象	食品用アルミ缶
67				カセットボンベ・スプレー缶	0.0	0.5	燃やさないごみ	容器包装対象	スプレー缶
68		その他のアルミ缶		0.0	0.1	燃やさないごみ	容器包装対象	日用品用アルミ缶	
69		調理用具(なべ、やかん、フライパン)			0.2		イベント回収		なべ、やかん、フライパン
70	調理用具(その他)		2.9		燃やさないごみ		おたま、フライ返し、包丁		
71	その他(非鉄金属)		0.1	1.6	燃やさないごみ		アルミホイール、ハンガー、釘、ネジ、ボルト		
72	家電類	小型家電製品(区が回収している12品目)	0.0	1.2	拠点回収		携帯電話		
73		コード類(ACアダプタ含む)	0.0	1.2	拠点回収		コード類		
74		その他小型家電(10品目)	0.1	2.6	拠点回収		デジタルカメラ、ビデオカメラ、携帯音楽プレーヤー、携帯型ゲーム機、電子辞書、電卓、電話機、記録用紙、ライター、電風カセット		
75	小型家電製品以外の家電製品		0.3	11.6	燃やさないごみ		一辺の長さが30センチメートル未満の扇風機、電灯、アイロン、トースター		
76	陶磁器類	陶磁器類	0.0	17.3	燃やさないごみ		皿、茶碗、急須、灰皿、植木鉢、花瓶		
77		乾電池等	乾電池	0.0	1.6	拠点回収		筒型電池	
78			その他		0.0		燃やさないごみ	ボタン電池、充電電池、バッテリー	
79		蛍光灯		0.1	0.6	燃やさないごみ		蛍光灯	
80	その他不燃物	水銀含有廃棄物			燃やさないごみ		水銀体温計、水銀式血圧計		
81		電球		0.0	0.4	燃やさないごみ		電球	
82		傘		5.8		燃やさないごみ		傘	
83		ライター		0.0	0.2	燃やさないごみ		ライター	
84		その他(不燃物)		0.3	1.6	燃やさないごみ		おもちゃ、カイロ、金属部分が多い複合品	
		合計		100.0	100.0				

第2章 区民アンケート

2.1 調査概要

(1)調査目的

区民アンケート調査は、区民のプラスチックごみ問題に対する関心度合い、プラスチックごみの減量や資源化に関する区民の意識・意向等を把握するために行うものである。

(2)調査方法

住民基本台帳から無作為に抽出した 2000 世帯を対象に調査票を郵送した。

(3)調査実施時期

発送：令和3年6月14日

締切り：令和3年6月28日

(4)調査票回収状況

発送数	2,000 通
宛先不明による返還数	4 通
返送数	1,091 通
回答率	$1,091 \div (2,000 - 4) = 54.7\%$

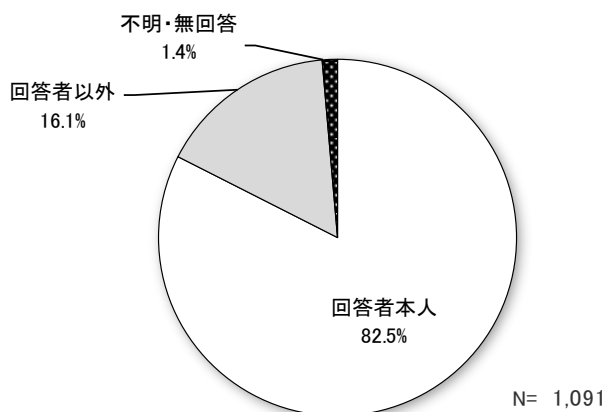
2.2 調査結果

(1)フェイス項目

回答者がごみ出し担当かどうか、居住地域、年齢、世帯人数等の属性（フェイス項目）は以下のとおりである。

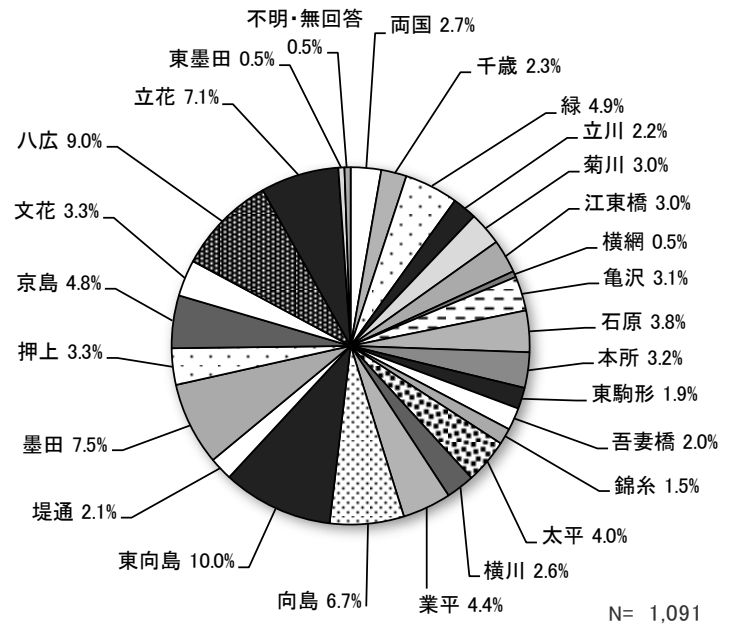
図表 2-1 回答者はごみ出し担当かどうか

選択肢	回答数	割合
回答者本人	900	82.5%
回答者以外	176	16.1%
不明・無回答	15	1.4%
合計	1,091	100.0%



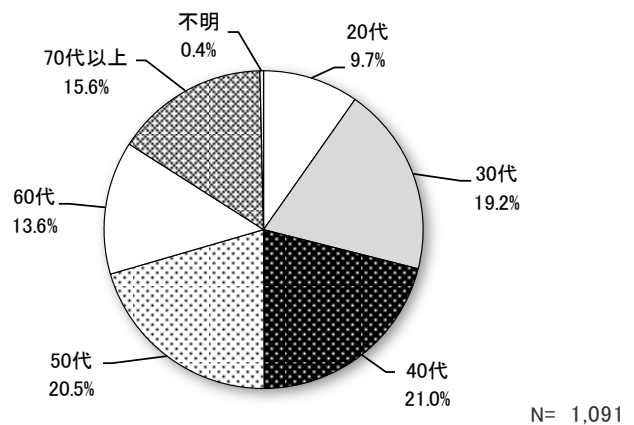
図表 2-2 居住地域

選択肢	回答数	割合
両国	30	2.7%
千歳	25	2.3%
緑	53	4.9%
立川	24	2.2%
菊川	33	3.0%
江東橋	33	3.0%
横網	6	0.5%
亀沢	34	3.1%
石原	41	3.8%
本所	35	3.2%
東駒形	21	1.9%
吾妻橋	22	2.0%
錦糸	16	1.5%
太平	44	4.0%
横川	28	2.6%
業平	48	4.4%
向島	73	6.7%
東向島	109	10.0%
堤通	23	2.1%
墨田	82	7.5%
押上	36	3.3%
京島	52	4.8%
文花	36	3.3%
八広	98	9.0%
立花	77	7.1%
東墨田	6	0.5%
不明・無回答	6	0.5%
合計	1,091	100.0%



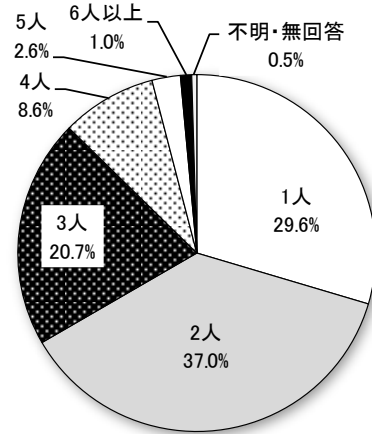
図表 2-3 回答者の年齢

選択肢	回答数	割合
20代	106	9.7%
30代	210	19.2%
40代	229	21.0%
50代	224	20.5%
60代	148	13.6%
70代以上	170	15.6%
不明	4	0.4%
合計	1,091	100.0%



図表 2-4 世帯人数

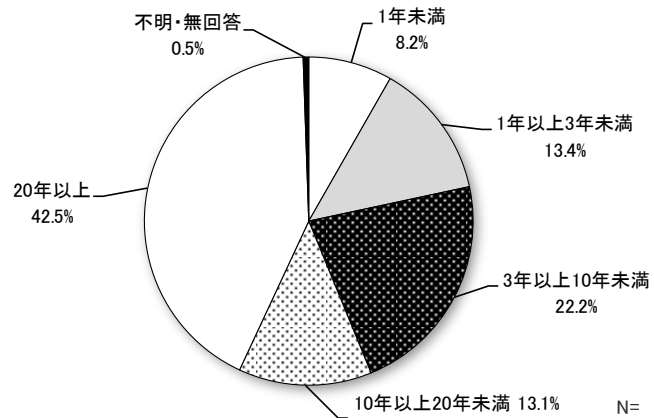
選択肢	回答数	割合
1人	323	29.6%
2人	404	37.0%
3人	226	20.7%
4人	94	8.6%
5人	28	2.6%
6人以上	11	1.0%
不明・無回答	5	0.5%
合計	1,091	100.0%



N= 1,091

図表 2-5 墨田区への居住年数

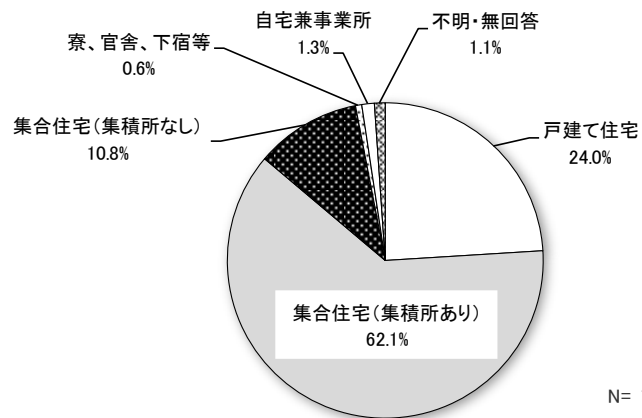
選択肢	回答数	割合
1年未満	90	8.2%
1年以上3年未満	146	13.4%
3年以上10年未満	242	22.2%
10年以上20年未満	143	13.1%
20年以上	464	42.5%
不明・無回答	6	0.5%
合計	1,091	100.0%



N= 1,091

図表 2-6 居住する住居の形態

選択肢	回答数	割合
戸建て住宅	262	24.0%
集合住宅(集積所あり)	678	62.1%
集合住宅(集積所なし)	118	10.8%
寮、官舎、下宿等	7	0.6%
自宅兼事業所	14	1.3%
不明・無回答	12	1.1%
合計	1,091	100.0%



N= 1,091

(2)ふだんのくらしや関心事について

問 1(1) 以下のごみ問題や環境問題に関連する用語や動向について、あなたの認識に最も近いものをお選びください。(それぞれ1つずつに○)

8割前後の関心を集めている「海洋プラスチックごみ問題」「食品ロス問題」に比較し、SDGsは「関心がある」は半数程度であった。「3R」は半数以上が「知らなかった」と回答している。

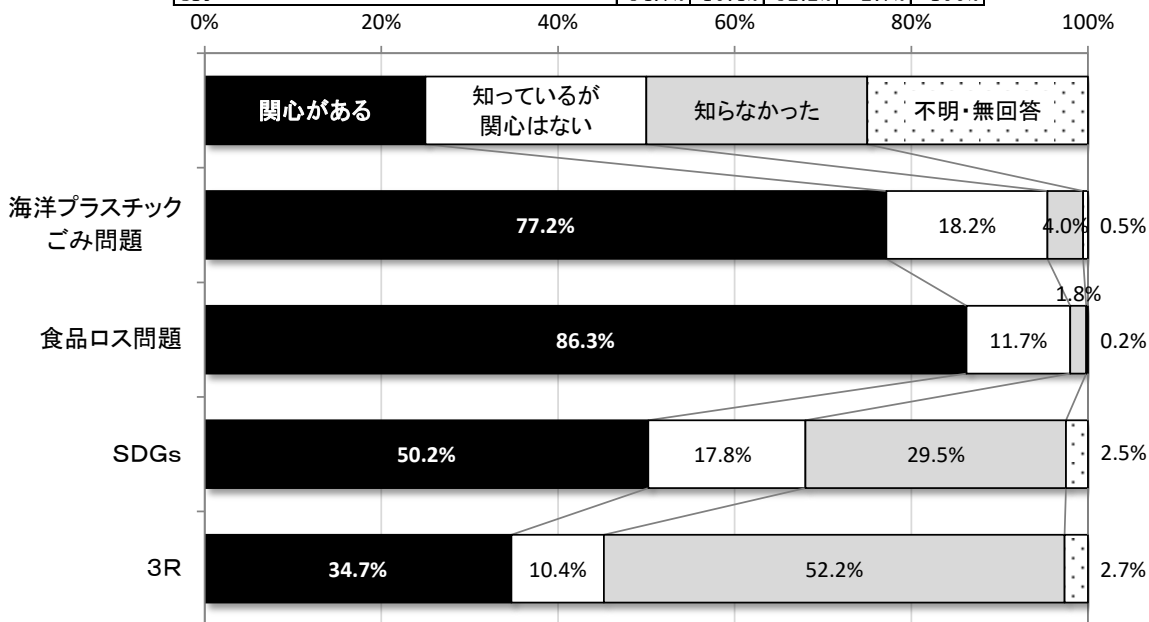
図表 2-7 環境関連動向・用語の認識

(回答数)

項目\選択肢	1 関 心 が あ る	2 関 心 は な い が あ る	3 知 ら な か っ た	4 不 明 ・ 無 回 答	合 計
海洋プラスチックごみ問題	842	199	44	6	1,091
食品ロス問題	941	128	20	2	1,091
SDGs	548	194	322	27	1,091
3R	379	114	569	29	1,091

(割合)

項目\選択肢	1 関 心 が あ る	2 関 心 は な い が あ る	3 知 ら な か っ た	4 不 明 ・ 無 回 答	合 計
海洋プラスチックごみ問題	77.2%	18.2%	4.0%	0.5%	100%
食品ロス問題	86.3%	11.7%	1.8%	0.2%	100%
SDGs	50.2%	17.8%	29.5%	2.5%	100%
3R	34.7%	10.4%	52.2%	2.7%	100%

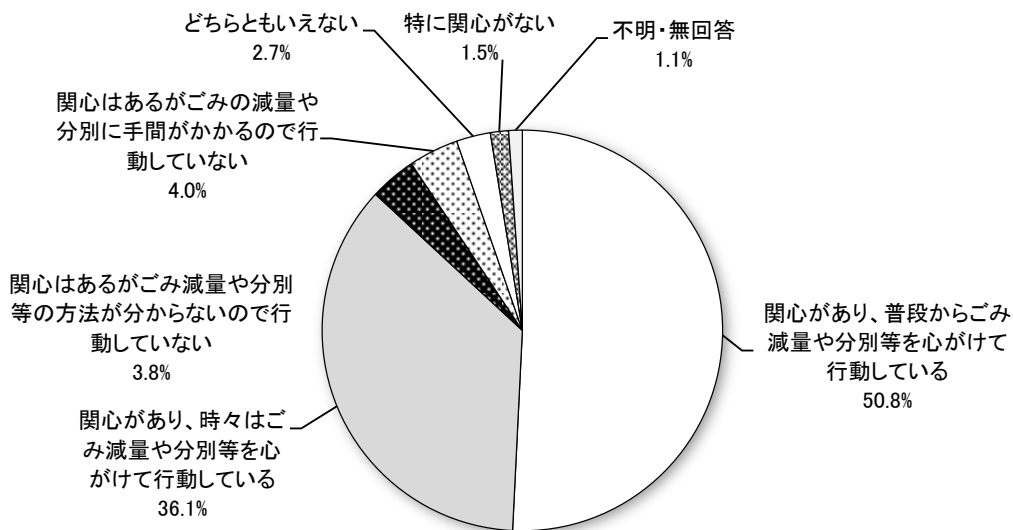


N= 1,091

問 1(2) あなたのごみに対する関心と行動について、次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

約半数が「ごみについて関心があり普段から減量や分別等を心がけている」と回答している。

図表 2-8 ごみに対する関心と行動

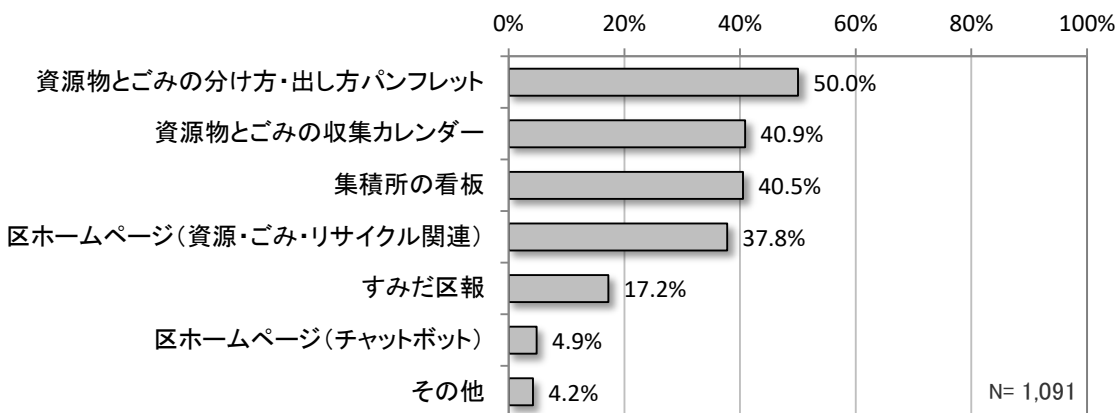


N= 1,091

問 1(3) 墨田区の資源とごみの分け方や出し方に関する情報は何かから得ていますか。

資源やごみの分け方・出し方に関する情報源として最も多いのはパンフレットで50.0%、次いでカレンダーや集積所の看板、区ホームページの順となっている。チャットボットの利用は約5%であった。

図表 2-9 資源とごみの分け方・出し方の情報源

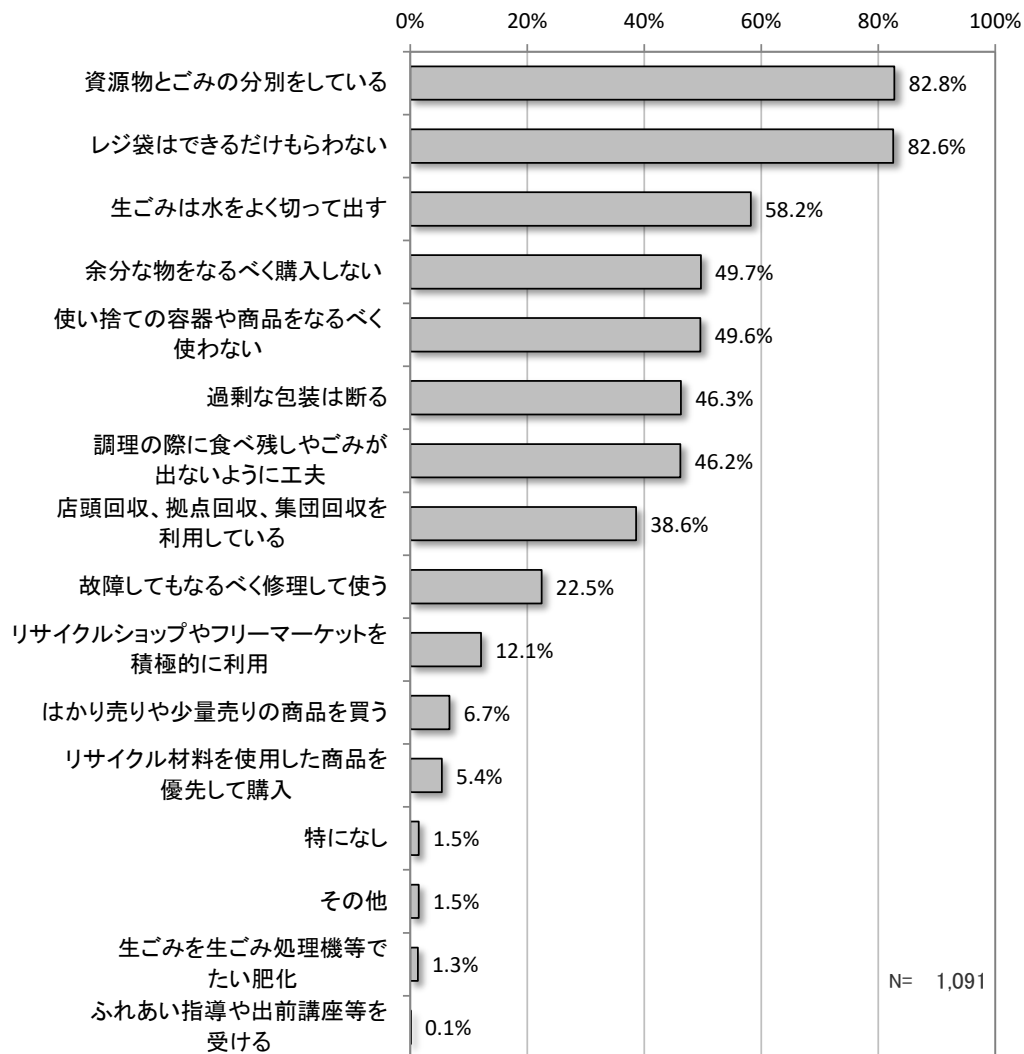


□ 「その他」の主な内容：「マンション管理人からの通知・掲示」「家族に聞く」「町会の回覧板」など

問 1(4) あなたのご家庭で日頃からごみの減量や分別で心がけていることは何ですか。

「資源とごみの分別をしている」「レジ袋はできるだけもらわない」はともに8割以上と高い回答となった。次いで「生ごみはよく水切りをする」58.2%、「余分なものをなるべく購入しない」49.7%などとなっている。

図表 2-10 日頃から心がけていること



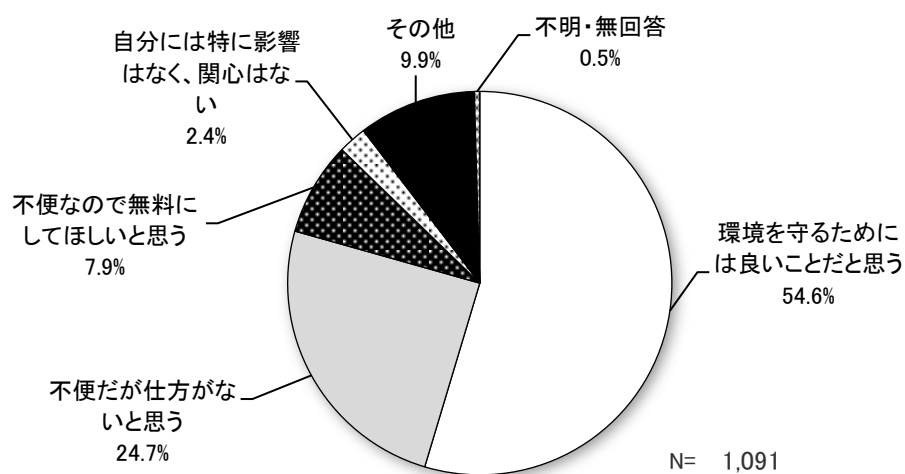
□ 「その他」の主な内容：「友人との物々交換」「ディスプレイの利用」「古着を油ふきに再利用」など

問 1(5) 昨年（2020）年 7 月より、プラスチック製のレジ袋が全国的に有料になりました。これについてどうお考えですか。あなたのお考えに近いもの 1 つに○をつけてください。

「環境を守るためには良いことだと思う」54.6%、「不便だが仕方がないと思う」24.7%と、両者を合わせて 8 割弱はレジ袋有料化を受け入れる意見であった。

一方、「不便なので無料にしてほしいと思う」とする意見は 7.9%であった。「その他」の中にも、「効果は無いのではないか」「無駄な政策なのではないか」といった否定的な意見が見られた。

図表 2-11 レジ袋有料化に対する考え



- 「その他」の主な内容：「レジ袋有料の効果は本当にあるのか。根拠はあるのか」「海の生き物を守るならとても良い」「ゴミ袋として必要なので不便・結局もらってしまう」「店により値段が違うのがおかしい」など

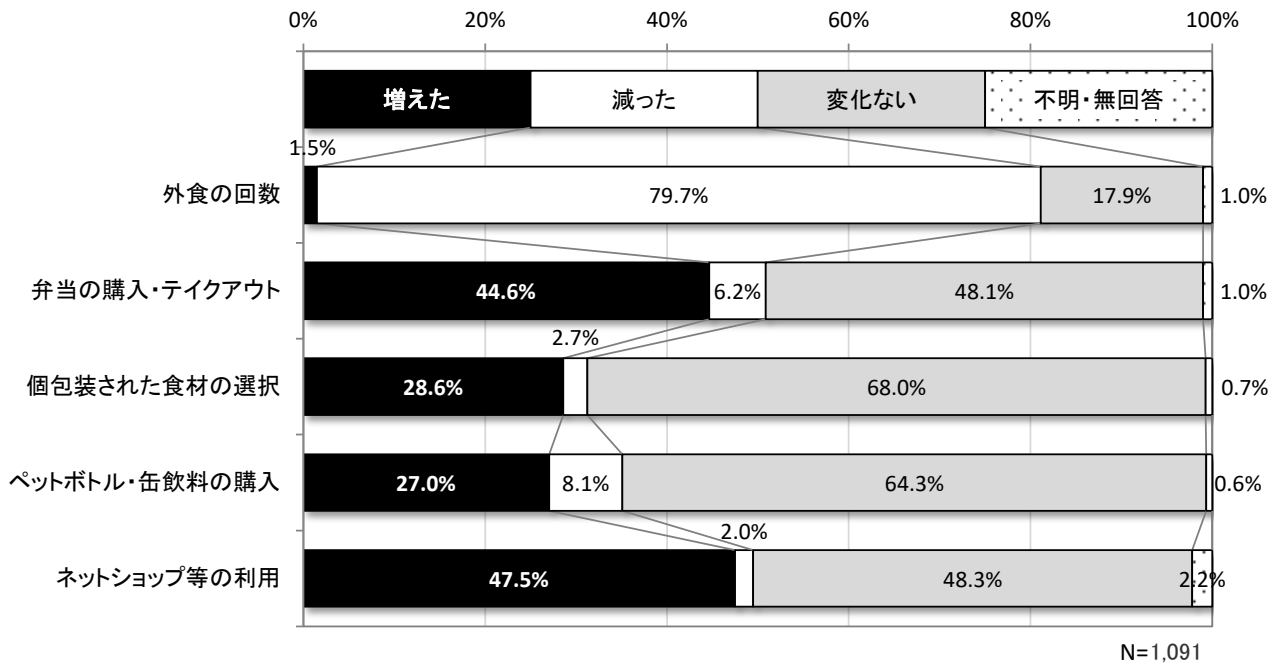
(3)新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

問 2(1) 新型コロナウイルス感染症拡大によるあなたやご家族の生活の変化についてお聞きします。それぞれあてはまるもの 1 つに○をつけてください。

新型コロナウイルス感染症拡大により、外食の回数については回答者の約 8 割が「減った」と回答している。

一方、「弁当の購入・テイクアウト」「ネットショップ等通信販売の利用」については半数近くが「増えた」と回答している。

図表 2-12 新型コロナウイルス感染症拡大による生活の変化

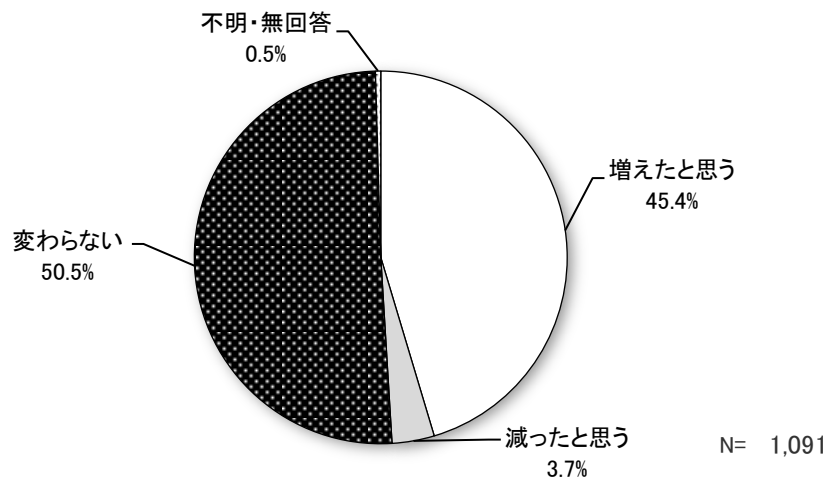


問 2(2) 新型コロナウイルス感染症拡大後、ご家庭から出るごみや資源の量は増えましたか。
(1 つに○)

新型コロナウイルス感染症拡大によるごみや資源の量への影響については、「変わらない」50.5%、「増えたと思う」45.4%となった。

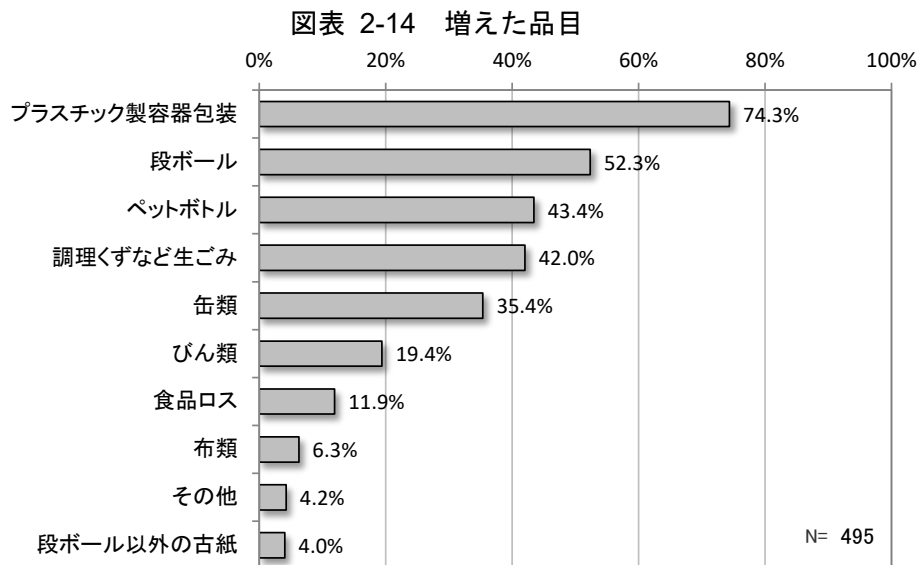
「減ったと思う」とする回答は3.7%と少数であった。

図表 2-13 新型コロナウイルス感染症拡大によるごみや資源の量の変化



問 2(3) 前問で 1. を選んだ方にお聞きします。何が増えましたか。(〇はいくつでも)

具体的に増えた品目としては、「プラスチック製容器包装」「段ボール」「ペットボトル」「生ごみ」「缶類」が上位 5 品目となっている。



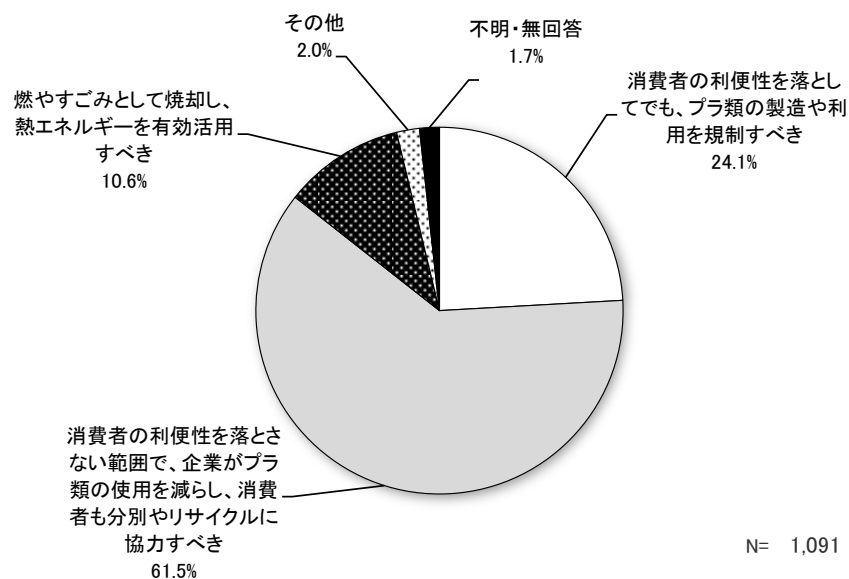
□ 「その他」の主な内容：「マスク」「除菌関連のもの」「断捨離で出たもの」など

(4)プラスチックごみのリサイクルについて

問 3(1) プラスチックごみ問題を解決する方向性として、あなたのお考えに近いものを 1 つお選びください。

プラスチックごみ問題の解決に向けては、「消費者の利便性を落とさない範囲で企業が減らし、消費者も協力する」という考えが約 6 割と最も多くを占めた。

図表 2-15 プラスチックごみ問題解決の方向性について

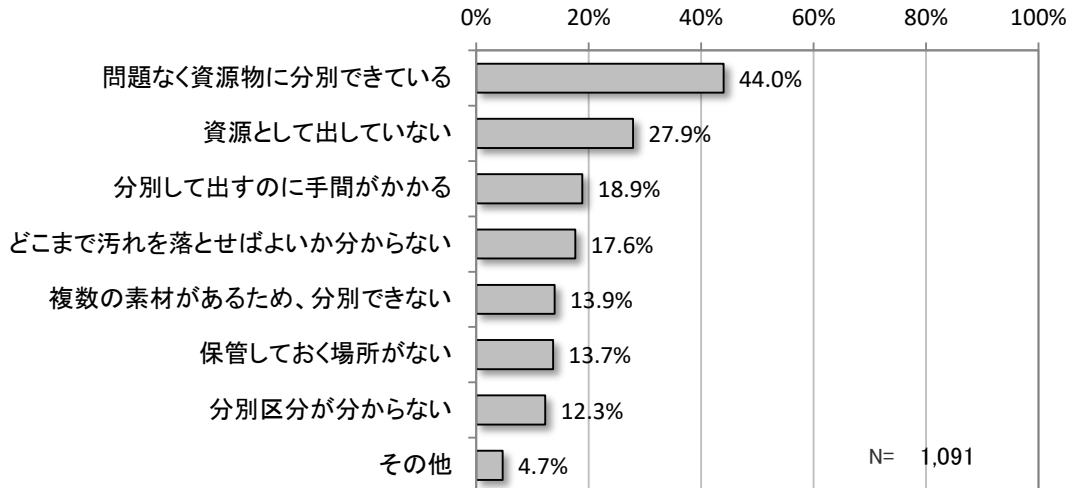


□ 「その他」の主な内容：「バイオプラスチックを使う」「まずポイ捨てを防止する」など

問 3(2) 墨田区では発泡食品トレーを週 1 回、資源物として集積所回収しています。
食品トレーの回収について、あてはまるものをすべて選んでください。

現在区が実施している発泡食品トレー回収については、「問題なく分別できている」が 44.0%と最も多かった。

図表 2-16 食品トレーの回収について

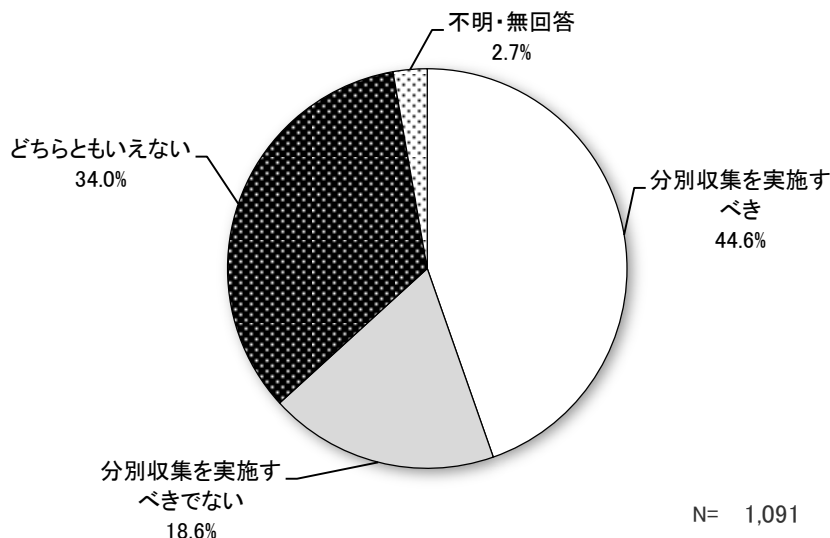


□ 「その他」の主な内容：「店頭回収を利用している」「回収していることを知らなかった」など

問 3(3) 容器包装プラスチックは、現在、墨田区では燃やすごみとして収集しています。
今後、資源物として分別収集するとした場合、あなたのお考えに近いものを 1 つ選んでください。

容器包装プラスチック分別収集の導入については、44.6%が「実施すべき」と回答し、「実施すべきでない」とする意見は 18.6%であった。

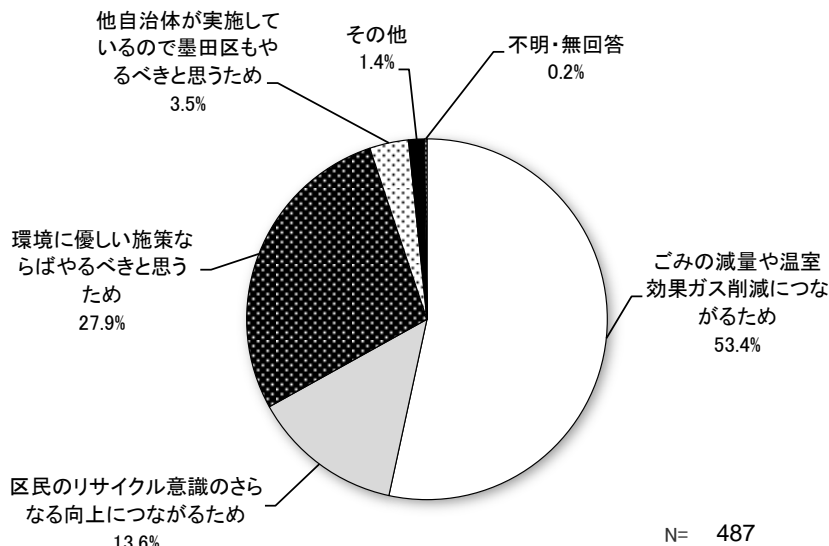
図表 2-17 容器包装プラスチックの分別収集に対する考え



問 3(4) 前問で 1.を選んだ方にお聞きします。「実施すべき」と思う理由は何ですか。あなたの考えに近いもの 1つに○を付けてください。

容器包装プラスチックの分別収集を実施すべきとする理由としては、「ごみの減量や温室効果ガス削減につながるため」が 53.4%と最も多くなっている。

図表 2-18 容器包装プラスチックの分別収集をすべきと思う理由

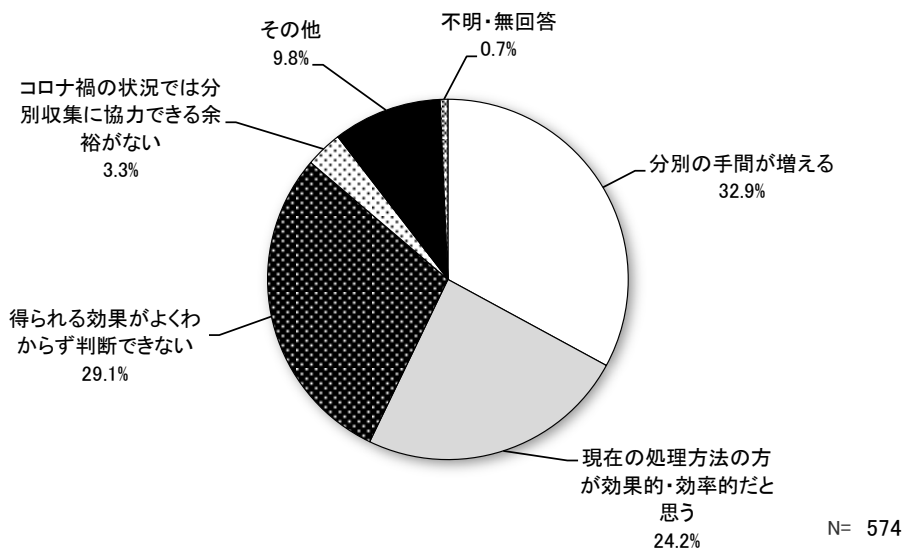


□ 「その他」の主な内容：「将来の子どものため」「分別しないと心が痛む」など

問 3(5) 問 3(3)で 2.または 3.を選んだ方にお聞きします。「実施すべきでない」「どちらともいえない」と思う理由は何ですか。あなたの考えに近いもの 1つに○をつけてください。

「容器包装プラの分別収集をすべきではない」または「どちらともいえない」とする理由としては、「分別の手間が増える」32.9%、「得られる効果が分からない」29.1%などとなっている。

図表 2-19 容器包装プラ分別を「すべきでない」「どちらともいえない」理由

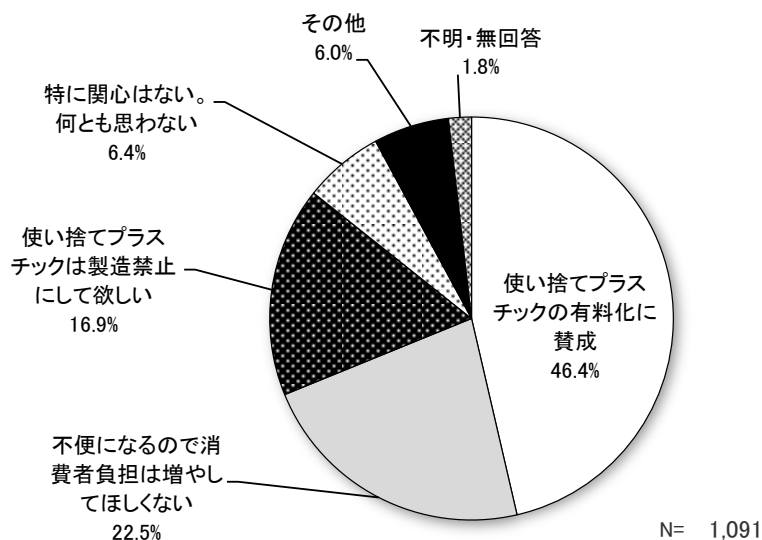


□ 「その他」の主な内容：「分別しない人が出る」「税金はコロナ対策に優先すべき」など

問 3(6) 使い捨てのプラスチック製品を法律で有料化するなどして減らす政策について、どうお考えですか。あなたのお考えに近いもの 1 つに○をつけてください。

本アンケートの実施時期、国会にてプラスチック資源循環促進法が可決成立し、マスコミでも使い捨てプラスチック製品を有料化するなどの政策が紹介されていたが、これに対し「賛成」とする意見は 46.4%、「消費者負担は増やして欲しくない」は 22.5%、「使い捨てプラスチックは製造禁止にして欲しい」が 16.9%となった。

図表 2-20 使い捨てプラスチック製品を有料化し減らす政策について

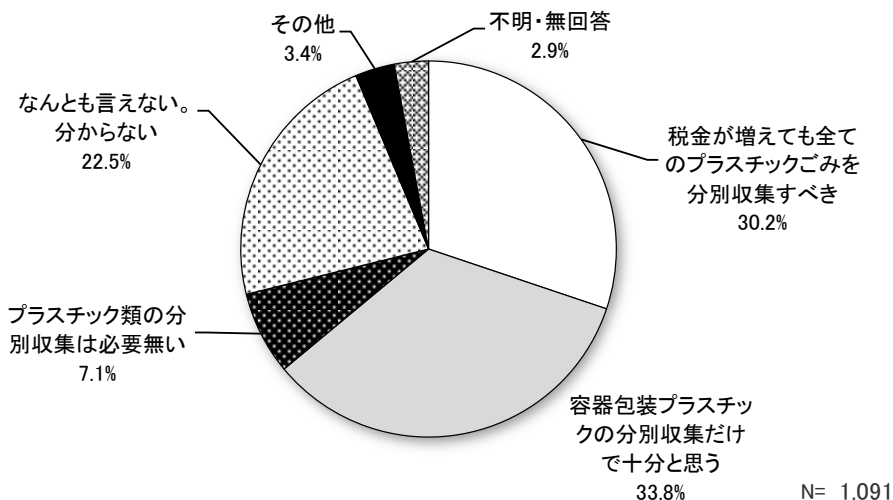


□ 「その他」の主な内容：「紙など代替素材を使う」「効果が疑問」など

問 3(7) あなたは、「容器包装」と「製品」のプラスチックを一括して分別収集、リサイクルすることについてどう思いますか。(1 つに○)

容器包装と製品プラスチックの一括回収については、「分別収集すべき」が 30.2%、「容器包装プラのみで十分」が 33.8%と、意見が拮抗する結果となった。

図表 2-21 容器包装プラと製品プラの一括した分別収集について

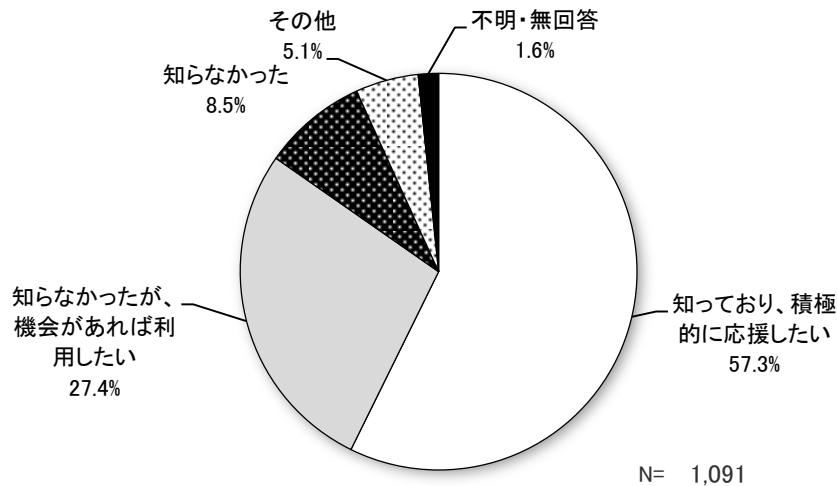


□ 「その他」の主な内容：「税金が増えなければ良い」「企業に費用負担させる」など

問 3(8) あなたは、このような企業のプラスチックごみ削減に向けた取り組みについてどう思いますか。(1 つに○)

アンケート調査票の説明文で、企業においてもプラスチックごみを削減する動きが広がっていることを紹介し、これをどう思うかと尋ねたところ、「知っており積極的に応援したい」とする意見が 57.3%と半数以上を占めた。

図表 2-22 企業のプラスチックごみ削減に向けた取り組みについて

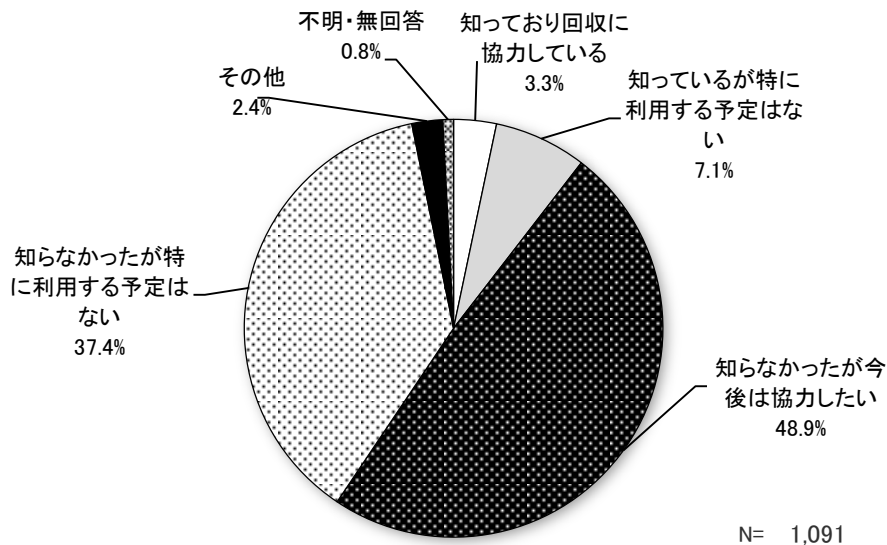


□ 「その他」の主な内容：「企業のパフォーマンスではないか」「知っているだけである」など

問 3(9) 墨田区では、2000年3月にライオン株式会社と協定を締結し、区役所や児童館などの公共施設に回収ボックスを設置し、ハブラシを回収・リサイクルしています。このことをご存じでしたか。(1 つに○)

ハブラシ回収については、「知らなかったが今後は協力したい」が 48.9%と最も多かった。

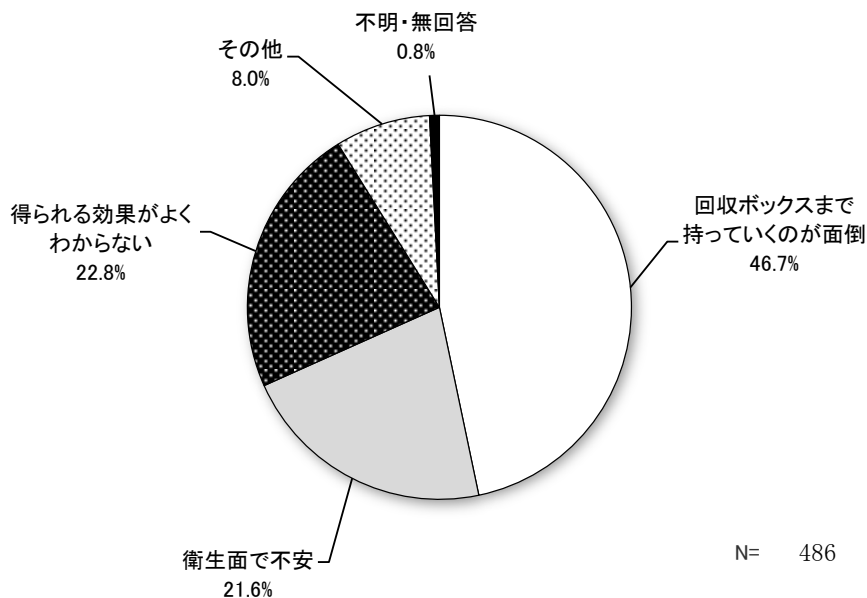
図表 2-23 ハブラシ回収について



□ 「その他」の主な内容：「近くに回収場所があれば」「回収ボックスがどこか分からない」など

問 3(10) 前問で 2.または 4.を選んだ方にお聞きします。「特に利用する予定はない」理由は何ですか。あなたの考えに近いもの 1 つに○をつけてください。

図表 2-24 ハブラシ回収を利用する予定がない理由



□ 「その他」の主な内容：「使用済ハブラシは掃除などに使っている」「そんなに買い換ええないから」など

(5)自由記入欄

自由記入欄には 324 件の記入をいただいた（「特になし」等の記入を除く）。

以下に自由記入の例を要約して紹介する。

- 分別しなくてもエコになる仕組みづくりを要望する。(20代)
- 不燃ごみの収集を週1回にして欲しい。(20代)
- 路上喫煙のポイ捨てが多いので対策を強化して欲しい。(30代)
- 行政と企業が連携して今後も仕組みづくりをして頂きたい。(30代)
- 墨田区の自転車リサイクルを利用して頂きました。まだ乗れる自転車だったので、再利用して頂きうれしかった。(40代)
- 容器包装プラスチックの分別は賛成だが、汚れを取り除くことが難しい場合があるので、どの程度、洗えば良いかを区のホームページなどで例を示していただきたい。(40代)
- サーマルリサイクルを推進していくことこそ正しい石油製品の使い方だと思うが、区や行政の取り組みには感謝しており、協力している。(50代)
- ごみ分別案内チャットボット、大変重宝しています。(50代)
- 全てごみを出す場合は有料にすべきと思う。(60代)
- 生ごみ処理機の活用に関心がある。区で「ごみ対策講座」などを開催して欲しいと思う。(70代以上)

第3章 事業所アンケート

3.1 調査概要

(1)調査目的

事業所アンケート調査は、消費者と接点のある事業所を対象に、プラスチックごみの発生抑制や店頭回収等の実施状況、さらには新型コロナウイルス感染症拡大に関する影響等を把握するために行うものである。

(2)調査方法

NTT タウンページから販売店 500 件、飲食店 500 店を無作為に抽出し、調査票の郵送により行った。

(3)調査実施時期

発送：令和3年6月21日

締切り：令和3年7月5日

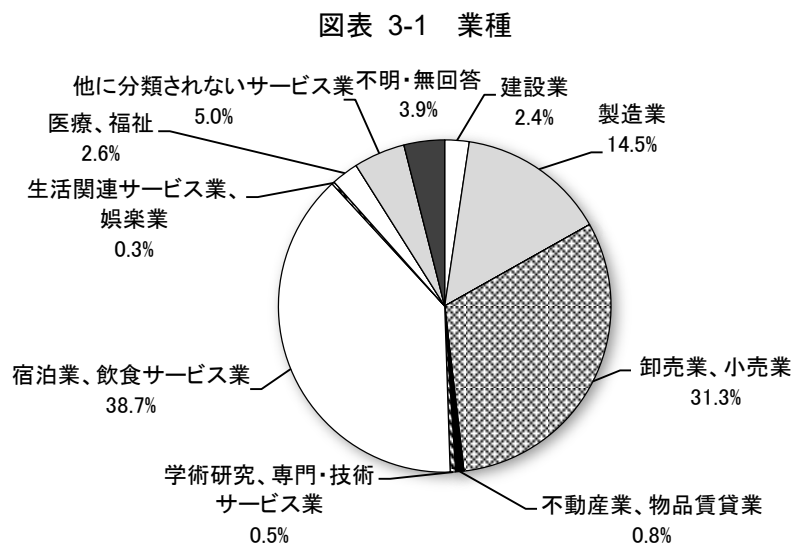
(4)調査票回収状況

発送数	1,000 通
宛先不明による返還数	47 通
返送数	380 通
回答率	$380 \div (1,000 - 47) = 39.9\%$

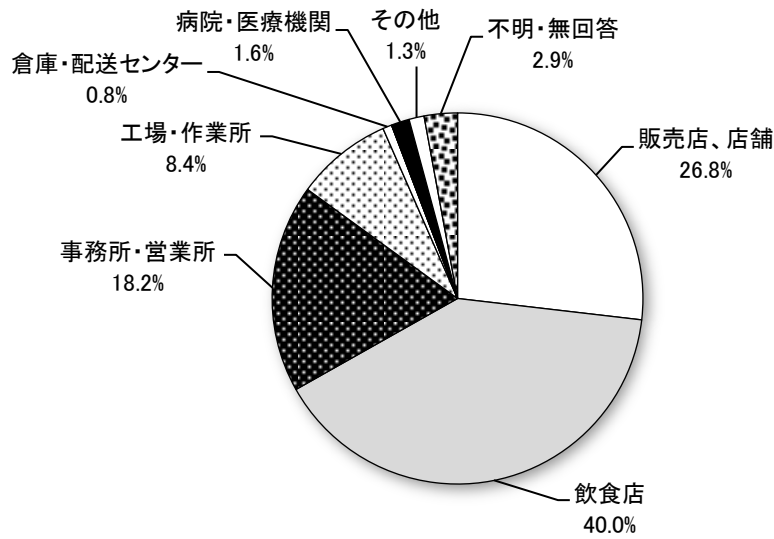
3.2 調査結果

(1)フェイス項目

回答事業所の業種、事業形態、従業者数等の属性（フェイス項目）は以下のとおりである。

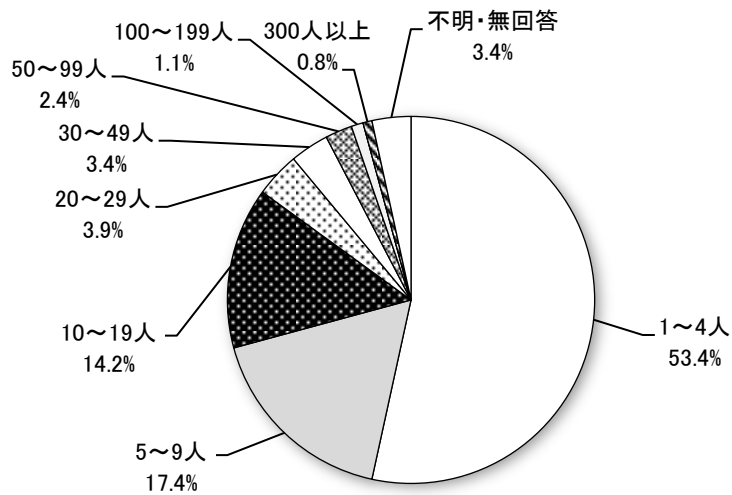


図表 3-2 事業形態



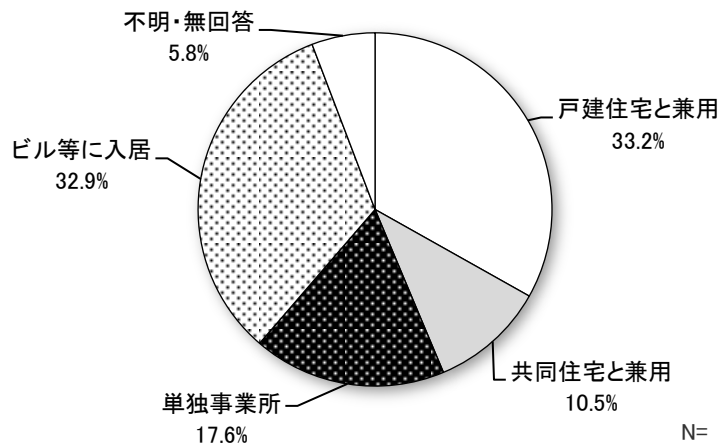
N= 380

図表 3-3 従業員数



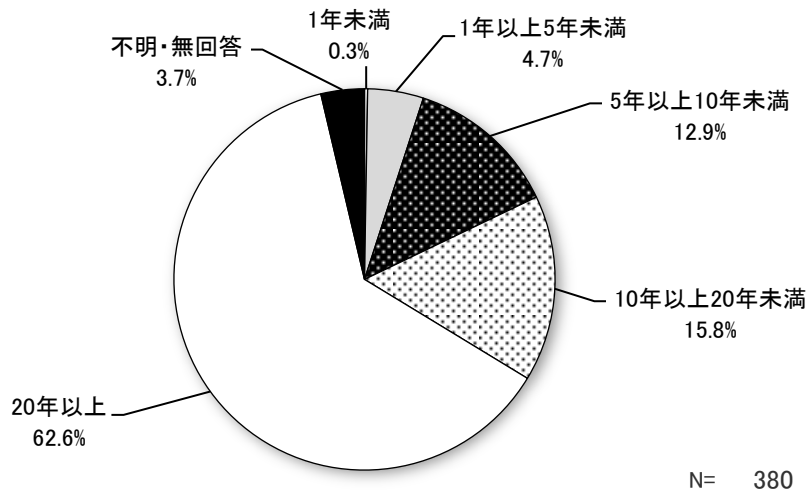
N= 380

図表 3-4 住居併設



N= 380

図表 3-5 営業年数



(2)ごみ・資源の排出・処理について

問 1(1) 下表の 1～6 で、貴事業所に該当するごみの処理や資源化の方法の番号すべてに○を付けてください (○はいくつでも)。
また、○を付けたものは、1 週間のおおよその排出量もご記入ください。

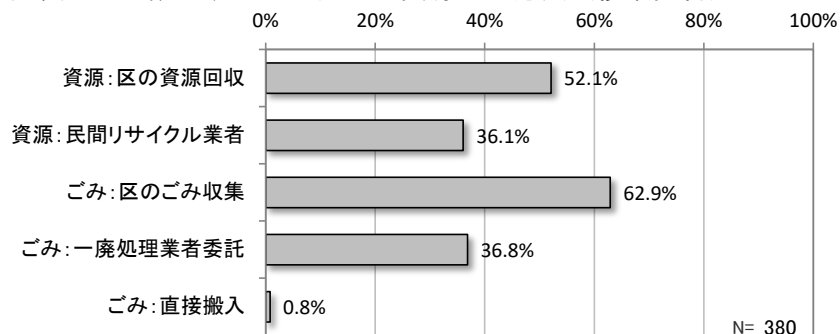
	該当する処理や資源化の番号に ○を付けてください (複数可)	1 週間あたりのおおよその 排出量をご記入ください
資源	→ 1. 区の資源回収 (週 1 回) に出している	約 [1 週間あたり] kg
	→ 2. 民間のリサイクル業者等に引き渡している	約 [1 週間あたり] kg
ごみ	→ 3. 区のごみ収集 (可燃、不燃) に出す	約 [1 週間あたり] kg
	→ 4. 一般廃棄物処理業者に委託している	約 [1 週間あたり] kg
	→ 5. 直接清掃工場に持ち込んでいる	約 [1 週間あたり] kg

資源としての排出 (1.区資源回収、2.民間リサイクル業者)、及びごみとしての排出 (3.区収集、4.一般廃棄物処理業者委託、5.直接搬入) の回答集計を図表 3-6 に示す。資源については 52.1% が区の資源回収を利用しており、36.1%が民間リサイクル業者への引渡しを行っている。

ごみについては、回答者の 62.9%が区収集にごみを排出しており、36.8%が一般廃棄物処理業者に委託処理を行っている。清掃工場への直接搬入は非常に少なく 0.8%である。

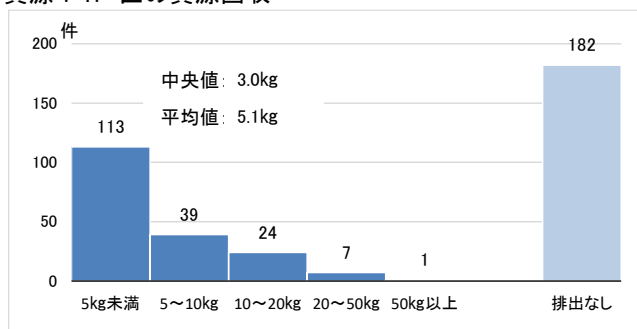
また、それぞれの処理方法の 1 週間あたりの排出量の分布を図表 3-7 に示す。

図表 3-6 該当するごみ処理・資源化の方法（複数回答）

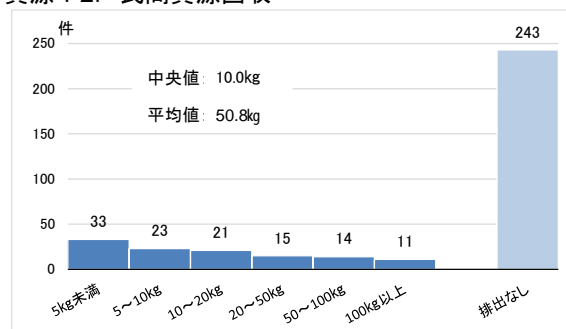


図表 3-7 1週間あたり排出量の回答分布

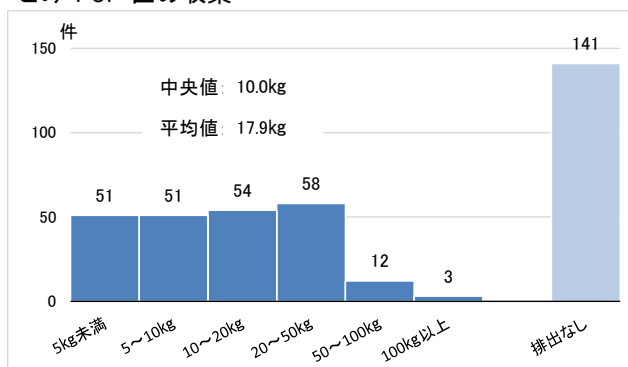
資源：1. 区の資源回収



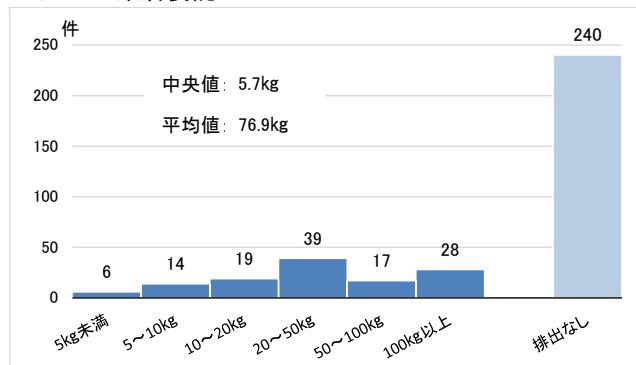
資源：2. 民間資源回収



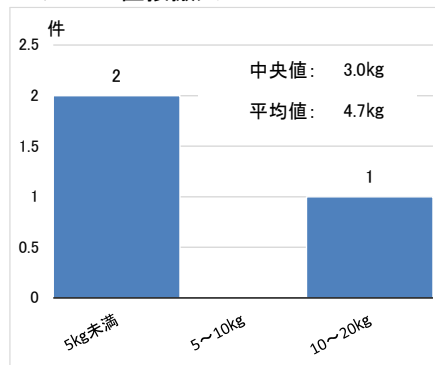
ごみ：3. 区の収集



ごみ：4. 業者委託



ごみ：5. 直接搬入



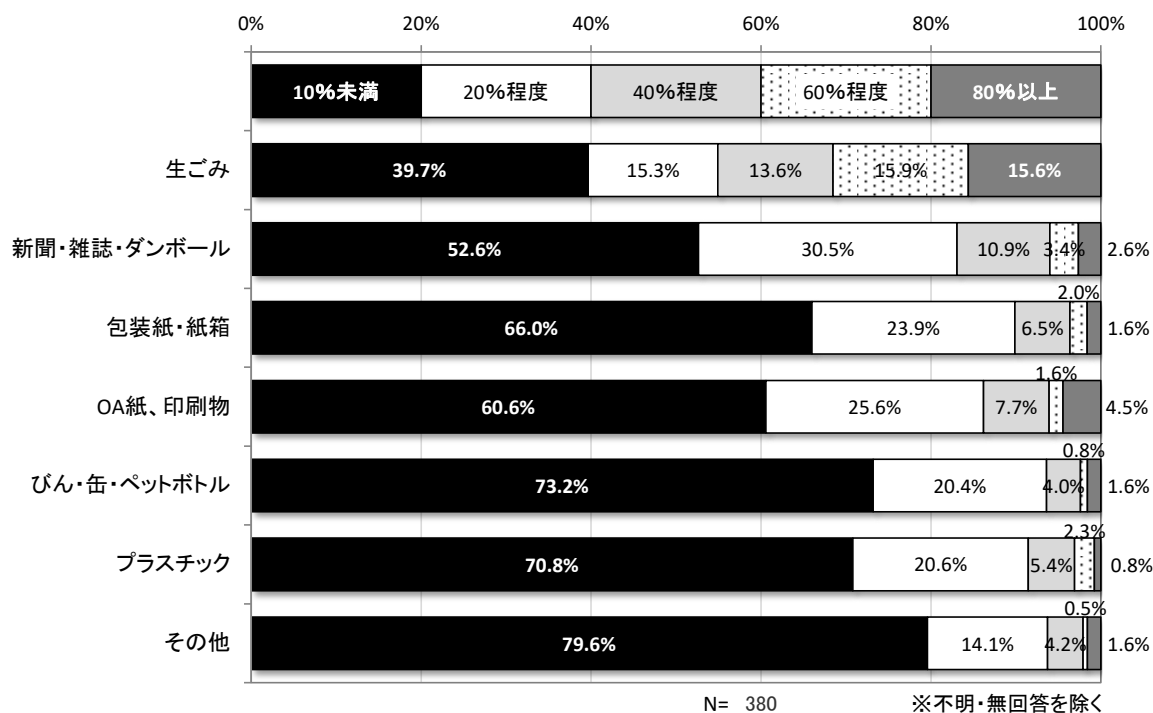
※回答は3件のみ

問 1(2) 貴事業所の出す「ごみ」の中には、下表の品目が重量換算でどの程度含まれていますか。
資源として分けて出しているものは除きます。(〇は1つつ)

品目	ごみの中のおおよその内訳 (重量換算)				
生ごみ	ア 10%未満	イ 20%程度	ウ 40%程度	エ 60%程度	オ 80%以上
新聞・雑誌・ダンボール	ア 10%未満	イ 20%程度	ウ 40%程度	エ 60%程度	オ 80%以上
包装紙・紙箱	ア 10%未満	イ 20%程度	ウ 40%程度	エ 60%程度	オ 80%以上
OA紙、印刷物	ア 10%未満	イ 20%程度	ウ 40%程度	エ 60%程度	オ 80%以上
びん・缶・ペットボトル	ア 10%未満	イ 20%程度	ウ 40%程度	エ 60%程度	オ 80%以上
プラスチック	ア 10%未満	イ 20%程度	ウ 40%程度	エ 60%程度	オ 80%以上
その他	ア 10%未満	イ 20%程度	ウ 40%程度	エ 60%程度	オ 80%以上

ここでは、事業所から排出されるごみ（区収集、一般廃棄物処理業者委託）の中に、生ごみや古紙プラスチックといったごみが何割程度含まれているかを、おおよそのパーセンテージで問うている。回答結果を下図に示す。

図表 3-8 「ごみ」の内訳 (単純集計)



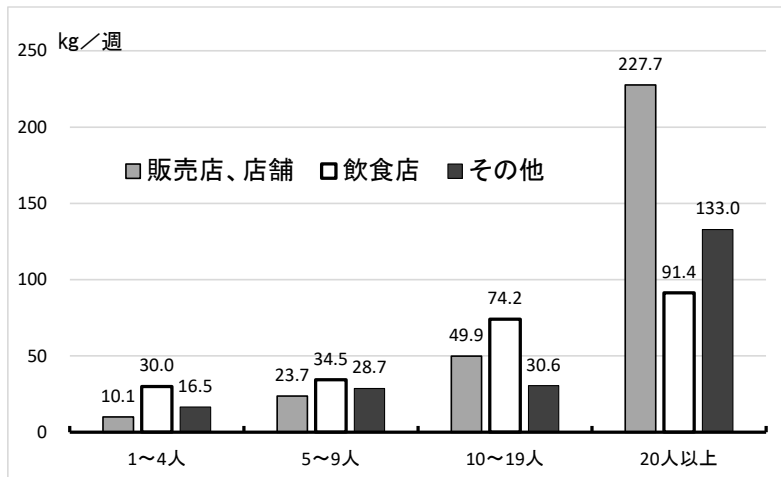
次に、問 1(1)で質問した区収集ごみ、処理業者委託ごみの「1 週間あたりの排出量」の合計に、問 1(2)の「ごみの内訳」を掛け合わせ、回答事業所ごとにごみの品目別の排出量を算定した。回答事業所の属性（従業者規模、事業形態）別の平均品目別排出量を図表 3-9 に示す。

図表 3-9 従業者規模別・事業形態別週あたり平均ごみ排出量の内訳

従業者規模	事業形態	回答数	週あたり平均ごみ排出量(kg/週)							合計
			生ごみ	新聞等	包装紙等	OA紙等	びん等	プラスチック	その他	
1～4人	販売店、店舗	45	3.9	1.0	0.6	0.8	1.0	0.7	0.7	10.1
	飲食店	101	15.9	3.5	1.2	1.1	2.3	1.5	0.9	30.0
	その他	53	0.9	8.0	4.3	0.8	0.5	0.5	0.8	16.5
5～9人	販売店、店舗	24	1.6	7.4	2.7	1.8	5.8	2.2	1.3	23.7
	飲食店	20	16.4	2.8	2.6	2.3	1.9	2.4	2.3	34.5
	その他	22	2.8	8.1	3.9	4.9	2.5	2.5	2.9	28.7
10～19人	販売店、店舗	14	7.3	6.2	4.7	2.8	4.1	3.4	2.1	49.9
	飲食店	17	35.9	9.7	5.8	4.8	5.0	6.3	3.8	74.2
	その他	23	3.6	2.7	2.6	11.2	2.6	3.2	4.4	30.6
20人以上	販売店、店舗	16	17.3	17.8	8.5	9.6	8.0	9.6	7.7	227.7
	飲食店	11	25.0	11.8	7.9	10.3	8.3	14.8	6.9	91.4
	その他	17	33.3	13.5	14.0	16.1	21.2	14.7	15.8	133.0

図表 3-10 は、図表 3-9 から作成した週あたり平均ごみ排出量のグラフである。従業者規模が 20 人未満の事業所では、飲食店の排出量が他の事業形態よりも高くなっていることが分かる。従業者規模 20 人以上になると「販売店、店舗」の排出量が突出して高くなっているが、この規模においては回答数が少なくサンプルのばらつきが大きいいため、平均値に影響が出ているものと考えられる。

図表 3-10 従業者規模別・事業形態別の平均週あたりごみ排出量

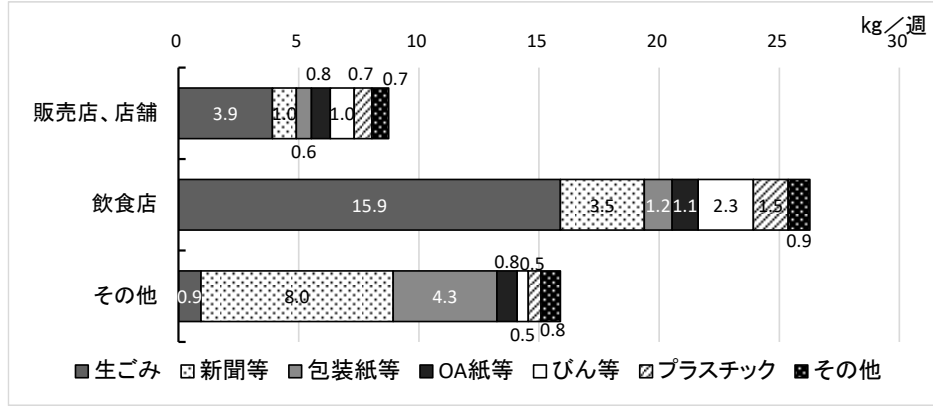


平均週あたりごみ排出量の内訳を従業者規模別にグラフ化したものが図表 3-11 である。飲食店では、従業者 5 人未満の規模で生ごみが約 6 割、従業者 5～19 人の規模では生ごみが約 5 割を占めていることが分かる。また、従業者規模 5～9 人の販売店、店舗では新聞・雑誌・段ボールの排出割合が高くなっている。事業形態「その他」（事務所など）の事業所は、従業員規模 10～19 人において「OA 紙、印刷物」の排出量が 11.2 kg/週と排出量の約 4 割を占めている。

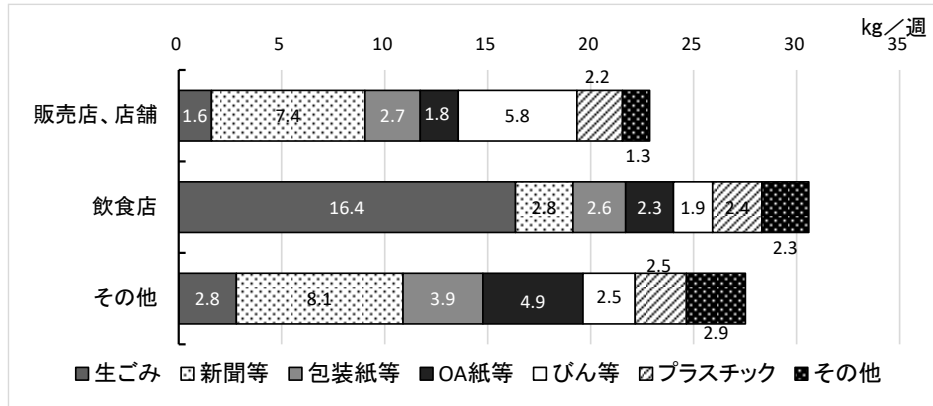
なお、従業者 20 人以上の規模においてはサンプルのばらつきが大きく、20 人未満の事業所に見られるような傾向はない。

図表 3-11 事業形態別の平均週あたりごみ排出量の内訳

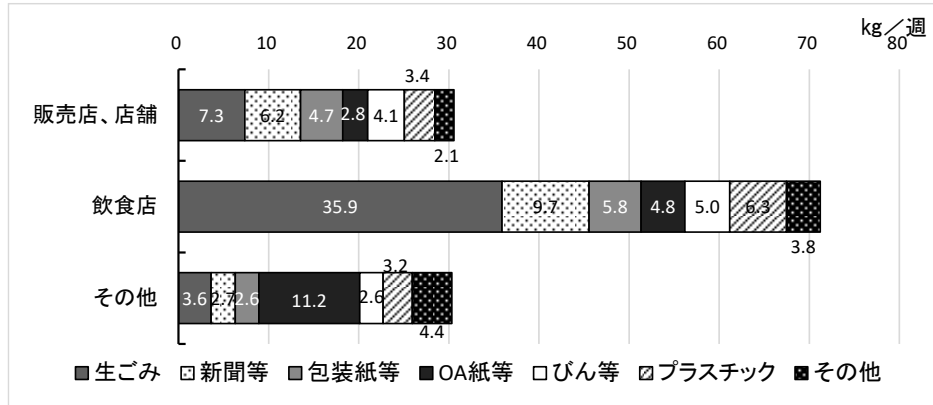
従業者規模 1~4 人



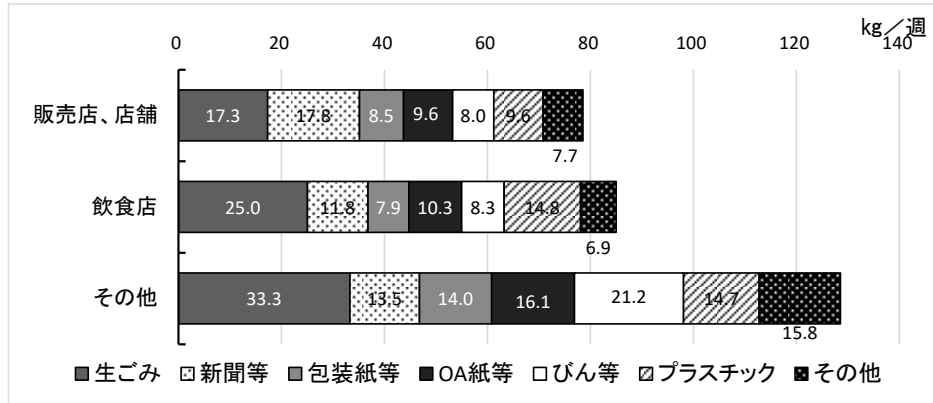
従業者規模 5~9 人



従業者規模 10~19 人



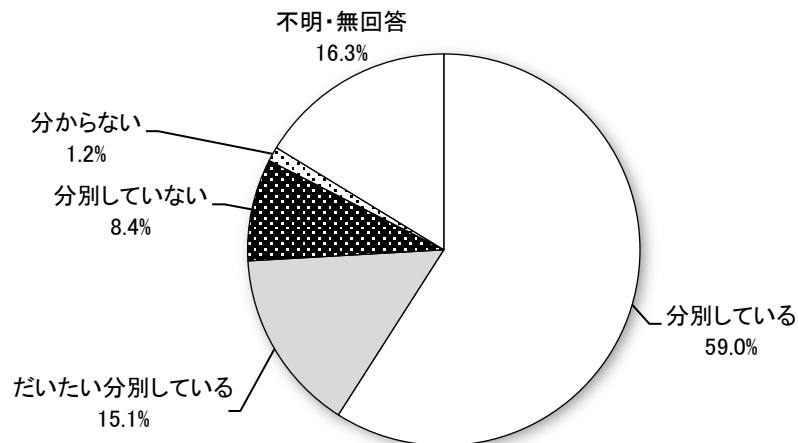
従業者規模 20 人以上



問 1(3) 事業所が住宅併設の方にお聞きします。貴事業所は、家庭ごみと事業系ごみを分別していますか。(1つに○)

「分別している」が59.0%と最も多くなっており、「だいたい分別している」と合わせると4分の3近くは家庭ごみと事業系ごみを分けているとの回答結果となった。

図表 3-12 住居併設事業所における家庭ごみと事業系ごみの分別状況



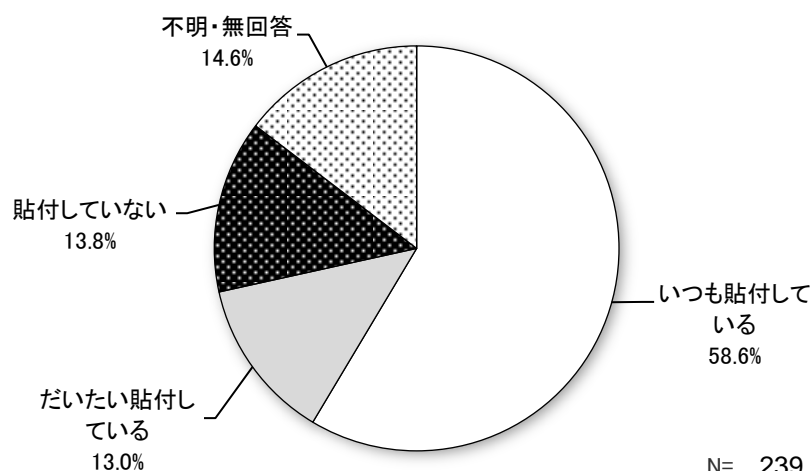
N= 166

※問 5【住居併設】で「1.戸建住宅と兼用」「2.共同住宅と兼用」と回答した事業所で絞り込み

問 1(4) ごみ（可燃ごみ・不燃ごみ）を区の収集に出している事業所にお聞きします。ごみを出す際、事業系有料ごみ処理券を貼っていますか。(1つに○)

区収集に出す「ごみ」については、「いつも貼付している」「だいたい貼付している」を合わせると約7割であった。「貼付していない」との回答は13.8%であった。

図表 3-13 区収集に出すごみの事業系有料ごみ処理券の貼付



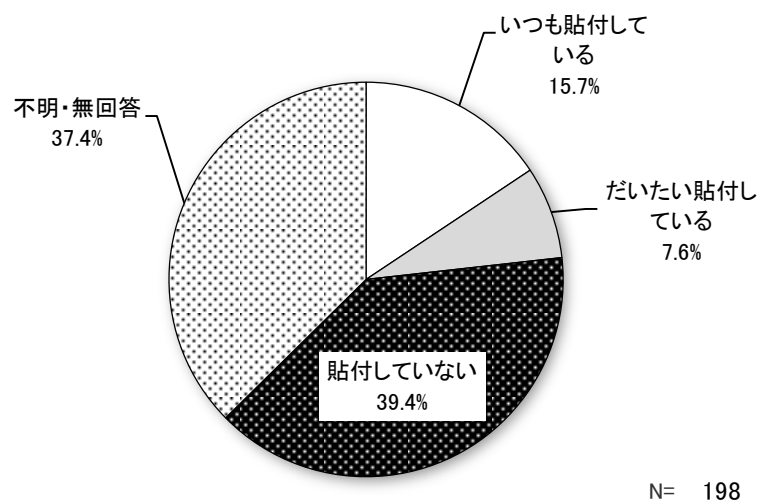
N= 239

※問 1(1)で「3. 区のごみ収集（可燃、不燃）に出す」と回答した事業所で絞り込み

問 1(5) 古紙などの資源を区の資源回収に出している事業所にお聞きします。
資源を出す際、事業系有料ごみ処理券を貼っていますか。(1つに○)

区回収に出す「資源」については、「いつも貼付している」15.7%、「だいたい貼付している」7.6%と、「ごみ」と比較して貼付率は低くなっている。39.4%が「貼付していない」との回答であった。

図表 3-14 区の資源回収に出す資源の事業系有料ごみ処理券の貼付

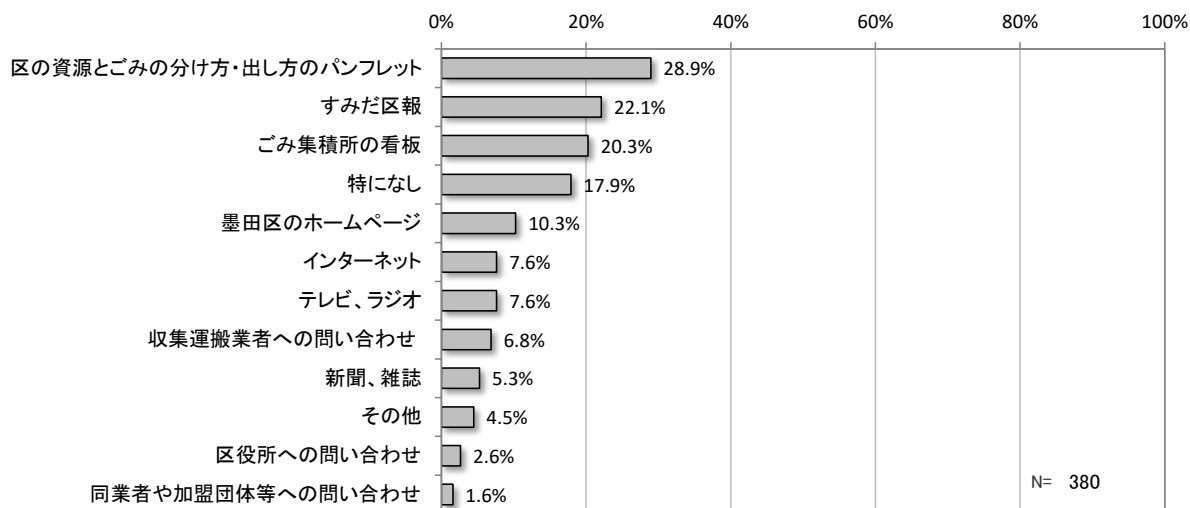


※問 1(1)で「1. 区の資源回収（週1回）に出している」と回答した事業所で絞り込み

問 1(6) 貴事業所では、ごみ減量やリサイクルに関する情報をどのようにして入手していますか。
(〇はいくつでも)

事業所におけるごみ減量やリサイクルに関する情報源としては、「区の資源とごみの分け方・出し方のパンフレット」が最も多く、28.9%であった。次いで「すみだ区報」22.1%、「ごみ集積所の看板」20.3%、「特になし」17.9%などとなっている。

図表 3-15 ごみ減量・リサイクルに関する情報源

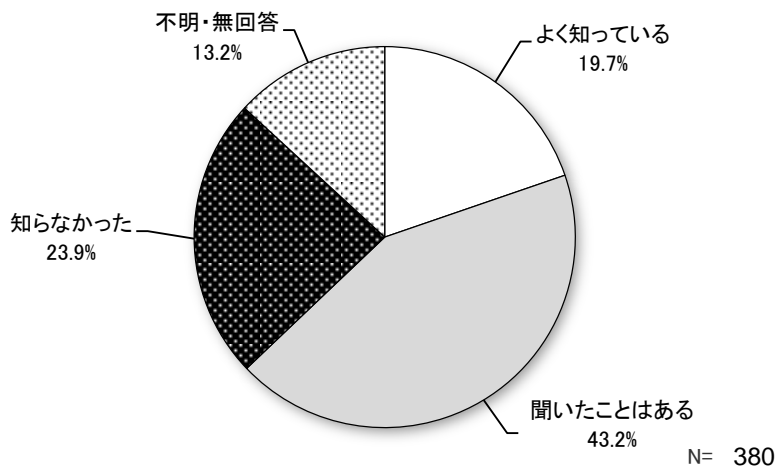


□ 「その他」の主な内容：「本社からの情報」「テナントの管理会社から」「町会の回覧板」など

問 1(7) 国連で2015年に採択された、SDGs（持続可能な開発目標）をご存じですか。

SDGsについては、「よく知っている」19.7%、「聞いたことはある」43.2%と、約6割は何らかの形で認知しているとの回答であった。

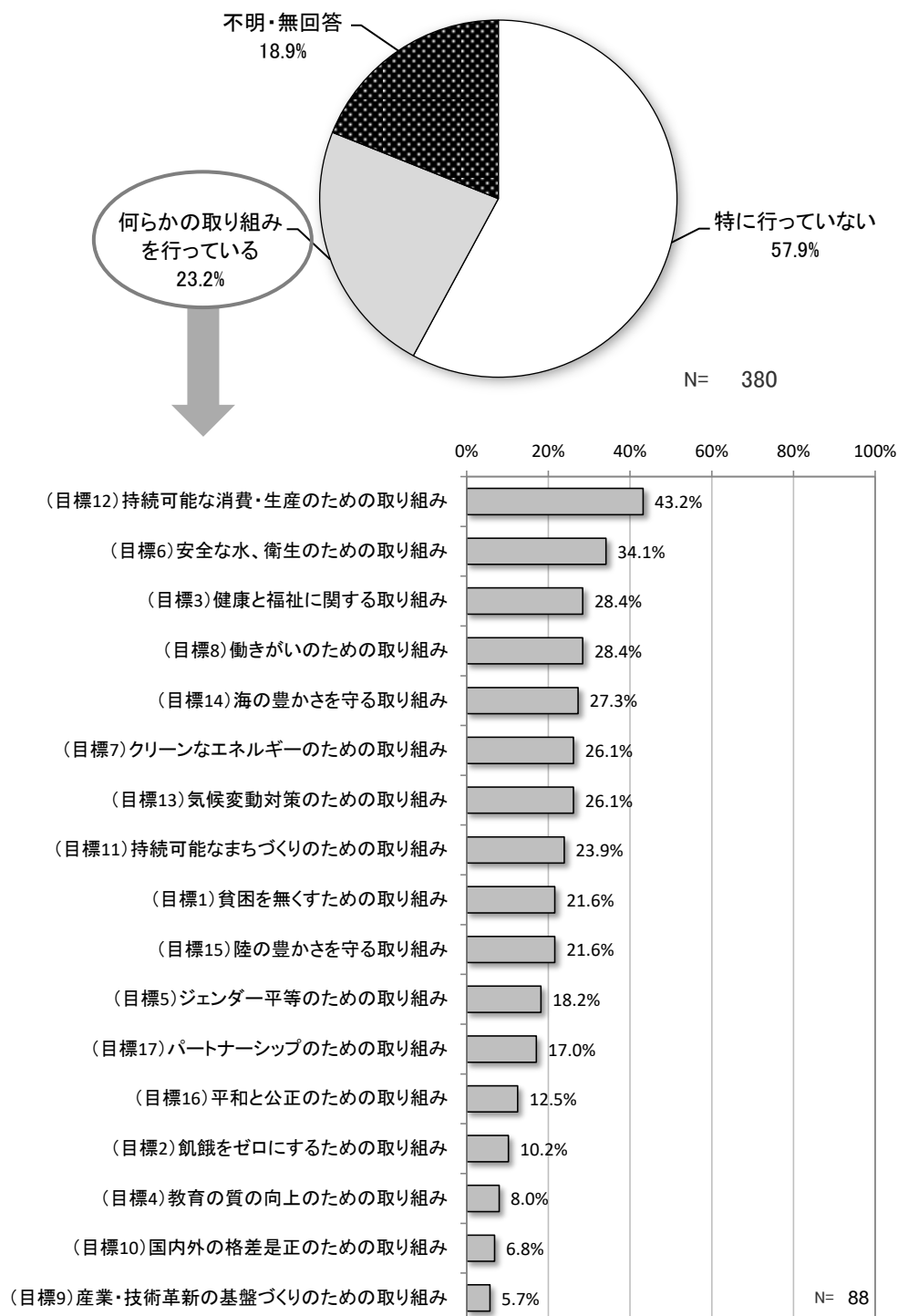
図表 3-16 SDGs の認知度



問 1(8) 貴事業所では SDGs 達成に資するための取り組みを行っていますか。(1 つに○)
 2. を選んだ場合は、その内容もお選びください。(○はいくつでも)

SDGs に関連し何らかの取り組みを行っているとする回答は 23.2%であった。その内容としては「(目標 12) 持続可能な消費・生産のための取り組み」が 43.2%と最も多く、次いで「(目標 6) 安全な水、衛生のための取り組み」34.1%、「(目標 3) 健康と福祉に関する取り組み」28.4%などとなっている。

図表 3-17 SDGs の取り組み状況

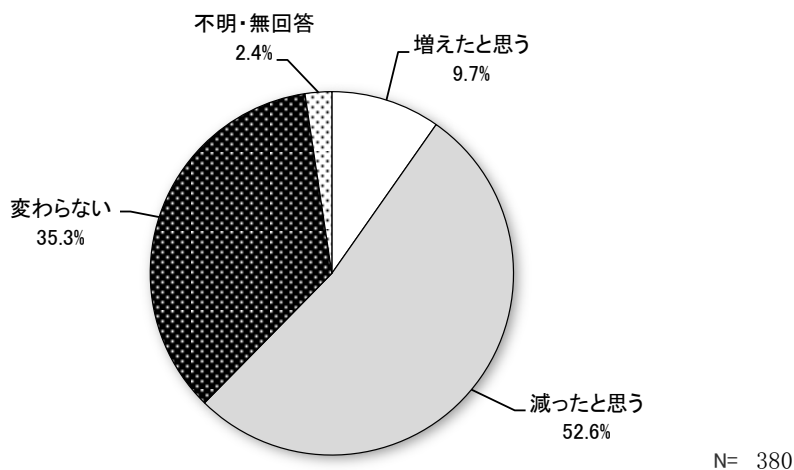


(3)新型コロナウイルス感染症拡大の影響について

問 2(1) 新型コロナウイルス感染症拡大後、事業所から出るごみや資源の量は増えましたか。
(1つに○)

新型コロナウイルス感染症拡大によるごみや資源の排出量への影響としては、「減ったと思う」が52.6%と、「増えたと思う」9.7%を大きく上回った。
他方、「変わらない」とする回答も35.5%あった。

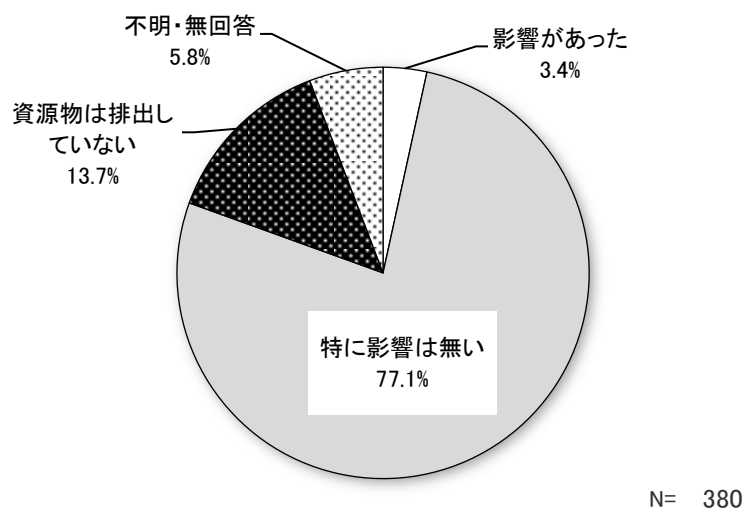
図表 3-18 新型コロナウイルス感染症拡大によるごみや資源の量の変化



問 2(2) 貴事業所から排出される古紙類や金属類、プラスチックなどの資源のリサイクルに影響がありましたか。

新型コロナウイルス感染症拡大によって資源リサイクルに影響があったかどうかを問うたところ、「影響があった」という回答は3.4%であった。77.1%は「特に影響は無い」と回答している。

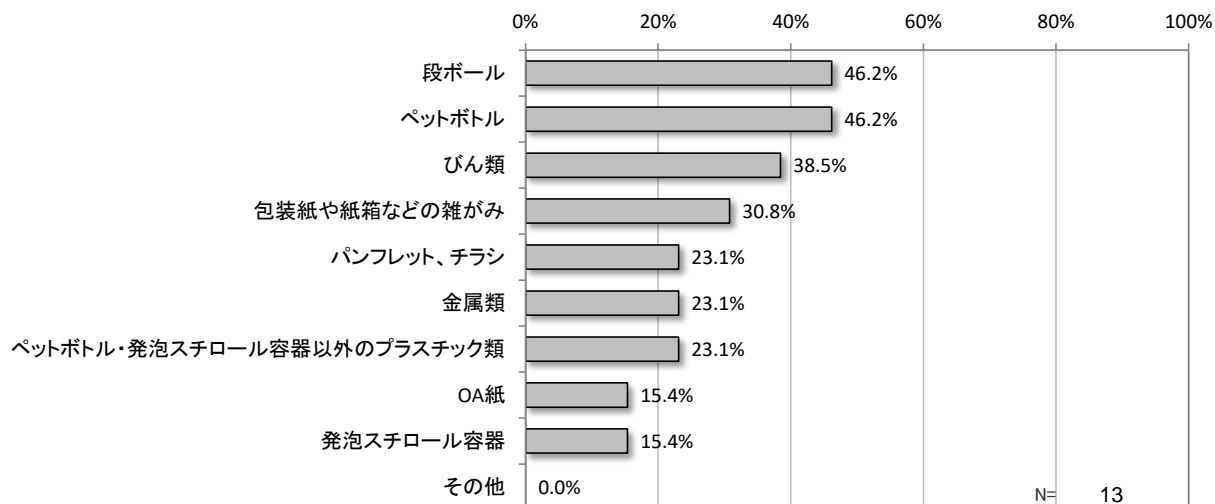
図表 3-19 新型コロナウイルス感染症拡大による資源リサイクルへの影響



問 2(3) 資源のリサイクルに影響のあった事業所にお聞きします。
 影響のあった品目は何ですか。(〇はいくつでも)

資源リサイクルに「影響があった」品目の回答結果は下図の通りである。

図表 3-20 新型コロナウイルス感染症拡大によりリサイクルに影響のあった資源物

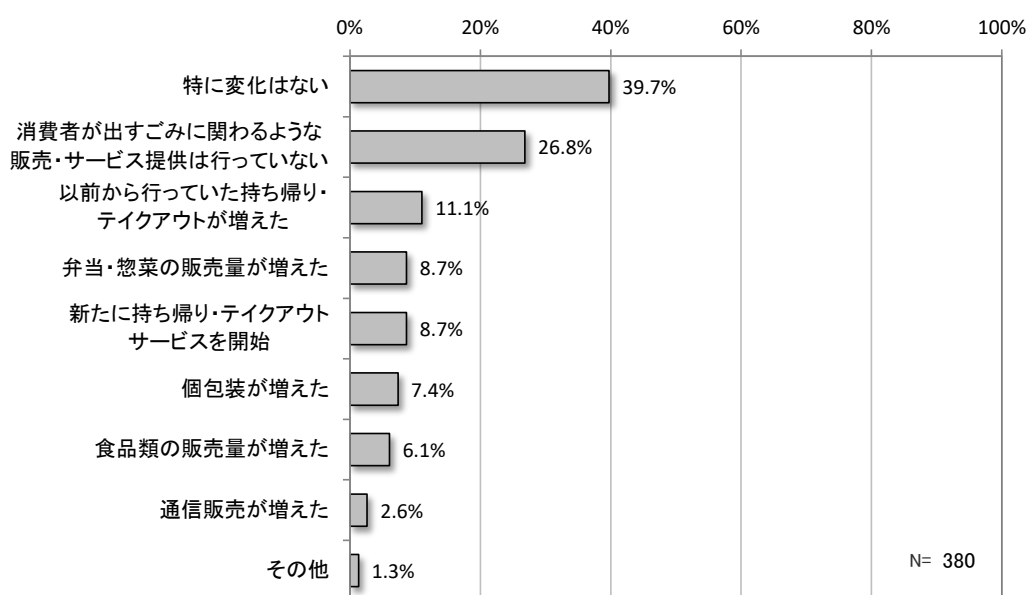


□ 「その他」の内容：「休業中」「全体的に増えた」

問 2(4) 消費者への販売やサービスの提供で、消費者が出すごみに影響を与えるような変化はありましたか。(〇はいくつでも)

「特に変化はない」とする回答が 39.7%、「消費者が出すごみに関わる販売・サービス提供は行っていない」26.8%のほか、「以前から行っていた持ち帰り・テイクアウトが増えた」11.1%、「個包装が増えた」7.4%といった影響も見られた。

図表 3-21 新型コロナウイルス感染症拡大による消費者への販売・サービスでの影響



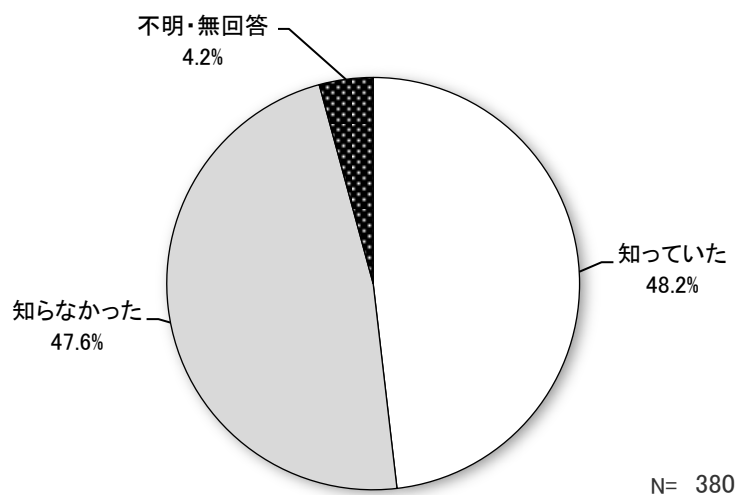
□ 「その他」の内容：「休業が多かった」「使い捨てスプーンの使用量が増えた」など

(4)プラスチックごみについて

問 3(1) 事業所から排出される廃プラスチックは産業廃棄物であり、事業系一般廃棄物に該当しませんが、そのことについてご存知でしたか。(1つに○)

事業系の廃プラスチックが産業廃棄物であることについては、「知っていた」が48.2%、「知らなかった」が47.6%と回答が拮抗する結果となった。

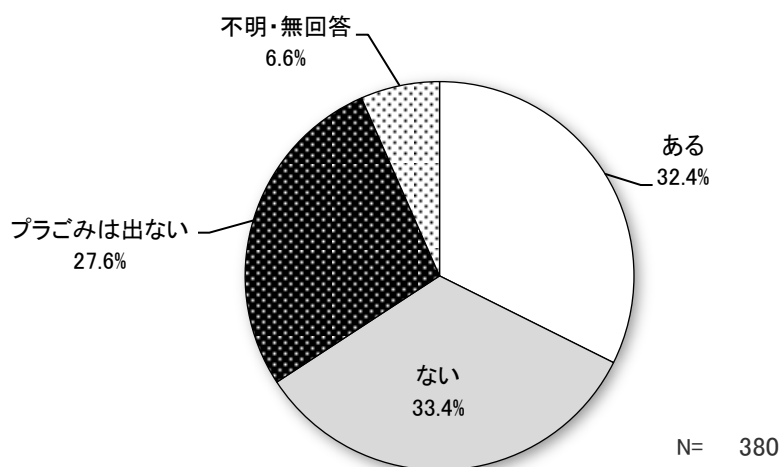
図表 3-22 廃プラスチックは産業廃棄物であることの認知度



問 3(2) 貴事業所から出るプラスチックごみは、削減できる可能性はありますか。(1つに○)

事業所から排出されるプラスチックごみの削減の可能性については、「ある」が32.4%、「ない」が33.4%とほぼ同数であった。

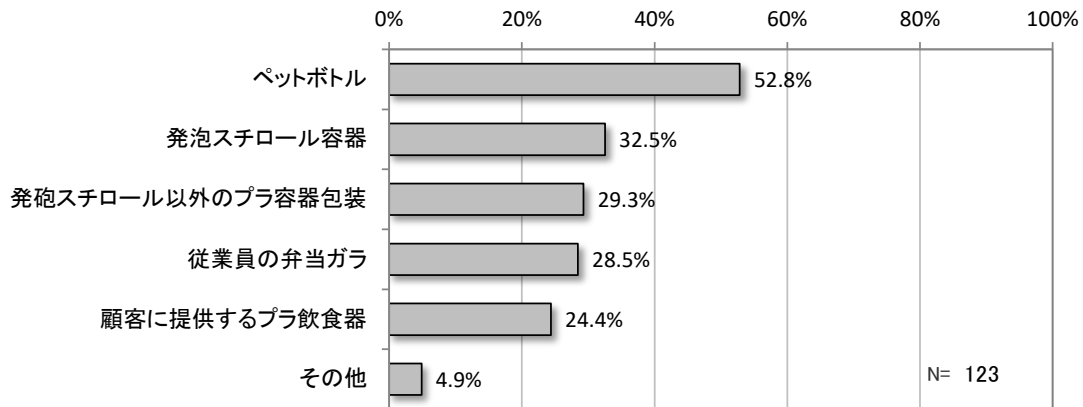
図表 3-23 プラスチックごみ削減の可能性



問 3(3) 「プラスチックごみ削減の可能性がある」とお答えの事業所にお聞きします。それほどのような品目ですか。(〇はいくつでも)

削減可能と思われるプラスチックごみとしては「ペットボトル」が最も多く 52.8%、次いで「発泡スチロール容器」32.5%、「発泡スチロール以外のプラ容器包装」29.3%などとなっている。

図表 3-24 削減可能と思われるプラスチックごみの品目

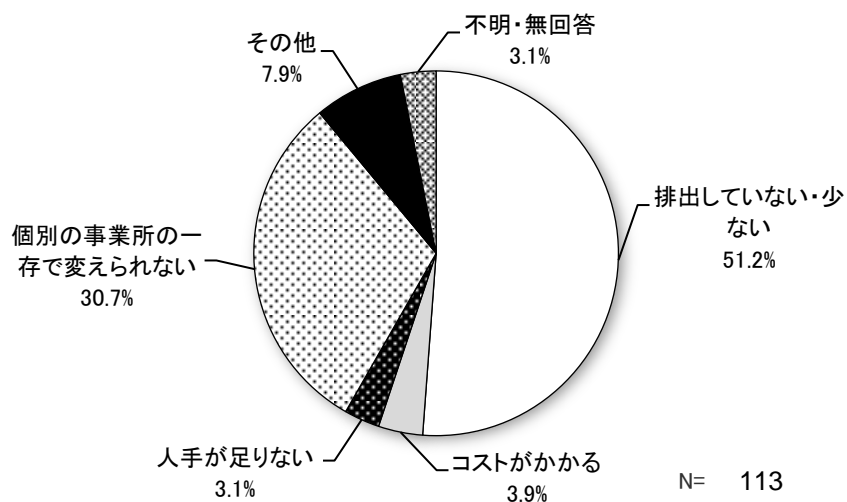


□ 「その他」の主な内容：「会社として取り組む予定」「レジ袋を3円から5円に値上げし削減予定」など

問 3(4) 「プラスチックごみ削減の可能性がある」とお答えの事業所にお聞きします。その理由は何ですか。(主なもの1つに〇)

プラスチックごみの削減の可能性があるとする事業所にその理由を尋ねたところ、「排出していない・少ない」とする回答 51.2%の他は、「個別の事業所の一存で仕入れ・販売方法や処理方法などのしくみを変えることはできない」とする回答が 30.7%と多くなっている。

図表 3-25 プラスチックごみ削減の可能性がある理由



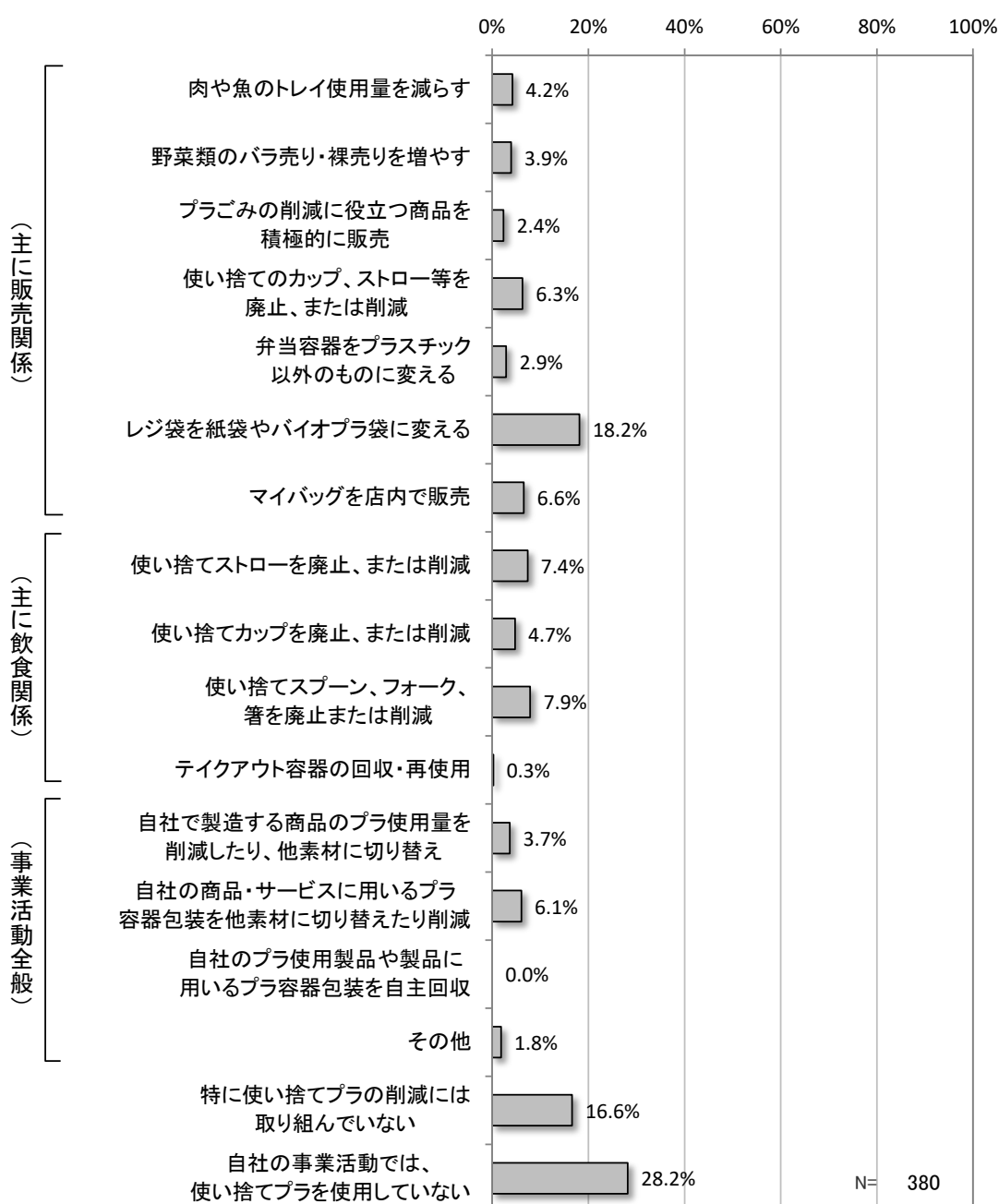
□ 「その他」の主な内容：「取り扱い製品そのものなので」「コンビニなどの弁当がプラスチック容器なのでそれを購入するしかない」など

(5)使い捨てプラスチックの削減について

問 4(1) 貴事業所で、自らの事業活動や消費者への販売、サービス提供において使用する使い捨てプラスチックの削減について取り組んでいることがあれば以下からお選びください。
(〇はいくつでも)

使い捨てプラスチックの削減の取り組みは、ほとんどの項目において1割以下となっている。「レジ袋を紙袋やバイオプラ袋に変える」は18.2%と比較的高くなっており、これは令和2年7月にレジ袋の有料化制度が導入された影響によるものと考えられる。

図表 3-26 使い捨てプラスチック削減のための取り組み状況

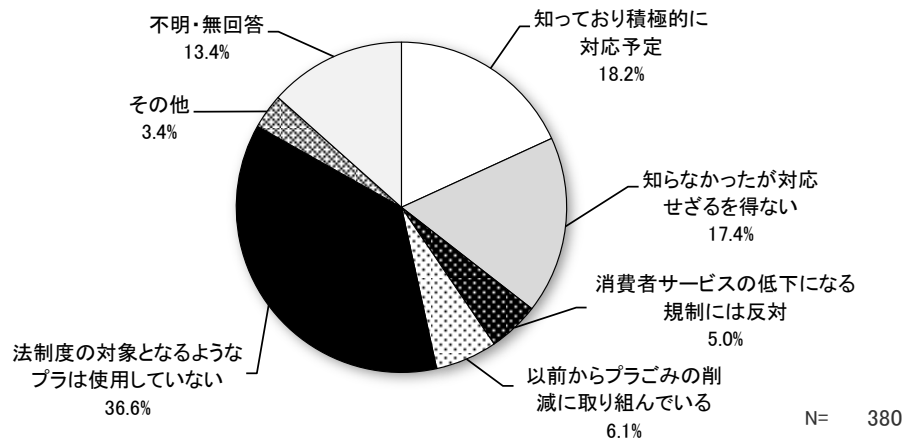


□ 「その他」の主な内容：「検討を始めたところ」「出来ることが分からない」など

問 4(2) 「プラスチック資源循環促進法」といった新たな制度による、使い捨てプラスチックの使用削減やリサイクル促進の動向について、貴事業所にあてはまるものを1つお選びください。

「法制度の対象となるようなプラスチックは使っていない」が36.6%であるほか、「知っており積極的に対応予定」が18.2%、「知らなかったが対応せざるを得ない」が17.4%と、約35%が何らかの対応を行う意向を示している。

図表 3-27 プラ資源循環促進法等の動向への対応について

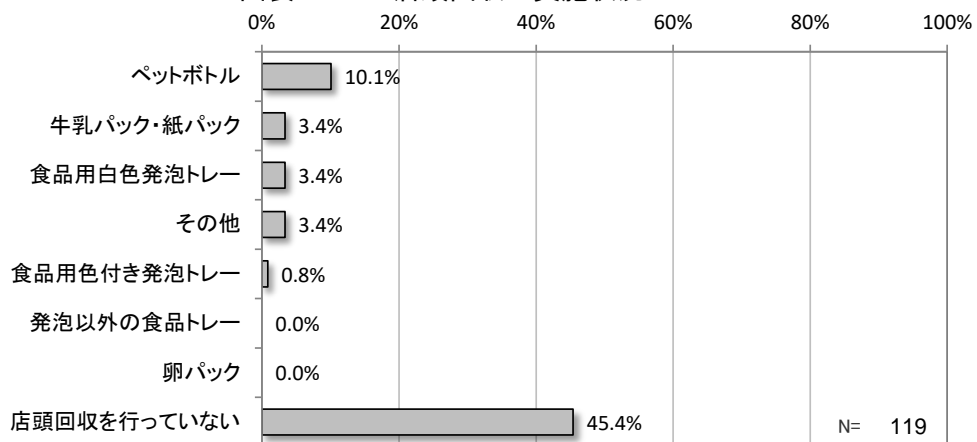


□ 「その他」の主な内容：「本部からの提案・指示があれば行う」「検討中」など

問 4(3) 販売店の方にお聞きます。現在、ペットボトルや牛乳パックなどの店頭回収を行っていますか。（該当する品目すべてに○）

回答した販売店の規模が小規模中心であることから、「店頭回収を行っていない」という回答が45.4%と最も多くなっている。

図表 3-28 店頭回収の実施状況



※問 5【業種】で「6. 卸売業、小売業」と回答した事業所で絞り込み

□ 「その他」の内容：「空きビン」

(6)自由記入欄

自由記入欄には 39 件の記入をいただいた（「特になし」等の記入を除く）。

以下に自由記入の例を要約して紹介する。

- 資源プラスチックを燃やすごみではなく、リサイクル出来るようにして頂きたい（飲食業）
- 困った時はすぐ墨田区清掃事務所へ電話しています。（卸売業、小売業）
- コロナで売上低下→人件費削減→洗い物が追いつかない、ということもあり、使い捨て容器の使用が増えてしまっています。（飲食業）
- コロナの影響の路上飲みなどで缶、びん、食べ物のごみの放置に大変困っている。（飲食業）
- マンションに住んでいる方々がキッチンと分別していない。特に若者ペットボトル・缶類と生ごみをいっしょに袋に入れている。（小売業）
- 事業用のごみの処理にお金がかかりすぎる。（サービス業）

第4章 調査結果の分析

実態調査結果を踏まえ、今後のプラスチック類の排出抑制・リサイクル施策のあり方について検討する。

4.1 プラスチック類を分別収集した場合の収集量等の推定

ここでは、プラスチック類を分別収集した場合の収集量、資源化率を推定する。

(1) プラスチック排出量の現状

プラスチックごみの燃やすごみ・燃やさないごみへの排出量を家庭ごみ排出実態調査結果（第1章）から推定する。

図表 1-18 の平均組成より、燃やすごみ・燃やさないごみの内訳を図表 4-1 のとおり整理した。次いで、令和2年度の燃やすごみ・燃やさないごみ収集量に図表 4-1 の組成比率を乗じ、ごみの中のプラスチック類の排出量を推計した（図表 4-2）。

図表 4-2 に見るとおり、燃やさないごみ中のプラスチック量は可燃ごみに比べ非常に少なく、仮にプラスチック類を分別収集しても燃やさないごみ量にはほとんど影響しない。従って、ここでは燃やすごみからのプラスチック分別のみを以降の推定対象とする。

図表 4-1 ごみの中のプラスチック類の比率

分類項目		燃やすごみ	燃やさないごみ
容器包装プラスチック	レジ袋	1.1%	0.6%
	食品トレー	1.0%	0.0%
	その他容器包装プラスチック	10.9%	0.6%
製品プラスチック	ごみ袋	0.9%	0.3%
	その他製品プラスチック	3.8%	1.6%
その他可燃・不燃		82.3%	96.9%
合計		100.0%	100.0%

図表 4-2 ごみ中のプラスチック等の推定排出量

分類項目			燃やすごみ		燃やさないごみ※		排出量 合計
				割合		割合	
プラスチック類	容器包装プラスチック	レジ袋	567	1.1%	11	0.6%	578
		食品トレー	514	1.0%	0	0.0%	514
		その他容器包装プラスチック	5,592	10.9%	11	0.6%	5,603
		容器包装プラスチック小計	6,673	13.0%	22	1.3%	6,695
	製品プラスチック	ごみ袋	465	0.9%	4	0.3%	470
		その他製品プラスチック	1,926	3.8%	27	1.6%	1,953
		製品プラスチック小計	2,391	4.7%	31	1.8%	2,422
	プラスチック類合計		9,064	17.7%	53	3.1%	9,118
	その他可燃・不燃		42,163	82.3%	1,677	96.9%	43,841
合計		51,227	100.0%	1,731	100.0%	52,958	

※網掛けは令和2年度実績値。燃やさないごみはピックアップ回収量 87tを含む

(2) プラスチック類を分別収集した場合の推定収集量

令和3年6月の通常国会で「プラスチック資源循環促進法」が成立し、市区町村が容器包装プラスチックと製品プラスチックを一括回収した場合であっても、容器包装リサイクル法に基づく再商品化を可能とする仕組みが導入された。ただし、製品プラスチックの分別収集を行った場合は、その再商品化費用は市区町村の負担となる。

そこでここでは、容器包装プラスチックのみを分別収集した場合と、容器包装プラスチックおよび製品プラスチックの全プラスチック類を分別収集した場合について、分別収集を導入した場合の収集量を推定する。

プラスチック収集量は以下の式で算定した。

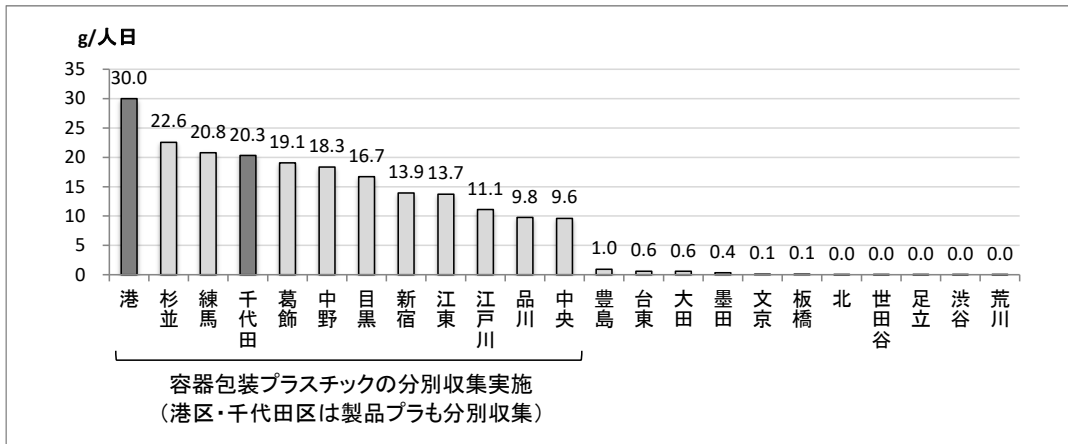
$$\text{プラスチック収集量} = \text{ごみの中のプラスチック量} \times \text{分別率} \div \text{収率}$$

分別率：ごみの中のプラスチックが実際に分別収集に出される比率

収率：分別収集したもののうち、選別処理し不純物等を除去した後に指定法人に引き渡される量の割合

分別率は、容器包装プラスチックの分別収集実施区の分別率が概ね 20～25%であることから、他区の1人1日あたりプラスチック容器包装分別収集量の水準(図表 4-3)も考慮し 23%と設定する。収率は、他区の実績(図表 4-4)を考慮し 80%と設定した。

図表 4-3 23 区の区民 1 人 1 日あたりプラスチック回収量（令和 2 年度）



資料：清掃事業年報（東京 23 区）別冊令和 2 年度 リサイクル編

図表 4-4 23 区の容器包装プラスチックの指定法人引渡実績・収率（令和 2 年度）

	容器包装プラスチック分別収集量(t)	指定法人引渡実績(t)	収率
	A	B	A/B
中央区	597.2	568.7	95.2%
新宿区	1,751.0	1,531.6	87.5%
江東区	2,639.1	2,356.6	89.3%
品川区	1,450.5	1,139.2	78.5%
杉並区	4,734.0	4,150.8	87.7%
練馬区	5,625.2	4,767.0	84.7%
葛飾区	3,230.4	2,870.9	88.9%
江戸川区	2,824.2	2,625.8	93.0%

資料：清掃事業年報（東京 23 区）別冊令和 2 年度 リサイクル編
公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

以上よりプラスチック類の分別収集を行った場合の収集量の推定結果を下表に示す。

図表 4-5 プラスチック収集量の推定

	t/年	
	容器包装プラを分別した場合	全プラスチックを分別した場合
容器包装プラスチック※1	1,570	1,570
製品プラスチック※1		550
再商品化対象プラスチック	1,570	2,120
プラスチック収集量※2	1,963	2,650
（日収集量）	(5.4t/日)	(7.3t/日)
（区民1人1日あたり）	(19.5g/人日)	(26.3g/人日)
可燃ごみ量※3	49,229	48,542
（日量）	(134.9t/日)	(133.0t/日)
（区民1人1日あたり）	(489.3g/人日)	(482.5g/人日)

※1 燃やすごみ中の排出量×分別率 23%+現在のプラスチック収集量(36 トン)

※2 再商品化対象プラスチック÷収率 80%

※3 燃やすごみ実績 (51,227t) -プラスチック収集量-現在のプラスチック収集量 (36 t)

(3)資源化率の推定

令和2年度実績で、ごみ・資源総排出量（集団回収も含む）68,700トンに対し、集積所回収、集団回収等の資源回収量の合計は13,277トン（ピックアップ回収量を含む）であり、資源化率は19.3%である。

これを前述の組成分析調査結果を用いてごみの排出構造として表としたものが図表4-6である。

図表 4-6 現在のごみの排出構造推定（令和2年度）

分類項目		ごみへの排出				資源回収への排出			ごみ・資源 排出量 合計		
		燃やすごみ		燃やさないごみ		粗大 ごみ	ごみ 合計	集積所等		集団回収	資源回収 合計
			割合		割合						
プ ラ	容器包装プラスチック	6,673	13.0%	22	1.3%		6,695	36		36	6,731
	製品プラスチック	2,391	4.7%	31	1.8%		2,422				2,422
他	その他可燃・不燃・資源	42,163	82.3%	1,677	96.9%		43,841	8,821	4,333	13,154	56,995
	粗大ごみ					2,552	2,552				2,552
合計(R2年度実績)※		51,227	100.0%	1,731	100.0%	2,552	55,510	8,857	4,333	13,190	68,700

※燃やさないごみの収集実績にはピックアップ回収量を含む

ピックアップ回収量	87
資源回収量合計	13,277
総排出量	68,700
資源化率	19.3%

容器包装プラスチックの分別収集を行った場合、図表4-5よりその推定収集量は1,963トンであり、資源化率は22.1%と現状より2.8ポイントの増加となる（図表4-7）。製品プラスチックも含め全プラスチック類を分別収集した場合の資源化率は23.1%、現状から3.8%の増加が見込まれる（図表4-8）。

図表 4-7 容器包装プラスチックを分別収集した場合のごみの排出構造と資源化率

分類項目		ごみへの排出				資源回収への排出			ごみ・資源 排出量 合計		
		燃やすごみ		燃やさないごみ		粗大 ごみ	ごみ 合計	集積所等		集団回収	資源回収 合計
プ ラ	容器包装プラスチック	5,138		22			5,160	1,570		1,570	6,731
	製品プラスチック	2,391		31			2,422				2,422
他	その他可燃・不燃・資源	41,771		1,677			43,448	9,214	4,333	13,547	56,995
	粗大ごみ					2,552	2,552				2,552
合計(R2年度実績)※		49,300		1,731		2,552	53,583	10,784	4,333	15,118	68,700

※燃やさないごみの収集実績にはピックアップ回収量を含む

【指標計算】

現状のごみ収集量	55,510
新たにごみ収集量	53,583
家庭ごみ削減率	-3.5%

ピックアップ回収量	87
資源回収量合計	15,205
総排出量	68,700
資源化率	22.1%

図表 4-8 全プラスチックを分別収集した場合のごみの排出構造と資源化率

分類項目		ごみへの排出				資源回収への排出			ごみ・資源 排出量 合計
		燃やすごみ	燃やさないごみ	粗大ごみ	ごみ合計	集積所等	集団回収	資源回収合計	
プ ラ	容器包装プラスチック	5,138	22		5,160	1,570		1,570	6,731
	製品プラスチック	1,841	31		1,872	550		550	2,422
他	その他可燃・不燃・資源	41,633	1,677		43,310	9,351	4,333	13,685	56,995
	粗大ごみ			2,552	2,552				2,552
合計(R2年度実績)※		48,613	1,731	2,552	52,895	11,472	4,333	15,805	68,700

t/年

※燃やさないごみの収集実績にはピックアップ回収量を含む

【指標計算】

現状のごみ収集量	55,510
新たなごみ収集量	52,895
家庭ごみ削減率	-4.7%

ピックアップ回収量	87
資源回収量合計	15,892
総排出量	68,700
資源化率	23.1%

4.2 プラスチック類を分別収集した場合の効果・課題

令和3年6月に成立した「プラスチック資源循環促進法」は、プラスチック製品の製造・流通段階における使用の合理化によるプラスチックごみ排出量の発生抑制を目指すとともに、市町村のリサイクルプラスチック類の一括回収や選別工程の一体化を可能とするしくみを導入するなど、プラスチック類のリデュース・リサイクルを促進することを目的としている。

プラスチック類の焼却処理に伴う温室効果ガスの発生抑制や資源の有効利用の観点から、プラスチック類の分別収集導入は一定の効果がある物と期待される。他方、新たな分別収集体制の導入は追加的な費用が必要となるほか、区民の分別排出等の負担が増すことなどが課題として考えられる。

そこで、以下の4点について必要な分析を加え、効果・課題を整理することとする。

- 温室効果ガスの削減効果
- リデュース・リサイクル推進への寄与
- 追加的な費用
- 区民の協力・手間

(1) 温室効果ガスの削減効果

プラスチック類の分別収集を行った場合、現状と比較してCO₂排出量がどのように増減するかを以下の3項目にて行った。

- 収集運搬車両の稼働量増加によるCO₂排出量の増分
- プラスチック類を焼却せずに再商品化することによるCO₂排出量の削減分
- プラスチックの分別収集により焼却施設での廃棄物発電によるCO₂削減効果が消え、電力会社でのCO₂排出量の増分

①収集運搬車両の稼働量増加による CO₂ 排出量の増分

ここではプラスチック類の収集を週 1 回、2 トンパッカー車による収集と仮定する。プラスチック類は主に燃やすごみに含まれているので、プラスチック類を分別収集すればその分燃やすごみの収集車両台数は少なくなるが、これ以上にプラスチック類の収集車両が増加する。そこで、プラスチック類の分別収集による収集車両台数の増分を算定し、増えた車両の年間推定走行距離から燃料使用による CO₂ 排出量増分を試算することとする。

下表により算定したところ、容器包装プラスチックを分別収集する場合、燃やすごみ収集車両は 2 台減少するものの容器包装プラ分別収集に 4 台を要するため、差し引き 2 台の車両増となる。また、全プラスチックを分別収集する場合、燃やすごみ収集車両は 2 台減少、全プラスチック分別収集に 5 台を要するため、差し引き 3 台の車両増となる。なお、ここで算定した燃やすごみ収集車両台数は、あくまで 2 トンパッカー車による収集を想定したシミュレーションであり、実際の車両台数とは異なる。

図表 4-9 プラスチック類分別収集による収集車両台数（増分）の算定

項目	単位	数式	現状(燃やすごみ)	容器包装プラ分別		全プラ分別	
				燃やすごみ	容器包装プラ	燃やすごみ	全プラ
収集区域割り	区域	①	3	3	6	3	6
平均日排出量	t/日	②	140.3	134.9	5.4	133.0	7.3
最大日間隔	日	③	4	4	7	4	7
最大日収集量	t/日	④=②×③÷①	187.1	179.8	6.3	177.3	8.5
トリップ数	回	⑤設定値	6	6	6	6	6
車両積載量	t/台	⑥設定値	1.0	1.0	0.3	1.0	0.3
必要車両台数	台	⑦=④÷⑤÷⑥	32	30	4	30	5
現状との増減台数	台		-	+2		+3	

- ① 週2回収集の場合、月木・火金・水土の3区域、週1回収集の場合月～土の6区域
 ② 図表による
 ③ 週2回収集の場合最大4日間、週1回収集の場合7日間
 ⑤ 1日あたりの収集地域と処理施設間の往復回数
 ⑥ 2トンパッカー車の積載重量を燃やすごみ1.0トン、プラスチック類0.3トンと設定

次に算定した車両台数を元に CO₂ 排出量を試算した。試算表を図表 4-10 に示す。その結果、

- 容器包装プラスチック分別収集の場合 46.2 トンの CO₂ 増
- 全プラスチック分別収集の場合 58.3 トンの CO₂ 増

と算定された。

図表 4-10 プラスチック類の分別収集によるCO₂排出量増分の算定

項目	変数名	計算式	単位	現状	ケース1		ケース2		備考
				可燃ごみ	可燃ごみ	容プラ	可燃ごみ	プラ	
地理状況	行政面積	Ap	km ²	13.77	13.77	13.77	13.77	13.77	墨田区面積
	直径相当距離	Lr = $\sqrt{(4Ap/\pi)}$	km	4.19	4.19	4.19	4.19	4.19	
	正方形相当辺長	L = \sqrt{Ap}	km	3.71	3.71	3.71	3.71	3.71	
	収集有効面積率	r	%	85.1	85.1	85.1	85.1	85.1	専用工場・空き地を除く面積率(令和2年4月土地利用現況)
	収集面積	A = Ap × r	km ²	11.72	11.72	11.72	11.72	11.72	令和2年4月土地利用現況
収集体制	収集回数	f	回/週	2	2	1	2	1	設定値
	地区割り	g	地区	3	3	6	3	6	〃
	収集方式			ステーション	ステーション	ステーション	ステーション	ステーション	
	収集箇所	N	箇所	7,760	7,760	7,760	7,760	7,760	20世帯に1ヶ所で設定
	収集車両台数	B	台	32	30	4	30	5	算定値
	トリップ数	C	回/日	3	3	3	3	3	設定値
【集積所収集走行距離】									
集積所あたり面積	AN	=A/N	km ²	0.00151	0.00151	0.00151	0.00151	0.00151	集積所収集距離とは、収集車両1台が1日に集積所間を収集する距離を言う。ここでは、車両が空の状態から満杯になるまで(1トリップ)に回る集積所エリアを正方形のブロックと見なし、1ブロック内の走行距離×トリップ数(C)で、集積所収集距離を算出した。
集積所あたりの一辺	LN	= \sqrt{AN}	km	0.039	0.039	0.039	0.039	0.039	
1トリップあたり集積所数	m	=N/g/B/C	箇所	26.9	28.7	107.8	28.7	86.2	
1トリップあたり収集面積		=m × AN	km ²	0.0407	0.0434	0.1628	0.0434	0.1302	
ブロック内走行距離		=m × LN	km	1.05	1.12	4.19	1.12	3.35	
1日あたり走行距離	dG1	=C × m × LN	km	3.14	3.35	12.56	3.35	10.05	
【集積所～選別・保管施設走行距離】									
中間処理施設立地				区内	区内	区外	区内	区外	焼却施設については足立、北等の清掃工場立地を勧奨し設定。プラスチック類については区外施設までの距離を設定し算出した。
ブロック～施設間距離	L	設定値	km	5	5	10	5	10	
1日あたり施設間走行距離	dG2	=L × C × 2	km	30.0	30.0	60.0	30.0	60.0	
全車両年間走行距離	dG	=(dG1+dG2) × B × f × g × 50	km/年	318,155	300,155	87,078	300,155	105,078	
【走行距離からCO₂排出量の算定】									
燃費(CNG車)	Q1	設定値	m ³ /km	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	「LCAとコストからみる市町村廃棄物処理の現状」(2003年3月、東京市町村自治調査会)による。
燃料使用量	P1	=Q1 × dG	m ³	95,447	90,047	26,123	90,047	31,523	
CO ₂ 排出係数	k1	設定値	kg-CO ₂ /m ³	2.23	2.23	2.23	2.23	2.23	東京都「地球温暖化対策計画書制度」での設定値。
CO ₂ 排出量	R1	=P1 × k1	kg-CO ₂ /年	212,846	200,804	58,255	200,804	70,297	
【CO₂排出量全合計(現状からの増分)	R	=ΣR1	kg-CO ₂ /年	212,846	259,059 (46,213)		271,101 (58,255)		

②プラスチックの再商品化によるCO₂削減効果

プラスチック類を1トン再商品化した場合のCO₂削減係数は「プラスチック製容器包装再商品化手法およびエネルギーリカバリーの環境負荷評価」(海洋プラスチック問題対応協議会、2019)によることとした。

図表 4-11 プラスチック再商品化によるCO₂削減係数

再商品化手法	CO ₂ 削減係数 (t-CO ₂ /t)
材料リサイクル ※1	1.65
ケミカルリサイクル ※2	3.24

※1 「プラスチック製容器包装再商品化手法およびエネルギーリカバリーの環境負荷評価」p.45 表 5-26 による。

※2 同、p.87 表 5-119 による。

材料リサイクル(マテリアルリサイクル)は、プラスチックをプラスチックのまま原料にして新しい製品を作る手法で、再商品化製品にはパレットや建築資材、擬木等がある。他方、ケミカルリサイクルはプラスチックに圧力や熱を加えて、元の石油や基礎化学原燃料に戻して再利用する手法であり、高炉還元剤利用、コークス炉化学原料化、ガス化といった利用方法がある。

なお、市区町村が指定法人(公益財団法人日本容器包装リサイクル協会)に再商品化を委託する場合、再商品化事業者は入札により決定されるため、市町村は再商品化手法を選択することは出来ない。令和2年度の指定法人におけるプラスチック再商品化落札実績は下表のとおりである。

図表 4-12 令和2年度全国プラスチック再商品化落札実績

再商品化手法	落札量(t)	比率
材料リサイクル	358,404	54.0%
ケミカルリサイクル	305,671	46.0%
合計	664,075	100.0%

資料：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会

前節で算定した再商品化対象となるプラスチック量(図表 4-5)、および再商品化手法ごとのCO₂削減係数(図表 4-11)を用い、プラスチック類を分別収集した場合のCO₂削減効果を算定した結果は、図表 4-13 のとおりである。

図表 4-13 ケースごとの再商品化によるCO₂削減効果

項目	単位	容器包装プラ分別			容器包装・製品プラ分別			
		材料リサイクルのみ	材料・ケミカル併用	ケミカルリサイクルのみ	材料リサイクルのみ	材料・ケミカル併用	ケミカルリサイクルのみ	
プラ再商品化量	再商品化量合計	t	1,570	1,570	1,570	2,120	2,120	2,120
	材料リサイクル	t	1,570	848	0	2,120	1,145	0
	ケミカルリサイクル	t	0	722	1,570	0	975	2,120
CO ₂ 削減係数	材料リサイクル	t-CO ₂ /t	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65	1.65
	ケミカルリサイクル	t-CO ₂ /t	3.24	3.24	3.24	3.24	3.24	3.24
CO ₂ 削減量 (再商品化量× 削減係数)	材料リサイクル	t-CO ₂	2,591	1,399	0	3,499	1,889	0
	ケミカルリサイクル	t-CO ₂	0	2,341	5,088	0	3,160	6,870
	合計	t-CO ₂	2,591	3,740	5,088	3,499	5,049	6,870

なお、図表 4-11 に見るとおりプラスチックの再商品化による CO₂ の削減効果は再商品化手法によって大きく異なるため、容器包装プラスチックを分別収集する場合と全プラスチック類を分別収集する場合の双方において、以下の 3 パターンで削減効果を算定した。

- 全て材料リサイクルする場合
- 材料リサイクルとケミカルリサイクルの両方の場合
(再商品化手法別の比率は図表 4-12 の令和 2 年度再商品化落札実績に基づき材料リサイクル 54%、ケミカルリサイクル 46%とした。)
- 全てケミカルリサイクルする場合

③ごみ発電減による電力会社での CO₂ 排出量の増分

プラスチックの分別収集によって焼却施設での廃棄物発電による CO₂ 削減効果が消え、電力会社での CO₂ 排出量が増加する。プラスチック 1 トンあたりの CO₂ 排出量増分は、先の「プラスチック製容器包装再商品化手法およびエネルギーリカバリーの環境負荷評価」では 0.734t-CO₂/t となっている(参考文献 p.102 表 5-153 による)。

ただし、この値は全国の焼却施設における発電効率を 12.81%と設定している。墨田清掃工場における発電効率は 17.6%(令和元年度。環境省 一般廃棄物処理実態調査結果)であるため、以下のとおり排出係数を補正する。

$$0.734 \times (17.6 \div 12.81) = 1.008 \text{ t-CO}_2/\text{t}$$

この排出係数と、図表 4-5 に示したプラスチック類の再商品化量より、CO₂ 排出量の増分は、

- 容器包装プラスチック分別収集の場合 : 1,570t × 1.008 = 1,583 t-CO₂
- 全プラスチック分別収集の場合 : 2,120t × 1.008 = 2,137 t-CO₂

となる。

④CO₂削減効果のまとめ

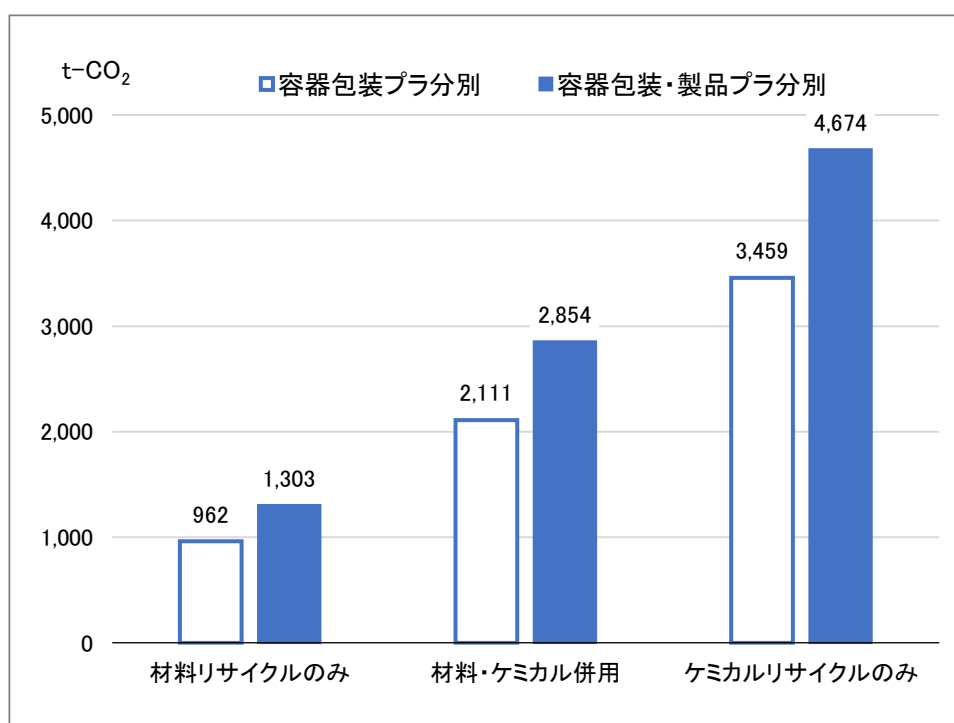
以上より CO₂ 削減効果をまとめた結果を図表 4-14 に示す。分別収集対象や再商品化手法によりばらつきがあるものの、いずれのケースも一定の CO₂ 削減効果が期待されると言える。

しかしながら、最小のケース(削減効果 962 トン)と最大のケース(削減効果 4,674 トン)では 5 倍近い開きがある。これは、材料リサイクルとケミカルリサイクルとで CO₂ 削減係数に 2 倍程度の開きがあることと、墨田清掃工場の発電効率が高く、CO₂ 排出係数が 1.008 t-CO₂/t であることから、材料リサイクルの削減係数と大きな差が無いことが要因にある。

図表 4-14 ケースごとの CO₂ 削減効果のまとめ

t-CO₂

項目	容器包装プラ分別			容器包装・製品プラ分別		
	材料リサイクルのみ	材料・ケミカル併用	ケミカルリサイクルのみ	材料リサイクルのみ	材料・ケミカル併用	ケミカルリサイクルのみ
①収集運搬に伴うCO ₂ 排出増	46	46	46	58	58	58
②再商品化によるCO ₂ 削減効果	▲2,591	▲3,740	▲5,088	▲3,499	▲5,049	▲6,870
③焼却施設におけるエネルギー回収量の減少によるCO ₂ 排出増	1,583	1,583	1,583	2,137	2,137	2,137
CO ₂ 削減量計	▲962	▲2,111	▲3,459	▲1,303	▲2,854	▲4,674



(2)リデュース・リサイクル推進への寄与

前節図表 4-7 に示したとおり容器包装プラスチックを分別収集した場合、資源化率は 2.8 ポイント程度のアップが期待され、ごみ量（可燃・不燃・粗大ごみ量）は 3.5%程度減少すると試算される。

また、全プラスチック類を分別収集した場合、資源化率は 3.8 ポイント程度のアップ、ごみ量は 4.7%程度減少と試算される。

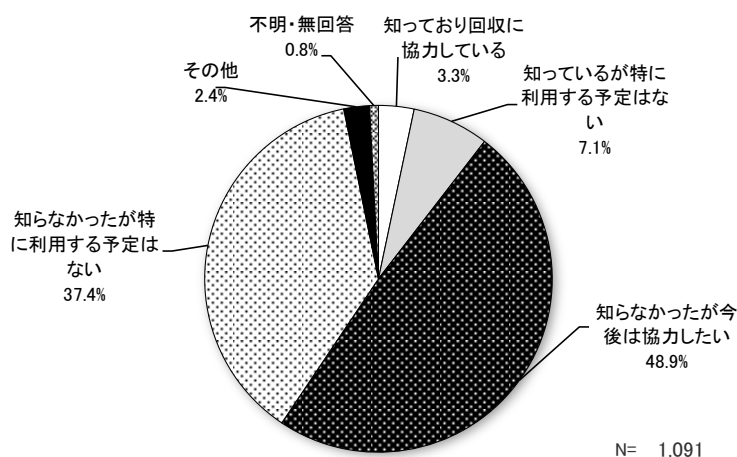
一方、分別収集のみではごみそのものの発生・排出抑制効果は期待できない。プラスチック資源循環促進法の令和 4 年 4 月の施行により、ストローやスプーン等の使い捨てプラスチックの排出抑制措置や、製造事業者による自主回収の促進等が進むものと考えられる。

本区においては既に日用品メーカーと提携し、ハブラシ回収事業を進めているところである。

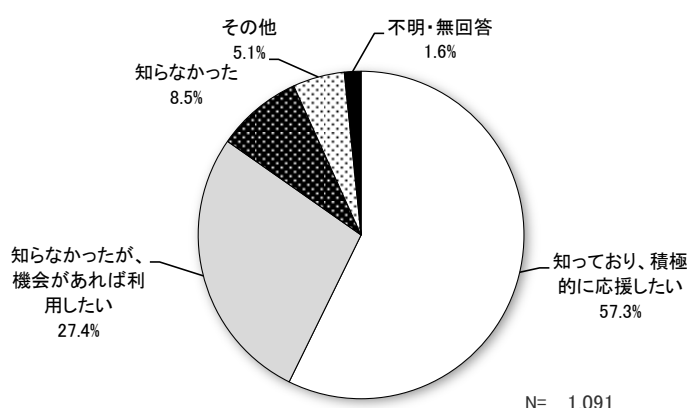
ハブラシ回収事業の区民の認知度 10.4%は決して高くないが、企業のプラスチック削減に向けた様々な取り組みについては、区民の認知も半数を超えており（57.2%）、協力意欲も高い。

今後プラスチックの排出抑制を進めて行くには、プラスチック資源循環促進法の施行を1つの契機に、区においてもメーカーや販売店と連携・協力してのプラスチック使用削減のPR等を区民に対し積極的に展開することが求められる。

図表 4-15 ハブラシ回収・リサイクル事業の認知度（区民アンケート調査、再掲）



図表 4-16 企業のプラ削減に向けた取り組みについて（区民アンケート調査、再掲）



(3)追加的な費用

プラスチック類を分別収集した場合、収集運搬体制の整備に伴う費用増と民間委託による選別処理・保管費用が、コスト増加分になる。

図表 4-17 は、プラスチック類を分別収集する際に増加する収集車両の年間費用単価、選別・保管にかかる処理単価を想定し、追加的な費用を試算したものである。追加的な費用は、容器包装プラスチックを分別収集した場合は約 3.6 億円、全プラスチック類を分別収集した場合は約 5 億円である（燃やすごみの減車台数を加味しない場合）。実際にかかる費用については、中間処理（選別・保管）体制をどのように確保するか等も含め、精査する必要がある。

図表 4-17 プラスチック類の分別収集を導入した場合の追加費用試算

収集対象	部門	数量	単価	単位	コスト増分 (千円)
容器包装 プラスチック	収集運搬	4台増 (2台増)	3,000	万円/台	120,000 (60,000)
	選別・保管	1,963t	12	万円/t	235,570
	再商品化(小規模事業者分)	1,570t	529	円/t	831
	合計				356,401 (296,401)
全プラス チック	収集運搬	5台増 (3台増)	3,000	万円/台	150,000 (90,000)
	選別・保管	2,650t	12	万円/t	318,000
	再商品化(小規模事業者分)	1,570t	529	円/t	831
	再商品化 (製品プラ)	550t	52,936	円/t	29,110
	合計				497,941 (437,941)

※指定法人に委託する場合のプラスチック再商品化単価は、令和2年度の全国実績である材料リサイクル 58,211 円/t とケミカルリサイクル 46,743 円/t を再商品化実績量で加重平均して算出した。

また、市町村が負担する小規模事業者分の負担比率は1%である。

※下段括弧の値は、収集運搬において燃やすごみの想定減車台数（容器包装プラ2台減、全プラ2台減）を加味した数値

(4)区民の協力・手間

プラスチック製容器包装を分別する際には、プラマーク（資源有効活用法に基づく）の有無が分別の目安となる。しかしレジ袋などプラマークが直接印刷されていない容器包装もあり、クリーニング袋など容器包装廃棄物の対象外となる容器にはプラマークが付いていないなど、判断が難しい場合がある。

また、内容物や付着物が残る容器包装プラスチックはそのままではリサイクルできないため、「さっと水洗いして」排出することが必要である。汚れや付着物を落とすことが困難なものについては、容器包装プラスチックとしては出さず、ごみ（燃やすごみ）として排出するよう、分別ルールを徹底する必要がある。

さらに、分別収集した容器包装プラスチックを効率よく破袋し選別ラインを乗せるためには、区民が排出する際、二重袋（排出袋の中にさらに袋が入っている状態）にならないよう、区民に要請する必要がある。

このように、容器包装プラスチックを分別収集する際には、びん・缶、ペットボトルといった資源物と異なり区民の分別の際の手間が大きく、判断も難しいため、分別排出ルールの周知徹底がこれまで以上に必要となる。

一方、容器包装プラスチックと製品プラスチックを合わせ全プラスチック類を分別収集とした場合は、「容器包装であるか否か」の判断は区民に必要無く、「主にプラスチック製であるか」「内容物や汚れが付着していないか」がプラスチック類を排出する際の判断基準となるため、区民の

分別排出の手間は大幅に軽減される。

実際、平成 29 年度に環境省が 7 都市（横浜市、川崎市、大阪市、名古屋市、富山市、広島市、北九州市）で行ったプラスチック資源一括回収実証事業では、資源回収量が容器包装のみを分別収集したときと比べ 35%増加し、アンケート調査（N=1416）では 74%の市民が「容器包装のみを分別する場合より分別しやすい」との回答が得られている（資料：中央環境審議会循環型社会部会プラスチック資源循環小委員会、産業構造審議会産業技術環境分科会廃棄物・リサイクル小委員会プラスチック資源循環戦略ワーキンググループ 合同会議（第 8 回）参考資料。令和 3 年 1 月 28 日）

従って区民の協力度を高める上では全プラスチック類を分別収集対象とすることが望ましいが、前述のように追加的費用が容器包装プラスチックのみの場合より 1.4 億円ほど増加する。

また、容器包装プラスチックと製品プラスチックを一括回収した場合の容器包装・製品プラスチックの再商品化比率の算定や費用負担のスキームなどが変更となるため、実際に組成分析調査を行って容器包装・製品プラスチックの比率を調査したり、新たなスキームによる分別収集計画を作成する必要があるなど、行政面の事務負担増となる面があることにも留意が必要である。

4.3 収集運搬・選別処理体制について

前項の収集運搬車両台数を算出するシミュレーションにおいてはプラスチックごみの分別収集は週 1 回、パッカー車による収集を想定しているが、23 区で容器包装プラスチック等の分別収集を行っている 12 区も同様の収集運搬体制を採っている。（図表 4-19）

図表 4-18 23 区のプラスチック類の分別収集状況

分類	区名	収集形態	備考
全ての容器包装プラを分別収集	千代田	週 1 回プラスチックの日に収集	製品プラスチックも同時に収集
	中央	週 1 回容器包装プラスチックの日に収集	発泡トレーの拠点回収実施
	港	週 1 回プラスチックの日に収集	製品プラスチックも同時に収集
	新宿	週 1 回資源の日に収集	
	江東	週 1 回容器包装プラスチックの日に収集	
	品川	週 1 回資源の日に収集	
	目黒	週 1 回資源の日に収集	
	中野	週 1 回容器包装プラスチックの日に収集	
	杉並	週 1 回びん・缶とともに収集	
	練馬	週 1 回資源の日に収集	
	葛飾	週 1 回容器包装プラスチックの日に収集	発泡トレーは別途収集
江戸川	週 1 回資源の日に収集		
一部の容器包装プラを分別収集	台東	発泡トレー、食品発泡カップを週 1 回資源の日に収集	
	墨田	発泡トレーを週 1 回資源の日に収集	
	大田	発泡スチロール・発泡トレーを週 1 回資源の日に収集	
	豊島	発泡トレー・ボトル類を週 1 回びん・缶、ペットボトルとともに収集	
	荒川	発泡トレーを週 1 回資源の日に収集	
分別収集なし	文京		発泡トレー、ボトルの拠点回収
	世田谷		トレー、透明容器、ペットボトルキャップの拠点回収
	渋谷		発泡トレー拠点回収
	北		発泡トレー拠点回収
	板橋		トレー・ボトル類拠点回収
	足立		

週 1 回プラスチックごみを分別収集する場合、「資源の日」に他の資源（古紙類やびん・缶等）と同時の排出とするか、別途「プラスチックごみの日」を設けて分別収集するかは、実施中の 12 区の中でも対応が分かれている。

資源の日に一括排出した場合は、区民にとって収集日が分かりやすいというメリットが得られるが、他の資源物との混合による分別品質の低下や集積所あたりの排出量が多くなり場所を取る、散乱が起りやすくなるといったデメリットが考えられる。

「プラスチックごみの日」を別途設ける場合は、区民にとっては従来の「可燃」「不燃」「資源」の他に「プラスチック」の日が加わることとなり、煩雑さが増すこととなる。他方、「プラスチックごみ」を単独で排出するために他の資源やごみと混ざりにくく、不適正な排出は取り残しを行うなど、分別排出の管理がしやすくなるといったメリットが考えられる。

本区の場合、収集したプラスチックごみの選別・保管は民間処理業者に委託することが想定されるため、委託先事業者の配置先も含め、効率的な収集運搬体制を検討する必要がある。

4.4 プラスチックごみの発生抑制施策について

自治体におけるプラスチックごみの発生抑制策としては、

- 使い捨て食器等の削減を PR するため、イベント等においてリユース食器を使用・貸与する。
- 減包装やペットボトル・トレイ等の店頭回収を実施する店舗を「リサイクル協力店」として認定し PR する。
- 自治体の率先実効策として「公共施設におけるプラスチック削減実行計画」等を策定し、職員のマイボトル使用や公共施設の自販機におけるペットボトル飲料販売の停止などを行う。

といった取り組みがある。昨今では「プラスチックごみゼロ宣言」「ゼロカーボンシティ宣言」等を掲げ、気候変動対策の一環としてプラスチックごみ削減を宣言する自治体も増えているところである。

一方、プラスチック資源循環促進法の制定に伴い、事業者においては「プラスチック製品の指針に基づく環境配慮設計の推進」や「使い捨てプラスチック製品の使用の適正化（有料化や代替素材の使用など）」が求められることとなった。

区民アンケート調査においても、使い捨てプラスチック製品を事業者の責任で減らす政策については肯定的な意見が多い（第 2 章、図表 2-20）ことから、来年（令和 4 年）4 月に予定されるプラスチック資源循環促進法の施行を 1 つの機会として、使い捨てプラスチックの削減に取り組む区内販売店や飲食店における取組事例を区民に PR するなどして、プラスチック排出抑制の機運を醸成していくことが望ましいと考えられる。

また、本区は既に企業と連携してハブラシ回収に取り組んでいるところであるが、プラスチック資源循環促進法では事業者によるプラスチック製品の自主回収も法的に位置付けられることから、今後とも企業による自主回収の取り組みとの積極的な連携を図っていくことも、新たな法制度の社会的な実効性を高めていく上で大切な取り組みと考えられる。

第5章 資料編

5.1 区民アンケート調査票

墨田区 資源とごみに関する区民アンケート調査

記入上のご注意

- 1 質問のあてはまる番号に○をつけてください。
○の数が指定してある場合は、その数だけ○をつけてください。
「その他」を選ばれた場合は、具体的にご記入ください。
あてはまるものがない場合は記入不要です。
- 2 回答されるのは、世帯のどなたでも結構です。また、記入にあたり、ご家族の方と相談していただいてもかまいません。
- 3 ご記入後、切手を貼らずに、同封の返信用封筒に三つ折りにして入れてご投函ください。ご返送は、6月28日(月)までをお願いいたします。

問1 ふだんのくらしや関心事についてお聞きします。

問1(1) 以下のごみ問題や環境問題に関連する用語や動向について、あなたの認識に最も近いものをお選びください。(それぞれ1つずつに○)

海洋プラスチックごみ問題	1. 関心がある	2. 知っているが関心はない
	3. 知らなかった	
食品ロス問題	1. 関心がある	2. 知っているが関心はない
	3. 知らなかった	
エスディージーズ SDGs	1. 関心がある	2. 知っているが関心はない
	3. 知らなかった	
スリーアール 3R	1. 関心がある	2. 知っているが関心はない
	3. 知らなかった	

問1(2) あなたのごみに対する関心と行動について、次の中からあてはまるものを1つ選んでください。

1. 関心があり、ふだんからごみの減量や分別等を心がけて行動している。
2. 関心があり、時々ごみの減量や分別等を心がけて行動している。
3. 関心はあるが、ごみの減量や分別等の方法が分からないので行動していない。
4. 関心はあるが、ごみの減量や分別に手間がかかるので行動していない。
5. どちらともいえない。
6. 特に関心がない。

問1(3) 墨田区の資源とごみの分け方や出し方に関する情報は何かから得ていますか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 墨田区のホームページ（資源・ごみ・リサイクル関連のページ）
2. 墨田区のホームページ（案内キャラクターによるチャットボット※）
3. すみだ区報
4. 資源物とごみの収集カレンダー
5. 資源物とごみの分け方・出し方パンフレット
6. 集積所の看板
7. その他（具体的に)

※墨田区では、区のホームページ上で東京 23 区で初となる

人工知能を搭載した「ごみ分別案内チャットボット」の
利用を 2018 年 7 月から開始しています。

メッセージ入力欄に、出したいごみの名前やごみに関する
質問を入力して送信すると、すぐに答えてくれます。

右の二次元コードをスマートフォン等で読み取るとアクセスできます。



【すみにゃーる】

問1(4) あなたのご家庭で日頃からごみの減量や分別で心がけていることは何ですか。
次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

1. 余分な物をなるべく購入しないようにしている。
2. 使い捨ての容器や商品をなるべく使わない。（詰め替え商品を買う。）
3. 買い物袋を持参し、レジ袋はできるだけもらわない。
4. 過剰な包装は断る。
5. はかり売りや少量売りの商品を買う。
6. 故障してもなるべく修理して使う。
7. リサイクルショップやフリーマーケットを積極的に利用する。
8. リサイクル材料を使用した商品を優先して購入している。
9. 生ごみは水をよく切って出している。
10. 調理の際に、できるだけ食べ残しやごみが出ないように工夫している。
11. 資源物とごみの分別をしている。
12. 資源物の店頭回収、拠点回収、集団回収を利用している。
13. 生ごみを生ごみ処理機等でたい肥化している。
14. 区の実施するふれあい指導や出前講座等を受けて、ごみについて学んでいる。
15. 特になし。
16. その他（具体的に)

問1(5) 昨年(2020)年7月より、プラスチック製のレジ袋が全国的に有料になりました。これについてどうお考えですか。あなたのお考えに近いもの1つに○をつけてください。

1. 環境を守るためには良いことだと思う。
2. 不便だが仕方がないと思う。
3. 不便なので無料にしてほしいと思う。
4. 自分には特に影響はなく、関心はない。
5. その他(具体的に)

問2 昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大の影響についてお聞きします。

問2(1) 新型コロナウイルス感染症拡大によるあなたやご家族の生活の変化についてお聞きします。それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

外食の回数	1. 増えた 2. 減った 3. 変化ない
自宅で食べるため、弁当の購入や飲食店からの持ち帰り・テイクアウト	1. 増えた 2. 減った 3. 変化ない
買い物の際、一つ一つ個包装された野菜やパンを選ぶ	1. 増えた 2. 減った 3. 変化ない
ペットボトル飲料や缶飲料(ビールなど)の購入量	1. 増えた 2. 減った 3. 変化ない
ネットショップなど通信販売の利用	1. 増えた 2. 減った 3. 変化ない

問2(2) 新型コロナウイルス感染症拡大後、ご家庭から出るごみや資源の量は増えましたか。(1つに○)

1. 増えたと思う。→次の問2(3)へ
2. 減ったと思う。
3. 変わらない。

問2(3) 前問で1.を選んだ方にお聞きします。何が増えましたか。(○はいくつでも)

1. 食べ残しや期限切れの食品ロス
2. 調理くずなどの生ごみ
3. パック・カップ容器や袋などのプラスチック製容器包装
4. ペットボトル
5. びん類

(裏面に続く)

6. 缶類
7. 布類
8. 段ボール
9. 新聞、雑誌など段ボール以外のリサイクルできる紙類
10. その他（具体的に

)

問3 プラスチックごみの減量やリサイクルについてお聞きします。

※ プラスチックはさまざまな製品や容器包装に使われ、生活には欠かせないものとなっています。一方、プラスチックは石油から作られており、ごみとして焼却すると温室効果ガス（CO₂）の発生源となります。

地球温暖化や海洋プラスチックごみといった地球規模の環境問題を解決する観点から、プラスチックごみの減量やリサイクルの推進は、世界的な課題となっています。

問3(1) プラスチックごみ問題を解決する方向性として、あなたのお考えに近いものを1つお選びください。

1. 消費者の利便性を落としてでも、プラスチック類の製造や利用を規制すべきだと思う。
2. 消費者の利便性を落とさない範囲で、企業がプラスチック類の使用を減らし、消費者もプラスチック類の分別やリサイクルに協力すべきと思う。
3. 消費者の利便性が落ちるので、プラスチック類の規制やリサイクルを行うのではなく、燃やすごみとして焼却し、熱エネルギーを有効活用すべきだと思う。
4. その他（具体的に

)

問3(2) 墨田区では発泡食品トレーを週1回、資源物として集積所回収しています。食品トレーの回収について、あてはまるものをすべて選んでください。

1. 問題なく資源物に分別できている。
2. 分別区分が分からない。
3. 分別して出すのに手間がかかる。
4. 複数の素材があるため、分別できない。
5. どこまで汚れを落とせばよいか分からない。
6. 保管しておく場所がない。
7. 資源として出していない。
8. その他（具体的に

)

※ 以下をよくお読みのうえ、設問にご回答ください。

日常生活に不可欠な容器包装プラスチックは、墨田区では一部を除いて「燃やすごみ」として収集し、焼却した際の熱エネルギーを発電などに有効活用する「サーマルリサイクル（熱回収）」を採用しています。

しかし、気候変動をもたらす影響が深刻さを増す中、廃プラスチックの焼却によるCO₂発生を抑制するため、「燃やすごみ」として焼却するのではなく、「資源物」としてリサイクルしていくことが世界的な潮流となっています。

このことを背景に、現在、東京 23 区では 12 区で容器包装プラスチックを資源物として分別収集し、リサイクルを行っています。

■墨田区が容器包装プラスチックを「燃えるごみ」から「資源物として分別収集」の方式に変更した場合、以下の影響が考えられます。

- ①サーマルリサイクル（熱回収）と比較し、より高いCO₂削減効果が期待できます。
- ②区民の皆様には「燃えるごみ」から「資源物」への分別の負担をお願いすることになります（例：汚れたものは軽く洗ってから資源物に分別して排出する）。
- ③分別収集に多額の費用が発生し、その費用は税金でまかなわれることとなります。

■主な容器包装プラスチック



問3(3) 容器包装プラスチックは、現在、墨田区では燃やすごみとして収集しています。今後、資源物として分別収集するとした場合、あなたのお考えに近いものを1つ選んでください。

1. 分別収集を実施すべき。 →問 3(4)へ
2. 分別収集を実施すべきでない。 →問 3(5)へ
3. どちらともいえない。 →問 3(5)へ

問3(4) 前問で 1.を選んだ方にお聞きします。「実施すべき」と思う理由は何ですか。あなたの考えに近いもの1つに○を付けてください。

1. ごみの減量や温室効果ガス（CO₂）排出量の削減につながるため
2. 区民のリサイクル意識のさらなる向上につながるため
3. 具体的なことはよくわからないが、環境に優しい施策ならばやるべきと思うため
4. 他自治体の実施しているので、墨田区もやるべきと思うため
5. その他（具体的に _____ ）

問3(5) 問 3(3)で 2.または 3.を選んだ方にお聞きします。「実施すべきでない」「どちらともいえない」と思う理由は何ですか。あなたの考えに近いもの 1 つに○をつけてください。

1. 分別の手間が増えるため
2. 現在の処理方法（サーマルリサイクル）の方が効果的・効率的だと思うため
3. 分別収集することで得られる効果がよくわからず、判断できないため
4. コロナ禍の状況では、分別収集に協力できる余裕がないため
5. その他（具体的に _____)

※2021年6月4日、「プラスチック資源循環促進法」が国会で可決、成立しました。

国は、2022年4月の施行を目指しています。

新法では、プラスチックごみの排出を抑制するため、例えば、コンビニの使い捨てのスプーンやフォーク、ストローを対象に、有料化や代替素材への転換などを義務づけることなどが盛り込まれています。



問3(6) 使い捨てのプラスチック製品を法律で有料化するなどして減らす政策について、どうお考えですか。あなたのお考えに近いもの 1 つに○をつけてください。

1. 使い捨てストローやスプーンなどの有料化に賛成である。
2. 不便になるので消費者負担は増やしてほしくないと思う。
3. プラスチックごみを減らすため、使い捨てプラスチックは製造禁止にして欲しい。
4. 特に関心はない。何とも思わない。
5. その他（具体的に _____)

※「プラスチック資源循環促進法」では、容器包装ではない、食器や箱、ハブラシなどの「製品プラスチック」も容器包装プラスチックとともに一括回収し、リサイクルすることができるしくみが導入されます。



文房具



洗面器



CD などのケース



弁当箱



ハブラシ

【製品プラスチックの例】

「プラスチック」としてまとめて排出できるため、出す人にとっては分別しやすくなります。

一方、リサイクルするために区が負担する費用（税金）が増える可能性もあります。

問3(7) あなたは、「容器包装」と「製品」のプラスチックを一括して分別収集、リサイクルすることについてどう思いますか。(1つに○)

1. リサイクルできるなら、区が負担する費用(税金)が増えても全てのプラスチックごみを分別収集すべきと思う。
2. リサイクル費用を企業が負担する容器包装プラスチックの分別収集だけで十分だと思う。
3. 「容器包装」も「製品」も、プラスチック類の分別収集は必要無いと思う。
4. なんとも言えない。分からない。
5. その他(具体的に)

※昨今では、プラスチックごみ削減のために動き出す企業も増えています。

例えばイートインサービスの飲料カップやストローを紙に変えたり、シャンプーの詰め替え容器をメーカー自らが回収する取り組みなどが始まっています。

問3(8) あなたは、このような企業のプラスチックごみ削減に向けた取り組みについてどう思いますか。(1つに○)

1. 知っており、積極的に応援したい。
2. 知らなかったが、機会があれば利用したい。
3. 知らなかった。
4. その他(具体的に)

問3(9) 墨田区では、2000年3月にライオン株式会社と協定を締結し、区役所や児童館などの公共施設に回収ボックスを設置し、ハブラシを回収・リサイクルしています。このことをご存じでしたか。(1つに○)

1. 知っており、ハブラシの回収に協力している。
2. 知っているが、特に利用する予定はない。 →次の問3(10)へ
3. 知らなかったが、今後はハブラシの回収に協力したい。
4. 知らなかったが、特に利用する予定はない。 →次の問3(10)へ
5. その他(具体的に)

問3(10) 前問で2.または4.を選んだ方にお聞きします。「特に利用する予定はない」理由は何ですか。あなたの考えに近いもの1つに○をつけてください。

1. 回収ボックスまで持っていくのが面倒だから
2. 衛生面で不安だから
3. ハブラシを回収・リサイクルすることで得られる効果がよくわからないから
4. その他(具体的に)

問4 回答者ご自身についてお聞きします。(○は1つずつ)

ふだんごみ出しを担当される方	1. あなたご自身 2. あなた以外
所在地域	1. 両国 2. 千歳 3. 緑 4. 立川 5. 菊川 6. 江東橋 7. 横網 8. 亀沢 9. 石原 10. 本所 11. 東駒形 12. 吾妻橋 13. 錦糸 14. 太平 15. 横川 16. 業平 17. 向島 18. 東向島 19. 堤通 20. 墨田 21. 押上 22. 京島 23. 文花 24. 八広 25. 立花 26. 東墨田
あなたの年齢	1. 20代 2. 30代 3. 40代 4. 50代 5. 60代 6. 70代以上
あなたを含む世帯人数	1. 1人 2. 2人 3. 3人 4. 4人 5. 5人 6. 6人以上
墨田区内の居住年数	1. 1年未満 2. 1年以上3年未満 3. 3年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上
お住まいの形態	1. 戸建て住宅 2. ごみ集積所のある集合住宅 (マンション・団地) 3. ごみ集積所の無い集合住宅 (マンション・団地) 4. 寮、官舎、下宿等 5. 自宅兼事業所

問5 ごみやリサイクルについてお困りのことや、墨田区の施策等についてご意見があればお聞かせください。

質問は以上です。たくさんの質問にお答えいただきありがとうございました。

5.2 区民アンケート調査 集計表（詳細）

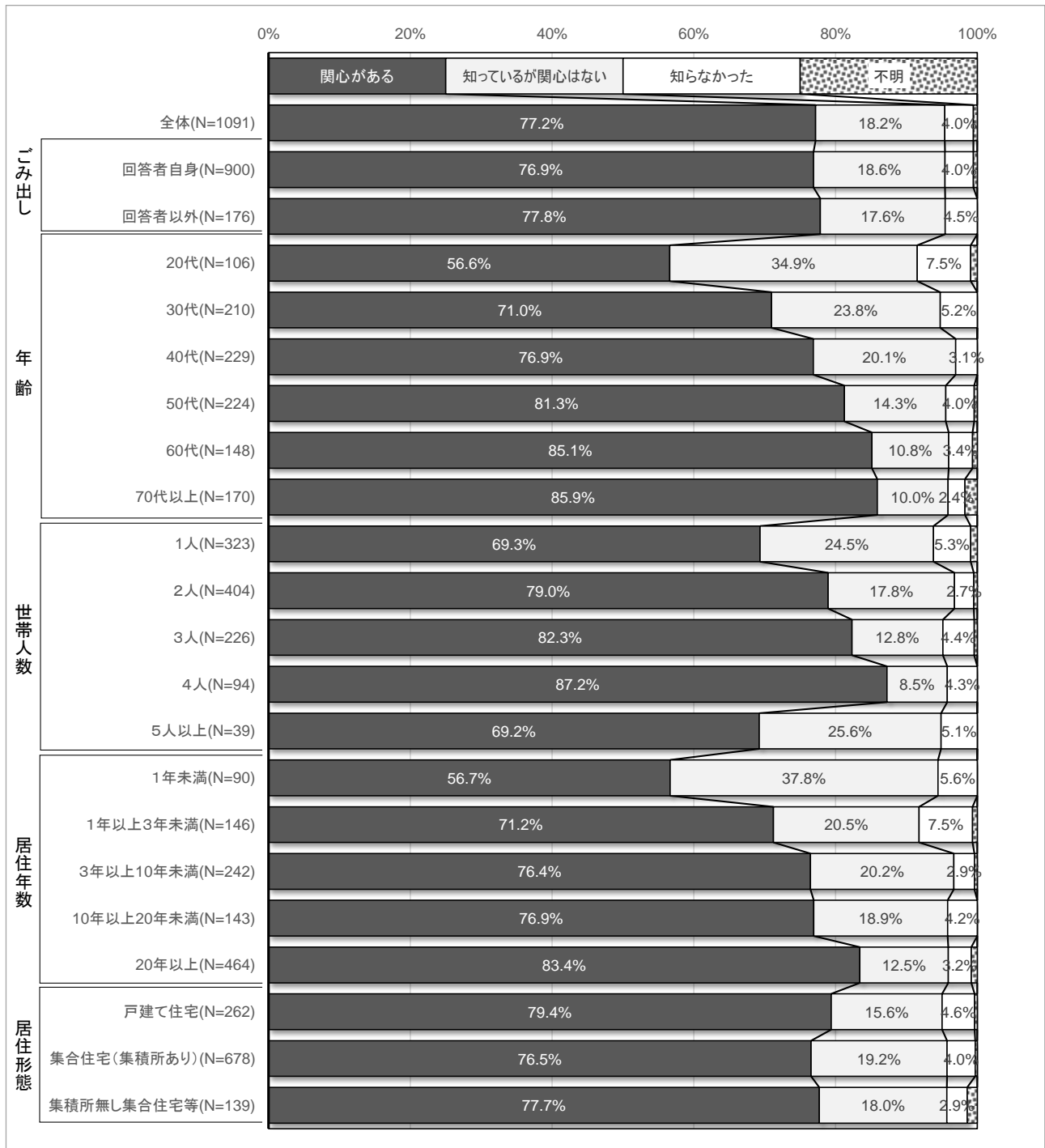
(1)問 1(1) 海洋プラスチックごみ問題に関する認識

①問 1(1) 海洋プラスチックごみ問題に関する認識（クロス集計表）

		合計	問1(1) 海洋プラスチックごみ問題に関する認識			
			関心がある	知っているが 関心はない	知らなかった	不明
全体		1091 (100%)	842 (77.2%)	199 (18.2%)	44 (4.0%)	6 (0.5%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	692 (76.9%)	167 (18.6%)	36 (4.0%)	5 (0.6%)
	回答者以外	176 (100%)	137 (77.8%)	31 (17.6%)	8 (4.5%)	0 (0.0%)
年齢	20代	106 (100%)	60 (56.6%)	37 (34.9%)	8 (7.5%)	1 (0.9%)
	30代	210 (100%)	149 (71.0%)	50 (23.8%)	11 (5.2%)	0 (0.0%)
	40代	229 (100%)	176 (76.9%)	46 (20.1%)	7 (3.1%)	0 (0.0%)
	50代	224 (100%)	182 (81.3%)	32 (14.3%)	9 (4.0%)	1 (0.4%)
	60代	148 (100%)	126 (85.1%)	16 (10.8%)	5 (3.4%)	1 (0.7%)
	70代以上	170 (100%)	146 (85.9%)	17 (10.0%)	4 (2.4%)	3 (1.8%)
世帯人数	1人	323 (100%)	224 (69.3%)	79 (24.5%)	17 (5.3%)	3 (0.9%)
	2人	404 (100%)	319 (79.0%)	72 (17.8%)	11 (2.7%)	2 (0.5%)
	3人	226 (100%)	186 (82.3%)	29 (12.8%)	10 (4.4%)	1 (0.4%)
	4人	94 (100%)	82 (87.2%)	8 (8.5%)	4 (4.3%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	71 (60.2%)	40 (33.9%)	7 (5.9%)	0 (0.0%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	51 (56.7%)	34 (37.8%)	5 (5.6%)	0 (0.0%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	104 (71.2%)	30 (20.5%)	11 (7.5%)	1 (0.7%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	110 (76.9%)	27 (18.9%)	6 (4.2%)	0 (0.0%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	387 (83.4%)	58 (12.5%)	15 (3.2%)	4 (0.9%)
	20年以上	6 (100%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	208 (79.4%)	41 (15.6%)	12 (4.6%)	1 (0.4%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	519 (76.5%)	130 (19.2%)	27 (4.0%)	2 (0.3%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	108 (77.7%)	25 (18.0%)	4 (2.9%)	2 (1.4%)

※ 「世帯人数」については「6人以上」の回答が少数であったため、「5人以上」にまとめている。また、「住居形態」については「寮、官舎、下宿等」「自宅兼事業所」の回答が少数であったため「集積所無し集合住宅等」にまとめている。（以下同様）

②問 1(1) 海洋プラスチックごみ問題に関する認識 (クロス集計グラフ)

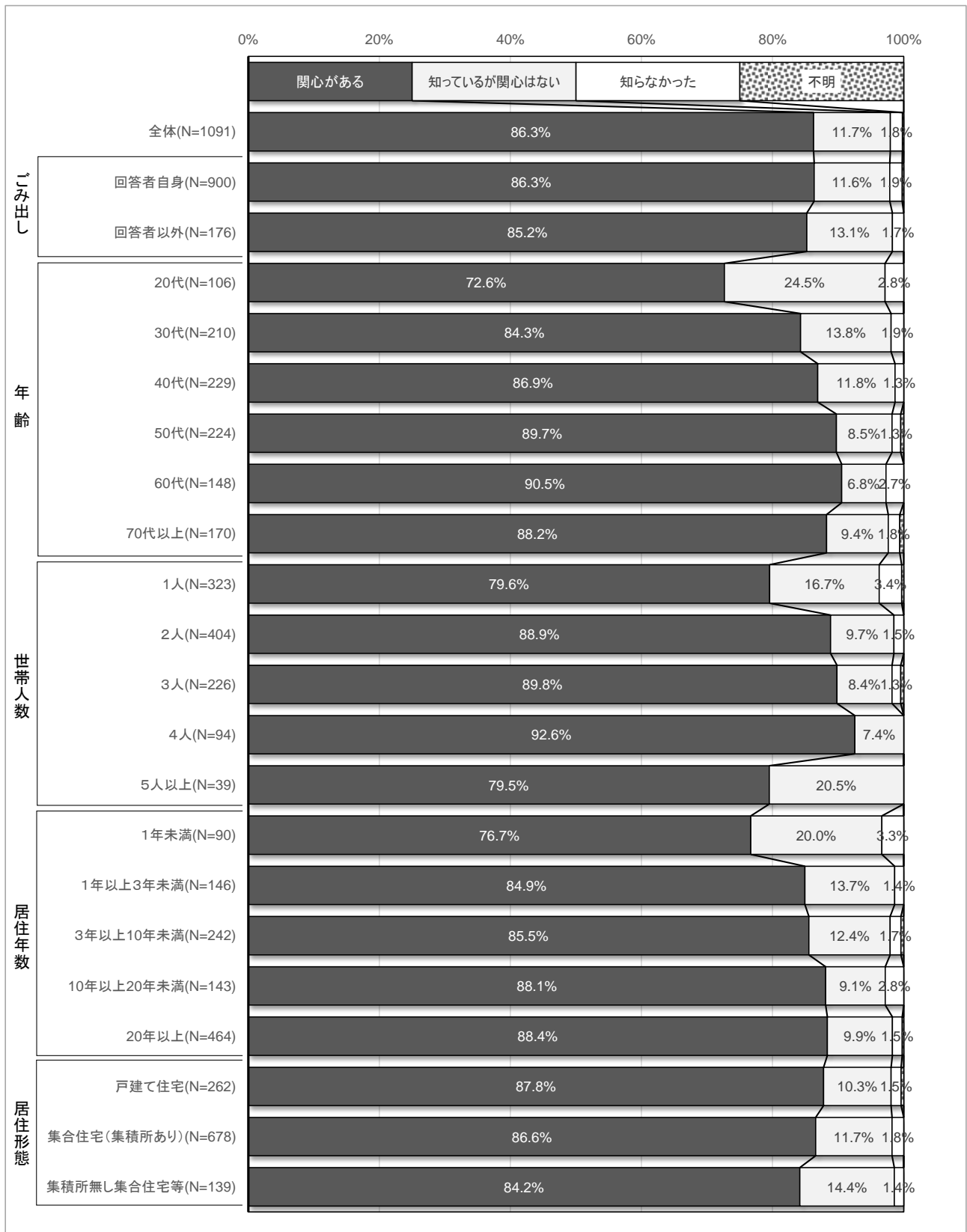


(2)問 1(1) 食品ロス問題に関する認識

①問 1(1) 食品ロス問題に関する認識（クロス集計表）

		合計	問1(1) 食品ロス問題に関する認識			
			関心がある	知っているが 関心はない	知らなかった	不明
全体		1091 (100%)	941 (86.3%)	128 (11.7%)	20 (1.8%)	2 (0.2%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	777 (86.3%)	104 (11.6%)	17 (1.9%)	2 (0.2%)
	回答者以外	176 (100%)	150 (85.2%)	23 (13.1%)	3 (1.7%)	0 (0.0%)
年齢	20代	106 (100%)	77 (72.6%)	26 (24.5%)	3 (2.8%)	0 (0.0%)
	30代	210 (100%)	177 (84.3%)	29 (13.8%)	4 (1.9%)	0 (0.0%)
	40代	229 (100%)	199 (86.9%)	27 (11.8%)	3 (1.3%)	0 (0.0%)
	50代	224 (100%)	201 (89.7%)	19 (8.5%)	3 (1.3%)	1 (0.4%)
	60代	148 (100%)	134 (90.5%)	10 (6.8%)	4 (2.7%)	0 (0.0%)
	70代以上	170 (100%)	150 (88.2%)	16 (9.4%)	3 (1.8%)	1 (0.6%)
世帯人数	1人	323 (100%)	257 (79.6%)	54 (16.7%)	11 (3.4%)	1 (0.3%)
	2人	404 (100%)	359 (88.9%)	39 (9.7%)	6 (1.5%)	0 (0.0%)
	3人	226 (100%)	203 (89.8%)	19 (8.4%)	3 (1.3%)	1 (0.4%)
	4人	94 (100%)	87 (92.6%)	7 (7.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	91 (77.1%)	24 (20.3%)	3 (2.5%)	0 (0.0%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	69 (76.7%)	18 (20.0%)	3 (3.3%)	0 (0.0%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	124 (84.9%)	20 (13.7%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	126 (88.1%)	13 (9.1%)	4 (2.8%)	0 (0.0%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	410 (88.4%)	46 (9.9%)	7 (1.5%)	1 (0.2%)
	20年以上	6 (100%)	5 (83.3%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	230 (87.8%)	27 (10.3%)	4 (1.5%)	1 (0.4%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	587 (86.6%)	79 (11.7%)	12 (1.8%)	0 (0.0%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	117 (84.2%)	20 (14.4%)	2 (1.4%)	0 (0.0%)

②問 1(1) 食品ロス問題に関する認識 (クロス集計グラフ)

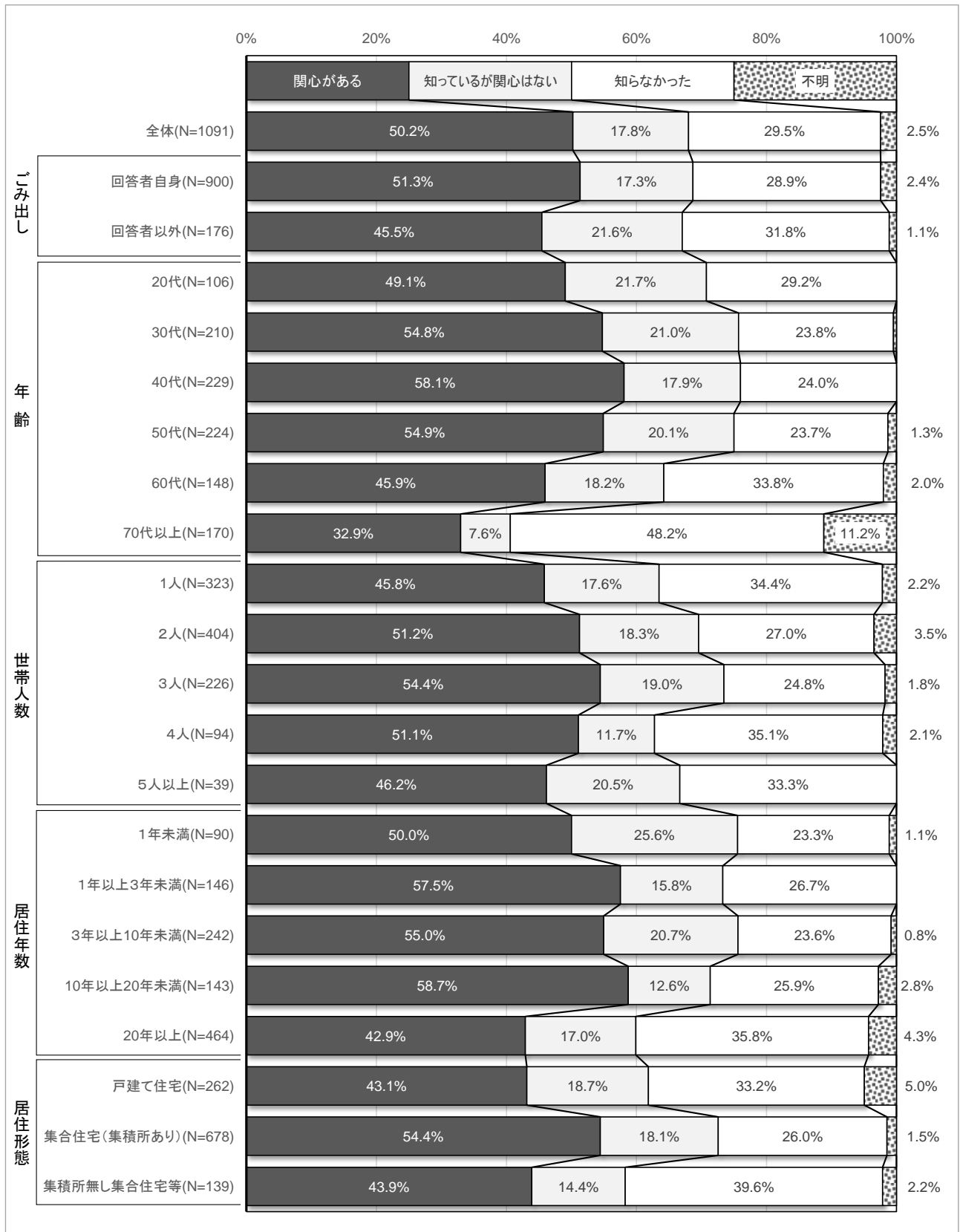


(3)問 1(1) “SDGs” に関する認識

①問 1(1) “SDGs” に関する認識 (クロス集計表)

		合計	問1(1) “SDGs”に関する認識			
			関心がある	知っているが 関心はない	知らなかった	不明
全体		1091 (100%)	548 (50.2%)	194 (17.8%)	322 (29.5%)	27 (2.5%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	462 (51.3%)	156 (17.3%)	260 (28.9%)	22 (2.4%)
	回答者以外	176 (100%)	80 (45.5%)	38 (21.6%)	56 (31.8%)	2 (1.1%)
年齢	20代	106 (100%)	52 (49.1%)	23 (21.7%)	31 (29.2%)	0 (0.0%)
	30代	210 (100%)	115 (54.8%)	44 (21.0%)	50 (23.8%)	1 (0.5%)
	40代	229 (100%)	133 (58.1%)	41 (17.9%)	55 (24.0%)	0 (0.0%)
	50代	224 (100%)	123 (54.9%)	45 (20.1%)	53 (23.7%)	3 (1.3%)
	60代	148 (100%)	68 (45.9%)	27 (18.2%)	50 (33.8%)	3 (2.0%)
	70代以上	170 (100%)	56 (32.9%)	13 (7.6%)	82 (48.2%)	19 (11.2%)
世帯人数	1人	323 (100%)	148 (45.8%)	57 (17.6%)	111 (34.4%)	7 (2.2%)
	2人	404 (100%)	207 (51.2%)	74 (18.3%)	109 (27.0%)	14 (3.5%)
	3人	226 (100%)	123 (54.4%)	43 (19.0%)	56 (24.8%)	4 (1.8%)
	4人	94 (100%)	48 (51.1%)	11 (11.7%)	33 (35.1%)	2 (2.1%)
	5人以上	118 (100%)	58 (49.2%)	31 (26.3%)	28 (23.7%)	1 (0.8%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	45 (50.0%)	23 (25.6%)	21 (23.3%)	1 (1.1%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	84 (57.5%)	23 (15.8%)	39 (26.7%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	84 (58.7%)	18 (12.6%)	37 (25.9%)	4 (2.8%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	199 (42.9%)	79 (17.0%)	166 (35.8%)	20 (4.3%)
	20年以上	6 (100%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	113 (43.1%)	49 (18.7%)	87 (33.2%)	13 (5.0%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	369 (54.4%)	123 (18.1%)	176 (26.0%)	10 (1.5%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	61 (43.9%)	20 (14.4%)	55 (39.6%)	3 (2.2%)

②問 1(1) “SDGs” に関する認識 (クロス集計グラフ)

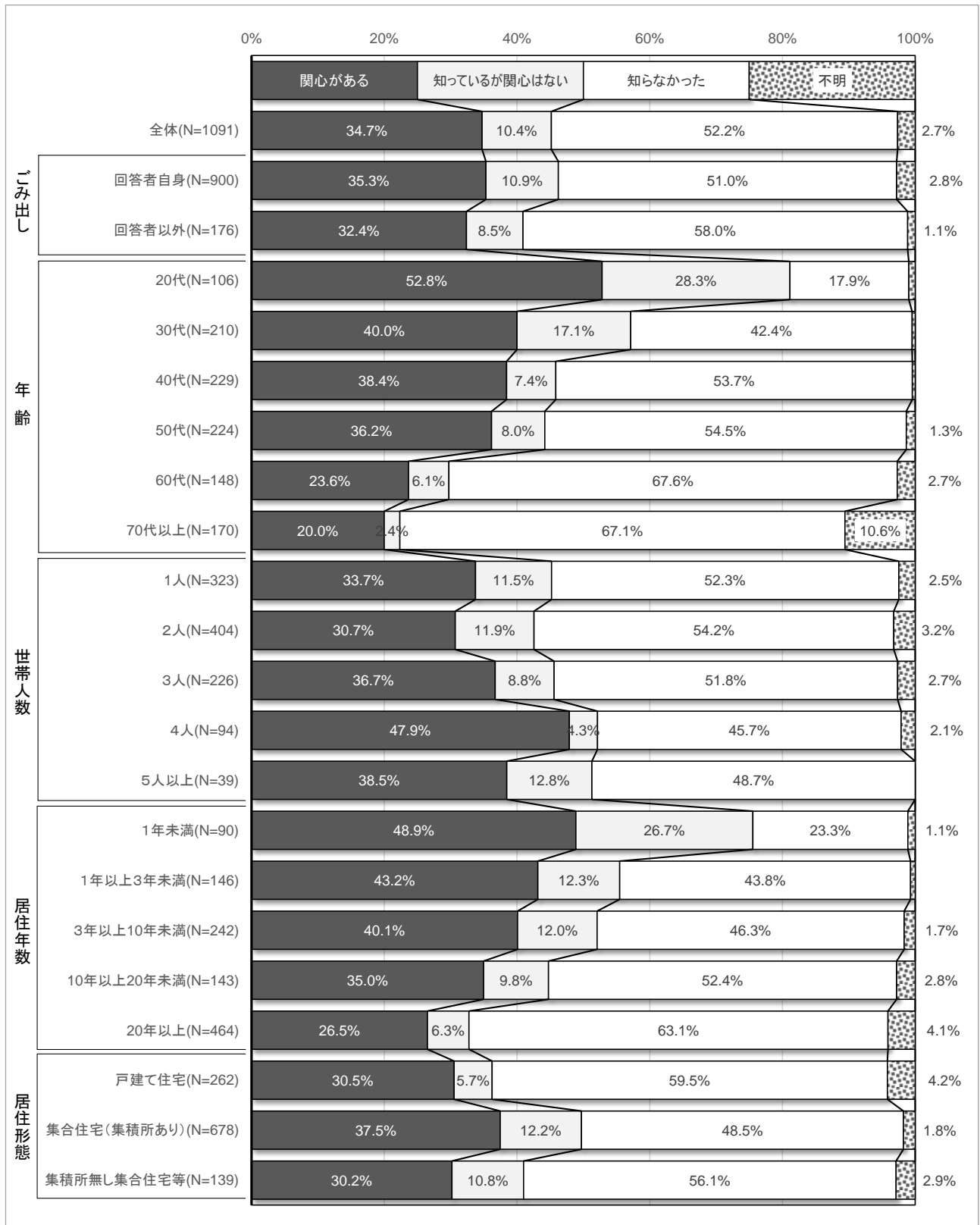


(4)問 1(1) “3R” に関する認識

①問 1(1) “3R” に関する認識 (クロス集計表)

		合計	問1(1) “3R”に関する認識			
			関心がある	知っているが 関心はない	知らなかった	不明
全体		1091 (100%)	379 (34.7%)	114 (10.4%)	569 (52.2%)	29 (2.7%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	318 (35.3%)	98 (10.9%)	459 (51.0%)	25 (2.8%)
	回答者以外	176 (100%)	57 (32.4%)	15 (8.5%)	102 (58.0%)	2 (1.1%)
年齢	20代	106 (100%)	56 (52.8%)	30 (28.3%)	19 (17.9%)	1 (0.9%)
	30代	210 (100%)	84 (40.0%)	36 (17.1%)	89 (42.4%)	1 (0.5%)
	40代	229 (100%)	88 (38.4%)	17 (7.4%)	123 (53.7%)	1 (0.4%)
	50代	224 (100%)	81 (36.2%)	18 (8.0%)	122 (54.5%)	3 (1.3%)
	60代	148 (100%)	35 (23.6%)	9 (6.1%)	100 (67.6%)	4 (2.7%)
	70代以上	170 (100%)	34 (20.0%)	4 (2.4%)	114 (67.1%)	18 (10.6%)
世帯人数	1人	323 (100%)	109 (33.7%)	37 (11.5%)	169 (52.3%)	8 (2.5%)
	2人	404 (100%)	124 (30.7%)	48 (11.9%)	219 (54.2%)	13 (3.2%)
	3人	226 (100%)	83 (36.7%)	20 (8.8%)	117 (51.8%)	6 (2.7%)
	4人	94 (100%)	45 (47.9%)	4 (4.3%)	43 (45.7%)	2 (2.1%)
	5人以上	118 (100%)	57 (48.3%)	29 (24.6%)	31 (26.3%)	1 (0.8%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	44 (48.9%)	24 (26.7%)	21 (23.3%)	1 (1.1%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	63 (43.2%)	18 (12.3%)	64 (43.8%)	1 (0.7%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	50 (35.0%)	14 (9.8%)	75 (52.4%)	4 (2.8%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	123 (26.5%)	29 (6.3%)	293 (63.1%)	19 (4.1%)
	20年以上	6 (100%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	80 (30.5%)	15 (5.7%)	156 (59.5%)	11 (4.2%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	254 (37.5%)	83 (12.2%)	329 (48.5%)	12 (1.8%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	42 (30.2%)	15 (10.8%)	78 (56.1%)	4 (2.9%)

②問 1(1) “3R”に関する認識 (クロス集計グラフ)

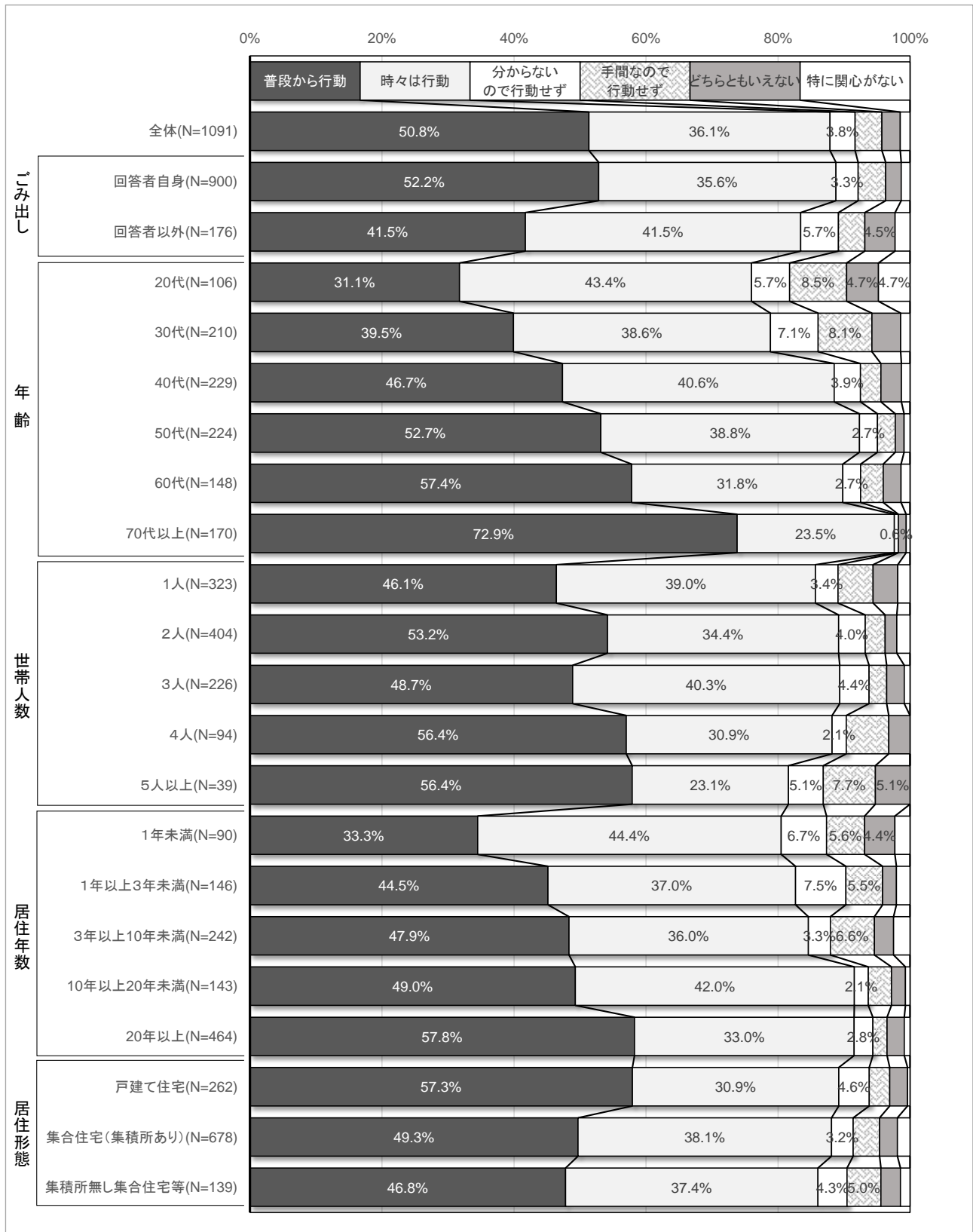


(5)問 1(2) ごみに対する関心・行動

①問 1(2) ごみに対する関心・行動（クロス集計表）

		合計	問1(2) ごみに対する関心・行動						
			関心あり／普 段から行動	関心あり／ 時々は行動	関心あり／分 からないので 行動していな	関心あり／手 間がかかるの で行動してい	どちらともいえ ない	特に関心がな い	不明・無回答
全体		1091 (100%)	554 (50.8%)	394 (36.1%)	41 (3.8%)	44 (4.0%)	30 (2.7%)	16 (1.5%)	12 (1.1%)
ごみ出 し担当	回答者自身	900 (100%)	470 (52.2%)	320 (35.6%)	30 (3.3%)	37 (4.1%)	21 (2.3%)	12 (1.3%)	10 (1.1%)
	回答者以外	176 (100%)	73 (41.5%)	73 (41.5%)	10 (5.7%)	7 (4.0%)	8 (4.5%)	4 (2.3%)	1 (0.6%)
年齢	20代	106 (100%)	33 (31.1%)	46 (43.4%)	6 (5.7%)	9 (8.5%)	5 (4.7%)	5 (4.7%)	2 (1.9%)
	30代	210 (100%)	83 (39.5%)	81 (38.6%)	15 (7.1%)	17 (8.1%)	9 (4.3%)	3 (1.4%)	2 (1.0%)
	40代	229 (100%)	107 (46.7%)	93 (40.6%)	9 (3.9%)	7 (3.1%)	7 (3.1%)	3 (1.3%)	3 (1.3%)
	50代	224 (100%)	118 (52.7%)	87 (38.8%)	6 (2.7%)	6 (2.7%)	3 (1.3%)	2 (0.9%)	2 (0.9%)
	60代	148 (100%)	85 (57.4%)	47 (31.8%)	4 (2.7%)	5 (3.4%)	4 (2.7%)	2 (1.4%)	1 (0.7%)
	70代以上	170 (100%)	124 (72.9%)	40 (23.5%)	1 (0.6%)	0 (0.0%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)	2 (1.2%)
世帯 人数	1人	323 (100%)	149 (46.1%)	126 (39.0%)	11 (3.4%)	17 (5.3%)	12 (3.7%)	6 (1.9%)	2 (0.6%)
	2人	404 (100%)	215 (53.2%)	139 (34.4%)	16 (4.0%)	12 (3.0%)	7 (1.7%)	8 (2.0%)	7 (1.7%)
	3人	226 (100%)	110 (48.7%)	91 (40.3%)	10 (4.4%)	6 (2.7%)	6 (2.7%)	2 (0.9%)	1 (0.4%)
	4人	94 (100%)	53 (56.4%)	29 (30.9%)	2 (2.1%)	6 (6.4%)	3 (3.2%)	0 (0.0%)	1 (1.1%)
	5人以上	118 (100%)	45 (38.1%)	47 (39.8%)	7 (5.9%)	7 (5.9%)	6 (5.1%)	2 (1.7%)	4 (3.4%)
居住 年数	1年未満	90 (100%)	30 (33.3%)	40 (44.4%)	6 (6.7%)	5 (5.6%)	4 (4.4%)	2 (2.2%)	3 (3.3%)
	1年以上3 年未満	146 (100%)	65 (44.5%)	54 (37.0%)	11 (7.5%)	8 (5.5%)	3 (2.1%)	3 (2.1%)	2 (1.4%)
	3年以上10 年未満	143 (100%)	70 (49.0%)	60 (42.0%)	3 (2.1%)	5 (3.5%)	3 (2.1%)	1 (0.7%)	1 (0.7%)
	10年以上 20年未満	464 (100%)	268 (57.8%)	153 (33.0%)	13 (2.8%)	10 (2.2%)	12 (2.6%)	4 (0.9%)	4 (0.9%)
	20年以上	6 (100%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	住居 形態	戸建て住宅	262 (100%)	150 (57.3%)	81 (30.9%)	12 (4.6%)	8 (3.1%)	7 (2.7%)	1 (0.4%)
集合住宅 (集積所有)		678 (100%)	334 (49.3%)	258 (38.1%)	22 (3.2%)	27 (4.0%)	18 (2.7%)	13 (1.9%)	6 (0.9%)
集積所無し集 合住宅等		139 (100%)	65 (46.8%)	52 (37.4%)	6 (4.3%)	7 (5.0%)	4 (2.9%)	2 (1.4%)	3 (2.2%)

②問 1(2) ごみに対する関心・行動 (クロス集計グラフ)



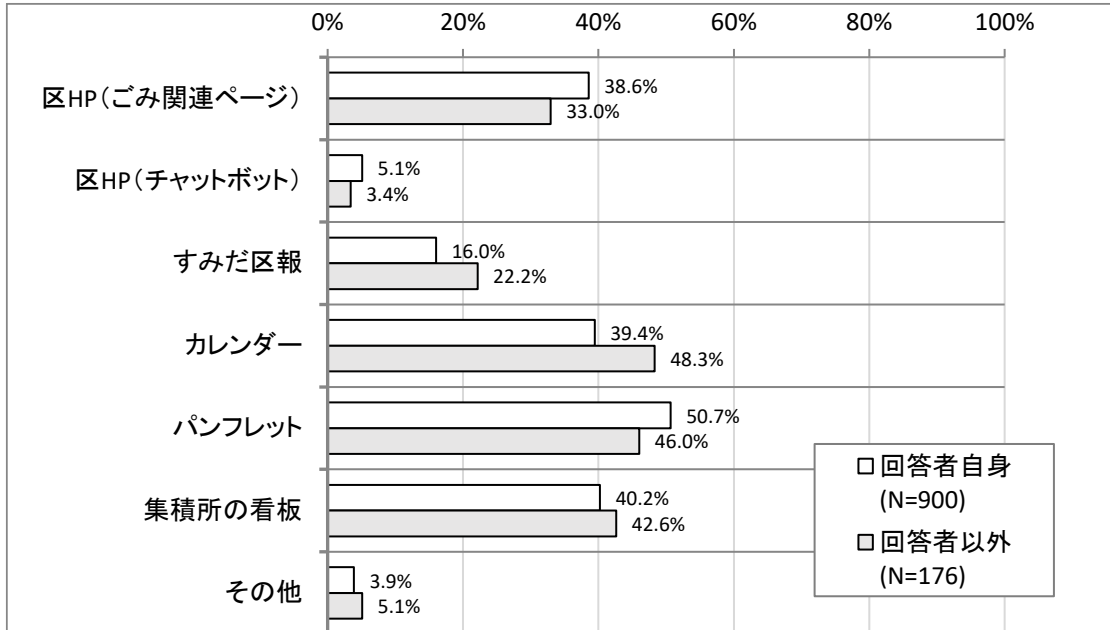
(6)問 1(3) 資源・ごみの分け方・出し方に関する情報源

①問 1(3) 資源・ごみの分け方・出し方に関する情報源（クロス集計表）

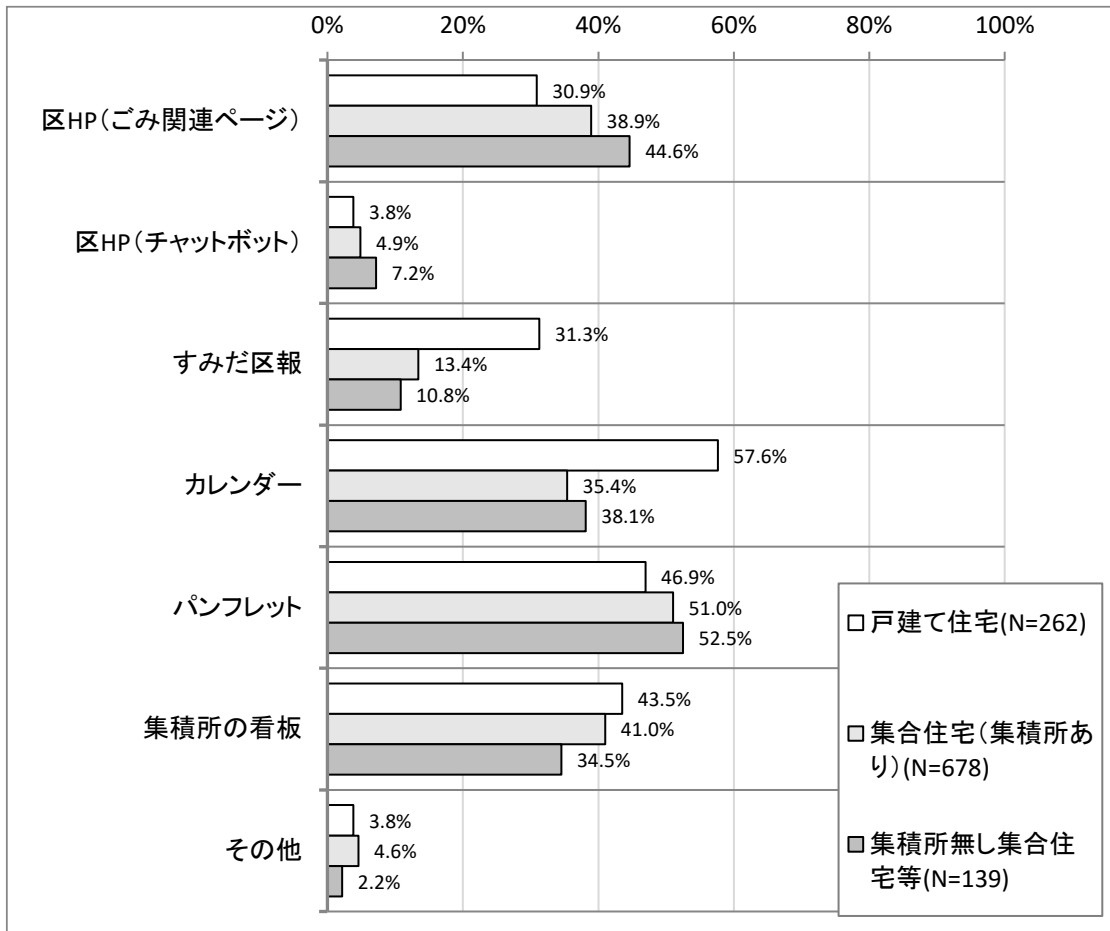
		回答数	問1(3) 資源・ごみの分け方・出し方に関する情報源						
			区HP(ごみ関連ページ)	区HP(チャットポット)	すみだ区報	カレンダー	パンフレット	集積所の看板	その他
全体		1091 (100%)	412 (37.8%)	53 (4.9%)	188 (17.2%)	446 (40.9%)	546 (50.0%)	442 (40.5%)	46 (4.2%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	347 (38.6%)	46 (5.1%)	144 (16.0%)	355 (39.4%)	456 (50.7%)	362 (40.2%)	35 (3.9%)
	回答者以外	176 (100%)	58 (33.0%)	6 (3.4%)	39 (22.2%)	85 (48.3%)	81 (46.0%)	75 (42.6%)	9 (5.1%)
年齢	20代	106 (100%)	54 (50.9%)	8 (7.5%)	3 (2.8%)	29 (27.4%)	36 (34.0%)	36 (34.0%)	6 (5.7%)
	30代	210 (100%)	116 (55.2%)	25 (11.9%)	7 (3.3%)	75 (35.7%)	94 (44.8%)	93 (44.3%)	8 (3.8%)
	40代	229 (100%)	97 (42.4%)	12 (5.2%)	23 (10.0%)	88 (38.4%)	116 (50.7%)	95 (41.5%)	8 (3.5%)
	50代	224 (100%)	86 (38.4%)	5 (2.2%)	48 (21.4%)	99 (44.2%)	119 (53.1%)	84 (37.5%)	8 (3.6%)
	60代	148 (100%)	28 (18.9%)	0 (0.0%)	42 (28.4%)	70 (47.3%)	80 (54.1%)	63 (42.6%)	9 (6.1%)
	70代以上	170 (100%)	31 (18.2%)	3 (1.8%)	64 (37.6%)	83 (48.8%)	98 (57.6%)	68 (40.0%)	7 (4.1%)
世帯人数	1人	323 (100%)	134 (41.5%)	19 (5.9%)	33 (10.2%)	113 (35.0%)	159 (49.2%)	111 (34.4%)	13 (4.0%)
	2人	404 (100%)	146 (36.1%)	17 (4.2%)	88 (21.8%)	173 (42.8%)	208 (51.5%)	164 (40.6%)	17 (4.2%)
	3人	226 (100%)	86 (38.1%)	13 (5.8%)	42 (18.6%)	101 (44.7%)	109 (48.2%)	103 (45.6%)	9 (4.0%)
	4人	94 (100%)	33 (35.1%)	4 (4.3%)	15 (16.0%)	35 (37.2%)	55 (58.5%)	41 (43.6%)	4 (4.3%)
	5人以上	118 (100%)	61 (51.7%)	3 (2.5%)	8 (6.8%)	39 (33.1%)	47 (39.8%)	54 (45.8%)	5 (4.2%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	49 (54.4%)	3 (3.3%)	2 (2.2%)	24 (26.7%)	37 (41.1%)	39 (43.3%)	3 (3.3%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	83 (56.8%)	16 (11.0%)	12 (8.2%)	48 (32.9%)	60 (41.1%)	54 (37.0%)	3 (2.1%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	58 (40.6%)	6 (4.2%)	19 (13.3%)	60 (42.0%)	72 (50.3%)	53 (37.1%)	7 (4.9%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	108 (23.3%)	11 (2.4%)	131 (28.2%)	221 (47.6%)	253 (54.5%)	195 (42.0%)	26 (5.6%)
	20年以上	6 (100%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)
	住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	81 (30.9%)	10 (3.8%)	82 (31.3%)	151 (57.6%)	123 (46.9%)	114 (43.5%)
集合住宅(集積所有)		678 (100%)	264 (38.9%)	33 (4.9%)	91 (13.4%)	240 (35.4%)	346 (51.0%)	278 (41.0%)	31 (4.6%)
集積所無し集合住宅等		139 (100%)	62 (44.6%)	10 (7.2%)	15 (10.8%)	53 (38.1%)	73 (52.5%)	48 (34.5%)	3 (2.2%)

②問 1(3) 資源・ごみの分け方・出し方に関する情報源（クロス集計グラフ抜粋）

(ごみ出し担当かどうか)



(住居形態別)

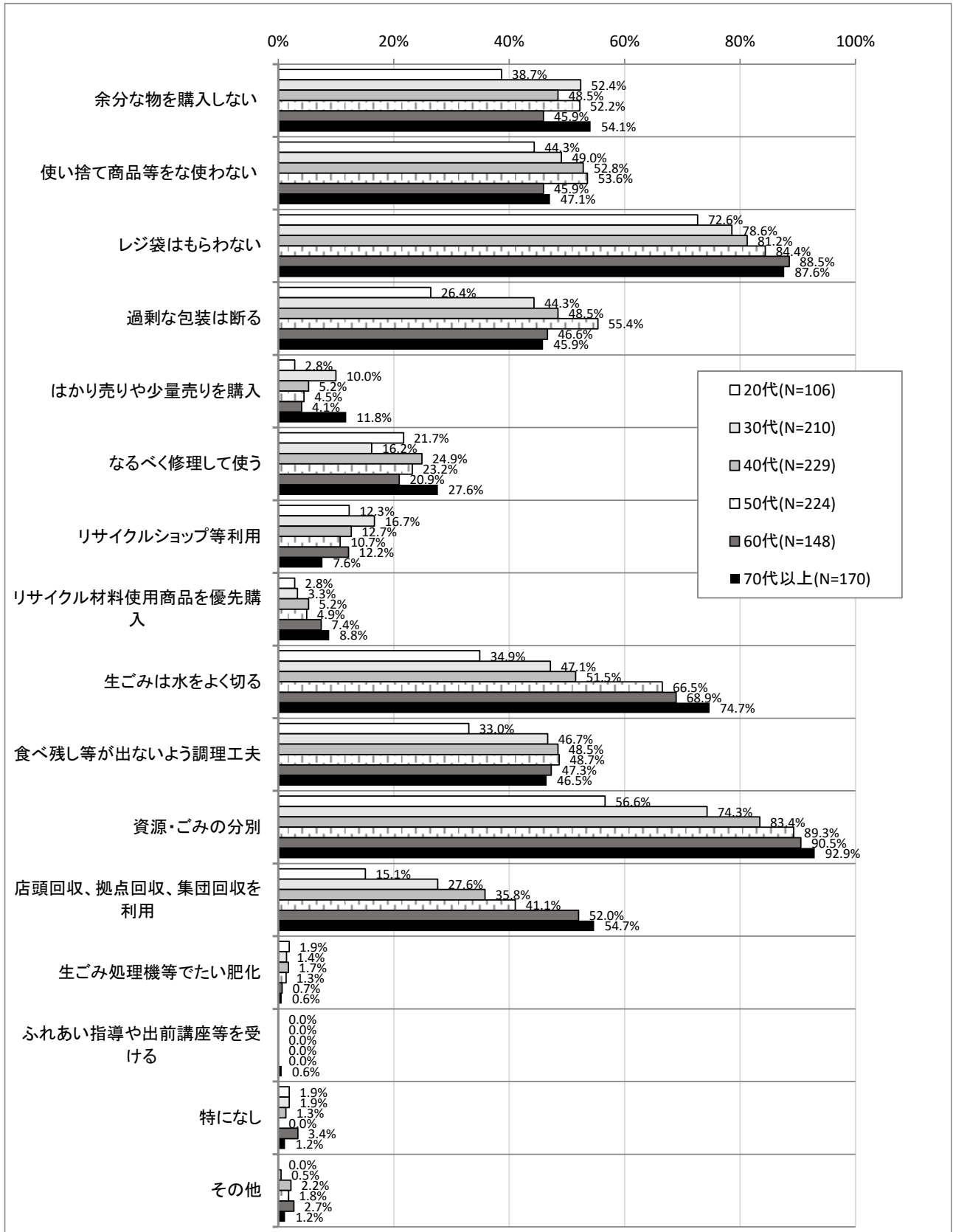


(7)問 1(4) 日頃から心がけていること

①問 1(4) 日頃から心がけていること (クロス集計表)

回答者	問1(4) 日頃から心がけていること											その他				
	余分な物をな るべく購入 ない	使い捨ての 容器や商品 をなるべく使 わない	レジ袋はでき るだけかわら ない	過剰な包装 は断る	はかり売りや 少量売りの 商品を買う	故障してもな るべく修理し て使う	リサイクル ショップや リマーケット を積極的に 利用	リサイクル材 料を使用した 商品を購入 して購入	生ごみを水 よく切って出 す	食べ残しやご みが出ないよ うに工夫	資源物とごみ の分別をして いる		店頭回収、 集点回収を 利用している	生ごみを生ご み処理機等 でたい肥にし ている	ふれあい指導 や出前講座 等を受ける	特になし
全体	1091 (100%)	542 (49.7%)	541 (49.6%)	901 (82.6%)	505 (46.3%)	73 (6.7%)	245 (22.5%)	132 (12.1%)	59 (5.4%)	635 (58.2%)	504 (46.2%)	903 (82.2%)	421 (38.6%)	14 (1.3%)	421 (38.6%)	16 (1.5%)
ごみ出 し担当	900 (100%)	461 (51.2%)	453 (50.3%)	738 (82.0%)	423 (47.0%)	58 (6.4%)	199 (22.1%)	104 (11.6%)	51 (5.7%)	522 (58.0%)	424 (47.1%)	749 (83.2%)	347 (38.6%)	8 (0.9%)	347 (38.6%)	12 (1.3%)
回答者以外	176 (100%)	74 (42.0%)	80 (45.5%)	149 (84.7%)	75 (42.6%)	12 (6.8%)	42 (23.9%)	27 (15.3%)	6 (3.4%)	104 (59.1%)	71 (40.3%)	139 (79.0%)	67 (38.1%)	5 (2.8%)	67 (38.1%)	3 (1.7%)
20代	106 (100%)	41 (38.7%)	47 (44.3%)	77 (72.6%)	28 (26.4%)	3 (2.8%)	23 (21.7%)	13 (12.3%)	3 (2.8%)	37 (34.9%)	35 (33.0%)	60 (56.6%)	16 (15.1%)	2 (1.9%)	16 (15.1%)	2 (2.0%)
30代	210 (100%)	110 (52.4%)	103 (49.0%)	165 (78.6%)	93 (44.3%)	21 (10.0%)	34 (16.2%)	35 (16.7%)	7 (3.3%)	99 (47.1%)	98 (46.7%)	156 (74.3%)	58 (27.6%)	3 (1.4%)	58 (27.6%)	4 (1.9%)
40代	229 (100%)	111 (48.5%)	121 (52.8%)	186 (81.2%)	111 (48.5%)	12 (5.2%)	57 (24.9%)	29 (12.7%)	12 (5.2%)	118 (51.5%)	111 (48.5%)	191 (83.4%)	82 (35.8%)	4 (1.7%)	82 (35.8%)	3 (1.3%)
50代	224 (100%)	117 (52.2%)	120 (53.6%)	189 (84.4%)	124 (55.4%)	10 (4.5%)	52 (23.2%)	24 (10.7%)	11 (4.9%)	149 (66.5%)	109 (48.7%)	200 (89.3%)	92 (41.1%)	3 (1.3%)	92 (41.1%)	0 (0.0%)
60代	148 (100%)	68 (45.9%)	68 (45.9%)	131 (88.5%)	69 (46.6%)	6 (4.1%)	31 (20.9%)	18 (12.2%)	11 (7.4%)	102 (68.9%)	70 (47.3%)	134 (90.5%)	77 (52.0%)	1 (0.7%)	77 (52.0%)	5 (3.4%)
70代以上	170 (100%)	92 (54.1%)	80 (47.1%)	149 (87.6%)	78 (45.9%)	20 (11.8%)	47 (27.6%)	13 (7.6%)	15 (8.8%)	127 (74.7%)	79 (46.5%)	158 (92.9%)	93 (54.7%)	1 (0.6%)	93 (54.7%)	2 (1.2%)
1人	323 (100%)	158 (48.9%)	147 (45.5%)	249 (77.1%)	132 (40.9%)	19 (5.9%)	68 (21.1%)	31 (9.6%)	22 (6.8%)	157 (48.6%)	140 (43.3%)	254 (78.6%)	93 (28.8%)	1 (0.3%)	93 (28.8%)	6 (1.9%)
2人	404 (100%)	202 (50.0%)	202 (50.0%)	341 (84.4%)	191 (47.3%)	34 (8.4%)	83 (20.5%)	50 (12.4%)	20 (5.0%)	252 (62.4%)	188 (46.5%)	336 (83.2%)	167 (41.3%)	8 (2.0%)	167 (41.3%)	6 (1.7%)
3人	226 (100%)	114 (50.4%)	111 (49.1%)	187 (82.7%)	107 (47.3%)	15 (6.6%)	50 (22.1%)	29 (12.8%)	11 (4.9%)	137 (60.6%)	101 (44.7%)	193 (85.4%)	100 (44.2%)	3 (1.3%)	100 (44.2%)	2 (0.9%)
4人	94 (100%)	48 (51.1%)	55 (58.5%)	83 (88.3%)	54 (57.4%)	4 (4.3%)	28 (29.8%)	15 (16.0%)	4 (4.3%)	58 (61.7%)	52 (55.3%)	83 (88.3%)	45 (47.9%)	2 (2.1%)	45 (47.9%)	1 (1.1%)
5人以上	118 (100%)	54 (45.8%)	57 (48.3%)	100 (84.7%)	48 (40.7%)	3 (2.5%)	28 (23.7%)	20 (16.9%)	5 (4.2%)	57 (48.3%)	52 (44.1%)	87 (73.7%)	24 (20.3%)	0 (0.0%)	24 (20.3%)	3 (2.5%)
1年未満	90 (100%)	43 (47.8%)	42 (46.7%)	75 (83.3%)	37 (41.1%)	3 (3.3%)	17 (18.9%)	16 (17.8%)	4 (4.4%)	38 (42.2%)	40 (44.4%)	64 (71.1%)	15 (16.7%)	0 (0.0%)	15 (16.7%)	0 (0.0%)
1年以上3 年未満	146 (100%)	75 (51.4%)	77 (52.7%)	115 (78.8%)	69 (47.3%)	15 (10.3%)	29 (19.9%)	20 (13.7%)	8 (5.5%)	64 (43.8%)	67 (45.9%)	97 (66.4%)	33 (22.6%)	2 (1.4%)	33 (22.6%)	1 (0.7%)
3年以上10 年未満	143 (100%)	68 (47.6%)	66 (46.2%)	122 (85.3%)	55 (38.5%)	10 (7.0%)	31 (21.7%)	18 (12.6%)	2 (1.4%)	86 (60.1%)	73 (51.0%)	121 (84.6%)	54 (37.8%)	4 (2.8%)	54 (37.8%)	0 (0.0%)
10年以上 20年未満	464 (100%)	227 (49.1%)	231 (49.8%)	400 (86.2%)	217 (46.8%)	29 (6.3%)	112 (24.1%)	43 (9.3%)	31 (6.7%)	313 (67.5%)	215 (46.3%)	426 (91.8%)	248 (53.4%)	4 (0.9%)	248 (53.4%)	6 (1.3%)
20年以上	6 (100%)	4 (66.7%)	3 (50.0%)	6 (100.0%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (83.3%)	3 (50.0%)	6 (100.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)
戸建て住宅	262 (100%)	144 (55.0%)	128 (48.9%)	226 (86.3%)	136 (51.9%)	14 (5.3%)	75 (28.6%)	23 (8.8%)	9 (3.4%)	177 (67.6%)	141 (53.8%)	233 (88.9%)	147 (56.1%)	3 (1.1%)	147 (56.1%)	5 (1.9%)
集合住宅 (業務所等)	678 (100%)	327 (48.2%)	339 (50.0%)	558 (82.3%)	308 (45.4%)	50 (7.4%)	143 (21.1%)	93 (13.7%)	42 (6.2%)	392 (57.8%)	307 (45.3%)	552 (81.4%)	231 (34.1%)	10 (1.5%)	231 (34.1%)	6 (0.9%)
単身所無し集 合住宅等	139 (100%)	67 (48.2%)	66 (47.5%)	108 (77.7%)	58 (41.7%)	8 (5.8%)	23 (16.5%)	16 (11.5%)	8 (5.8%)	59 (42.4%)	53 (38.1%)	110 (79.1%)	41 (29.5%)	1 (0.7%)	41 (29.5%)	4 (2.9%)

②問 1(4) 日頃から心がけていること (クロス集計グラフ 年齢別抜粋)

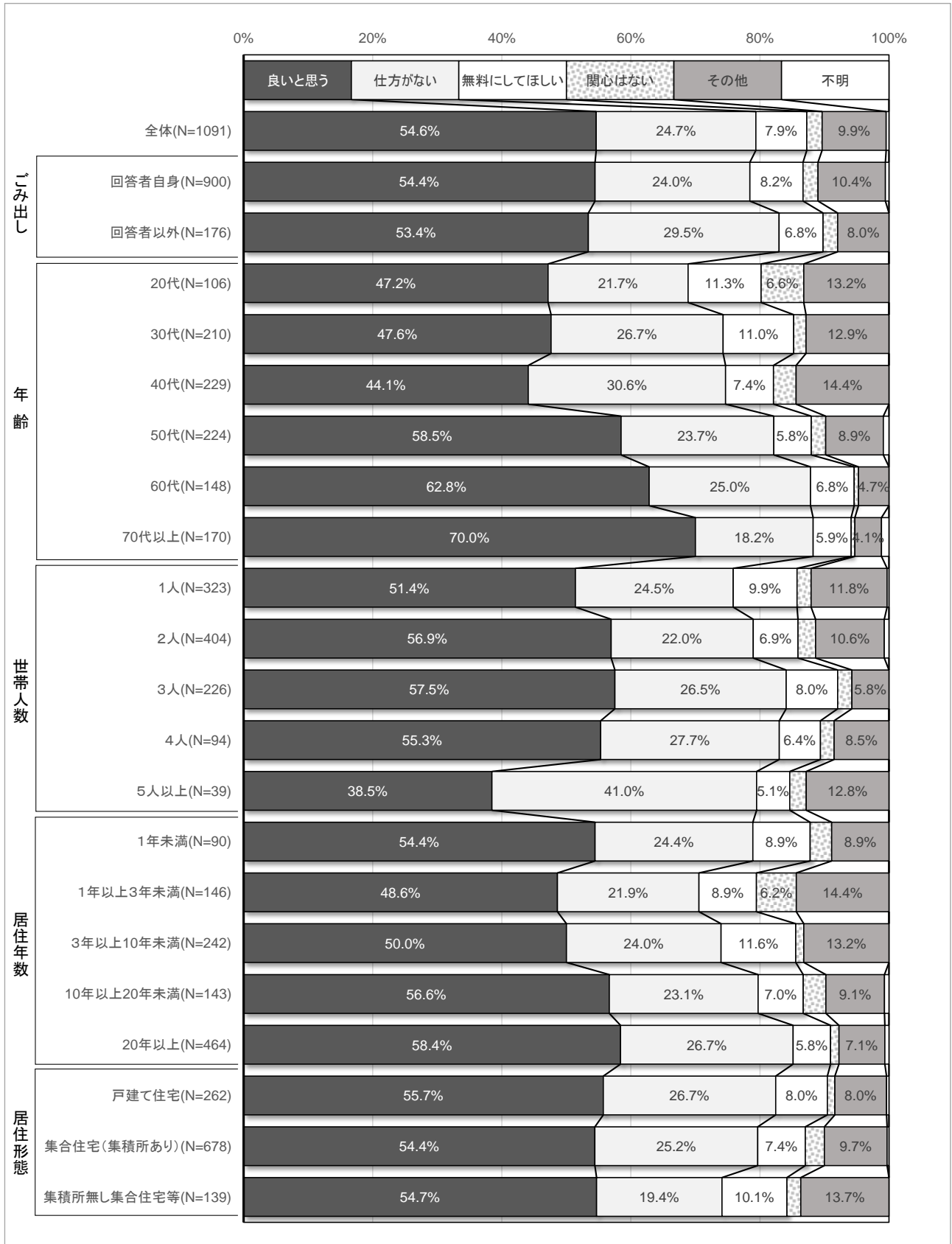


(8)問 1(5) レジ袋有料化に対する考え

①問 1(5) レジ袋有料化に対する考え（クロス集計表）

		合計	問1(5) レジ袋有料化に対する考え					不明
			環境を守るためには良いことだと思う	不便だが仕方がないと思う	不便なので無料にしてほしいと思う	自分には特に影響はなく、関心はない	その他	
全体		1091 (100%)	596 (54.6%)	270 (24.7%)	86 (7.9%)	26 (2.4%)	108 (9.9%)	5 (0.5%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	490 (54.4%)	216 (24.0%)	74 (8.2%)	21 (2.3%)	94 (10.4%)	5 (0.6%)
	回答者以外	176 (100%)	94 (53.4%)	52 (29.5%)	12 (6.8%)	4 (2.3%)	14 (8.0%)	0 (0.0%)
年齢	20代	106 (100%)	50 (47.2%)	23 (21.7%)	12 (11.3%)	7 (6.6%)	14 (13.2%)	0 (0.0%)
	30代	210 (100%)	100 (47.6%)	56 (26.7%)	23 (11.0%)	4 (1.9%)	27 (12.9%)	0 (0.0%)
	40代	229 (100%)	101 (44.1%)	70 (30.6%)	17 (7.4%)	8 (3.5%)	33 (14.4%)	0 (0.0%)
	50代	224 (100%)	131 (58.5%)	53 (23.7%)	13 (5.8%)	5 (2.2%)	20 (8.9%)	2 (0.9%)
	60代	148 (100%)	93 (62.8%)	37 (25.0%)	10 (6.8%)	1 (0.7%)	7 (4.7%)	0 (0.0%)
	70代以上	170 (100%)	119 (70.0%)	31 (18.2%)	10 (5.9%)	1 (0.6%)	7 (4.1%)	2 (1.2%)
世帯人数	1人	323 (100%)	166 (51.4%)	79 (24.5%)	32 (9.9%)	7 (2.2%)	38 (11.8%)	1 (0.3%)
	2人	404 (100%)	230 (56.9%)	89 (22.0%)	28 (6.9%)	11 (2.7%)	43 (10.6%)	3 (0.7%)
	3人	226 (100%)	130 (57.5%)	60 (26.5%)	18 (8.0%)	5 (2.2%)	13 (5.8%)	0 (0.0%)
	4人	94 (100%)	52 (55.3%)	26 (27.7%)	6 (6.4%)	2 (2.1%)	8 (8.5%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	60 (50.8%)	31 (26.3%)	10 (8.5%)	4 (3.4%)	13 (11.0%)	0 (0.0%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	49 (54.4%)	22 (24.4%)	8 (8.9%)	3 (3.3%)	8 (8.9%)	0 (0.0%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	71 (48.6%)	32 (21.9%)	13 (8.9%)	9 (6.2%)	21 (14.4%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	81 (56.6%)	33 (23.1%)	10 (7.0%)	5 (3.5%)	13 (9.1%)	1 (0.7%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	271 (58.4%)	124 (26.7%)	27 (5.8%)	6 (1.3%)	33 (7.1%)	3 (0.6%)
	20年以上	6 (100%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	146 (55.7%)	70 (26.7%)	21 (8.0%)	3 (1.1%)	21 (8.0%)	1 (0.4%)
	集合住宅(集積所有)	678 (100%)	369 (54.4%)	171 (25.2%)	50 (7.4%)	20 (2.9%)	66 (9.7%)	2 (0.3%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	76 (54.7%)	27 (19.4%)	14 (10.1%)	3 (2.2%)	19 (13.7%)	0 (0.0%)

②問 1(5) レジ袋有料化に対する考え (クロス集計グラフ)

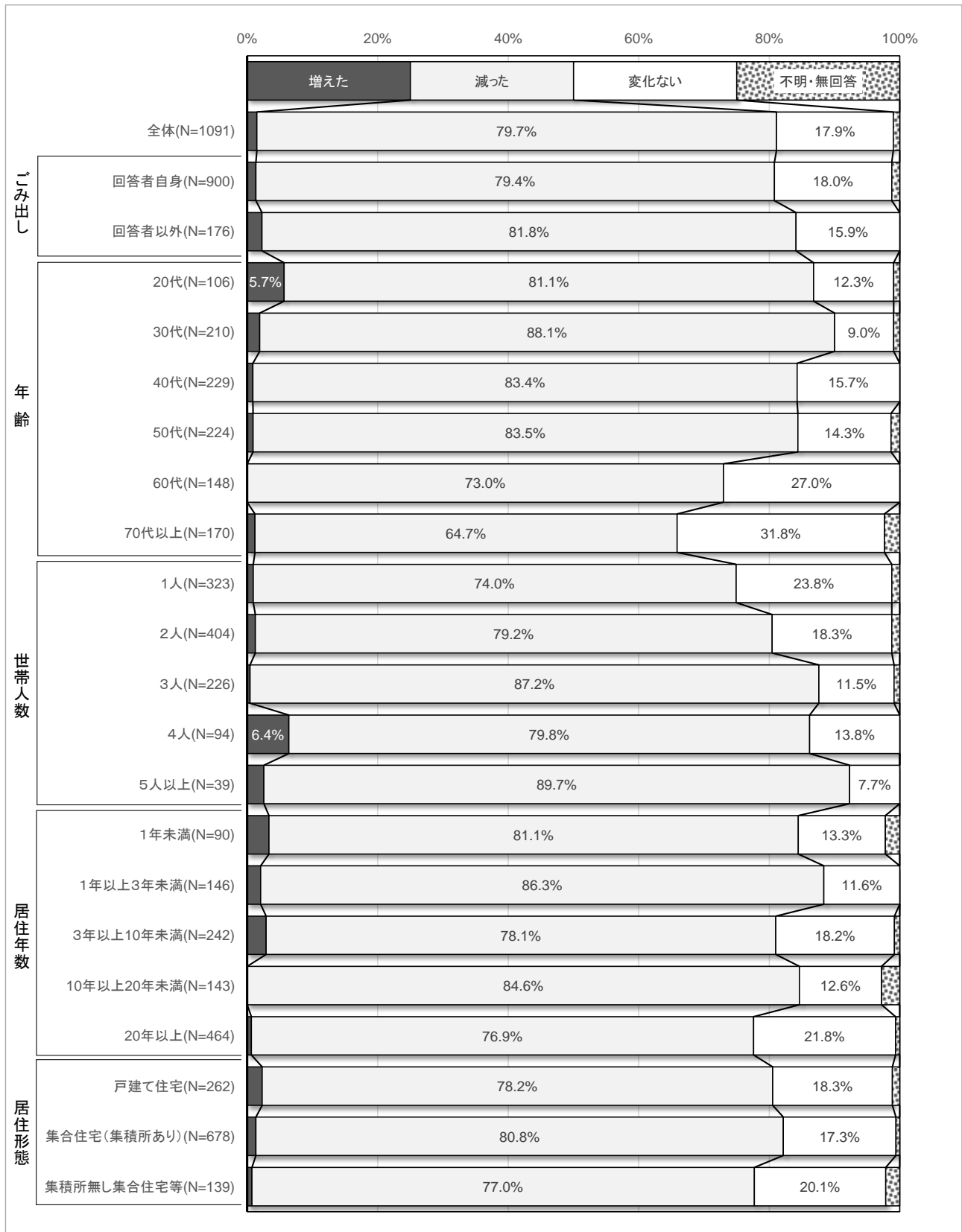


(9)問 2(1) コロナ禍による変化：外食の回数

①問 2(1) コロナ禍による変化：外食の回数（クロス集計表）

		合計	問2(1) 外食の回数			
			増えた	減った	変化ない	不明・無回答
全体		1091 (100%)	16 (1.5%)	869 (79.7%)	195 (17.9%)	11 (1.0%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	12 (1.3%)	715 (79.4%)	162 (18.0%)	11 (1.2%)
	回答者以外	176 (100%)	4 (2.3%)	144 (81.8%)	28 (15.9%)	0 (0.0%)
年齢	20代	106 (100%)	6 (5.7%)	86 (81.1%)	13 (12.3%)	1 (0.9%)
	30代	210 (100%)	4 (1.9%)	185 (88.1%)	19 (9.0%)	2 (1.0%)
	40代	229 (100%)	2 (0.9%)	191 (83.4%)	36 (15.7%)	0 (0.0%)
	50代	224 (100%)	2 (0.9%)	187 (83.5%)	32 (14.3%)	3 (1.3%)
	60代	148 (100%)	0 (0.0%)	108 (73.0%)	40 (27.0%)	0 (0.0%)
	70代以上	170 (100%)	2 (1.2%)	110 (64.7%)	54 (31.8%)	4 (2.4%)
世帯人数	1人	323 (100%)	3 (0.9%)	239 (74.0%)	77 (23.8%)	4 (1.2%)
	2人	404 (100%)	5 (1.2%)	320 (79.2%)	74 (18.3%)	5 (1.2%)
	3人	226 (100%)	1 (0.4%)	197 (87.2%)	26 (11.5%)	2 (0.9%)
	4人	94 (100%)	6 (6.4%)	75 (79.8%)	13 (13.8%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	4 (3.4%)	98 (83.1%)	14 (11.9%)	2 (1.7%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	3 (3.3%)	73 (81.1%)	12 (13.3%)	2 (2.2%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	3 (2.1%)	126 (86.3%)	17 (11.6%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	0 (0.0%)	121 (84.6%)	18 (12.6%)	4 (2.8%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	3 (0.6%)	357 (76.9%)	101 (21.8%)	3 (0.6%)
	20年以上	6 (100%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	6 (2.3%)	205 (78.2%)	48 (18.3%)	3 (1.1%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	9 (1.3%)	548 (80.8%)	117 (17.3%)	4 (0.6%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	1 (0.7%)	107 (77.0%)	28 (20.1%)	3 (2.2%)

②問 2(1) コロナ禍による変化：外食の回数（クロス集計グラフ）

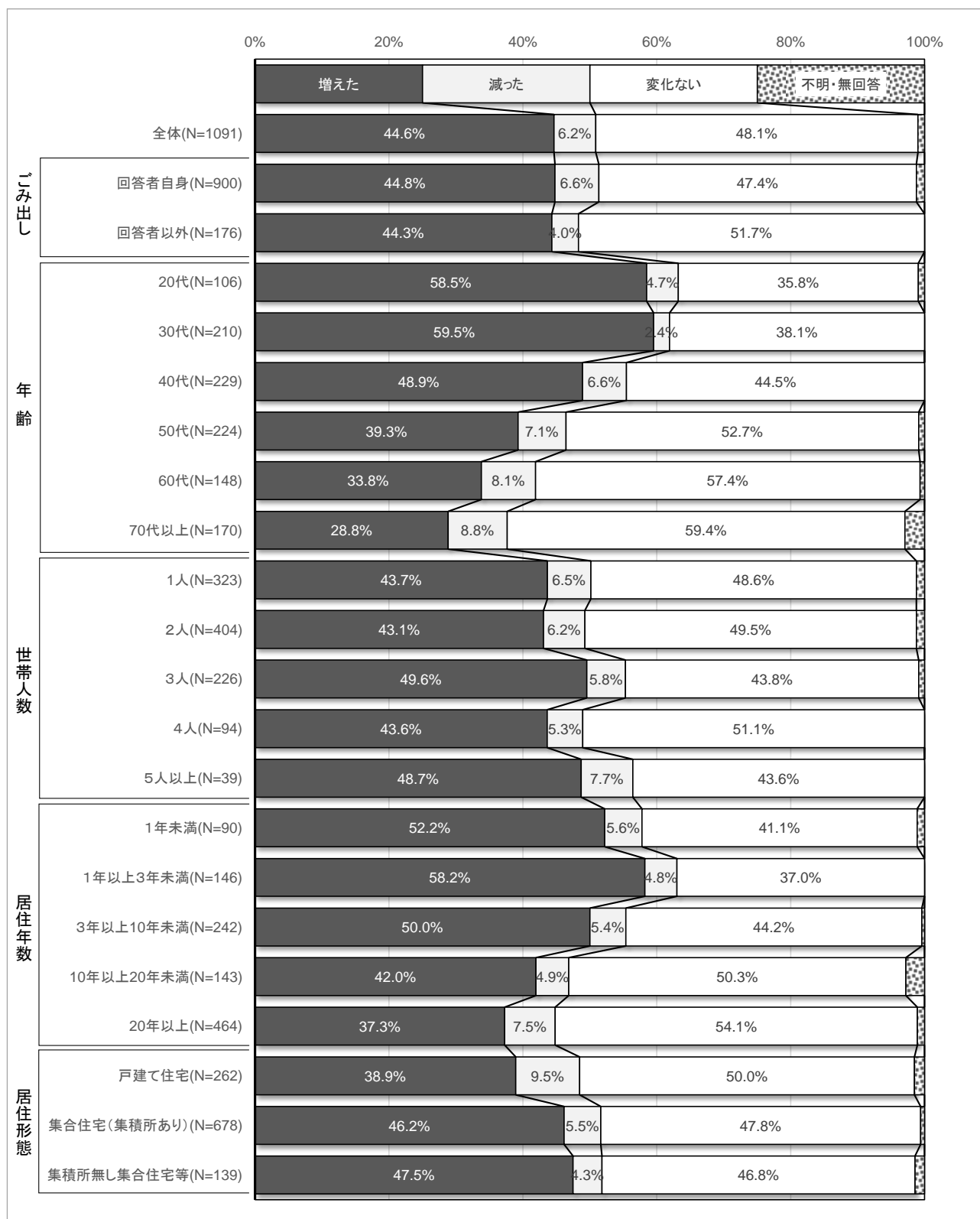


(10)問 2(1) コロナ禍による変化：持ち帰り・テイクアウト

①問 2(1) コロナ禍による変化：持ち帰り・テイクアウト（クロス集計表）

		合計	問2(1) 持ち帰り・テイクアウト			
			増えた	減った	変化ない	不明・無回答
全体		1091 (100%)	487 (44.6%)	68 (6.2%)	525 (48.1%)	11 (1.0%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	403 (44.8%)	59 (6.6%)	427 (47.4%)	11 (1.2%)
	回答者以外	176 (100%)	78 (44.3%)	7 (4.0%)	91 (51.7%)	0 (0.0%)
年齢	20代	106 (100%)	62 (58.5%)	5 (4.7%)	38 (35.8%)	1 (0.9%)
	30代	210 (100%)	125 (59.5%)	5 (2.4%)	80 (38.1%)	0 (0.0%)
	40代	229 (100%)	112 (48.9%)	15 (6.6%)	102 (44.5%)	0 (0.0%)
	50代	224 (100%)	88 (39.3%)	16 (7.1%)	118 (52.7%)	2 (0.9%)
	60代	148 (100%)	50 (33.8%)	12 (8.1%)	85 (57.4%)	1 (0.7%)
	70代以上	170 (100%)	49 (28.8%)	15 (8.8%)	101 (59.4%)	5 (2.9%)
世帯人数	1人	323 (100%)	141 (43.7%)	21 (6.5%)	157 (48.6%)	4 (1.2%)
	2人	404 (100%)	174 (43.1%)	25 (6.2%)	200 (49.5%)	5 (1.2%)
	3人	226 (100%)	112 (49.6%)	13 (5.8%)	99 (43.8%)	2 (0.9%)
	4人	94 (100%)	41 (43.6%)	5 (5.3%)	48 (51.1%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	63 (53.4%)	6 (5.1%)	48 (40.7%)	1 (0.8%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	47 (52.2%)	5 (5.6%)	37 (41.1%)	1 (1.1%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	85 (58.2%)	7 (4.8%)	54 (37.0%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	60 (42.0%)	7 (4.9%)	72 (50.3%)	4 (2.8%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	173 (37.3%)	35 (7.5%)	251 (54.1%)	5 (1.1%)
	20年以上	6 (100%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	102 (38.9%)	25 (9.5%)	131 (50.0%)	4 (1.5%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	313 (46.2%)	37 (5.5%)	324 (47.8%)	4 (0.6%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	66 (47.5%)	6 (4.3%)	65 (46.8%)	2 (1.4%)

②問 2(1) コロナ禍による変化：持ち帰り・テイクアウト（クロス集計グラフ）

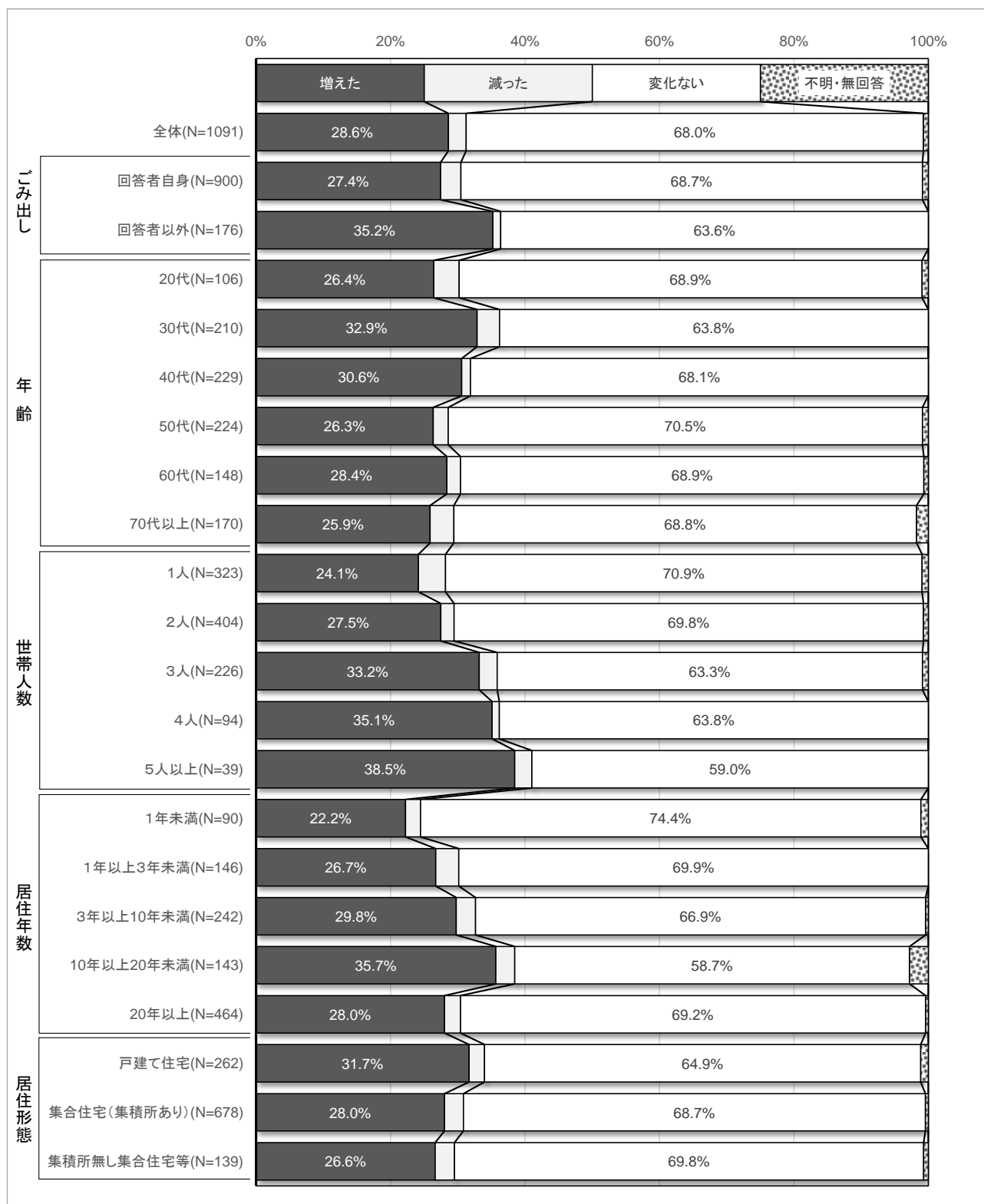


(11)問 2(1) コロナ禍による変化：個包装食品の選択

①問 2(1) コロナ禍による変化：個包装食品の選択（クロス集計表）

		合計	問2(1) 個包装食品の選択			
			増えた	減った	変化ない	不明・無回答
全体		1091 (100%)	312 (28.6%)	29 (2.7%)	742 (68.0%)	8 (0.7%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	247 (27.4%)	27 (3.0%)	618 (68.7%)	8 (0.9%)
	回答者以外	176 (100%)	62 (35.2%)	2 (1.1%)	112 (63.6%)	0 (0.0%)
年齢	20代	106 (100%)	28 (26.4%)	4 (3.8%)	73 (68.9%)	1 (0.9%)
	30代	210 (100%)	69 (32.9%)	7 (3.3%)	134 (63.8%)	0 (0.0%)
	40代	229 (100%)	70 (30.6%)	3 (1.3%)	156 (68.1%)	0 (0.0%)
	50代	224 (100%)	59 (26.3%)	5 (2.2%)	158 (70.5%)	2 (0.9%)
	60代	148 (100%)	42 (28.4%)	3 (2.0%)	102 (68.9%)	1 (0.7%)
	70代以上	170 (100%)	44 (25.9%)	6 (3.5%)	117 (68.8%)	3 (1.8%)
世帯人数	1人	323 (100%)	78 (24.1%)	13 (4.0%)	229 (70.9%)	3 (0.9%)
	2人	404 (100%)	111 (27.5%)	8 (2.0%)	282 (69.8%)	3 (0.7%)
	3人	226 (100%)	75 (33.2%)	6 (2.7%)	143 (63.3%)	2 (0.9%)
	4人	94 (100%)	33 (35.1%)	1 (1.1%)	60 (63.8%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	30 (25.4%)	3 (2.5%)	84 (71.2%)	1 (0.8%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	20 (22.2%)	2 (2.2%)	67 (74.4%)	1 (1.1%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	39 (26.7%)	5 (3.4%)	102 (69.9%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	51 (35.7%)	4 (2.8%)	84 (58.7%)	4 (2.8%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	130 (28.0%)	11 (2.4%)	321 (69.2%)	2 (0.4%)
	20年以上	6 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	83 (31.7%)	6 (2.3%)	170 (64.9%)	3 (1.1%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	190 (28.0%)	19 (2.8%)	466 (68.7%)	3 (0.4%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	37 (26.6%)	4 (2.9%)	97 (69.8%)	1 (0.7%)

②問 2(1) コロナ禍による変化：個包装食品の選択（クロス集計グラフ）

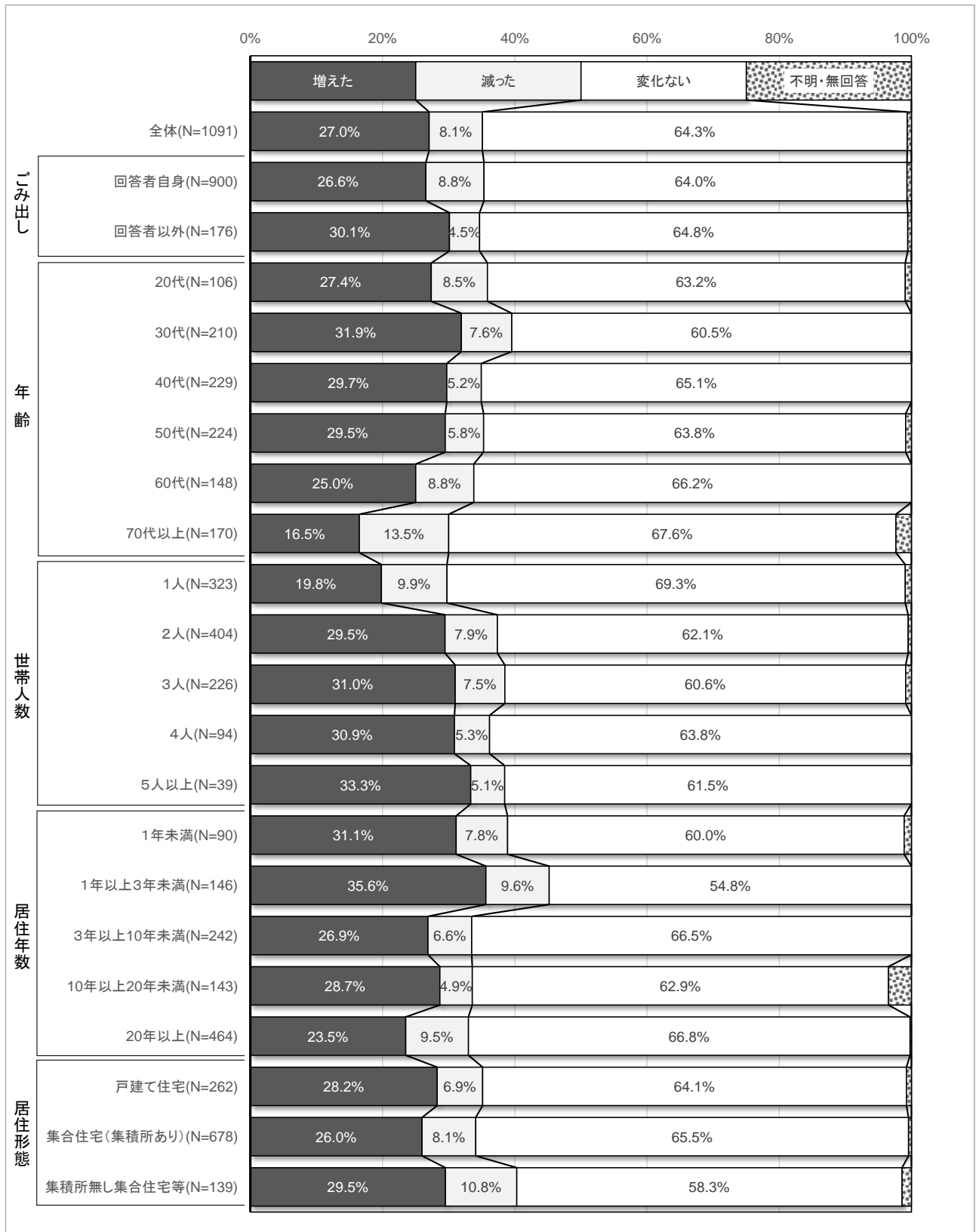


(12)問 2(1) コロナ禍による変化：ペットボトル・缶飲料の購入

①問 2(1) コロナ禍による変化：ペットボトル・缶飲料の購入（クロス集計表）

		合計	問2(1) ペットボトル・缶飲料の購入			
			増えた	減った	変化ない	不明・無回答
全体		1091 (100%)	295 (27.0%)	88 (8.1%)	701 (64.3%)	7 (0.6%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	239 (26.6%)	79 (8.8%)	576 (64.0%)	6 (0.7%)
	回答者以外	176 (100%)	53 (30.1%)	8 (4.5%)	114 (64.8%)	1 (0.6%)
年齢	20代	106 (100%)	29 (27.4%)	9 (8.5%)	67 (63.2%)	1 (0.9%)
	30代	210 (100%)	67 (31.9%)	16 (7.6%)	127 (60.5%)	0 (0.0%)
	40代	229 (100%)	68 (29.7%)	12 (5.2%)	149 (65.1%)	0 (0.0%)
	50代	224 (100%)	66 (29.5%)	13 (5.8%)	143 (63.8%)	2 (0.9%)
	60代	148 (100%)	37 (25.0%)	13 (8.8%)	98 (66.2%)	0 (0.0%)
	70代以上	170 (100%)	28 (16.5%)	23 (13.5%)	115 (67.6%)	4 (2.4%)
世帯人数	1人	323 (100%)	64 (19.8%)	32 (9.9%)	224 (69.3%)	3 (0.9%)
	2人	404 (100%)	119 (29.5%)	32 (7.9%)	251 (62.1%)	2 (0.5%)
	3人	226 (100%)	70 (31.0%)	17 (7.5%)	137 (60.6%)	2 (0.9%)
	4人	94 (100%)	29 (30.9%)	5 (5.3%)	60 (63.8%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	37 (31.4%)	9 (7.6%)	71 (60.2%)	1 (0.8%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	28 (31.1%)	7 (7.8%)	54 (60.0%)	1 (1.1%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	52 (35.6%)	14 (9.6%)	80 (54.8%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	41 (28.7%)	7 (4.9%)	90 (62.9%)	5 (3.5%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	109 (23.5%)	44 (9.5%)	310 (66.8%)	1 (0.2%)
	20年以上	6 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	6 (100.0%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	74 (28.2%)	18 (6.9%)	168 (64.1%)	2 (0.8%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	176 (26.0%)	55 (8.1%)	444 (65.5%)	3 (0.4%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	41 (29.5%)	15 (10.8%)	81 (58.3%)	2 (1.4%)

②問 2(1) コロナ禍による変化：ペットボトル・缶飲料の購入（クロス集計グラフ）

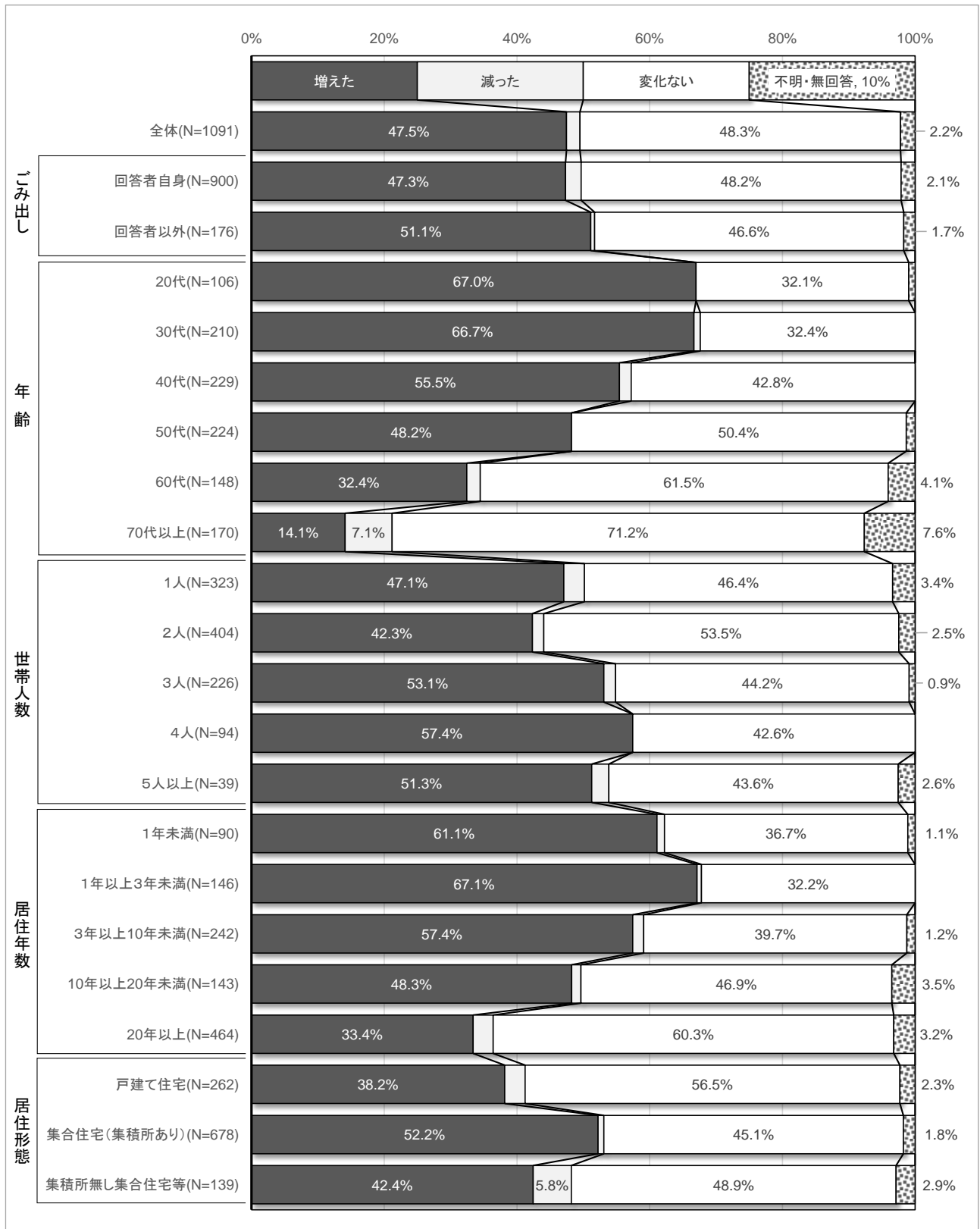


(13)問 2(1) コロナ禍による変化：ネットショップ等通信販売の利用

①問 2(1) コロナ禍による変化：ネットショップ等通信販売の利用（クロス集計表）

		合計	問2(1) ネットショップ等通信販売の利用			
			増えた	減った	変化ない	不明・無回答
全体		1091 (100%)	518 (47.5%)	22 (2.0%)	527 (48.3%)	24 (2.2%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	426 (47.3%)	21 (2.3%)	434 (48.2%)	19 (2.1%)
	回答者以外	176 (100%)	90 (51.1%)	1 (0.6%)	82 (46.6%)	3 (1.7%)
年齢	20代	106 (100%)	71 (67.0%)	0 (0.0%)	34 (32.1%)	1 (0.9%)
	30代	210 (100%)	140 (66.7%)	2 (1.0%)	68 (32.4%)	0 (0.0%)
	40代	229 (100%)	127 (55.5%)	4 (1.7%)	98 (42.8%)	0 (0.0%)
	50代	224 (100%)	108 (48.2%)	0 (0.0%)	113 (50.4%)	3 (1.3%)
	60代	148 (100%)	48 (32.4%)	3 (2.0%)	91 (61.5%)	6 (4.1%)
	70代以上	170 (100%)	24 (14.1%)	12 (7.1%)	121 (71.2%)	13 (7.6%)
世帯人数	1人	323 (100%)	152 (47.1%)	10 (3.1%)	150 (46.4%)	11 (3.4%)
	2人	404 (100%)	171 (42.3%)	7 (1.7%)	216 (53.5%)	10 (2.5%)
	3人	226 (100%)	120 (53.1%)	4 (1.8%)	100 (44.2%)	2 (0.9%)
	4人	94 (100%)	54 (57.4%)	0 (0.0%)	40 (42.6%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	68 (57.6%)	2 (1.7%)	46 (39.0%)	2 (1.7%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	55 (61.1%)	1 (1.1%)	33 (36.7%)	1 (1.1%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	98 (67.1%)	1 (0.7%)	47 (32.2%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	69 (48.3%)	2 (1.4%)	67 (46.9%)	5 (3.5%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	155 (33.4%)	14 (3.0%)	280 (60.3%)	15 (3.2%)
	20年以上	6 (100%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	100 (38.2%)	8 (3.1%)	148 (56.5%)	6 (2.3%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	354 (52.2%)	6 (0.9%)	306 (45.1%)	12 (1.8%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	59 (42.4%)	8 (5.8%)	68 (48.9%)	4 (2.9%)

②問 2(1) コロナ禍による変化：ネットショップ等通信販売の利用（クロス集計グラフ）

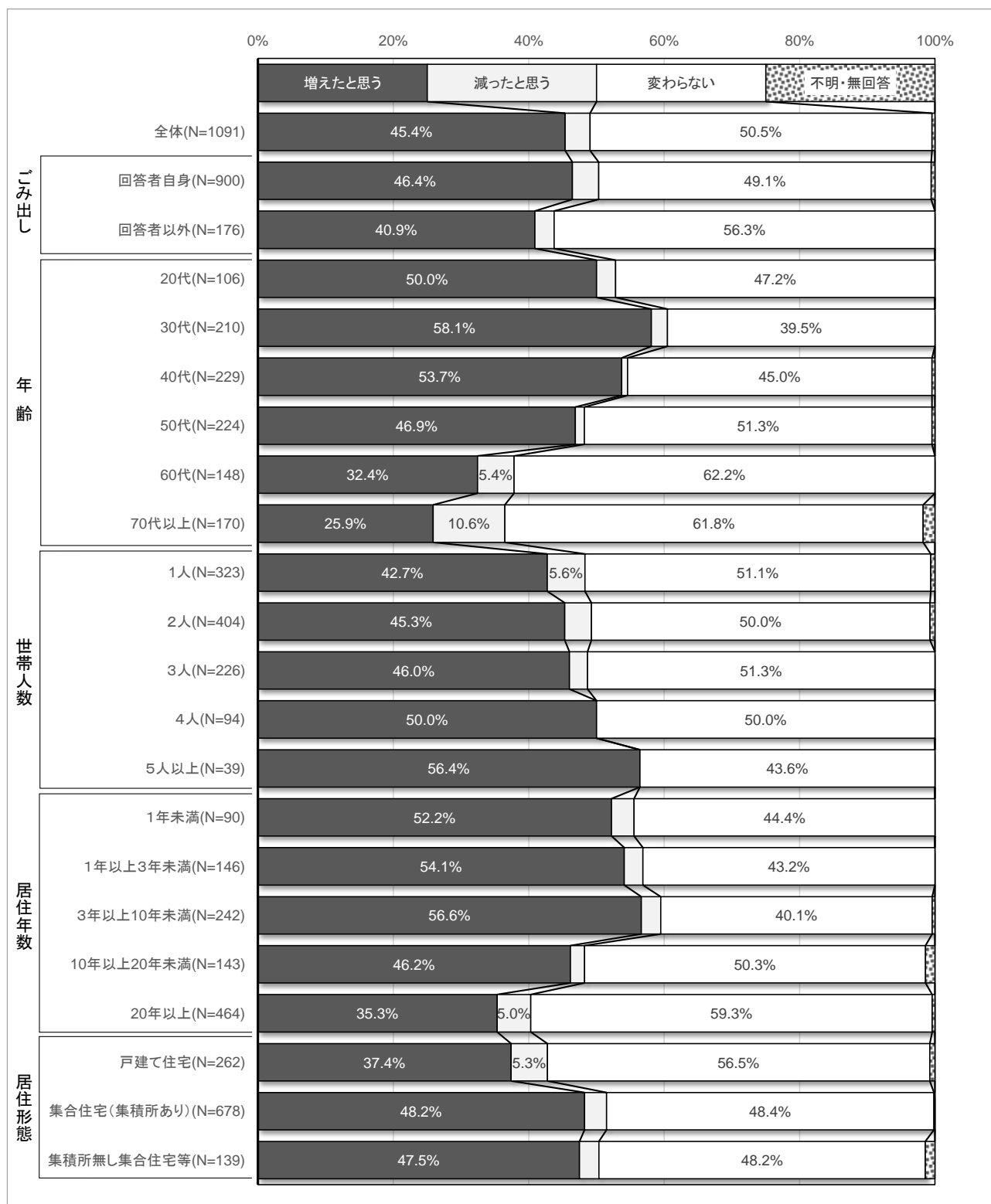


(14)問 2(2) 新型コロナ感染症拡大後のごみ・資源量の変化

①問 2(2) 新型コロナ感染症拡大後のごみ・資源量の変化（クロス集計表）

		合計	問2(2) 新型コロナ感染症拡大後のごみ・資源量の変化			
			増えたと思う	減ったと思う	変わらない	不明・無回答
全体		1091 (100%)	495 (45.4%)	40 (3.7%)	551 (50.5%)	5 (0.5%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	418 (46.4%)	35 (3.9%)	442 (49.1%)	5 (0.6%)
	回答者以外	176 (100%)	72 (40.9%)	5 (2.8%)	99 (56.3%)	0 (0.0%)
年齢	20代	106 (100%)	53 (50.0%)	3 (2.8%)	50 (47.2%)	0 (0.0%)
	30代	210 (100%)	122 (58.1%)	5 (2.4%)	83 (39.5%)	0 (0.0%)
	40代	229 (100%)	123 (53.7%)	2 (0.9%)	103 (45.0%)	1 (0.4%)
	50代	224 (100%)	105 (46.9%)	3 (1.3%)	115 (51.3%)	1 (0.4%)
	60代	148 (100%)	48 (32.4%)	8 (5.4%)	92 (62.2%)	0 (0.0%)
	70代以上	170 (100%)	44 (25.9%)	18 (10.6%)	105 (61.8%)	3 (1.8%)
世帯人数	1人	323 (100%)	138 (42.7%)	18 (5.6%)	165 (51.1%)	2 (0.6%)
	2人	404 (100%)	183 (45.3%)	16 (4.0%)	202 (50.0%)	3 (0.7%)
	3人	226 (100%)	104 (46.0%)	6 (2.7%)	116 (51.3%)	0 (0.0%)
	4人	94 (100%)	47 (50.0%)	0 (0.0%)	47 (50.0%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	64 (54.2%)	3 (2.5%)	51 (43.2%)	0 (0.0%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	47 (52.2%)	3 (3.3%)	40 (44.4%)	0 (0.0%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	79 (54.1%)	4 (2.7%)	63 (43.2%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	66 (46.2%)	3 (2.1%)	72 (50.3%)	2 (1.4%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	164 (35.3%)	23 (5.0%)	275 (59.3%)	2 (0.4%)
	20年以上	6 (100%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	98 (37.4%)	14 (5.3%)	148 (56.5%)	2 (0.8%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	327 (48.2%)	22 (3.2%)	328 (48.4%)	1 (0.1%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	66 (47.5%)	4 (2.9%)	67 (48.2%)	2 (1.4%)

②問 2(2) 新型コロナ感染症拡大後のごみ・資源量の変化（クロス集計グラフ）

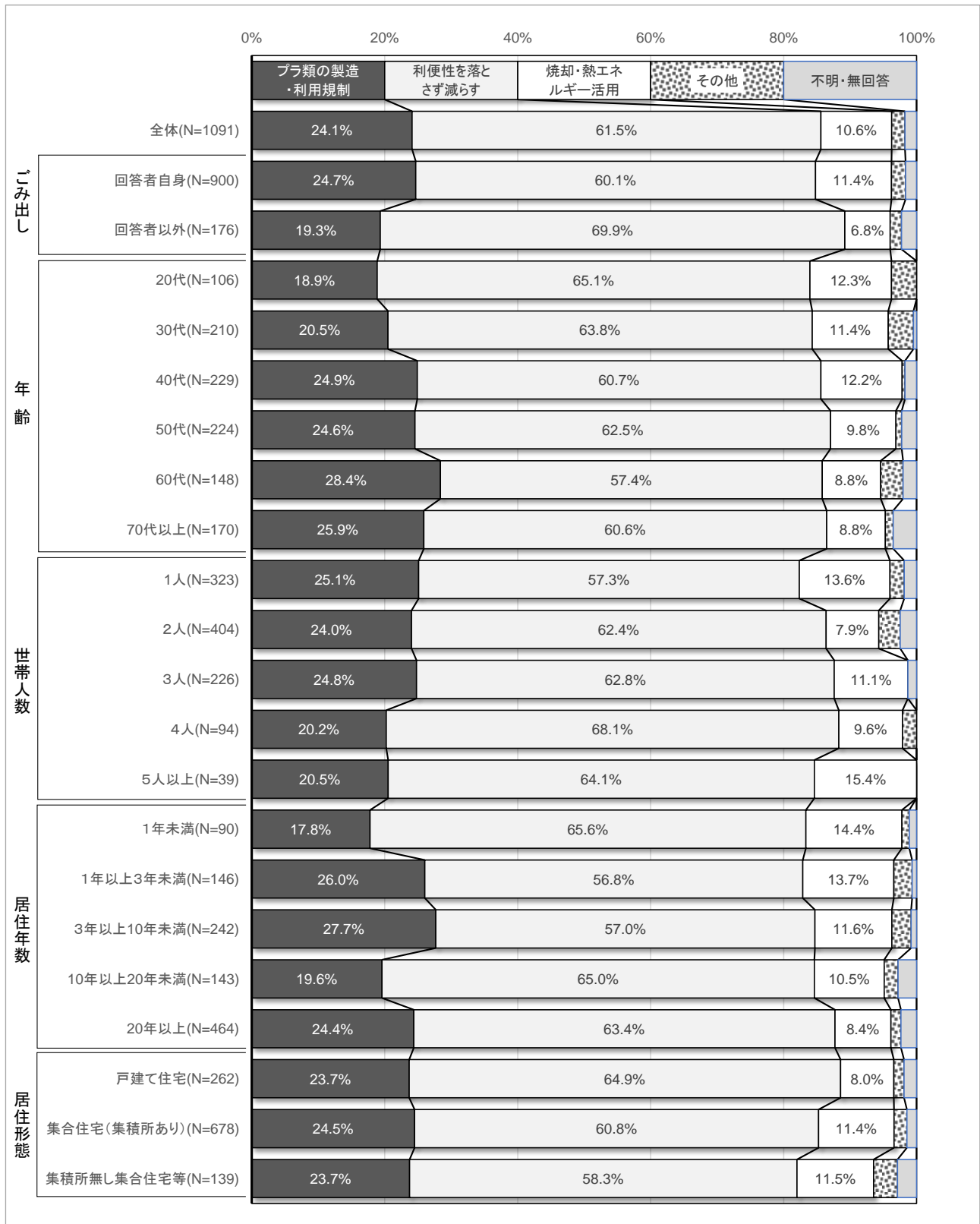


(15)問 3(1) プラスチック問題の解決について

①問 3(1) プラスチック問題の解決について (クロス集計表)

		問3(1) プラスチック問題の解決について					不明・無回答
		合計	プラ類の製造 や利用を規制 すべき	消費者の利 便性を落とさ ない範囲で減 らすべき	燃やすごみと して焼却し、 熱エネルギー を有効活用す べき	その他	
全体		1091 (100%)	263 (24.1%)	671 (61.5%)	116 (10.6%)	22 (2.0%)	19 (1.7%)
ごみ出 し担当	回答者自身	900 (100%)	222 (24.7%)	541 (60.1%)	103 (11.4%)	19 (2.1%)	15 (1.7%)
	回答者以外	176 (100%)	34 (19.3%)	123 (69.9%)	12 (6.8%)	3 (1.7%)	4 (2.3%)
年齢	20代	106 (100%)	20 (18.9%)	69 (65.1%)	13 (12.3%)	4 (3.8%)	0 (0.0%)
	30代	210 (100%)	43 (20.5%)	134 (63.8%)	24 (11.4%)	8 (3.8%)	1 (0.5%)
	40代	229 (100%)	57 (24.9%)	139 (60.7%)	28 (12.2%)	1 (0.4%)	4 (1.7%)
	50代	224 (100%)	55 (24.6%)	140 (62.5%)	22 (9.8%)	2 (0.9%)	5 (2.2%)
	60代	148 (100%)	42 (28.4%)	85 (57.4%)	13 (8.8%)	5 (3.4%)	3 (2.0%)
	70代以上	170 (100%)	44 (25.9%)	103 (60.6%)	15 (8.8%)	2 (1.2%)	6 (3.5%)
世帯 人数	1人	323 (100%)	81 (25.1%)	185 (57.3%)	44 (13.6%)	7 (2.2%)	6 (1.9%)
	2人	404 (100%)	97 (24.0%)	252 (62.4%)	32 (7.9%)	13 (3.2%)	10 (2.5%)
	3人	226 (100%)	56 (24.8%)	142 (62.8%)	25 (11.1%)	0 (0.0%)	3 (1.3%)
	4人	94 (100%)	19 (20.2%)	64 (68.1%)	9 (9.6%)	2 (2.1%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	24 (20.3%)	73 (61.9%)	19 (16.1%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)
居住 年数	1年未満	90 (100%)	16 (17.8%)	59 (65.6%)	13 (14.4%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
	1年以上3 年未満	146 (100%)	38 (26.0%)	83 (56.8%)	20 (13.7%)	4 (2.7%)	1 (0.7%)
	3年以上10 年未満	143 (100%)	28 (19.6%)	93 (65.0%)	15 (10.5%)	3 (2.1%)	4 (2.8%)
	10年以上 20年未満	464 (100%)	113 (24.4%)	294 (63.4%)	39 (8.4%)	7 (1.5%)	11 (2.4%)
	20年以上	6 (100%)	1 (16.7%)	4 (66.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居 形態	戸建て住宅	262 (100%)	62 (23.7%)	170 (64.9%)	21 (8.0%)	4 (1.5%)	5 (1.9%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	166 (24.5%)	412 (60.8%)	77 (11.4%)	13 (1.9%)	10 (1.5%)
	集積所無し集 合住宅等	139 (100%)	33 (23.7%)	81 (58.3%)	16 (11.5%)	5 (3.6%)	4 (2.9%)

②問 3(1) プラスチック問題の解決について (クロス集計グラフ)

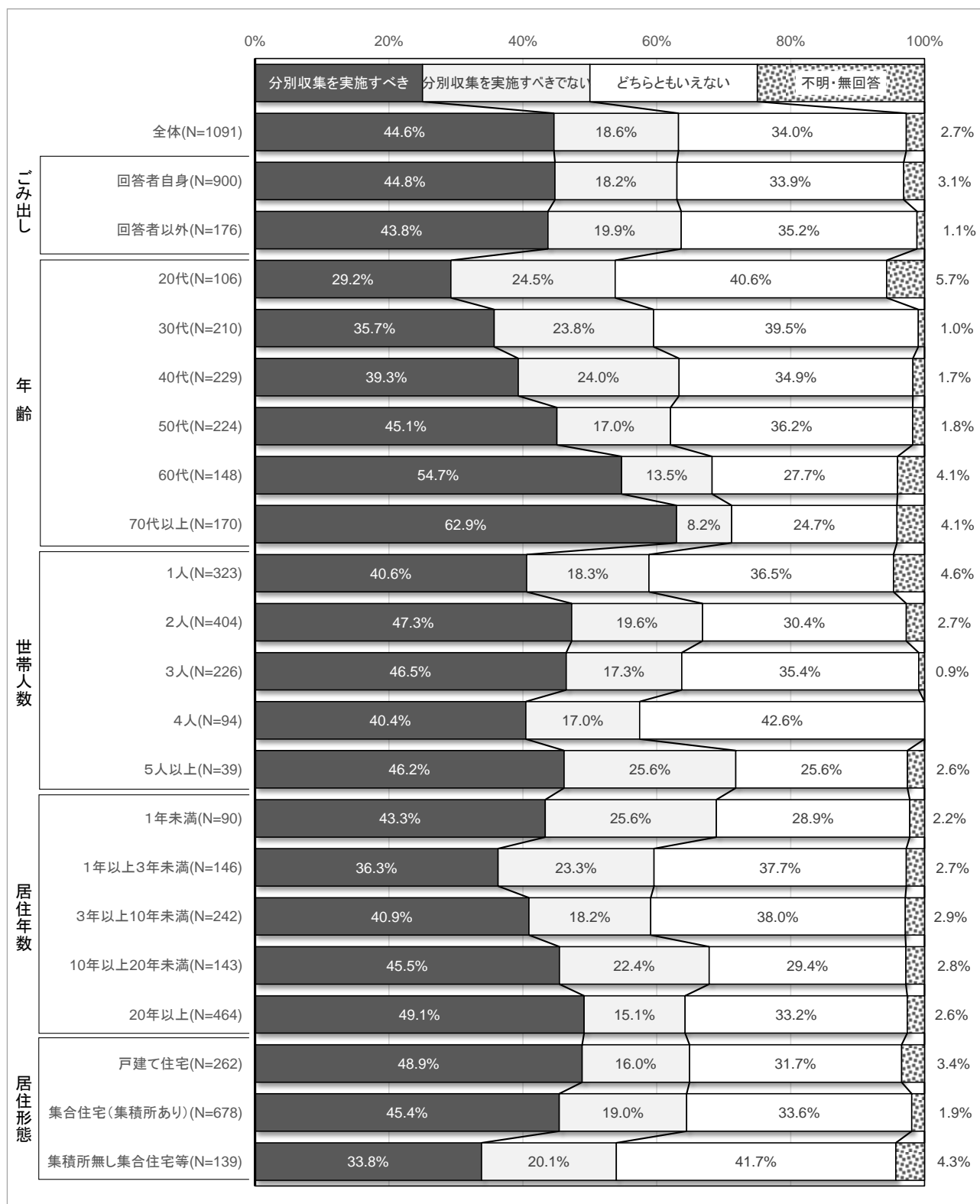


(16)問 3(3) 容器包装プラスチックの分別収集について

①問 3(3) 容器包装プラスチックの分別収集について（クロス集計表）

		合計	問3(3) 容器包装プラスチックの分別収集について			
			分別収集を 実施すべき	分別収集を 実施すべきで ない	どちらともいえ ない	不明・無回答
全体		1091 (100%)	487 (44.6%)	203 (18.6%)	371 (34.0%)	30 (2.7%)
ごみ出 し担当	回答者自身	900 (100%)	403 (44.8%)	164 (18.2%)	305 (33.9%)	28 (3.1%)
	回答者以外	176 (100%)	77 (43.8%)	35 (19.9%)	62 (35.2%)	2 (1.1%)
年齢	20代	106 (100%)	31 (29.2%)	26 (24.5%)	43 (40.6%)	6 (5.7%)
	30代	210 (100%)	75 (35.7%)	50 (23.8%)	83 (39.5%)	2 (1.0%)
	40代	229 (100%)	90 (39.3%)	55 (24.0%)	80 (34.9%)	4 (1.7%)
	50代	224 (100%)	101 (45.1%)	38 (17.0%)	81 (36.2%)	4 (1.8%)
	60代	148 (100%)	81 (54.7%)	20 (13.5%)	41 (27.7%)	6 (4.1%)
	70代以上	170 (100%)	107 (62.9%)	14 (8.2%)	42 (24.7%)	7 (4.1%)
世帯 人数	1人	323 (100%)	131 (40.6%)	59 (18.3%)	118 (36.5%)	15 (4.6%)
	2人	404 (100%)	191 (47.3%)	79 (19.6%)	123 (30.4%)	11 (2.7%)
	3人	226 (100%)	105 (46.5%)	39 (17.3%)	80 (35.4%)	2 (0.9%)
	4人	94 (100%)	38 (40.4%)	16 (17.0%)	40 (42.6%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	52 (44.1%)	31 (26.3%)	32 (27.1%)	3 (2.5%)
居住 年数	1年未満	90 (100%)	39 (43.3%)	23 (25.6%)	26 (28.9%)	2 (2.2%)
	1年以上3 年未満	146 (100%)	53 (36.3%)	34 (23.3%)	55 (37.7%)	4 (2.7%)
	3年以上10 年未満	143 (100%)	65 (45.5%)	32 (22.4%)	42 (29.4%)	4 (2.8%)
	10年以上 20年未満	464 (100%)	228 (49.1%)	70 (15.1%)	154 (33.2%)	12 (2.6%)
	20年以上	6 (100%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)
住居 形態	戸建て住宅	262 (100%)	128 (48.9%)	42 (16.0%)	83 (31.7%)	9 (3.4%)
	集合住宅 (集積所有)	678 (100%)	308 (45.4%)	129 (19.0%)	228 (33.6%)	13 (1.9%)
	集積所無し集 合住宅等	139 (100%)	47 (33.8%)	28 (20.1%)	58 (41.7%)	6 (4.3%)

②問 3(3) 容器包装プラスチックの分別収集について（クロス集計グラフ）

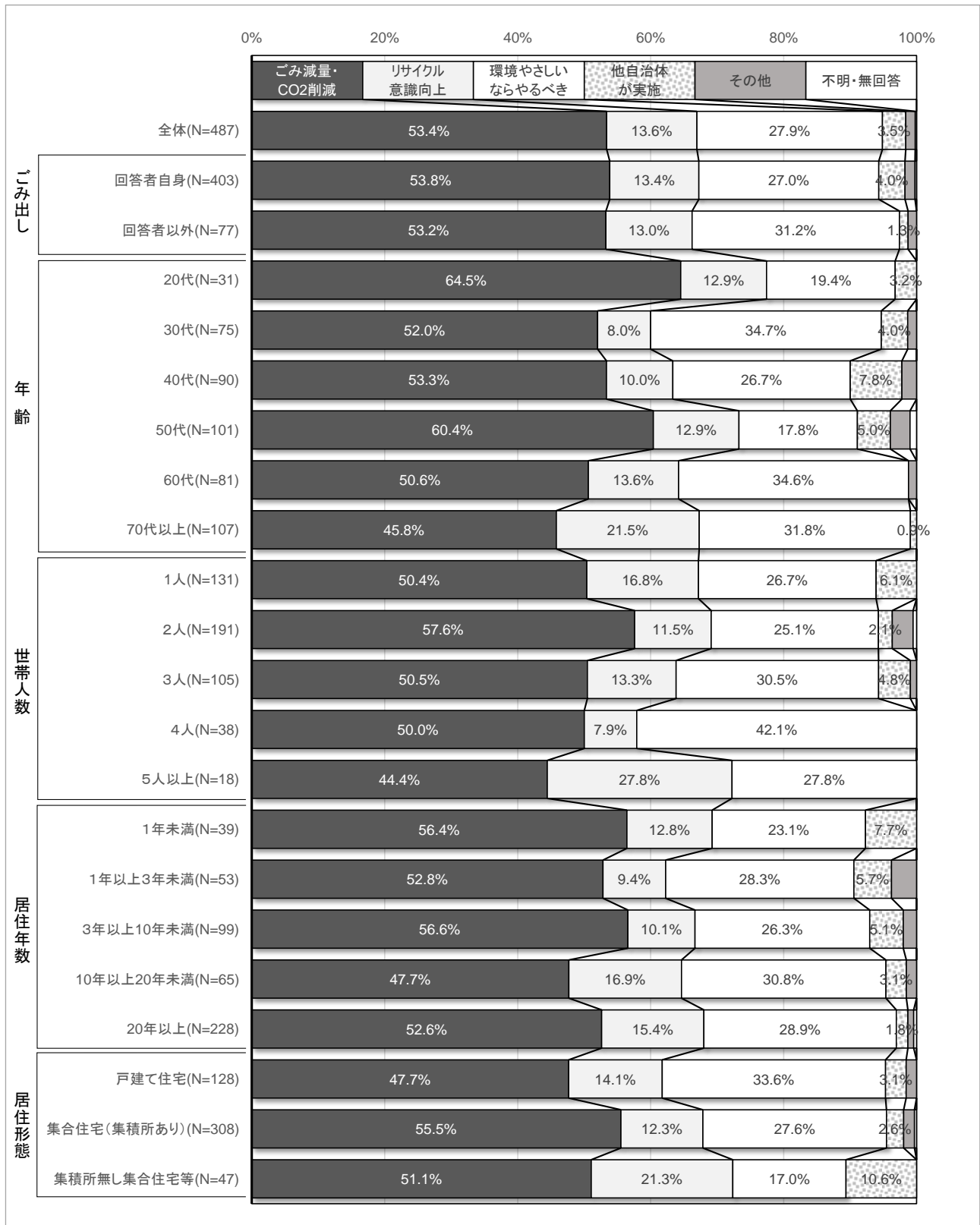


(17)問 3(4) 容器包装プラの分別収集をすべきと思う理由

①問 3(4) 容器包装プラの分別収集をすべきと思う理由 (クロス集計表)

		合計	問3(4) 容器包装プラの分別収集をすべきと思う理由					不明・無回答
			ごみの減量や 温室効果ガス 削減につながる ため	区民のリサイ クル意識のさ らなる向上に つながるため	環境に優しい 施策ならばや るべきと思うた め	他自治体が 実施している ので墨田区も やるべきと思う ため	その他	
全体		487 (100%)	260 (53.4%)	66 (13.6%)	136 (27.9%)	17 (3.5%)	7 (1.4%)	1 (0.2%)
ごみ出 し担当	回答者自身	403 (100%)	217 (53.8%)	54 (13.4%)	109 (27.0%)	16 (4.0%)	6 (1.5%)	1 (0.2%)
	回答者以外	77 (100%)	41 (53.2%)	10 (13.0%)	24 (31.2%)	1 (1.3%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)
年齢	20代	31 (100%)	20 (64.5%)	4 (12.9%)	6 (19.4%)	1 (3.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	30代	75 (100%)	39 (52.0%)	6 (8.0%)	26 (34.7%)	3 (4.0%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)
	40代	90 (100%)	48 (53.3%)	9 (10.0%)	24 (26.7%)	7 (7.8%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)
	50代	101 (100%)	61 (60.4%)	13 (12.9%)	18 (17.8%)	5 (5.0%)	3 (3.0%)	1 (1.0%)
	60代	81 (100%)	41 (50.6%)	11 (13.6%)	28 (34.6%)	0 (0.0%)	1 (1.2%)	0 (0.0%)
	70代以上	107 (100%)	49 (45.8%)	23 (21.5%)	34 (31.8%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
世帯 人数	1人	131 (100%)	66 (50.4%)	22 (16.8%)	35 (26.7%)	8 (6.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	2人	191 (100%)	110 (57.6%)	22 (11.5%)	48 (25.1%)	4 (2.1%)	6 (3.1%)	1 (0.5%)
	3人	105 (100%)	53 (50.5%)	14 (13.3%)	32 (30.5%)	5 (4.8%)	1 (1.0%)	0 (0.0%)
	4人	38 (100%)	19 (50.0%)	3 (7.9%)	16 (42.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	5人以上	52 (100%)	28 (53.8%)	9 (17.3%)	12 (23.1%)	3 (5.8%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
居住 年数	1年未満	39 (100%)	22 (56.4%)	5 (12.8%)	9 (23.1%)	3 (7.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	1年以上3 年未満	53 (100%)	28 (52.8%)	5 (9.4%)	15 (28.3%)	3 (5.7%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)
	3年以上10 年未満	65 (100%)	31 (47.7%)	11 (16.9%)	20 (30.8%)	2 (3.1%)	1 (1.5%)	0 (0.0%)
	10年以上 20年未満	228 (100%)	120 (52.6%)	35 (15.4%)	66 (28.9%)	4 (1.8%)	2 (0.9%)	1 (0.4%)
	20年以上	3 (100%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居 形態	戸建て住宅	128 (100%)	61 (47.7%)	18 (14.1%)	43 (33.6%)	4 (3.1%)	2 (1.6%)	0 (0.0%)
	集合住宅 (集積所有)	308 (100%)	171 (55.5%)	38 (12.3%)	85 (27.6%)	8 (2.6%)	5 (1.6%)	1 (0.3%)
	集積所無し集 合住宅等	47 (100%)	24 (51.1%)	10 (21.3%)	8 (17.0%)	5 (10.6%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

②問 3(4) 容器包装プラの分別収集をすべきと思う理由（クロス集計グラフ）

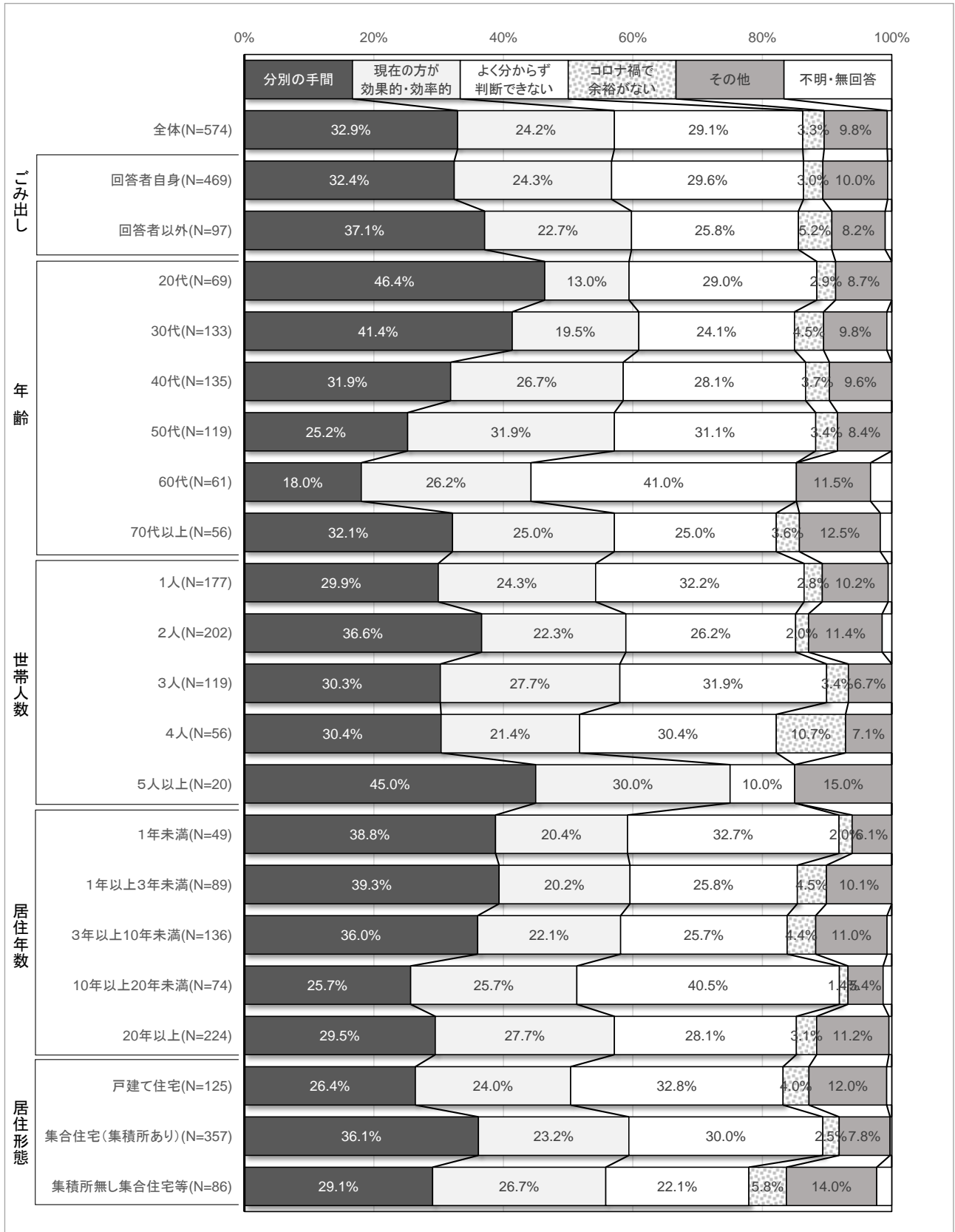


(18)問 3(5) 容器包装プラの分別収集をすべきではない、または分からない理由

①問 3(5) 容器包装プラの分別収集をすべきではない、または分からない理由 (クロス集計表)

		合計	問3(5) 容器包装プラの分別収集をすべきではない、または分からない理由					不明・無回答
			分別の手間が増える	現在の処理方法の方が効果的・効率的	得られる効果がよくわからず判断できない	コロナ禍の状況では余裕がない	その他	
全体		574 (100%)	189 (32.9%)	139 (24.2%)	167 (29.1%)	19 (3.3%)	56 (9.8%)	4 (0.7%)
ごみ出し担当	回答者自身	469 (100%)	152 (32.4%)	114 (24.3%)	139 (29.6%)	14 (3.0%)	47 (10.0%)	3 (0.6%)
	回答者以外	97 (100%)	36 (37.1%)	22 (22.7%)	25 (25.8%)	5 (5.2%)	8 (8.2%)	1 (1.0%)
年齢	20代	69 (100%)	32 (46.4%)	9 (13.0%)	20 (29.0%)	2 (2.9%)	6 (8.7%)	0 (0.0%)
	30代	133 (100%)	55 (41.4%)	26 (19.5%)	32 (24.1%)	6 (4.5%)	13 (9.8%)	1 (0.8%)
	40代	135 (100%)	43 (31.9%)	36 (26.7%)	38 (28.1%)	5 (3.7%)	13 (9.6%)	0 (0.0%)
	50代	119 (100%)	30 (25.2%)	38 (31.9%)	37 (31.1%)	4 (3.4%)	10 (8.4%)	0 (0.0%)
	60代	61 (100%)	11 (18.0%)	16 (26.2%)	25 (41.0%)	0 (0.0%)	7 (11.5%)	2 (3.3%)
	70代以上	56 (100%)	18 (32.1%)	14 (25.0%)	14 (25.0%)	2 (3.6%)	7 (12.5%)	1 (1.8%)
世帯人数	1人	177 (100%)	53 (29.9%)	43 (24.3%)	57 (32.2%)	5 (2.8%)	18 (10.2%)	1 (0.6%)
	2人	202 (100%)	74 (36.6%)	45 (22.3%)	53 (26.2%)	4 (2.0%)	23 (11.4%)	3 (1.5%)
	3人	119 (100%)	36 (30.3%)	33 (27.7%)	38 (31.9%)	4 (3.4%)	8 (6.7%)	0 (0.0%)
	4人	56 (100%)	17 (30.4%)	12 (21.4%)	17 (30.4%)	6 (10.7%)	4 (7.1%)	0 (0.0%)
	5人以上	63 (100%)	24 (38.1%)	15 (23.8%)	18 (28.6%)	1 (1.6%)	5 (7.9%)	0 (0.0%)
居住年数	1年未満	49 (100%)	19 (38.8%)	10 (20.4%)	16 (32.7%)	1 (2.0%)	3 (6.1%)	0 (0.0%)
	1年以上3年未満	89 (100%)	35 (39.3%)	18 (20.2%)	23 (25.8%)	4 (4.5%)	9 (10.1%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	74 (100%)	19 (25.7%)	19 (25.7%)	30 (40.5%)	1 (1.4%)	4 (5.4%)	1 (1.4%)
	10年以上20年未満	224 (100%)	66 (29.5%)	62 (27.7%)	63 (28.1%)	7 (3.1%)	25 (11.2%)	1 (0.4%)
	20年以上	2 (100%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)
	住居形態	戸建て住宅	125 (100%)	33 (26.4%)	30 (24.0%)	41 (32.8%)	5 (4.0%)	15 (12.0%)
集合住宅(集積所有)		357 (100%)	129 (36.1%)	83 (23.2%)	107 (30.0%)	9 (2.5%)	28 (7.8%)	1 (0.3%)
集積所無し集合住宅等		86 (100%)	25 (29.1%)	23 (26.7%)	19 (22.1%)	5 (5.8%)	12 (14.0%)	2 (2.3%)

②問 3(5) 容器包装プラの分別収集をすべきではない、または分からない理由（クロス集計グラフ）

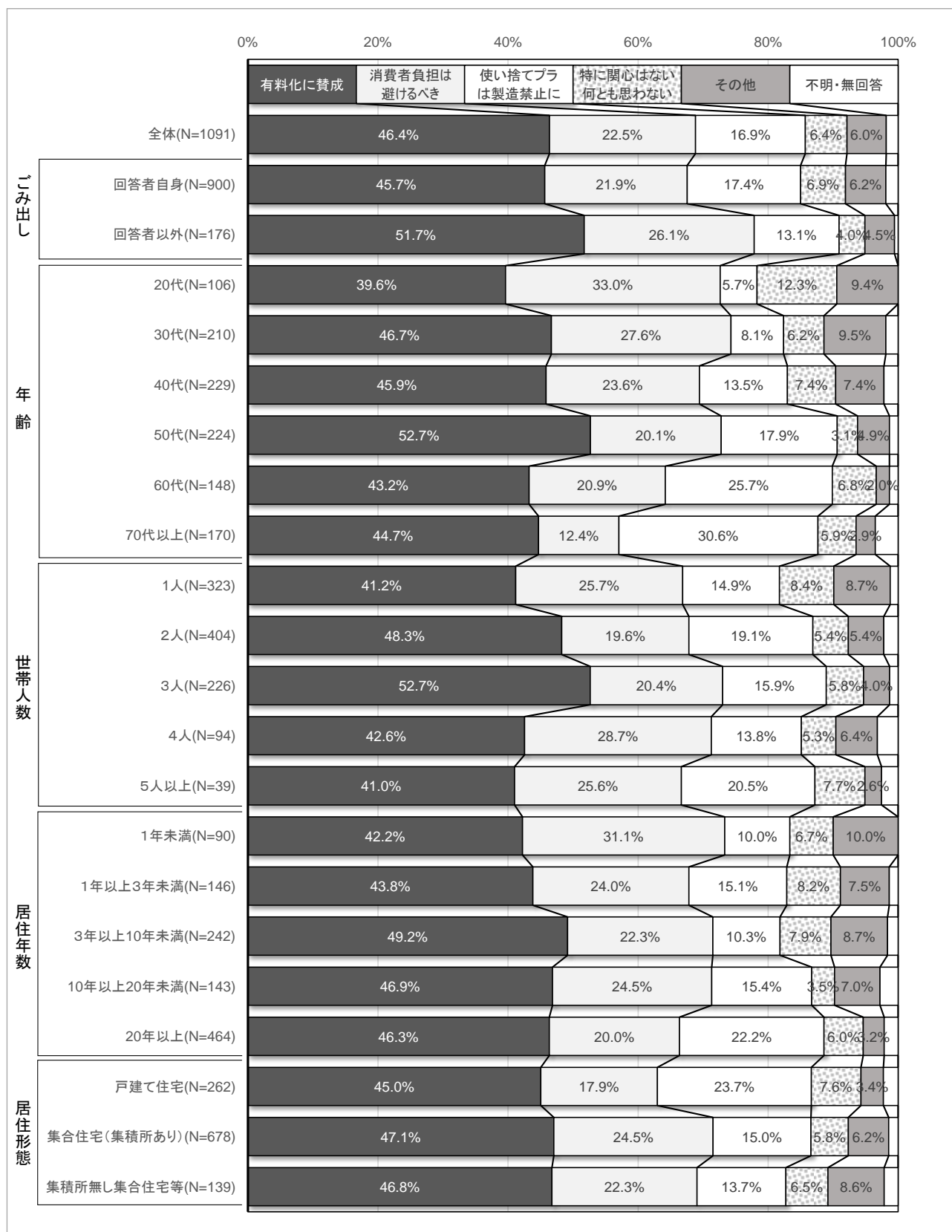


(19)問 3(6) 使い捨てプラスチックを有料化等で減らす政策について

①問 3(6) 使い捨てプラスチックを有料化等で減らす政策について (クロス集計表)

		合計	問3(6) 使い捨てプラスチックを有料化等で減らす政策について					不明・無回答
			使い捨てプラスチックの有料化に賛成	不便になるので消費者負担は増やしてほしくない	使い捨てプラスチックは製造禁止にして欲しい	特に関心はない。何とも思わない	その他	
全体		1091 (100%)	506 (46.4%)	245 (22.5%)	184 (16.9%)	70 (6.4%)	66 (6.0%)	20 (1.8%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	411 (45.7%)	197 (21.9%)	157 (17.4%)	62 (6.9%)	56 (6.2%)	17 (1.9%)
	回答者以外	176 (100%)	91 (51.7%)	46 (26.1%)	23 (13.1%)	7 (4.0%)	8 (4.5%)	1 (0.6%)
年齢	20代	106 (100%)	42 (39.6%)	35 (33.0%)	6 (5.7%)	13 (12.3%)	10 (9.4%)	0 (0.0%)
	30代	210 (100%)	98 (46.7%)	58 (27.6%)	17 (8.1%)	13 (6.2%)	20 (9.5%)	4 (1.9%)
	40代	229 (100%)	105 (45.9%)	54 (23.6%)	31 (13.5%)	17 (7.4%)	17 (7.4%)	5 (2.2%)
	50代	224 (100%)	118 (52.7%)	45 (20.1%)	40 (17.9%)	7 (3.1%)	11 (4.9%)	3 (1.3%)
	60代	148 (100%)	64 (43.2%)	31 (20.9%)	38 (25.7%)	10 (6.8%)	3 (2.0%)	2 (1.4%)
	70代以上	170 (100%)	76 (44.7%)	21 (12.4%)	52 (30.6%)	10 (5.9%)	5 (2.9%)	6 (3.5%)
世帯人数	1人	323 (100%)	133 (41.2%)	83 (25.7%)	48 (14.9%)	27 (8.4%)	28 (8.7%)	4 (1.2%)
	2人	404 (100%)	195 (48.3%)	79 (19.6%)	77 (19.1%)	22 (5.4%)	22 (5.4%)	9 (2.2%)
	3人	226 (100%)	119 (52.7%)	46 (20.4%)	36 (15.9%)	13 (5.8%)	9 (4.0%)	3 (1.3%)
	4人	94 (100%)	40 (42.6%)	27 (28.7%)	13 (13.8%)	5 (5.3%)	6 (6.4%)	3 (3.2%)
	5人以上	118 (100%)	48 (40.7%)	35 (29.7%)	15 (12.7%)	9 (7.6%)	10 (8.5%)	1 (0.8%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	38 (42.2%)	28 (31.1%)	9 (10.0%)	6 (6.7%)	9 (10.0%)	0 (0.0%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	64 (43.8%)	35 (24.0%)	22 (15.1%)	12 (8.2%)	11 (7.5%)	2 (1.4%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	67 (46.9%)	35 (24.5%)	22 (15.4%)	5 (3.5%)	10 (7.0%)	4 (2.8%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	215 (46.3%)	93 (20.0%)	103 (22.2%)	28 (6.0%)	15 (3.2%)	10 (2.2%)
	20年以上	6 (100%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	3 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	118 (45.0%)	47 (17.9%)	62 (23.7%)	20 (7.6%)	9 (3.4%)	6 (2.3%)
	集合住宅(集積所有)	678 (100%)	319 (47.1%)	166 (24.5%)	102 (15.0%)	39 (5.8%)	42 (6.2%)	10 (1.5%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	65 (46.8%)	31 (22.3%)	19 (13.7%)	9 (6.5%)	12 (8.6%)	3 (2.2%)

②問 3(6) 使い捨てプラスチックを有料化等で減らす政策について（クロス集計グラフ）

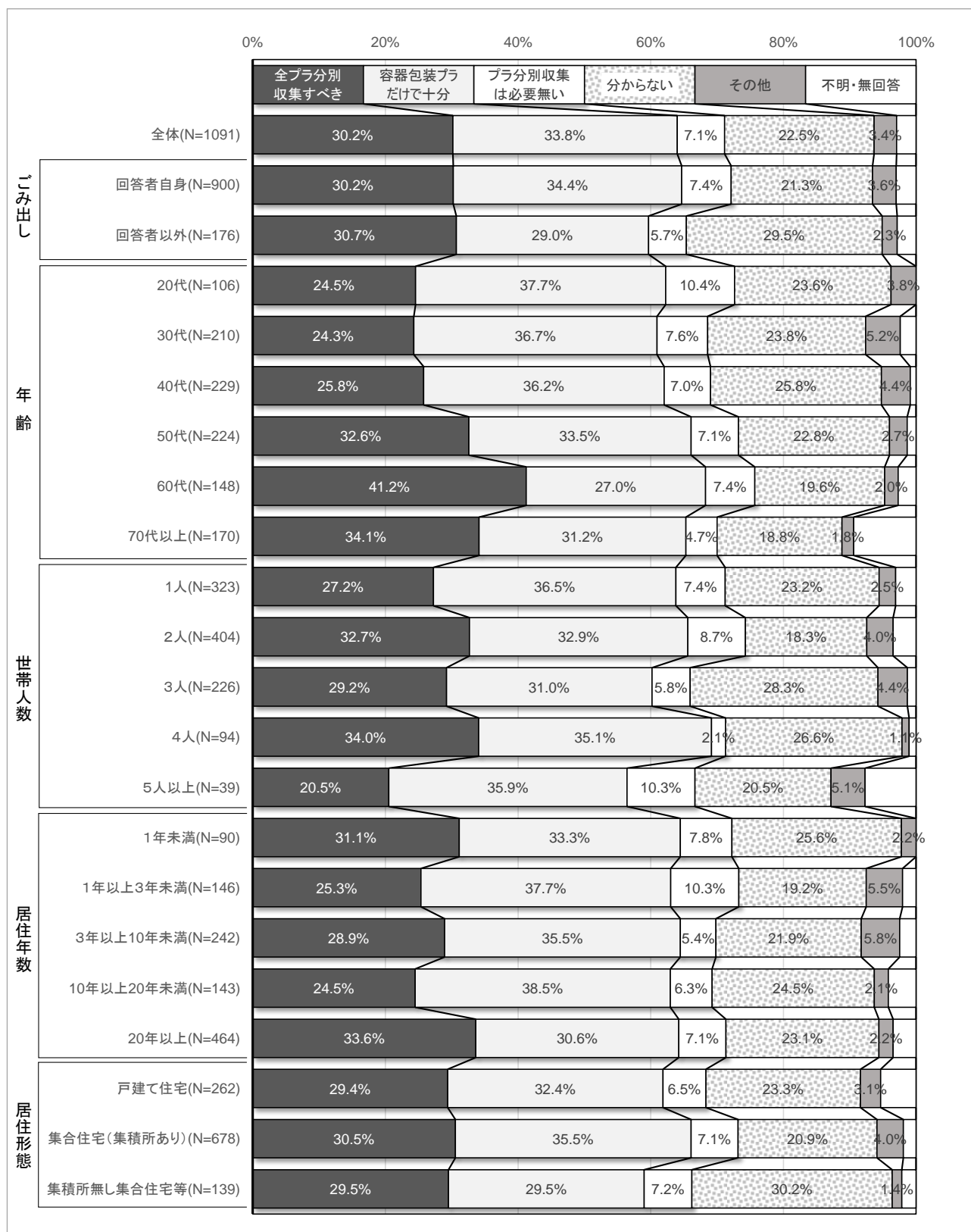


(20)問 3(7) 容器包装プラ・製品プラ一括回収について

①問 3(7) 容器包装プラ・製品プラ一括回収について (クロス集計表)

		合計	問3(7) 容器包装プラ・製品プラ一括回収について					不明・無回答
			税金が増えても全てのプラスチックごみを分別収集すべき	容器包装プラスチックの分別収集だけで十分と思う	プラスチック類の分別収集は必要無い	なんとも言えない。分からない	その他	
全体		1091 (100%)	329 (30.2%)	369 (33.8%)	78 (7.1%)	246 (22.5%)	37 (3.4%)	32 (2.9%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	272 (30.2%)	310 (34.4%)	67 (7.4%)	192 (21.3%)	32 (3.6%)	27 (3.0%)
	回答者以外	176 (100%)	54 (30.7%)	51 (29.0%)	10 (5.7%)	52 (29.5%)	4 (2.3%)	5 (2.8%)
年齢	20代	106 (100%)	26 (24.5%)	40 (37.7%)	11 (10.4%)	25 (23.6%)	4 (3.8%)	0 (0.0%)
	30代	210 (100%)	51 (24.3%)	77 (36.7%)	16 (7.6%)	50 (23.8%)	11 (5.2%)	5 (2.4%)
	40代	229 (100%)	59 (25.8%)	83 (36.2%)	16 (7.0%)	59 (25.8%)	10 (4.4%)	2 (0.9%)
	50代	224 (100%)	73 (32.6%)	75 (33.5%)	16 (7.1%)	51 (22.8%)	6 (2.7%)	3 (1.3%)
	60代	148 (100%)	61 (41.2%)	40 (27.0%)	11 (7.4%)	29 (19.6%)	3 (2.0%)	4 (2.7%)
	70代以上	170 (100%)	58 (34.1%)	53 (31.2%)	8 (4.7%)	32 (18.8%)	3 (1.8%)	16 (9.4%)
世帯人数	1人	323 (100%)	88 (27.2%)	118 (36.5%)	24 (7.4%)	75 (23.2%)	8 (2.5%)	10 (3.1%)
	2人	404 (100%)	132 (32.7%)	133 (32.9%)	35 (8.7%)	74 (18.3%)	16 (4.0%)	14 (3.5%)
	3人	226 (100%)	66 (29.2%)	70 (31.0%)	13 (5.8%)	64 (28.3%)	10 (4.4%)	3 (1.3%)
	4人	94 (100%)	32 (34.0%)	33 (35.1%)	2 (2.1%)	25 (26.6%)	1 (1.1%)	1 (1.1%)
	5人以上	118 (100%)	35 (29.7%)	39 (33.1%)	10 (8.5%)	29 (24.6%)	4 (3.4%)	1 (0.8%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	28 (31.1%)	30 (33.3%)	7 (7.8%)	23 (25.6%)	2 (2.2%)	0 (0.0%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	37 (25.3%)	55 (37.7%)	15 (10.3%)	28 (19.2%)	8 (5.5%)	3 (2.1%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	35 (24.5%)	55 (38.5%)	9 (6.3%)	35 (24.5%)	3 (2.1%)	6 (4.2%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	156 (33.6%)	142 (30.6%)	33 (7.1%)	107 (23.1%)	10 (2.2%)	16 (3.4%)
	20年以上	6 (100%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	77 (29.4%)	85 (32.4%)	17 (6.5%)	61 (23.3%)	8 (3.1%)	14 (5.3%)
	集合住宅(集積所有)	678 (100%)	207 (30.5%)	241 (35.5%)	48 (7.1%)	142 (20.9%)	27 (4.0%)	13 (1.9%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	41 (29.5%)	41 (29.5%)	10 (7.2%)	42 (30.2%)	2 (1.4%)	3 (2.2%)

②問 3(7) 容器包装プラ・製品プラ一括回収について（クロス集計グラフ）

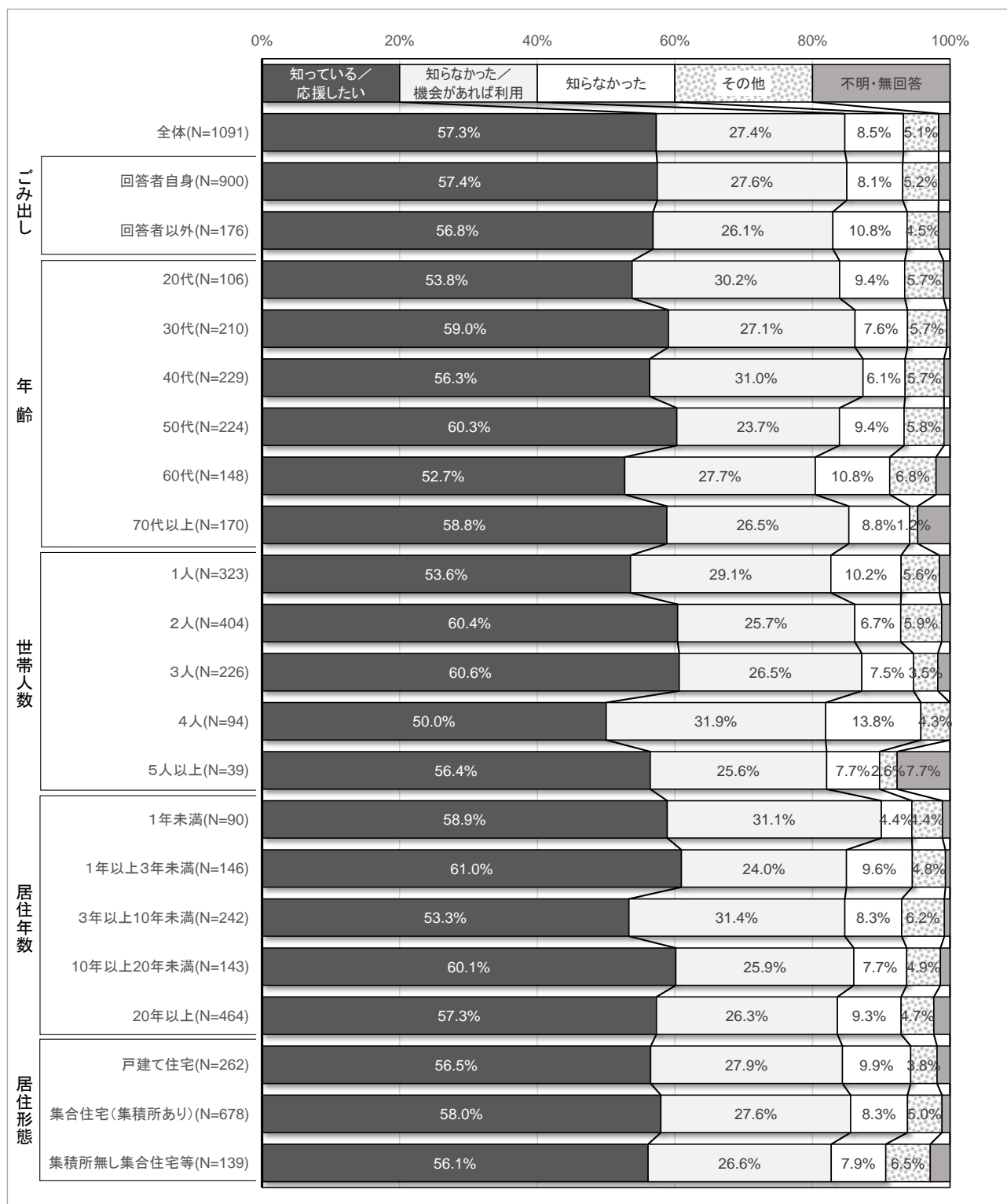


(21)問 3(8) 企業のプラスチックごみ削減の取り組みについて

①問 3(8) 企業のプラスチックごみ削減の取り組みについて (クロス集計表)

		合計	問3(8) 企業のプラスチックごみ削減の取り組みについて				不明・無回答
			知っており、積極的に応援したい	知らなかったが、機会があれば利用したい	知らなかった	その他	
全体		1091 (100%)	625 (57.3%)	299 (27.4%)	93 (8.5%)	56 (5.1%)	18 (1.6%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	517 (57.4%)	248 (27.6%)	73 (8.1%)	47 (5.2%)	15 (1.7%)
	回答者以外	176 (100%)	100 (56.8%)	46 (26.1%)	19 (10.8%)	8 (4.5%)	3 (1.7%)
年齢	20代	106 (100%)	57 (53.8%)	32 (30.2%)	10 (9.4%)	6 (5.7%)	1 (0.9%)
	30代	210 (100%)	124 (59.0%)	57 (27.1%)	16 (7.6%)	12 (5.7%)	1 (0.5%)
	40代	229 (100%)	129 (56.3%)	71 (31.0%)	14 (6.1%)	13 (5.7%)	2 (0.9%)
	50代	224 (100%)	135 (60.3%)	53 (23.7%)	21 (9.4%)	13 (5.8%)	2 (0.9%)
	60代	148 (100%)	78 (52.7%)	41 (27.7%)	16 (10.8%)	10 (6.8%)	3 (2.0%)
	70代以上	170 (100%)	100 (58.8%)	45 (26.5%)	15 (8.8%)	2 (1.2%)	8 (4.7%)
世帯人数	1人	323 (100%)	173 (53.6%)	94 (29.1%)	33 (10.2%)	18 (5.6%)	5 (1.5%)
	2人	404 (100%)	244 (60.4%)	104 (25.7%)	27 (6.7%)	24 (5.9%)	5 (1.2%)
	3人	226 (100%)	137 (60.6%)	60 (26.5%)	17 (7.5%)	8 (3.5%)	4 (1.8%)
	4人	94 (100%)	47 (50.0%)	30 (31.9%)	13 (13.8%)	4 (4.3%)	0 (0.0%)
	5人以上	118 (100%)	70 (59.3%)	35 (29.7%)	6 (5.1%)	5 (4.2%)	2 (1.7%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	53 (58.9%)	28 (31.1%)	4 (4.4%)	4 (4.4%)	1 (1.1%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	89 (61.0%)	35 (24.0%)	14 (9.6%)	7 (4.8%)	1 (0.7%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	86 (60.1%)	37 (25.9%)	11 (7.7%)	7 (4.9%)	2 (1.4%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	266 (57.3%)	122 (26.3%)	43 (9.3%)	22 (4.7%)	11 (2.4%)
	20年以上	6 (100%)	2 (33.3%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	148 (56.5%)	73 (27.9%)	26 (9.9%)	10 (3.8%)	5 (1.9%)
	集合住宅(集積所有)	678 (100%)	393 (58.0%)	187 (27.6%)	56 (8.3%)	34 (5.0%)	8 (1.2%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	78 (56.1%)	37 (26.6%)	11 (7.9%)	9 (6.5%)	4 (2.9%)

②問 3(8) 企業のプラスチックごみ削減の取り組みについて (クロス集計グラフ)

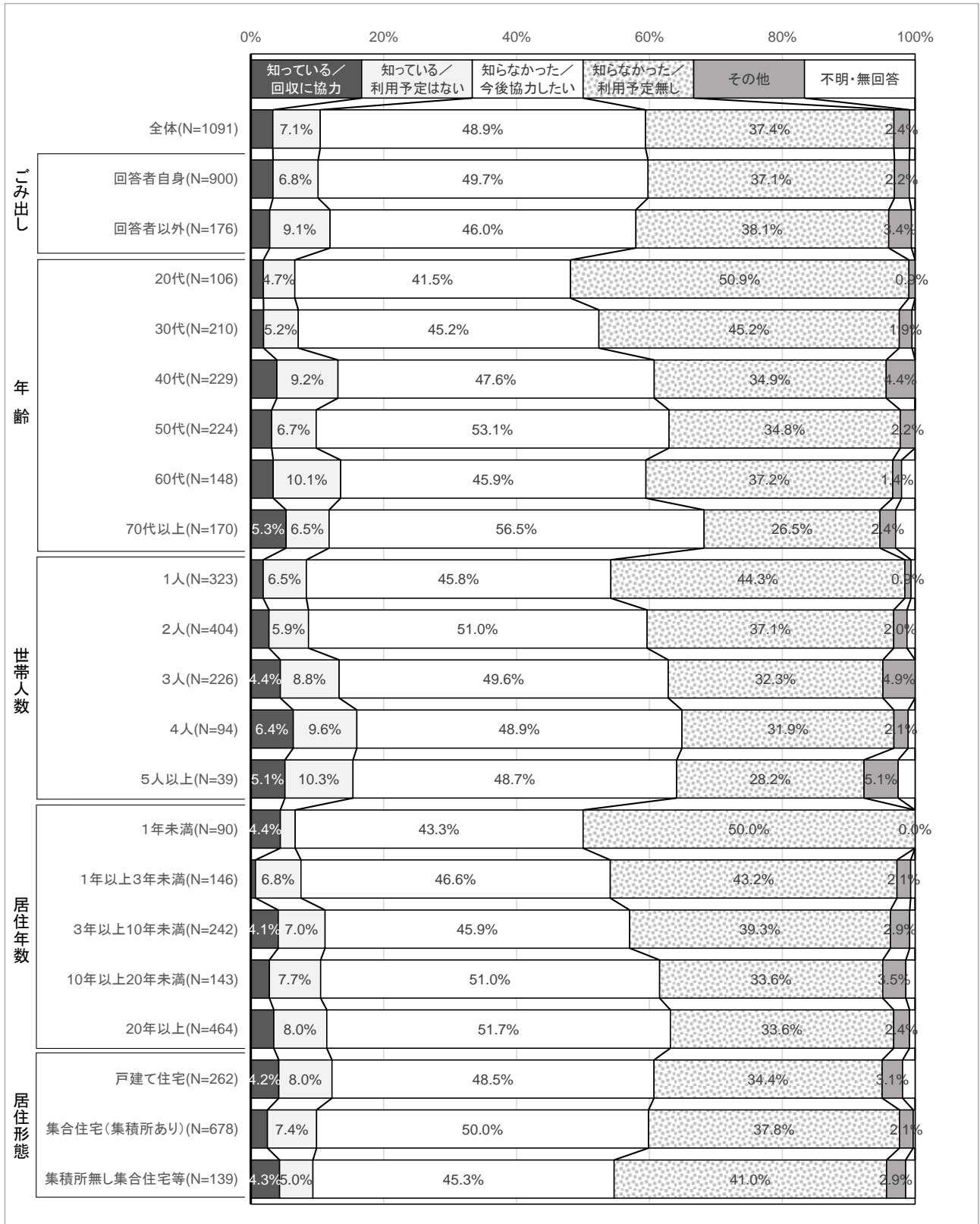


(22)問 3(9) ハブラシ回収について

①問 3(9) ハブラシ回収について (クロス集計表)

		合計	問3(9) ハブラシ回収について					不明・無回答
			知っており回収に協力している	知っているが特に利用する予定はない	知らなかったが今後は協力したい	知らなかったが特に利用する予定はない	その他	
全体		1091 (100%)	36 (3.3%)	78 (7.1%)	534 (48.9%)	408 (37.4%)	26 (2.4%)	9 (0.8%)
ごみ出し担当	回答者自身	900 (100%)	30 (3.3%)	61 (6.8%)	447 (49.7%)	334 (37.1%)	20 (2.2%)	8 (0.9%)
	回答者以外	176 (100%)	5 (2.8%)	16 (9.1%)	81 (46.0%)	67 (38.1%)	6 (3.4%)	1 (0.6%)
年齢	20代	106 (100%)	2 (1.9%)	5 (4.7%)	44 (41.5%)	54 (50.9%)	1 (0.9%)	0 (0.0%)
	30代	210 (100%)	4 (1.9%)	11 (5.2%)	95 (45.2%)	95 (45.2%)	4 (1.9%)	1 (0.5%)
	40代	229 (100%)	9 (3.9%)	21 (9.2%)	109 (47.6%)	80 (34.9%)	10 (4.4%)	0 (0.0%)
	50代	224 (100%)	7 (3.1%)	15 (6.7%)	119 (53.1%)	78 (34.8%)	5 (2.2%)	0 (0.0%)
	60代	148 (100%)	5 (3.4%)	15 (10.1%)	68 (45.9%)	55 (37.2%)	2 (1.4%)	3 (2.0%)
	70代以上	170 (100%)	9 (5.3%)	11 (6.5%)	96 (56.5%)	45 (26.5%)	4 (2.4%)	5 (2.9%)
世帯人数	1人	323 (100%)	6 (1.9%)	21 (6.5%)	148 (45.8%)	143 (44.3%)	3 (0.9%)	2 (0.6%)
	2人	404 (100%)	11 (2.7%)	24 (5.9%)	206 (51.0%)	150 (37.1%)	8 (2.0%)	5 (1.2%)
	3人	226 (100%)	10 (4.4%)	20 (8.8%)	112 (49.6%)	73 (32.3%)	11 (4.9%)	0 (0.0%)
	4人	94 (100%)	6 (6.4%)	9 (9.6%)	46 (48.9%)	30 (31.9%)	2 (2.1%)	1 (1.1%)
	5人以上	118 (100%)	6 (5.1%)	5 (4.2%)	54 (45.8%)	51 (43.2%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)
居住年数	1年未満	90 (100%)	4 (4.4%)	2 (2.2%)	39 (43.3%)	45 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	1年以上3年未満	146 (100%)	1 (0.7%)	10 (6.8%)	68 (46.6%)	63 (43.2%)	3 (2.1%)	1 (0.7%)
	3年以上10年未満	143 (100%)	4 (2.8%)	11 (7.7%)	73 (51.0%)	48 (33.6%)	5 (3.5%)	2 (1.4%)
	10年以上20年未満	464 (100%)	16 (3.4%)	37 (8.0%)	240 (51.7%)	156 (33.6%)	11 (2.4%)	4 (0.9%)
	20年以上	6 (100%)	1 (16.7%)	1 (16.7%)	3 (50.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居形態	戸建て住宅	262 (100%)	11 (4.2%)	21 (8.0%)	127 (48.5%)	90 (34.4%)	8 (3.1%)	5 (1.9%)
	集合住宅(集積所有)	678 (100%)	17 (2.5%)	50 (7.4%)	339 (50.0%)	256 (37.8%)	14 (2.1%)	2 (0.3%)
	集積所無し集合住宅等	139 (100%)	6 (4.3%)	7 (5.0%)	63 (45.3%)	57 (41.0%)	4 (2.9%)	2 (1.4%)

②問 3(9) ハブラシ回収について (クロス集計グラフ)

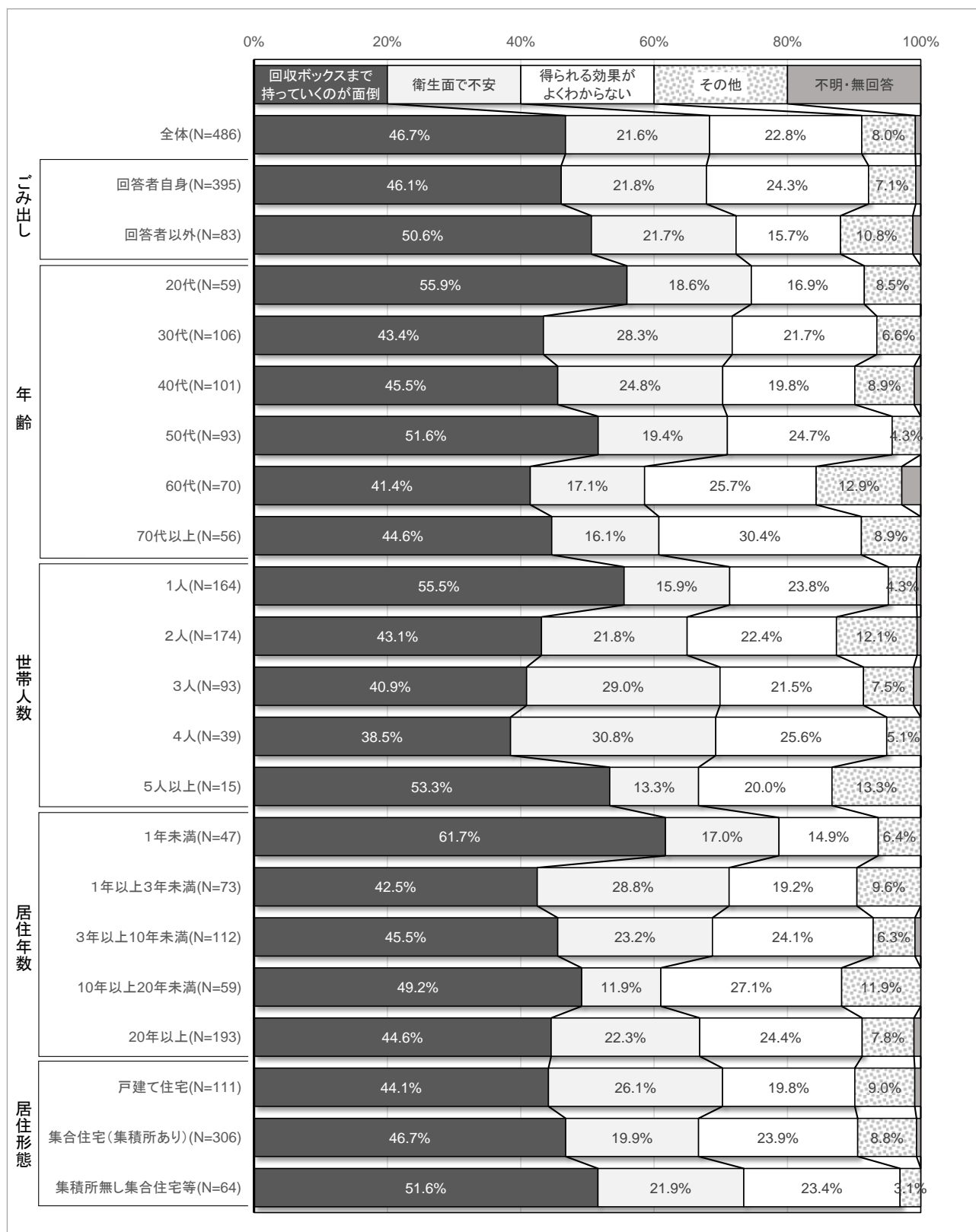


(23)問 3(10) ハブラシ回収を利用する予定がない理由

①問 3(10) ハブラシ回収を利用する予定がない理由 (クロス集計表)

		合計	問3(10) ハブラシ回収を利用する予定がない理由				不明・無回答
			回収ボックスまで持っていきのが面倒	衛生面で不安	得られる効果がよくわからない	その他	
全体		486 (100%)	227 (46.7%)	105 (21.6%)	111 (22.8%)	39 (8.0%)	4 (0.8%)
ごみ出し担当	回答者自身	395 (100%)	182 (46.1%)	86 (21.8%)	96 (24.3%)	28 (7.1%)	3 (0.8%)
	回答者以外	83 (100%)	42 (50.6%)	18 (21.7%)	13 (15.7%)	9 (10.8%)	1 (1.2%)
年齢	20代	59 (100%)	33 (55.9%)	11 (18.6%)	10 (16.9%)	5 (8.5%)	0 (0.0%)
	30代	106 (100%)	46 (43.4%)	30 (28.3%)	23 (21.7%)	7 (6.6%)	0 (0.0%)
	40代	101 (100%)	46 (45.5%)	25 (24.8%)	20 (19.8%)	9 (8.9%)	1 (1.0%)
	50代	93 (100%)	48 (51.6%)	18 (19.4%)	23 (24.7%)	4 (4.3%)	0 (0.0%)
	60代	70 (100%)	29 (41.4%)	12 (17.1%)	18 (25.7%)	9 (12.9%)	2 (2.9%)
	70代以上	56 (100%)	25 (44.6%)	9 (16.1%)	17 (30.4%)	5 (8.9%)	0 (0.0%)
世帯人数	1人	164 (100%)	91 (55.5%)	26 (15.9%)	39 (23.8%)	7 (4.3%)	1 (0.6%)
	2人	174 (100%)	75 (43.1%)	38 (21.8%)	39 (22.4%)	21 (12.1%)	1 (0.6%)
	3人	93 (100%)	38 (40.9%)	27 (29.0%)	20 (21.5%)	7 (7.5%)	1 (1.1%)
	4人	39 (100%)	15 (38.5%)	12 (30.8%)	10 (25.6%)	2 (5.1%)	0 (0.0%)
	5人以上	56 (100%)	36 (64.3%)	8 (14.3%)	9 (16.1%)	3 (5.4%)	0 (0.0%)
居住年数	1年未満	47 (100%)	29 (61.7%)	8 (17.0%)	7 (14.9%)	3 (6.4%)	0 (0.0%)
	1年以上3年未満	73 (100%)	31 (42.5%)	21 (28.8%)	14 (19.2%)	7 (9.6%)	0 (0.0%)
	3年以上10年未満	59 (100%)	29 (49.2%)	7 (11.9%)	16 (27.1%)	7 (11.9%)	0 (0.0%)
	10年以上20年未満	193 (100%)	86 (44.6%)	43 (22.3%)	47 (24.4%)	15 (7.8%)	2 (1.0%)
	20年以上	2 (100%)	1 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (50.0%)
住居形態	戸建て住宅	111 (100%)	49 (44.1%)	29 (26.1%)	22 (19.8%)	10 (9.0%)	1 (0.9%)
	集合住宅(集積所有)	306 (100%)	143 (46.7%)	61 (19.9%)	73 (23.9%)	27 (8.8%)	2 (0.7%)
	集積所無し集合住宅等	64 (100%)	33 (51.6%)	14 (21.9%)	15 (23.4%)	2 (3.1%)	0 (0.0%)

②問 3(10) ハブラシ回収を利用する予定がない理由 (クロス集計グラフ)



5.1 事業所アンケート調査票

墨田区 資源とごみに関する事業所アンケート調査

記入上のご注意

- 1 回答者の個人的な意見ではなく、この調査票が届いた事業所・店舗等の意見としてご回答ください。
- 2 回答は、質問ごとにあてはまる番号に○印をつけてください。別の回答方法を指定している場合は、その方法にしたがってご回答ください。
- 3 ご記入後、事業所名・住所は書かずに、7月5日(月)までに同封の返信用封筒に入れて投函してください。切手は不要です。

問1 貴事業所のごみ・資源の排出・処理についてお聞きします。

問1(1) 下表の1～6で、貴事業所に該当するごみの処理や資源化の方法の番号すべてに○を付けてください（○はいくつでも）。

また、○を付けたものは、1週間のおおよその排出量もご記入ください。

	該当する処理や資源化の番号に ○を付けてください（複数可）		1週間あたりのおおよその 排出量をご記入ください
資源	→ 1. 区の資源回収（週1回）に出している	約	1週間あたり [] kg
	→ 2. 民間のリサイクル業者等に引き渡している	約	1週間あたり [] kg
ごみ	→ 3. 区のごみ収集（可燃、不燃）に出す	約	1週間あたり [] kg
	→ 4. 一般廃棄物処理業者に委託している	約	1週間あたり [] kg
	→ 5. 直接清掃工場に持ち込んでいる	約	1週間あたり [] kg

【参考】資源やごみの排出量の目安

- ・紙くずなどが主体の一般ごみ：45ℓごみ袋で5.4kg程度
- ・生ごみ：45ℓのポリ容器で20kg程度、45ℓごみ袋で12kg程度
- ・新聞紙：4つ折り（A4判大）で縛った場合、厚さ20cmで約6kg
- ・ダンボール：ミカン箱程度のもの10枚約4kg
- ・ビール大びん：1本約600g
- ・OA紙：A4判で縛った場合、厚さ20cmで約8kg
- ・500mlビール缶：1本約20g
- ・発泡スチロール：トロ箱で約0.2kg
- ・500mlペットボトル：1本20g

問1(2) 貴事業所の出す「ごみ」の中には、下表の品目が重量換算でどの程度含まれていますか。資源として分けて出しているものは除きます。(〇は1つずつ)

※なるべく縦の合計が100%前後になるようにご回答ください。

品目	ごみの中のおおよその内訳(重量換算)									
生ごみ	ア	10%未満	イ	20%程度	ウ	40%程度	エ	60%程度	オ	80%以上
新聞・雑誌・ダンボール	ア	10%未満	イ	20%程度	ウ	40%程度	エ	60%程度	オ	80%以上
包装紙・紙箱	ア	10%未満	イ	20%程度	ウ	40%程度	エ	60%程度	オ	80%以上
OA紙、印刷物	ア	10%未満	イ	20%程度	ウ	40%程度	エ	60%程度	オ	80%以上
びん・缶・ペットボトル	ア	10%未満	イ	20%程度	ウ	40%程度	エ	60%程度	オ	80%以上
プラスチック	ア	10%未満	イ	20%程度	ウ	40%程度	エ	60%程度	オ	80%以上
その他	ア	10%未満	イ	20%程度	ウ	40%程度	エ	60%程度	オ	80%以上

問1(3) 事業所が住宅併設の方にお聞きします。貴事業所は、家庭ごみと事業系ごみを分別していますか。(1つに〇)

1. 分別している。
2. だいたい分別している。
3. 分別していない
4. 分からない。

問1(4) ごみ(可燃ごみ・不燃ごみ)を区の収集に出している事業所にお聞きします。ごみを出す際、事業系有料ごみ処理券を貼っていますか。(1つに〇)

1. いつも貼付している。
2. だいたい貼付している。
3. 貼付していない。

問1(5) 古紙などの資源を区の資源回収に出している事業所にお聞きします。資源を出す際、事業系有料ごみ処理券を貼っていますか。(1つに〇)

1. いつも貼付している。
2. だいたい貼付している。
3. 貼付していない。

問1(6) 貴事業所では、ごみ減量やリサイクルに関する情報をどのようにして入手していますか。(〇はいくつでも)

1. すみだ区報
2. 墨田区のホームページ
3. インターネット
4. テレビ、ラジオ
5. 新聞、雑誌
6. 収集運搬業者への問い合わせ
7. 同業者や加盟団体等への問い合わせ
8. 区役所への問い合わせ
9. 区の資源とごみの分け方・出し方のパンフレット
10. ごみ集積所の看板
11. 特になし
12. その他(具体的に)

問1(7) 国連で2015年に採択された、SDGs(持続可能な開発目標)をご存じですか。

1. よく知っている。
2. 聞いたことはある。
3. 知らなかった。

問1(8) 貴事業所ではSDGs達成に資するための取り組みを行っていますか。(1つに〇)
2. を選んだ場合は、その内容もお選びください。(〇はいくつでも)

1. 特に行っていない。
2. 何らかの取り組みを行っている。
 1. (目標1) 貧困を無くすための取り組み
 2. (目標2) 飢餓をゼロにするための取り組み
 3. (目標3) 健康と福祉に関する取り組み
 4. (目標4) 教育の質の向上のための取り組み
 5. (目標5) ジェンダー平等のための取り組み
 6. (目標6) 安全な水、衛生のための取り組み
 7. (目標7) クリーンなエネルギーのための取り組み
 8. (目標8) 働きがいのための取り組み
 9. (目標9) 産業・技術革新の基盤づくりのための取り組み
 10. (目標10) 国内外の格差是正のための取り組み
 11. (目標11) 持続可能なまちづくりのための取り組み
 12. (目標12) 持続可能な消費・生産のための取り組み
 13. (目標13) 気候変動対策のための取り組み
 14. (目標14) 海の豊かさを守る取り組み
 15. (目標15) 陸の豊かさを守る取り組み
 16. (目標16) 平和と公正のための取り組み
 17. (目標17) パートナリーシップのための取り組み

問2 昨年来の新型コロナウイルス感染症拡大の影響についてお聞きします。

問2(1) 新型コロナウイルス感染症拡大後、事業所から出るごみや資源の量は増えましたか。(1つに○)

1. 増えたと思う。
2. 減ったと思う。
3. 変わらない。

問2(2) 貴事業所から排出される古紙類や金属類、プラスチックなどの資源のリサイクルに影響がありましたか。

1. 影響があった(価格が下がる、引き取りが停止する、など)。 →問2(3)へ
2. 特に影響は無い。
3. 資源物は排出していない。

問2(3) 資源のリサイクルに影響のあった事業所にお聞きします。

影響のあった品目は何ですか。(○はいくつでも)

1. 段ボール
2. OA紙
3. パンフレット、チラシ
4. 包装紙や紙箱などの雑がみ
5. ペットボトル
6. びん類
7. 金属類
8. 発泡スチロール容器
9. ペットボトル・発泡スチロール容器以外のプラスチック類
10. その他(具体的に)

問2(4) 消費者への販売やサービスの提供で、消費者が出すごみに影響を与えるような変化はありましたか。(○はいくつでも)

1. 食品(弁当・惣菜を除く)の販売量が増えた。
2. 弁当・惣菜の販売量が増えた。
3. 個包装が増えた。
4. 新たに飲食品の持ち帰り・テイクアウトサービスを始めた。
5. 以前から行っていた持ち帰り・テイクアウトが増えた。
6. 通信販売が増えた。
7. 特に変化はない。
8. その他(具体的に)
9. 消費者が出すごみに関わるような販売・サービス提供は行っていない。

問3 プラスチックごみについてお聞きします。

問3(1) 事業所から排出される廃プラスチックは産業廃棄物であり、事業系一般廃棄物に該当しませんが、そのことについてご存知でしたか。(1つに○)

1. 知っていた。
2. 知らなかった。

問3(2) 貴事業所から出るプラスチックごみは、削減できる可能性はありますか。(1つに○)

1. ある →問 3(3)へ
2. ない →問 3(4)へ
3. プラスチックごみは出ない。

問3(3) 「プラスチックごみ削減の可能性がある」とお答えの事業所にお聞きします。それはどのような品目ですか。(○はいくつでも)

1. 商品や食材の仕入れに付随する発泡スチロール容器(トロ箱など)
2. 商品や食材の仕入れに付随するプラスチック容器包装(発砲スチロール容器以外)
3. 顧客に提供する飲食器(カップやスプーン・フォーク、皿などプラスチック以外の素材に代えることが出来るもの)
4. 従業員の飲食に伴うプラスチック製の弁当ガラ
5. ペットボトル(店内の顧客、従業員の飲食に伴うもの)
6. その他(具体的に)

問3(4) 「プラスチックごみ削減の可能性がない」とお答えの事業所にお聞きします。その理由は何ですか。(主なもの1つに○)

1. 排出していない・排出量が少ない
2. コストがかかる。
3. 人手が足りない。
4. 個別の事業所の一存で仕入れ・販売方法や処理方法などのしくみを変えることはできない。
5. その他(具体的に)

問4 使い捨てプラスチックの削減についてお聞きします。

問4(1) 貴事業所で、自らの事業活動や消費者への販売、サービス提供において使用する使い捨てプラスチックの削減について取り組んでいることがあれば以下からお選びください。(〇はいくつでも)

(主に販売関係)

1. 肉や魚のトレー使用量を減らしている。
2. 野菜類のバラ売り・裸売りを増やしている。
3. エコマーク認定商品など、プラスチックごみの削減に役立つ商品を積極的に販売している。
4. プラスチック製使い捨てカップ、スプーン、ストローなどの使用を廃止、または削減している。
5. 弁当容器をプラスチック以外のもの(紙容器など)に変えている。
6. レジ袋を紙袋やバイオプラ袋に変えている。
7. マイバッグを店内で販売している。

(主に飲食サービス関係)

8. プラスチック製使い捨てストローを廃止、または削減している。
9. プラスチック製使い捨てカップを廃止、または削減している。
10. プラスチック製使い捨てスプーン、フォーク、箸を廃止、または削減している。
11. テイクアウト容器の回収・再使用を行っている。

(事業活動全般)

12. 自社で製造する商品のプラスチック使用量を削減したり、他素材に切り替えたりしている。
13. 自社の商品・サービスに用いるプラスチック容器や包装を他素材に切り替えたり削減したりしている。
14. 自社のプラスチック使用製品や製品に用いるプラスチック容器包装を自主回収している。
15. その他(具体的に)
16. 特に使い捨てプラスチックの削減には取り組んでいない。
17. 自社の事業活動では、使い捨てプラスチックを使用していない。

※2021年6月4日、「プラスチック資源循環促進法」が国会で可決、成立しました。

国は、2022年4月の施行を目指しています。

新法では、プラスチックごみの排出を抑制するため、販売や飲食サービスにおける使い捨てプラスチック製品について、有料化や代替素材の転換などの使用削減が義務づけられます。

(例えばプラスチックのスプーン、ストローなどを有料化するなど)

また、製造段階でのプラスチックごみを大量に排出する事業者には排出抑制やリサイクルを義務づけるなどの措置も予定されています。



問4(2) 「プラスチック資源循環促進法」といった新たな制度による、使い捨てプラスチックの使用削減やリサイクル促進の動向について、貴事業所にあてはまるものを1つお選びください。

1. 知っており、積極的に対応していく予定である。
2. 知らなかったが、何らかの形で対応せざるを得ないと考える。
3. レジ袋有料化のように、消費者サービスの低下につながるような規制には反対である。
4. 以前からプラスチックごみの削減に取り組んでおり、法制度の動向は特に関係ない。
5. 法制度の対象となるようなプラスチックは使用していない。
6. その他 (具体的に)

問4(3) 販売店の方にお聞きします。

現在、ペットボトルや牛乳パックなどの店頭回収を行っていますか。

(該当する品目すべてに○)

1. 牛乳パック・紙パック
2. ペットボトル
3. 食品用白色発泡トレイ
4. 食品用色付き発泡トレイ
5. 発泡以外の食品トレイ
6. 卵パック
7. その他 (具体的に)
8. 店頭回収を行っていない。

問5 貴事業所の状況についてお聞きします。あてはまるものをそれぞれ1つ選び、番号に○を付けてください

業種	1. 建設業 2. 製造業 3. 電気・ガス・熱供給・水道業 4. 情報通信業 5. 運輸業、郵便業 6. 卸売業、小売業 7. 金融業、保険業 8. 不動産業、物品賃貸業 9. 学術研究、専門・技術サービス業 10. 宿泊業、飲食サービス業 11. 生活関連サービス業、娯楽業 12. 教育、学習支援業 13. 医療、福祉 14. 複合サービス事業 15. サービス業（他に分類されないもの） 16. 公務
事業形態	1. 販売店、店舗 2. 飲食店 3. 事務所・営業所 4. 工場・作業所 5. 倉庫・配送センター 6. ホテル・旅館 7. 学校・保育所・学習施設 8. 病院・医療機関 9. 映画館、劇場、娯楽施設等 10. その他（ ）
従業者数 （役員、常用のパート・アルバイトを含む）	1. 1～4人 2. 5～9人 3. 10～19人 4. 20～29人 5. 30～49人 6. 50～99人 7. 100～199人 8. 200～299人 9. 300人以上
住宅併設	1. 戸建住宅と兼用 2. 共同住宅と兼用 3. 単独事業所 4. ビル等に入居
墨田区内での 営業年数	1. 1年未満 2. 1年以上5年未満 3. 5年以上10年未満 4. 10年以上20年未満 5. 20年以上

問6 ごみやリサイクルについてお困りのことや、墨田区の施策等についてご意見があればお聞かせください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

質問は以上です。たくさんの質問にお答えいただきありがとうございました。

5.2 事業所アンケート調査 集計表（詳細）

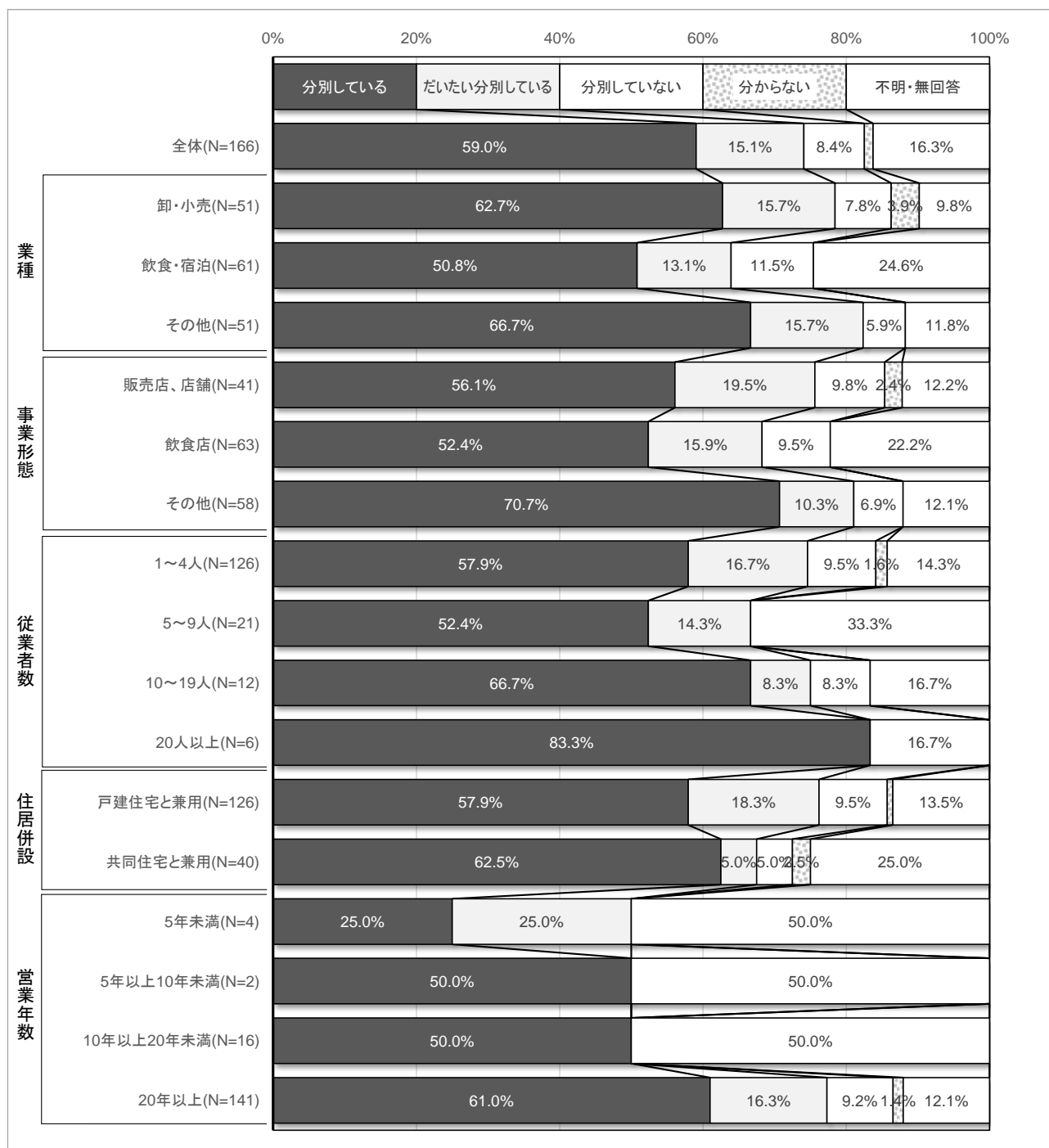
(1)問 1(3) 住居併設事業所における家庭ごみ・事業系ごみの分別

①問 1(3) 住居併設事業所における家庭ごみ・事業系ごみの分別（クロス集計表）

		合計	問1(3) 住居併設事業所における家庭ごみ・事業系ごみの分別				
			分別している	だいたい分別している	分別していない	分からない	不明・無回答
全体		166 (100%)	98 (59.0%)	25 (15.1%)	14 (8.4%)	2 (1.2%)	27 (16.3%)
業種	卸・小売	51 (100%)	32 (62.7%)	8 (15.7%)	4 (7.8%)	2 (3.9%)	5 (9.8%)
	飲食・宿泊	61 (100%)	31 (50.8%)	8 (13.1%)	7 (11.5%)	0 (0.0%)	15 (24.6%)
	その他	51 (100%)	34 (66.7%)	8 (15.7%)	3 (5.9%)	0 (0.0%)	6 (11.8%)
事業形態	販売店、店舗	41 (100%)	23 (56.1%)	8 (19.5%)	4 (9.8%)	1 (2.4%)	5 (12.2%)
	飲食店	63 (100%)	33 (52.4%)	10 (15.9%)	6 (9.5%)	0 (0.0%)	14 (22.2%)
	その他	58 (100%)	41 (70.7%)	6 (10.3%)	4 (6.9%)	0 (0.0%)	7 (12.1%)
従業員数	1～4人	126 (100%)	73 (57.9%)	21 (16.7%)	12 (9.5%)	2 (1.6%)	18 (14.3%)
	5～9人	21 (100%)	11 (52.4%)	3 (14.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	7 (33.3%)
	10～19人	12 (100%)	8 (66.7%)	1 (8.3%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)
	20人以上	6 (100%)	5 (83.3%)	0 (0.0%)	1 (16.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
住居併設	戸建住宅と兼用	126 (100%)	73 (57.9%)	23 (18.3%)	12 (9.5%)	1 (0.8%)	17 (13.5%)
	共同住宅と兼用	40 (100%)	25 (62.5%)	2 (5.0%)	2 (5.0%)	1 (2.5%)	10 (25.0%)
	単独事業所						
	ビル等に入居						
区内営業年数	5年未満	4 (100%)	1 (25.0%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)
	5年以上10年未満	16 (100%)	8 (50.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (50.0%)
	10年以上20年未満	141 (100%)	86 (61.0%)	23 (16.3%)	13 (9.2%)	2 (1.4%)	17 (12.1%)
	20年以上	3 (100%)	2 (66.7%)	1 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

※ 業種については調査対象を「販売店」「飲食店」を主としていることを考慮し、「卸・小売」「飲食・宿泊」「その他」にまとめた。事業形態も同様に「販売店、店舗」「飲食店」「その他」の3カテゴリーにまとめた。従業員数は20人以上を1つのカテゴリーにまとめている。(以下同様)

②問 1(3) 住居併設事業所における家庭ごみ・事業系ごみの分別（クロス集計グラフ）

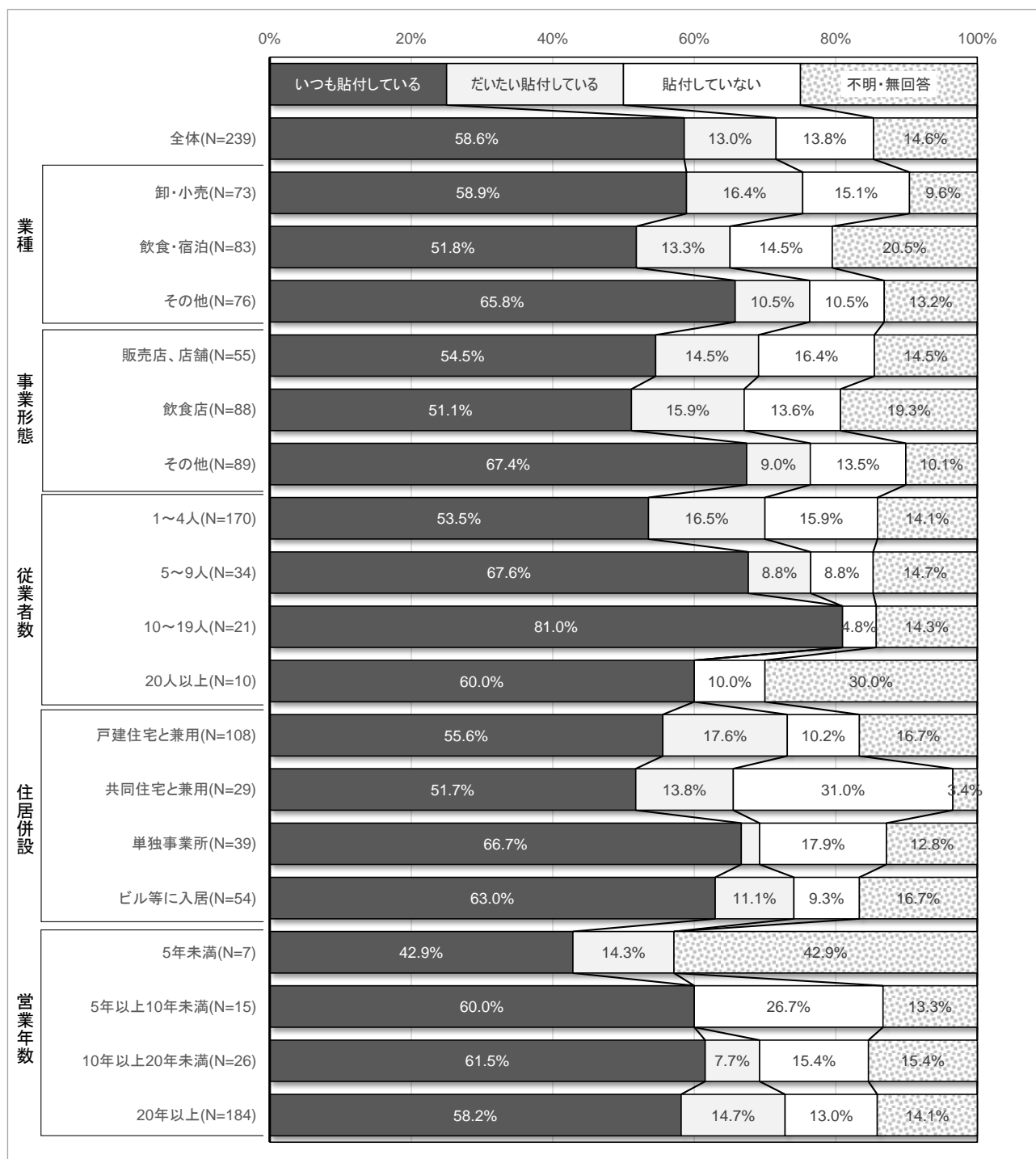


(2)問 1(4) ごみへの事業系有料ごみ処理券の貼付

①問 1(4) ごみへの事業系有料ごみ処理券の貼付（クロス集計表）

		合計	問1(4) ごみへの事業系有料ごみ処理券の貼付			
			いつも貼付している	だいたい貼付している	貼付していない	不明・無回答
全体		239 (100%)	140 (58.6%)	31 (13.0%)	33 (13.8%)	35 (14.6%)
業種	卸・小売	73 (100%)	43 (58.9%)	12 (16.4%)	11 (15.1%)	7 (9.6%)
	飲食・宿泊	83 (100%)	43 (51.8%)	11 (13.3%)	12 (14.5%)	17 (20.5%)
	その他	76 (100%)	50 (65.8%)	8 (10.5%)	8 (10.5%)	10 (13.2%)
事業形態	販売店、店舗	55 (100%)	30 (54.5%)	8 (14.5%)	9 (16.4%)	8 (14.5%)
	飲食店	88 (100%)	45 (51.1%)	14 (15.9%)	12 (13.6%)	17 (19.3%)
	その他	89 (100%)	60 (67.4%)	8 (9.0%)	12 (13.5%)	9 (10.1%)
従業者数	1～4人	170 (100%)	91 (53.5%)	28 (16.5%)	27 (15.9%)	24 (14.1%)
	5～9人	34 (100%)	23 (67.6%)	3 (8.8%)	3 (8.8%)	5 (14.7%)
	10～19人	21 (100%)	17 (81.0%)	0 (0.0%)	1 (4.8%)	3 (14.3%)
	20人以上	10 (100%)	6 (60.0%)	0 (0.0%)	1 (10.0%)	3 (30.0%)
住居併設	戸建住宅と兼用	108 (100%)	60 (55.6%)	19 (17.6%)	11 (10.2%)	18 (16.7%)
	共同住宅と兼用	29 (100%)	15 (51.7%)	4 (13.8%)	9 (31.0%)	1 (3.4%)
	単独事業所	39 (100%)	26 (66.7%)	1 (2.6%)	7 (17.9%)	5 (12.8%)
	ビル等に入居	54 (100%)	34 (63.0%)	6 (11.1%)	5 (9.3%)	9 (16.7%)
区内営業年数	5年未満	7 (100%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)	3 (42.9%)
	5年以上10年未満	26 (100%)	16 (61.5%)	2 (7.7%)	4 (15.4%)	4 (15.4%)
	10年以上20年未満	184 (100%)	107 (58.2%)	27 (14.7%)	24 (13.0%)	26 (14.1%)
	20年以上	7 (100%)	5 (71.4%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)	0 (0.0%)

②問 1(4) ごみへの事業系有料ごみ処理券の貼付（クロス集計グラフ）

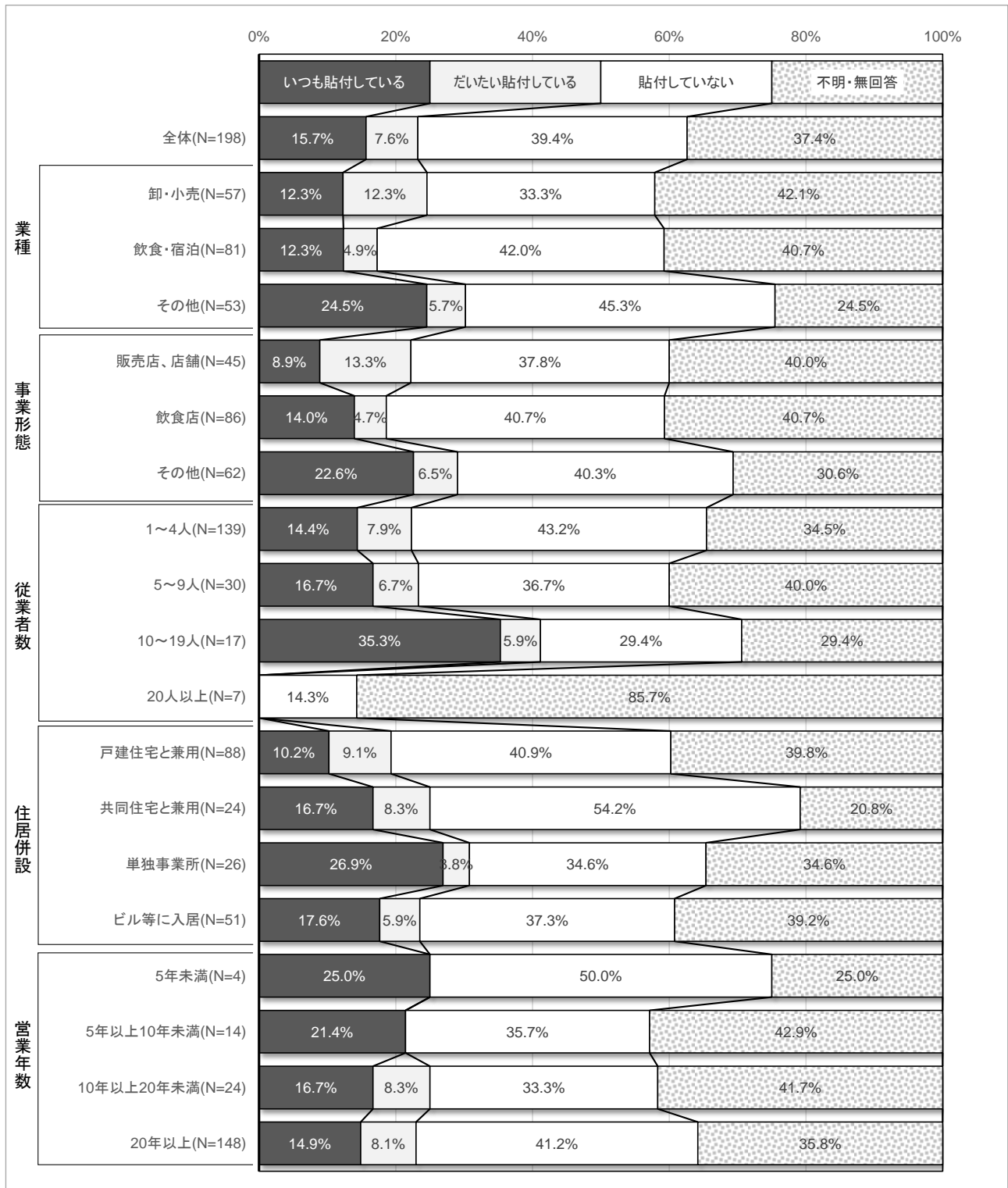


(3)問 1(5) 資源物への事業系有料ごみ処理券の貼付

①問 1(5) 資源物への事業系有料ごみ処理券の貼付（クロス集計表）

	合計	問1(5) 資源物への事業系有料ごみ処理券の貼付				
		いつも貼付している	だいたい貼付している	貼付していない	不明・無回答	
全体	198 (100%)	31 (15.7%)	15 (7.6%)	78 (39.4%)	74 (37.4%)	
業種	卸・小売	57 (100%)	7 (12.3%)	7 (12.3%)	19 (33.3%)	24 (42.1%)
	飲食・宿泊	81 (100%)	10 (12.3%)	4 (4.9%)	34 (42.0%)	33 (40.7%)
	その他	53 (100%)	13 (24.5%)	3 (5.7%)	24 (45.3%)	13 (24.5%)
事業形態	販売店、店舗	45 (100%)	4 (8.9%)	6 (13.3%)	17 (37.8%)	18 (40.0%)
	飲食店	86 (100%)	12 (14.0%)	4 (4.7%)	35 (40.7%)	35 (40.7%)
	その他	62 (100%)	14 (22.6%)	4 (6.5%)	25 (40.3%)	19 (30.6%)
従業者数	1～4人	139 (100%)	20 (14.4%)	11 (7.9%)	60 (43.2%)	48 (34.5%)
	5～9人	30 (100%)	5 (16.7%)	2 (6.7%)	11 (36.7%)	12 (40.0%)
	10～19人	17 (100%)	6 (35.3%)	1 (5.9%)	5 (29.4%)	5 (29.4%)
	20人以上	7 (100%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (14.3%)	6 (85.7%)
住居併設	戸建住宅と兼用	88 (100%)	9 (10.2%)	8 (9.1%)	36 (40.9%)	35 (39.8%)
	共同住宅と兼用	24 (100%)	4 (16.7%)	2 (8.3%)	13 (54.2%)	5 (20.8%)
	単独事業所	26 (100%)	7 (26.9%)	1 (3.8%)	9 (34.6%)	9 (34.6%)
	ビル等に入居	51 (100%)	9 (17.6%)	3 (5.9%)	19 (37.3%)	20 (39.2%)
区内営業年数	5年未満	4 (100%)	1 (25.0%)	0 (0.0%)	2 (50.0%)	1 (25.0%)
	5年以上10年未満	24 (100%)	4 (16.7%)	2 (8.3%)	8 (33.3%)	10 (41.7%)
	10年以上20年未満	148 (100%)	22 (14.9%)	12 (8.1%)	61 (41.2%)	53 (35.8%)
	20年以上	8 (100%)	1 (12.5%)	1 (12.5%)	2 (25.0%)	4 (50.0%)

②問 1(5) 資源物への事業系有料ゴミ処理券の貼付（クロス集計グラフ）



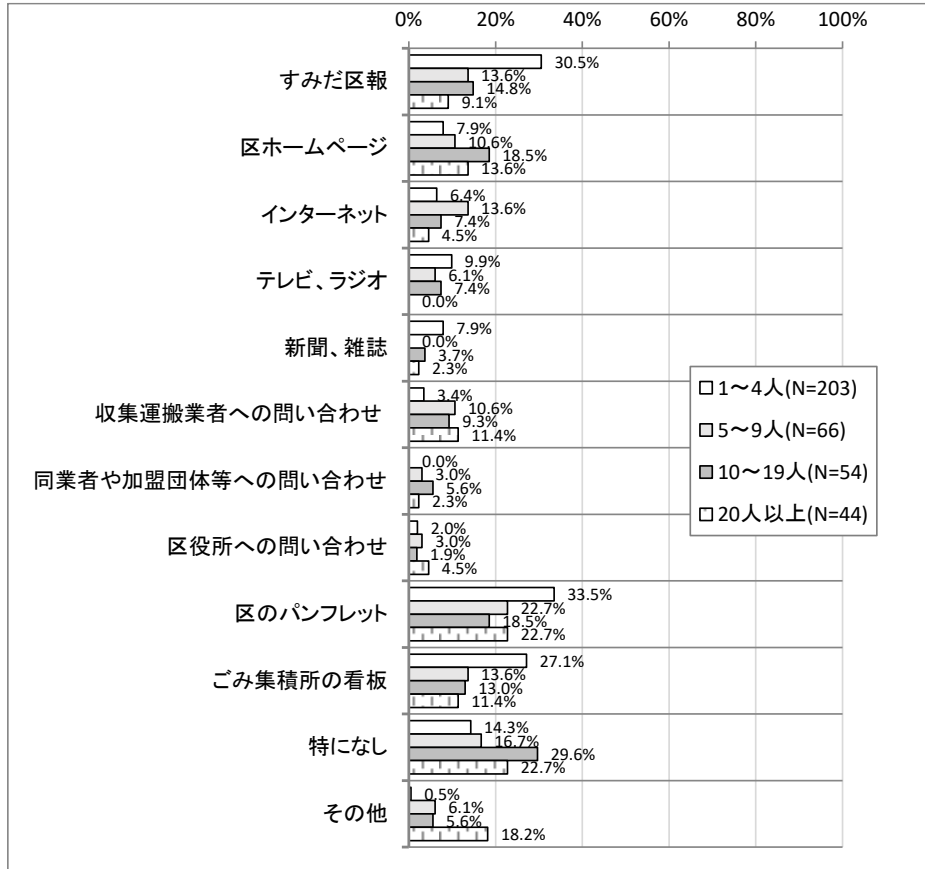
(4)問 1(6) ごみ減量・リサイクルに関する情報源

①問 1(6) ごみ減量・リサイクルに関する情報源（クロス集計表）

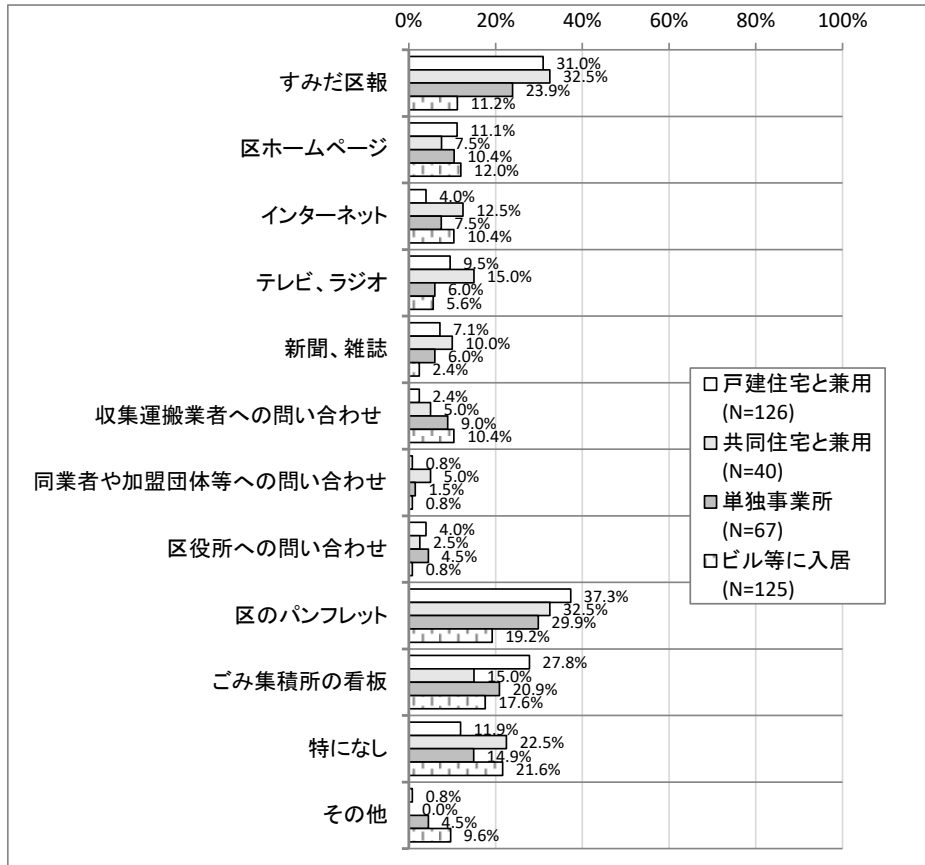
	回答数	問1(6) ごみ減量・リサイクルに関する情報源												
		すみだ区報	区ホームページ	インターネット	テレビ、ラジオ	新聞、雑誌	収集運搬業者への問い合わせ	同業者や加盟団体等への問い合わせ	区役所への問い合わせ	区のパンフレット	ごみ集積所の看板	特になし	その他	
全体	380 (100%)	84 (22.1%)	39 (10.3%)	29 (7.6%)	29 (7.6%)	20 (5.3%)	26 (6.8%)	6 (1.6%)	10 (2.6%)	110 (28.9%)	77 (20.3%)	68 (17.9%)	17 (4.5%)	
業種	卸・小売	119 (100%)	21 (17.6%)	9 (7.6%)	8 (6.7%)	6 (5.0%)	4 (3.4%)	11 (9.2%)	3 (2.5%)	3 (2.5%)	34 (28.6%)	17 (14.3%)	23 (19.3%)	8 (6.7%)
	飲食・宿泊	147 (100%)	33 (22.4%)	13 (8.8%)	11 (7.5%)	15 (10.2%)	6 (4.1%)	7 (4.8%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)	33 (22.4%)	34 (23.1%)	33 (22.4%)	4 (2.7%)
	その他	99 (100%)	27 (27.3%)	17 (17.2%)	10 (10.1%)	8 (8.1%)	10 (10.1%)	7 (7.1%)	2 (2.0%)	7 (7.1%)	38 (38.4%)	26 (26.3%)	9 (9.1%)	3 (3.0%)
事業形態	販売店、店舗	102 (100%)	17 (16.7%)	8 (7.8%)	9 (8.8%)	7 (6.9%)	4 (3.9%)	9 (8.8%)	4 (3.9%)	3 (2.9%)	19 (18.6%)	12 (11.8%)	20 (19.6%)	10 (9.8%)
	飲食店	152 (100%)	36 (23.7%)	10 (6.6%)	11 (7.2%)	14 (9.2%)	5 (3.3%)	8 (5.3%)	1 (0.7%)	1 (0.7%)	33 (21.7%)	37 (24.3%)	35 (23.0%)	5 (3.3%)
	その他	115 (100%)	27 (23.5%)	20 (17.4%)	9 (7.8%)	5 (4.3%)	8 (7.0%)	8 (7.0%)	1 (0.9%)	5 (4.3%)	49 (42.6%)	25 (21.7%)	13 (11.3%)	2 (1.7%)
従業員数	1～4人	203 (100%)	62 (30.5%)	16 (7.9%)	13 (6.4%)	20 (9.9%)	16 (7.9%)	7 (3.4%)	0 (0.0%)	4 (2.0%)	68 (33.5%)	55 (27.1%)	29 (14.3%)	1 (0.5%)
	5～9人	66 (100%)	9 (13.6%)	7 (10.6%)	9 (13.6%)	4 (6.1%)	0 (0.0%)	7 (10.6%)	2 (3.0%)	2 (3.0%)	15 (22.7%)	9 (13.6%)	11 (16.7%)	4 (6.1%)
	10～19人	54 (100%)	8 (14.8%)	10 (18.5%)	4 (7.4%)	4 (7.4%)	2 (3.7%)	5 (9.3%)	3 (5.6%)	1 (1.9%)	10 (18.5%)	7 (13.0%)	16 (29.6%)	3 (5.6%)
	20人以上	44 (100%)	4 (9.1%)	6 (13.6%)	2 (4.5%)	0 (0.0%)	1 (2.3%)	5 (11.4%)	1 (2.3%)	2 (4.5%)	10 (22.7%)	5 (11.4%)	10 (22.7%)	8 (18.2%)
住居併設	戸建住宅と兼用	126 (100%)	39 (31.0%)	14 (11.1%)	5 (4.0%)	12 (9.5%)	9 (7.1%)	3 (2.4%)	1 (0.8%)	5 (4.0%)	47 (37.3%)	35 (27.8%)	15 (11.9%)	1 (0.8%)
	共同住宅と兼用	40 (100%)	13 (32.5%)	3 (7.5%)	5 (12.5%)	6 (15.0%)	4 (10.0%)	2 (5.0%)	2 (5.0%)	1 (2.5%)	13 (32.5%)	6 (15.0%)	9 (22.5%)	0 (0.0%)
	単独事業所	67 (100%)	16 (23.9%)	7 (10.4%)	5 (7.5%)	4 (6.0%)	4 (6.0%)	6 (9.0%)	1 (1.5%)	3 (4.5%)	20 (29.9%)	14 (20.9%)	10 (14.9%)	3 (4.5%)
	ビル等に入居	125 (100%)	14 (11.2%)	15 (12.0%)	13 (10.4%)	7 (5.6%)	3 (2.4%)	13 (10.4%)	1 (0.8%)	1 (0.8%)	24 (19.2%)	22 (17.6%)	27 (21.6%)	12 (9.6%)
区内営業年数	5年未満	19 (100%)	2 (10.5%)	6 (31.6%)	4 (21.1%)	4 (21.1%)	0 (0.0%)	2 (10.5%)	1 (5.3%)	1 (5.3%)	4 (21.1%)	3 (15.8%)	3 (15.8%)	1 (5.3%)
	5年以上10年未満	60 (100%)	7 (11.7%)	6 (10.0%)	6 (10.0%)	2 (3.3%)	1 (1.7%)	3 (5.0%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)	7 (11.7%)	6 (10.0%)	17 (28.3%)	4 (6.7%)
	10年以上20年未満	238 (100%)	66 (27.7%)	22 (9.2%)	12 (5.0%)	20 (8.4%)	18 (7.6%)	14 (5.9%)	2 (0.8%)	8 (3.4%)	84 (35.3%)	64 (26.9%)	30 (12.6%)	5 (2.1%)
	20年以上	14 (100%)	4 (28.6%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	1 (7.1%)	7 (50.0%)	0 (0.0%)	2 (14.3%)	0 (0.0%)

②問 1(6) ごみ減量・リサイクルに関する情報源（クロス集計グラフ抜粋）

(従業者数別)



(住居併設別)

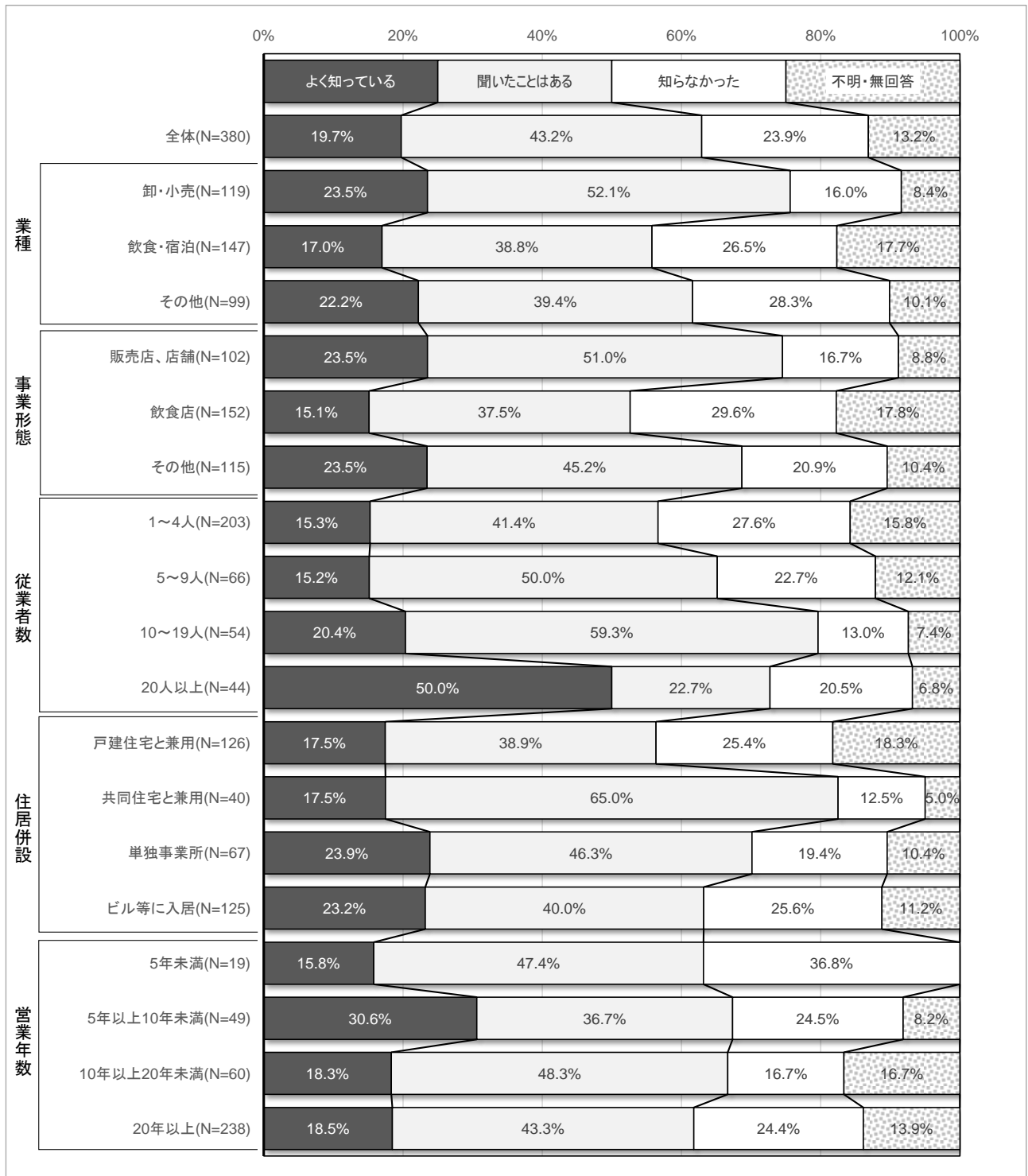


(5)問 1(7) SDGs の認知度

①問 1(7) SDGs の認知度 (クロス集計表)

		合計	問1(7) SDGsの認知度			
			よく知っている	聞いたことはある	知らなかった	不明・無回答
全体		380 (100%)	75 (19.7%)	164 (43.2%)	91 (23.9%)	50 (13.2%)
業種	卸・小売	119 (100%)	28 (23.5%)	62 (52.1%)	19 (16.0%)	10 (8.4%)
	飲食・宿泊	147 (100%)	25 (17.0%)	57 (38.8%)	39 (26.5%)	26 (17.7%)
	その他	99 (100%)	22 (22.2%)	39 (39.4%)	28 (28.3%)	10 (10.1%)
事業形態	販売店、店舗	102 (100%)	24 (23.5%)	52 (51.0%)	17 (16.7%)	9 (8.8%)
	飲食店	152 (100%)	23 (15.1%)	57 (37.5%)	45 (29.6%)	27 (17.8%)
	その他	115 (100%)	27 (23.5%)	52 (45.2%)	24 (20.9%)	12 (10.4%)
従業員数	1～4人	203 (100%)	31 (15.3%)	84 (41.4%)	56 (27.6%)	32 (15.8%)
	5～9人	66 (100%)	10 (15.2%)	33 (50.0%)	15 (22.7%)	8 (12.1%)
	10～19人	54 (100%)	11 (20.4%)	32 (59.3%)	7 (13.0%)	4 (7.4%)
	20人以上	44 (100%)	22 (50.0%)	10 (22.7%)	9 (20.5%)	3 (6.8%)
住居併設	戸建住宅と兼用	126 (100%)	22 (17.5%)	49 (38.9%)	32 (25.4%)	23 (18.3%)
	共同住宅と兼用	40 (100%)	7 (17.5%)	26 (65.0%)	5 (12.5%)	2 (5.0%)
	単独事業所	67 (100%)	16 (23.9%)	31 (46.3%)	13 (19.4%)	7 (10.4%)
	ビル等に入居	125 (100%)	29 (23.2%)	50 (40.0%)	32 (25.6%)	14 (11.2%)
区内営業年数	5年未満	19 (100%)	3 (15.8%)	9 (47.4%)	7 (36.8%)	0 (0.0%)
	5年以上10年未満	60 (100%)	11 (18.3%)	29 (48.3%)	10 (16.7%)	10 (16.7%)
	10年以上	238 (100%)	44 (18.5%)	103 (43.3%)	58 (24.4%)	33 (13.9%)
	20年未満	14 (100%)	2 (14.3%)	5 (35.7%)	4 (28.6%)	3 (21.4%)
	20年以上	14 (100%)	2 (14.3%)	5 (35.7%)	4 (28.6%)	3 (21.4%)

②問 1(7) SDGs の認知度 (クロス集計グラフ)

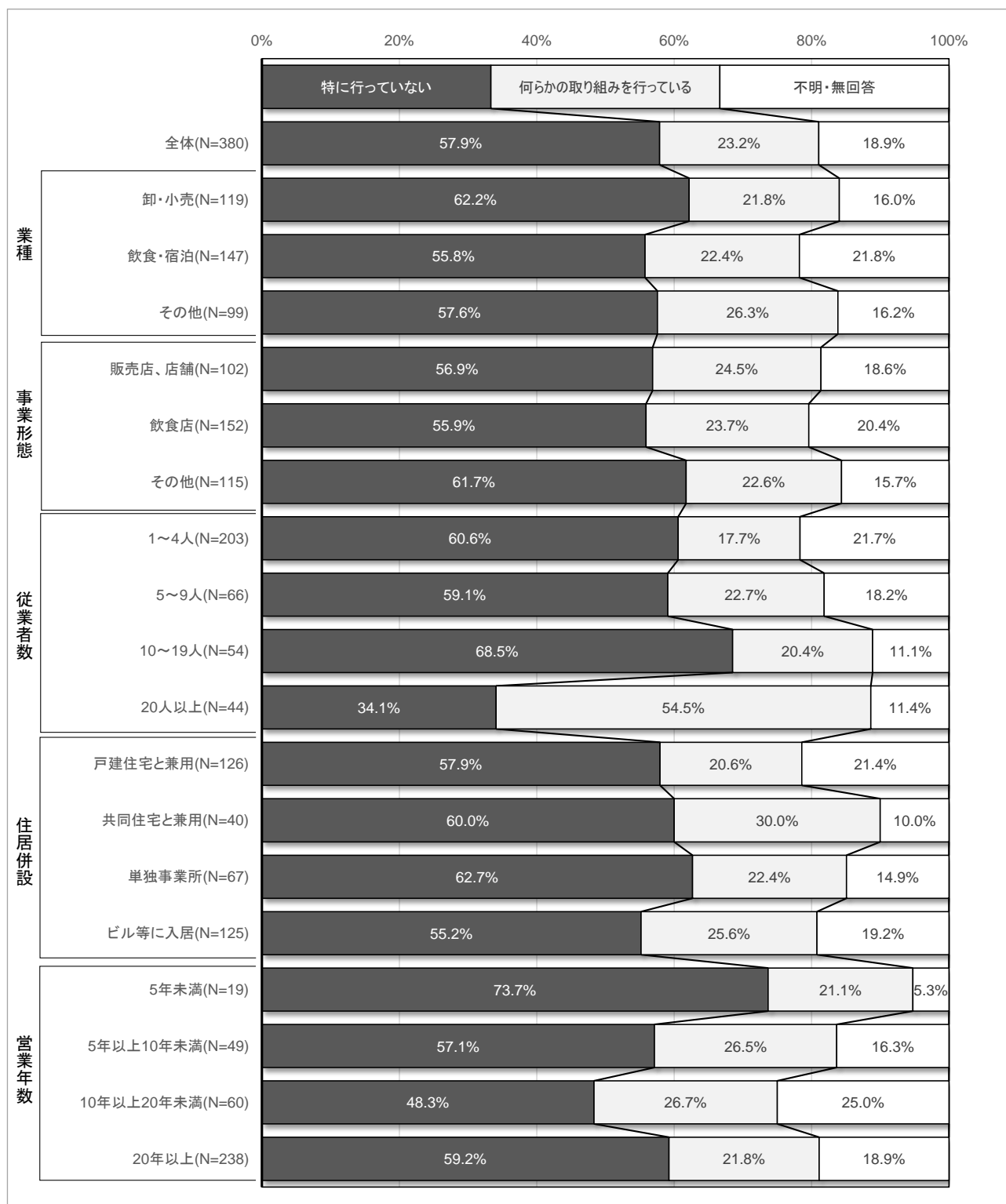


(6)問 1(8) SDGs の取り組みの実施

①問 1(8) SDGs の取り組みの実施（クロス集計表）

		合計	問1(8) SDGsの取り組みの実施		
			特に行っていない	何らかの取り組みを行っている	不明・無回答
全体		380 (100%)	220 (57.9%)	88 (23.2%)	72 (18.9%)
業種	卸・小売	119 (100%)	74 (62.2%)	26 (21.8%)	19 (16.0%)
	飲食・宿泊	147 (100%)	82 (55.8%)	33 (22.4%)	32 (21.8%)
	その他	99 (100%)	57 (57.6%)	26 (26.3%)	16 (16.2%)
事業形態	販売店、店舗	102 (100%)	58 (56.9%)	25 (24.5%)	19 (18.6%)
	飲食店	152 (100%)	85 (55.9%)	36 (23.7%)	31 (20.4%)
	その他	115 (100%)	71 (61.7%)	26 (22.6%)	18 (15.7%)
従業員数	1～4人	203 (100%)	123 (60.6%)	36 (17.7%)	44 (21.7%)
	5～9人	66 (100%)	39 (59.1%)	15 (22.7%)	12 (18.2%)
	10～19人	54 (100%)	37 (68.5%)	11 (20.4%)	6 (11.1%)
	20人以上	44 (100%)	15 (34.1%)	24 (54.5%)	5 (11.4%)
住居併設	戸建住宅と兼用	126 (100%)	73 (57.9%)	26 (20.6%)	27 (21.4%)
	共同住宅と兼用	40 (100%)	24 (60.0%)	12 (30.0%)	4 (10.0%)
	単独事業所	67 (100%)	42 (62.7%)	15 (22.4%)	10 (14.9%)
	ビル等に入居	125 (100%)	69 (55.2%)	32 (25.6%)	24 (19.2%)
区内営業年数	5年未満	19 (100%)	14 (73.7%)	4 (21.1%)	1 (5.3%)
	5年以上10年未満	60 (100%)	29 (48.3%)	16 (26.7%)	15 (25.0%)
	10年以上	238 (100%)	141 (59.2%)	52 (21.8%)	45 (18.9%)
	20年未満	14 (100%)	8 (57.1%)	3 (21.4%)	3 (21.4%)
	20年以上	14 (100%)	8 (57.1%)	3 (21.4%)	3 (21.4%)

②問 1(8) SDGs の取り組みの実施（クロス集計グラフ）

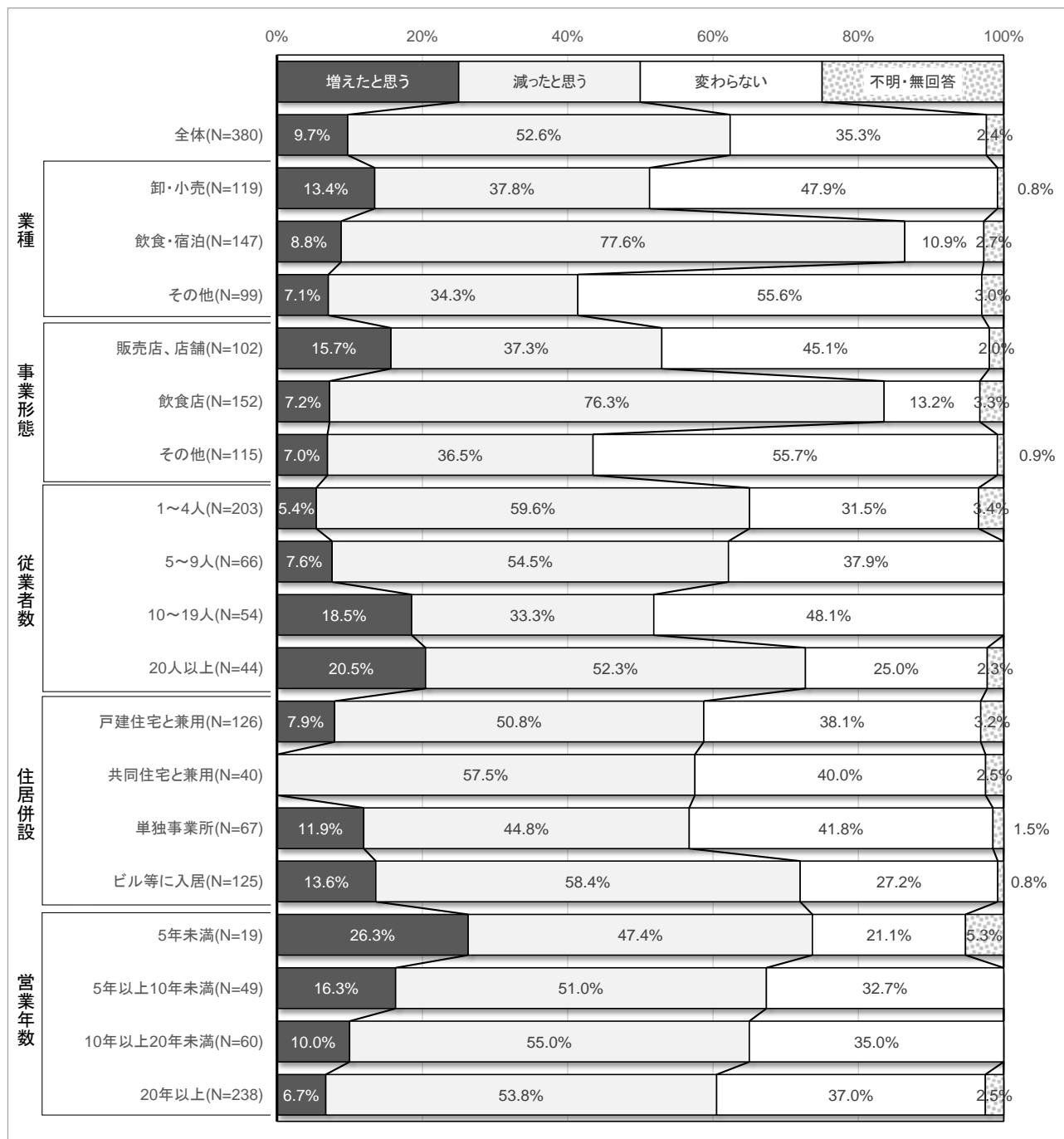


(7)問 2(1) コロナ禍のごみ・資源量への影響

①問 2(1) コロナ禍のごみ・資源量への影響 (クロス集計表)

		合計	問2(1) コロナ禍のごみ・資源量への影響			
			増えたと思う	減ったと思う	変わらない	不明・無回答
全体		380 (100%)	37 (9.7%)	200 (52.6%)	134 (35.3%)	9 (2.4%)
業種	卸・小売	119 (100%)	16 (13.4%)	45 (37.8%)	57 (47.9%)	1 (0.8%)
	飲食・宿泊	147 (100%)	13 (8.8%)	114 (77.6%)	16 (10.9%)	4 (2.7%)
	その他	99 (100%)	7 (7.1%)	34 (34.3%)	55 (55.6%)	3 (3.0%)
事業形態	販売店、店舗	102 (100%)	16 (15.7%)	38 (37.3%)	46 (45.1%)	2 (2.0%)
	飲食店	152 (100%)	11 (7.2%)	116 (76.3%)	20 (13.2%)	5 (3.3%)
	その他	115 (100%)	8 (7.0%)	42 (36.5%)	64 (55.7%)	1 (0.9%)
従業員数	1～4人	203 (100%)	11 (5.4%)	121 (59.6%)	64 (31.5%)	7 (3.4%)
	5～9人	66 (100%)	5 (7.6%)	36 (54.5%)	25 (37.9%)	0 (0.0%)
	10～19人	54 (100%)	10 (18.5%)	18 (33.3%)	26 (48.1%)	0 (0.0%)
	20人以上	44 (100%)	9 (20.5%)	23 (52.3%)	11 (25.0%)	1 (2.3%)
住居併設	戸建住宅と兼用	126 (100%)	10 (7.9%)	64 (50.8%)	48 (38.1%)	4 (3.2%)
	共同住宅と兼用	40 (100%)	0 (0.0%)	23 (57.5%)	16 (40.0%)	1 (2.5%)
	単独事業所	67 (100%)	8 (11.9%)	30 (44.8%)	28 (41.8%)	1 (1.5%)
	ビル等に入居	125 (100%)	17 (13.6%)	73 (58.4%)	34 (27.2%)	1 (0.8%)
区内営業年数	5年未満	19 (100%)	5 (26.3%)	9 (47.4%)	4 (21.1%)	1 (5.3%)
	5年以上10年未満	60 (100%)	6 (10.0%)	33 (55.0%)	21 (35.0%)	0 (0.0%)
	10年以上20年未満	238 (100%)	16 (6.7%)	128 (53.8%)	88 (37.0%)	6 (2.5%)
	20年以上	14 (100%)	2 (14.3%)	5 (35.7%)	5 (35.7%)	2 (14.3%)

②問 2(1) コロナ禍のごみ・資源量への影響 (クロス集計グラフ)

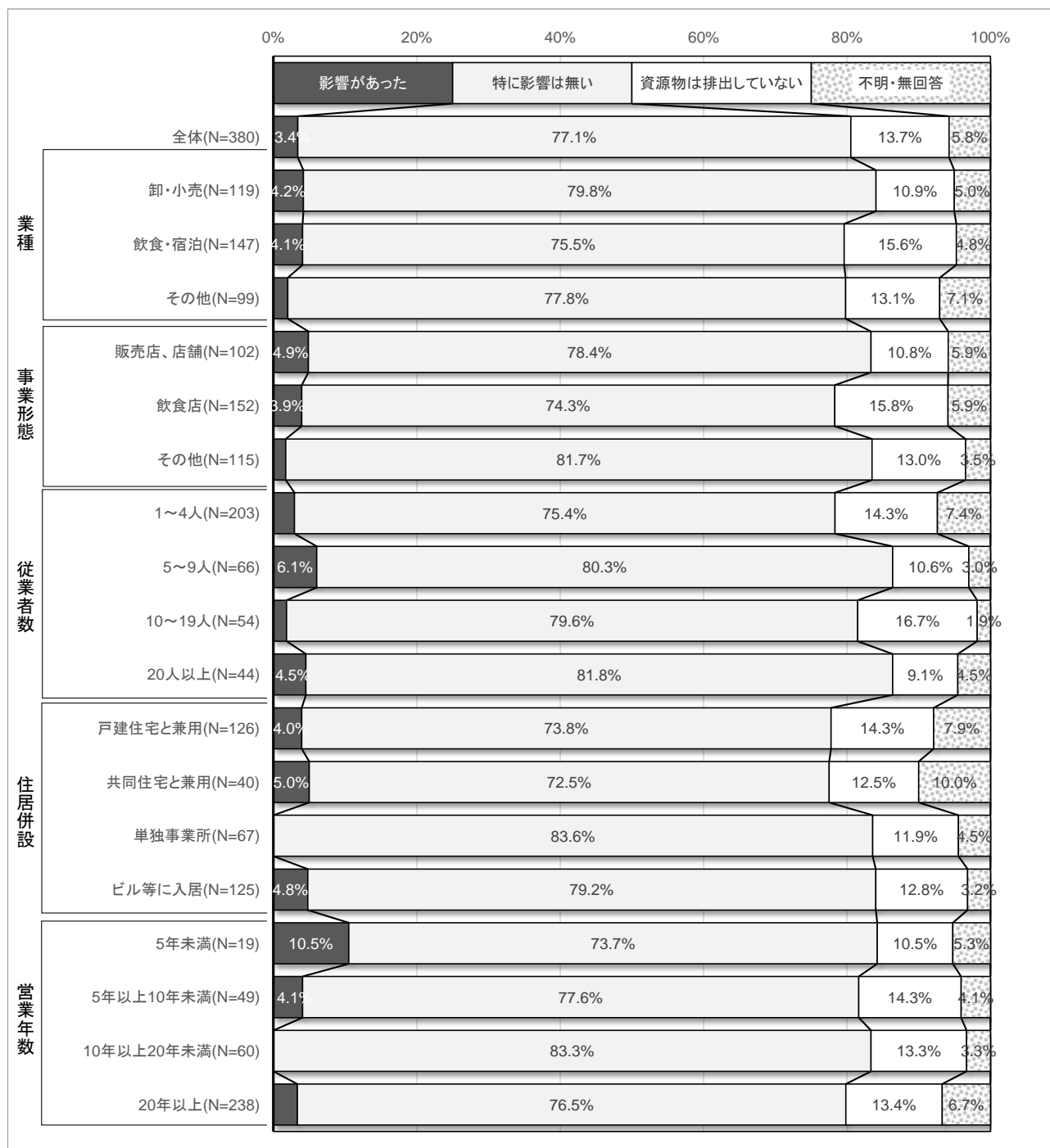


(8)問 2(2) コロナ禍の資源リサイクルへの影響

①問 2(2) コロナ禍の資源リサイクルへの影響 (クロス集計表)

		合計	問2(2) コロナ禍の資源リサイクルへの影響			
			影響があった	特に影響は無い	資源物は排出していない	不明・無回答
全体		380 (100%)	13 (3.4%)	293 (77.1%)	52 (13.7%)	22 (5.8%)
業種	卸・小売	119 (100%)	5 (4.2%)	95 (79.8%)	13 (10.9%)	6 (5.0%)
	飲食・宿泊	147 (100%)	6 (4.1%)	111 (75.5%)	23 (15.6%)	7 (4.8%)
	その他	99 (100%)	2 (2.0%)	77 (77.8%)	13 (13.1%)	7 (7.1%)
事業形態	販売店、店舗	102 (100%)	5 (4.9%)	80 (78.4%)	11 (10.8%)	6 (5.9%)
	飲食店	152 (100%)	6 (3.9%)	113 (74.3%)	24 (15.8%)	9 (5.9%)
	その他	115 (100%)	2 (1.7%)	94 (81.7%)	15 (13.0%)	4 (3.5%)
従業者数	1～4人	203 (100%)	6 (3.0%)	153 (75.4%)	29 (14.3%)	15 (7.4%)
	5～9人	66 (100%)	4 (6.1%)	53 (80.3%)	7 (10.6%)	2 (3.0%)
	10～19人	54 (100%)	1 (1.9%)	43 (79.6%)	9 (16.7%)	1 (1.9%)
	20人以上	44 (100%)	2 (4.5%)	36 (81.8%)	4 (9.1%)	2 (4.5%)
住居併設	戸建住宅と兼用	126 (100%)	5 (4.0%)	93 (73.8%)	18 (14.3%)	10 (7.9%)
	共同住宅と兼用	40 (100%)	2 (5.0%)	29 (72.5%)	5 (12.5%)	4 (10.0%)
	単独事業所	67 (100%)	0 (0.0%)	56 (83.6%)	8 (11.9%)	3 (4.5%)
	ビル等に入居	125 (100%)	6 (4.8%)	99 (79.2%)	16 (12.8%)	4 (3.2%)
区内営業年数	5年未満	19 (100%)	2 (10.5%)	14 (73.7%)	2 (10.5%)	1 (5.3%)
	5年以上10年未満	60 (100%)	0 (0.0%)	50 (83.3%)	8 (13.3%)	2 (3.3%)
	10年以上	238 (100%)	8 (3.4%)	182 (76.5%)	32 (13.4%)	16 (6.7%)
	20年未満	14 (100%)	1 (7.1%)	9 (64.3%)	3 (21.4%)	1 (7.1%)
	20年以上	14 (100%)	1 (7.1%)	9 (64.3%)	3 (21.4%)	1 (7.1%)

(9)問 2(2) コロナ禍の資源リサイクルへの影響 (クロス集計グラフ)



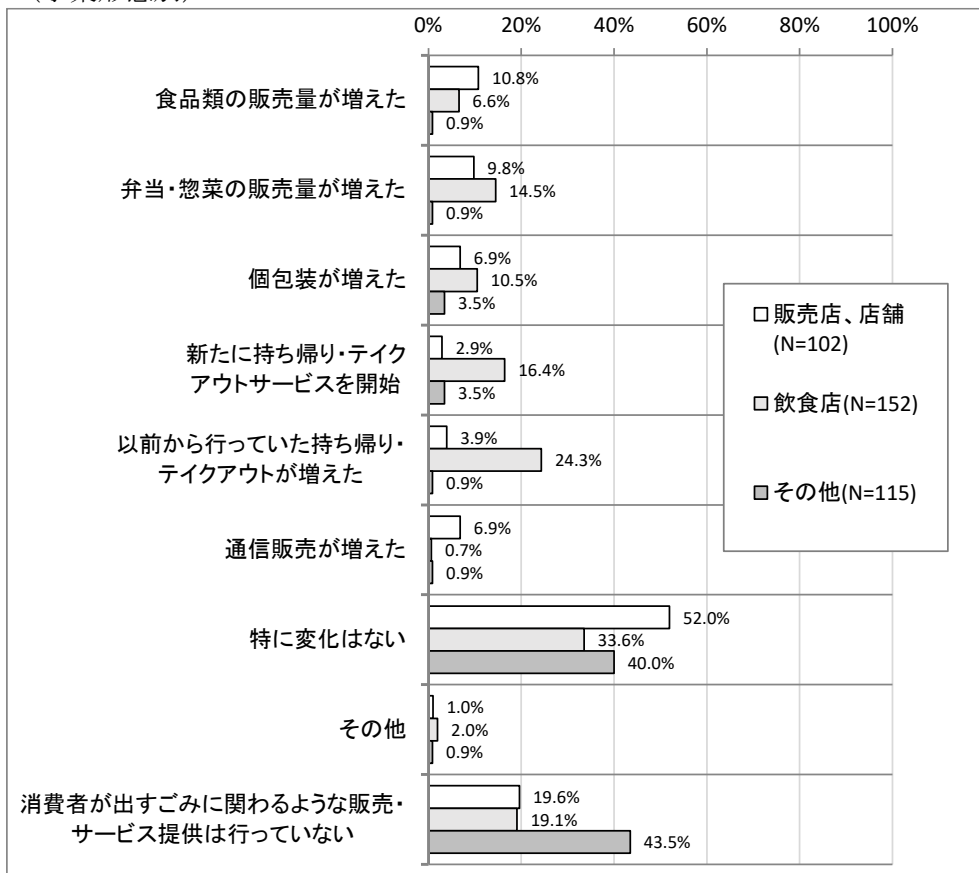
(10)問 2(4) コロナ禍の販売・サービスへの影響

①問 2(4) コロナ禍の販売・サービスへの影響（クロス集計表）

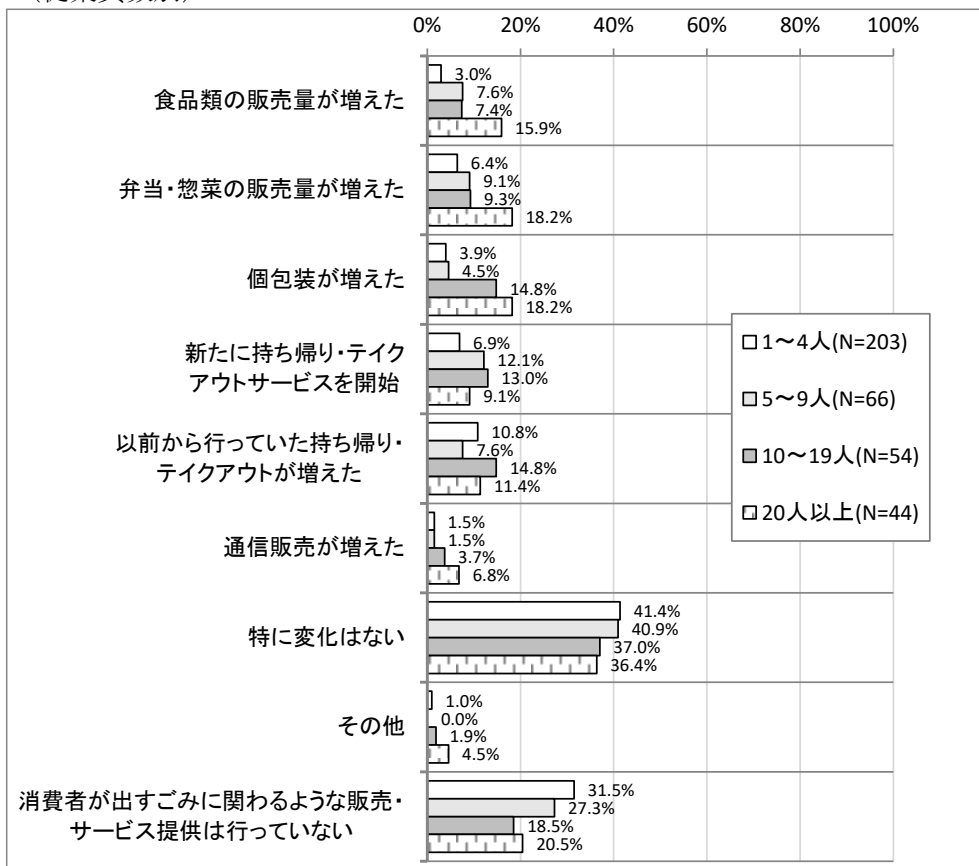
		問2(4) コロナ禍の販売・サービスへの影響									
		合計	食品類の 販売量が 増えた	弁当・惣菜 の販売量が 増えた	個包装が 増えた	新たに持ち帰 り・テイクア ウトサービス を開始	以前から行っ ていた持ち帰 り・テイクア ウトが増えた	通信販売 が増えた	特に変化 はない	その他	消費者が出 すごみに関 わるような販 売・サービス 提供は行っ ていない
全体		380 (100%)	23 (6.1%)	33 (8.7%)	28 (7.4%)	33 (8.7%)	42 (11.1%)	10 (2.6%)	151 (39.7%)	5 (1.3%)	102 (26.8%)
業種	卸・小売	119 (100%)	5 (4.2%)	6 (5.0%)	8 (6.7%)	4 (3.4%)	3 (2.5%)	4 (3.4%)	54 (45.4%)	1 (0.8%)	38 (31.9%)
	飲食・宿泊	147 (100%)	12 (8.2%)	20 (13.6%)	16 (10.9%)	25 (17.0%)	33 (22.4%)	1 (0.7%)	48 (32.7%)	4 (2.7%)	28 (19.0%)
	その他	99 (100%)	2 (2.0%)	3 (3.0%)	2 (2.0%)	4 (4.0%)	3 (3.0%)	2 (2.0%)	46 (46.5%)	0 (0.0%)	34 (34.3%)
事業 形態	販売店、店 舗	102 (100%)	11 (10.8%)	10 (9.8%)	7 (6.9%)	3 (2.9%)	4 (3.9%)	7 (6.9%)	53 (52.0%)	1 (1.0%)	20 (19.6%)
	飲食店	152 (100%)	10 (6.6%)	22 (14.5%)	16 (10.5%)	25 (16.4%)	37 (24.3%)	1 (0.7%)	51 (33.6%)	3 (2.0%)	29 (19.1%)
	その他	115 (100%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	4 (3.5%)	4 (3.5%)	1 (0.9%)	1 (0.9%)	46 (40.0%)	1 (0.9%)	50 (43.5%)
従 業 者 数	1～4人	203 (100%)	6 (3.0%)	13 (6.4%)	8 (3.9%)	14 (6.9%)	22 (10.8%)	3 (1.5%)	84 (41.4%)	2 (1.0%)	64 (31.5%)
	5～9人	66 (100%)	5 (7.6%)	6 (9.1%)	3 (4.5%)	8 (12.1%)	5 (7.6%)	1 (1.5%)	27 (40.9%)	0 (0.0%)	18 (27.3%)
	10～19人	54 (100%)	4 (7.4%)	5 (9.3%)	8 (14.8%)	7 (13.0%)	8 (14.8%)	2 (3.7%)	20 (37.0%)	1 (1.9%)	10 (18.5%)
	20人以上	44 (100%)	7 (15.9%)	8 (18.2%)	8 (18.2%)	4 (9.1%)	5 (11.4%)	3 (6.8%)	16 (36.4%)	2 (4.5%)	9 (20.5%)
住 居 併 設	戸建住宅と 兼用	126 (100%)	5 (4.0%)	8 (6.3%)	3 (2.4%)	6 (4.8%)	10 (7.9%)	3 (2.4%)	52 (41.3%)	0 (0.0%)	42 (33.3%)
	共同住宅と 兼用	40 (100%)	1 (2.5%)	4 (10.0%)	3 (7.5%)	3 (7.5%)	8 (20.0%)	0 (0.0%)	11 (27.5%)	1 (2.5%)	14 (35.0%)
	単独事業所	67 (100%)	3 (4.5%)	4 (6.0%)	4 (6.0%)	5 (7.5%)	2 (3.0%)	0 (0.0%)	26 (38.8%)	2 (3.0%)	22 (32.8%)
	ビル等に入 居	125 (100%)	11 (8.8%)	13 (10.4%)	16 (12.8%)	17 (13.6%)	18 (14.4%)	5 (4.0%)	54 (43.2%)	1 (0.8%)	22 (17.6%)
区 内 営 業 年 数	5年未満	19 (100%)	2 (10.5%)	2 (10.5%)	2 (10.5%)	5 (26.3%)	3 (15.8%)	0 (0.0%)	4 (21.1%)	1 (5.3%)	3 (15.8%)
	5年以上10 年未満	60 (100%)	7 (11.7%)	9 (15.0%)	8 (13.3%)	6 (10.0%)	11 (18.3%)	2 (3.3%)	28 (46.7%)	1 (1.7%)	8 (13.3%)
	10年以上 20年未満	238 (100%)	7 (2.9%)	14 (5.9%)	12 (5.0%)	17 (7.1%)	19 (8.0%)	4 (1.7%)	95 (39.9%)	1 (0.4%)	82 (34.5%)
	20年以上	14 (100%)	1 (7.1%)	2 (14.3%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	3 (21.4%)	1 (7.1%)	3 (21.4%)	1 (7.1%)	3 (21.4%)

②問 2(4) コロナ禍の販売・サービスへの影響（クロス集計グラフ抜粋）

（事業形態別）



（従業員数別）

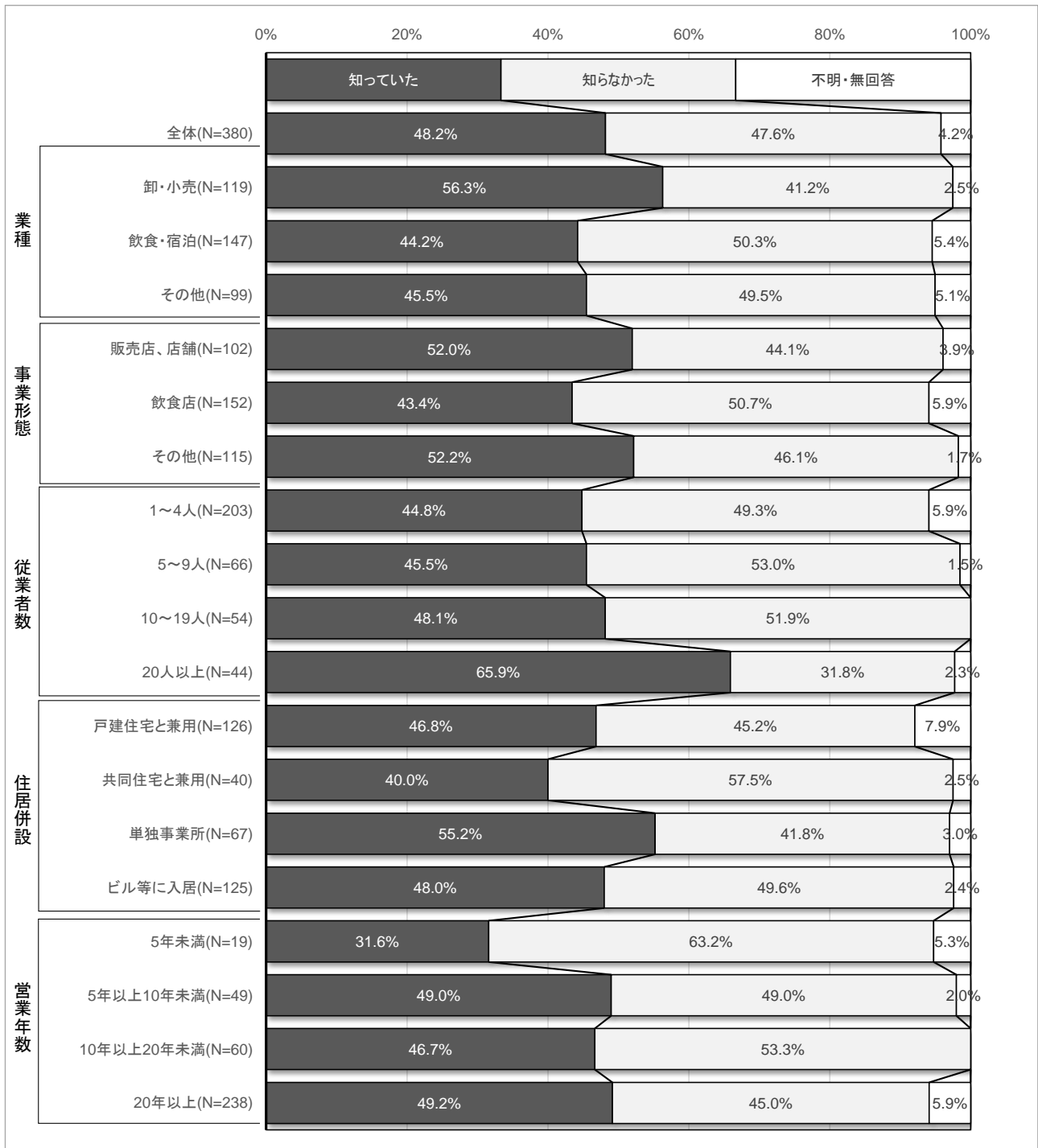


(11)問 3(1) プラスチックは産廃であることについて

①問 3(1) プラスチックは産廃であることについて (クロス集計表)

		合計	問3(1) プラは産廃であることについて		
			知っていた	知らなかった	不明・無回答
全体		380 (100%)	183 (48.2%)	181 (47.6%)	16 (4.2%)
業種	卸・小売	119 (100%)	67 (56.3%)	49 (41.2%)	3 (2.5%)
	飲食・宿泊	147 (100%)	65 (44.2%)	74 (50.3%)	8 (5.4%)
	その他	99 (100%)	45 (45.5%)	49 (49.5%)	5 (5.1%)
事業形態	販売店、店舗	102 (100%)	53 (52.0%)	45 (44.1%)	4 (3.9%)
	飲食店	152 (100%)	66 (43.4%)	77 (50.7%)	9 (5.9%)
	その他	115 (100%)	60 (52.2%)	53 (46.1%)	2 (1.7%)
従業員数	1～4人	203 (100%)	91 (44.8%)	100 (49.3%)	12 (5.9%)
	5～9人	66 (100%)	30 (45.5%)	35 (53.0%)	1 (1.5%)
	10～19人	54 (100%)	26 (48.1%)	28 (51.9%)	0 (0.0%)
	20人以上	44 (100%)	29 (65.9%)	14 (31.8%)	1 (2.3%)
住居併設	戸建住宅と兼用	126 (100%)	59 (46.8%)	57 (45.2%)	10 (7.9%)
	共同住宅と兼用	40 (100%)	16 (40.0%)	23 (57.5%)	1 (2.5%)
	単独事業所	67 (100%)	37 (55.2%)	28 (41.8%)	2 (3.0%)
	ビル等に入居	125 (100%)	60 (48.0%)	62 (49.6%)	3 (2.4%)
区内営業年数	5年未満	19 (100%)	6 (31.6%)	12 (63.2%)	1 (5.3%)
	5年以上10年未満	60 (100%)	28 (46.7%)	32 (53.3%)	0 (0.0%)
	10年以上	238 (100%)	117 (49.2%)	107 (45.0%)	14 (5.9%)
	20年未満	14 (100%)	8 (57.1%)	6 (42.9%)	0 (0.0%)
	20年以上	14 (100%)	8 (57.1%)	6 (42.9%)	0 (0.0%)

②問 3(1) プラスチックは産廃であることについて (クロス集計グラフ)

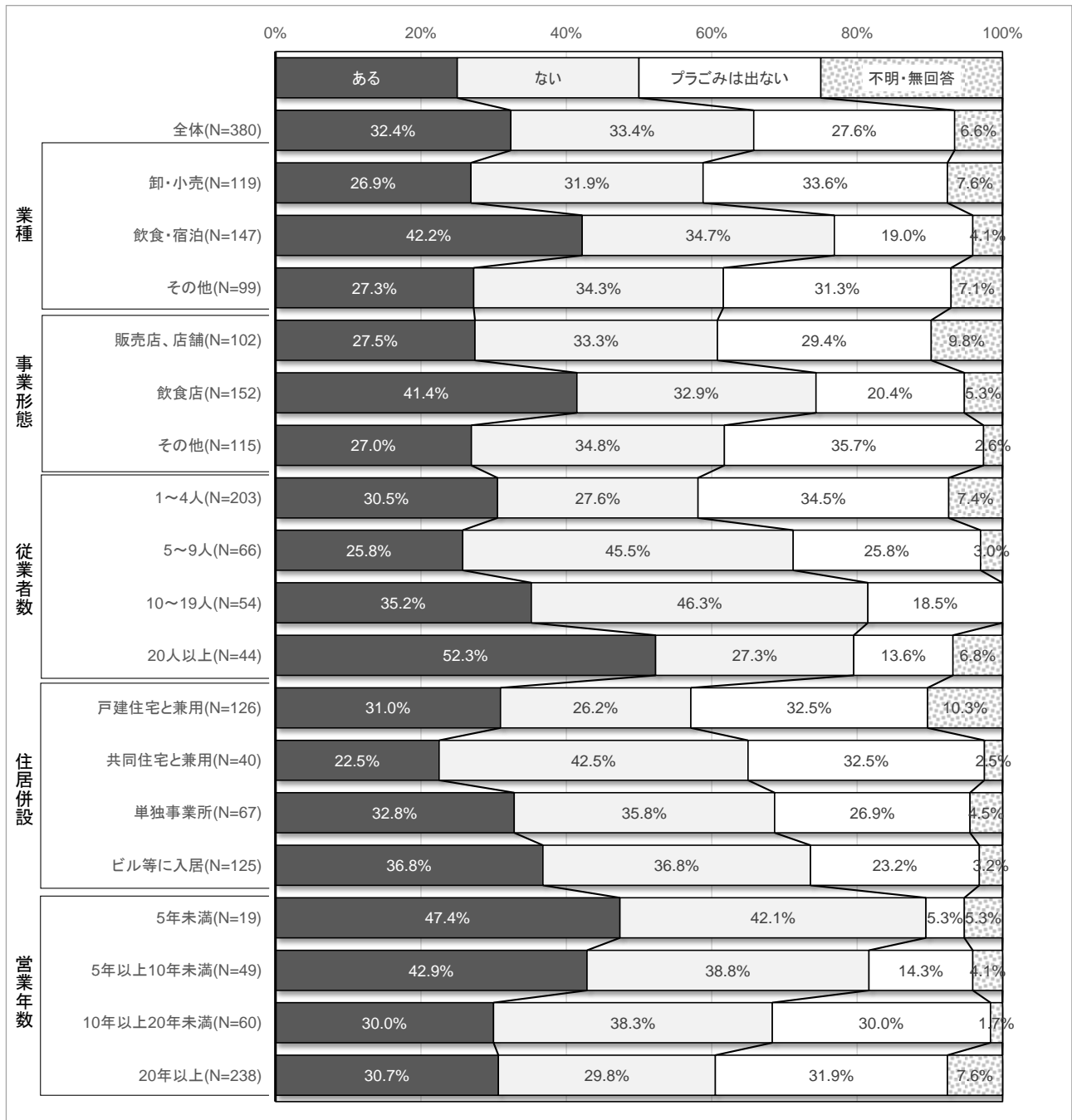


(12)問 3(2) プラスチックごみ削減の可能性について

①問 3(2) プラスチックごみ削減の可能性について（クロス集計表）

		合計	問3(2) プラスチックごみ削減の可能性について			
			ある	ない	プラごみは出ない	不明・無回答
全体		380 (100%)	123 (32.4%)	127 (33.4%)	105 (27.6%)	25 (6.6%)
業種	卸・小売	119 (100%)	32 (26.9%)	38 (31.9%)	40 (33.6%)	9 (7.6%)
	飲食・宿泊	147 (100%)	62 (42.2%)	51 (34.7%)	28 (19.0%)	6 (4.1%)
	その他	99 (100%)	27 (27.3%)	34 (34.3%)	31 (31.3%)	7 (7.1%)
事業形態	販売店、店舗	102 (100%)	28 (27.5%)	34 (33.3%)	30 (29.4%)	10 (9.8%)
	飲食店	152 (100%)	63 (41.4%)	50 (32.9%)	31 (20.4%)	8 (5.3%)
	その他	115 (100%)	31 (27.0%)	40 (34.8%)	41 (35.7%)	3 (2.6%)
従業者数	1～4人	203 (100%)	62 (30.5%)	56 (27.6%)	70 (34.5%)	15 (7.4%)
	5～9人	66 (100%)	17 (25.8%)	30 (45.5%)	17 (25.8%)	2 (3.0%)
	10～19人	54 (100%)	19 (35.2%)	25 (46.3%)	10 (18.5%)	0 (0.0%)
	20人以上	44 (100%)	23 (52.3%)	12 (27.3%)	6 (13.6%)	3 (6.8%)
住居併設	戸建住宅と兼用	126 (100%)	39 (31.0%)	33 (26.2%)	41 (32.5%)	13 (10.3%)
	共同住宅と兼用	40 (100%)	9 (22.5%)	17 (42.5%)	13 (32.5%)	1 (2.5%)
	単独事業所	67 (100%)	22 (32.8%)	24 (35.8%)	18 (26.9%)	3 (4.5%)
	ビル等に入居	125 (100%)	46 (36.8%)	46 (36.8%)	29 (23.2%)	4 (3.2%)
区内営業年数	5年未満	19 (100%)	9 (47.4%)	8 (42.1%)	1 (5.3%)	1 (5.3%)
	5年以上10年未満	60 (100%)	18 (30.0%)	23 (38.3%)	18 (30.0%)	1 (1.7%)
	10年以上	238 (100%)	73 (30.7%)	71 (29.8%)	76 (31.9%)	18 (7.6%)
	20年未満	14 (100%)	2 (14.3%)	6 (42.9%)	3 (21.4%)	3 (21.4%)
	20年以上	14 (100%)	2 (14.3%)	6 (42.9%)	3 (21.4%)	3 (21.4%)

②問 3(2) プラスチックごみ削減の可能性について (クロス集計グラフ)

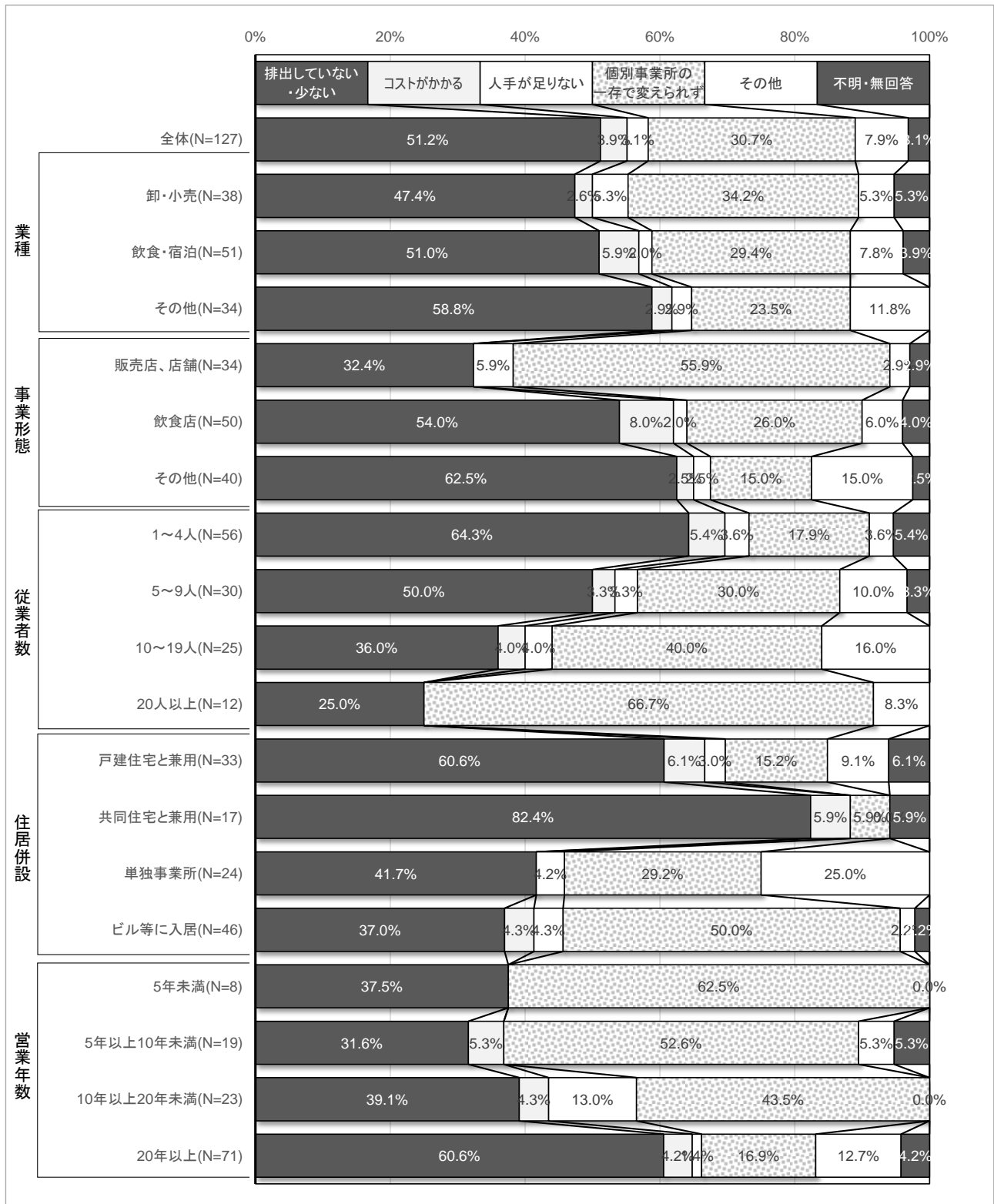


(13)問 3(4) プラスチックごみ削減の可能性がない理由

①問 3(4) プラスチックごみ削減の可能性がない理由 (クロス集計表)

	合計	問3(4) プラスチックごみ削減の可能性がない理由						
		排出していない・少ない	コストがかかる	人手が足りない	個別の事業所の一存で変えられない	その他	不明・無回答	
全体	127 (100%)	65 (51.2%)	5 (3.9%)	4 (3.1%)	39 (30.7%)	10 (7.9%)	4 (3.1%)	
業種	卸・小売	38 (100%)	18 (47.4%)	1 (2.6%)	2 (5.3%)	13 (34.2%)	2 (5.3%)	2 (5.3%)
	飲食・宿泊	51 (100%)	26 (51.0%)	3 (5.9%)	1 (2.0%)	15 (29.4%)	4 (7.8%)	2 (3.9%)
	その他	34 (100%)	20 (58.8%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)	8 (23.5%)	4 (11.8%)	0 (0.0%)
事業形態	販売店、店舗	34 (100%)	11 (32.4%)	0 (0.0%)	2 (5.9%)	19 (55.9%)	1 (2.9%)	1 (2.9%)
	飲食店	50 (100%)	27 (54.0%)	4 (8.0%)	1 (2.0%)	13 (26.0%)	3 (6.0%)	2 (4.0%)
	その他	40 (100%)	25 (62.5%)	1 (2.5%)	1 (2.5%)	6 (15.0%)	6 (15.0%)	1 (2.5%)
従業者数	1～4人	56 (100%)	36 (64.3%)	3 (5.4%)	2 (3.6%)	10 (17.9%)	2 (3.6%)	3 (5.4%)
	5～9人	30 (100%)	15 (50.0%)	1 (3.3%)	1 (3.3%)	9 (30.0%)	3 (10.0%)	1 (3.3%)
	10～19人	25 (100%)	9 (36.0%)	1 (4.0%)	1 (4.0%)	10 (40.0%)	4 (16.0%)	0 (0.0%)
	20人以上	12 (100%)	3 (25.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	8 (66.7%)	1 (8.3%)	0 (0.0%)
住居併設	戸建住宅と兼用	33 (100%)	20 (60.6%)	2 (6.1%)	1 (3.0%)	5 (15.2%)	3 (9.1%)	2 (6.1%)
	共同住宅と兼用	17 (100%)	14 (82.4%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)	0 (0.0%)	1 (5.9%)
	単独事業所	24 (100%)	10 (41.7%)	0 (0.0%)	1 (4.2%)	7 (29.2%)	6 (25.0%)	0 (0.0%)
	ビル等に入居	46 (100%)	17 (37.0%)	2 (4.3%)	2 (4.3%)	23 (50.0%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)
区内営業年数	5年未満	8 (100%)	3 (37.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (62.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	5年以上10年未満	23 (100%)	9 (39.1%)	1 (4.3%)	3 (13.0%)	10 (43.5%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	10年以上	71 (100%)	43 (60.6%)	3 (4.2%)	1 (1.4%)	12 (16.9%)	9 (12.7%)	3 (4.2%)
	20年未満	6 (100%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	20年以上	6 (100%)	4 (66.7%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (33.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

②問 3(4) プラスチックごみ削減の可能性がない理由 (クロス集計グラフ)

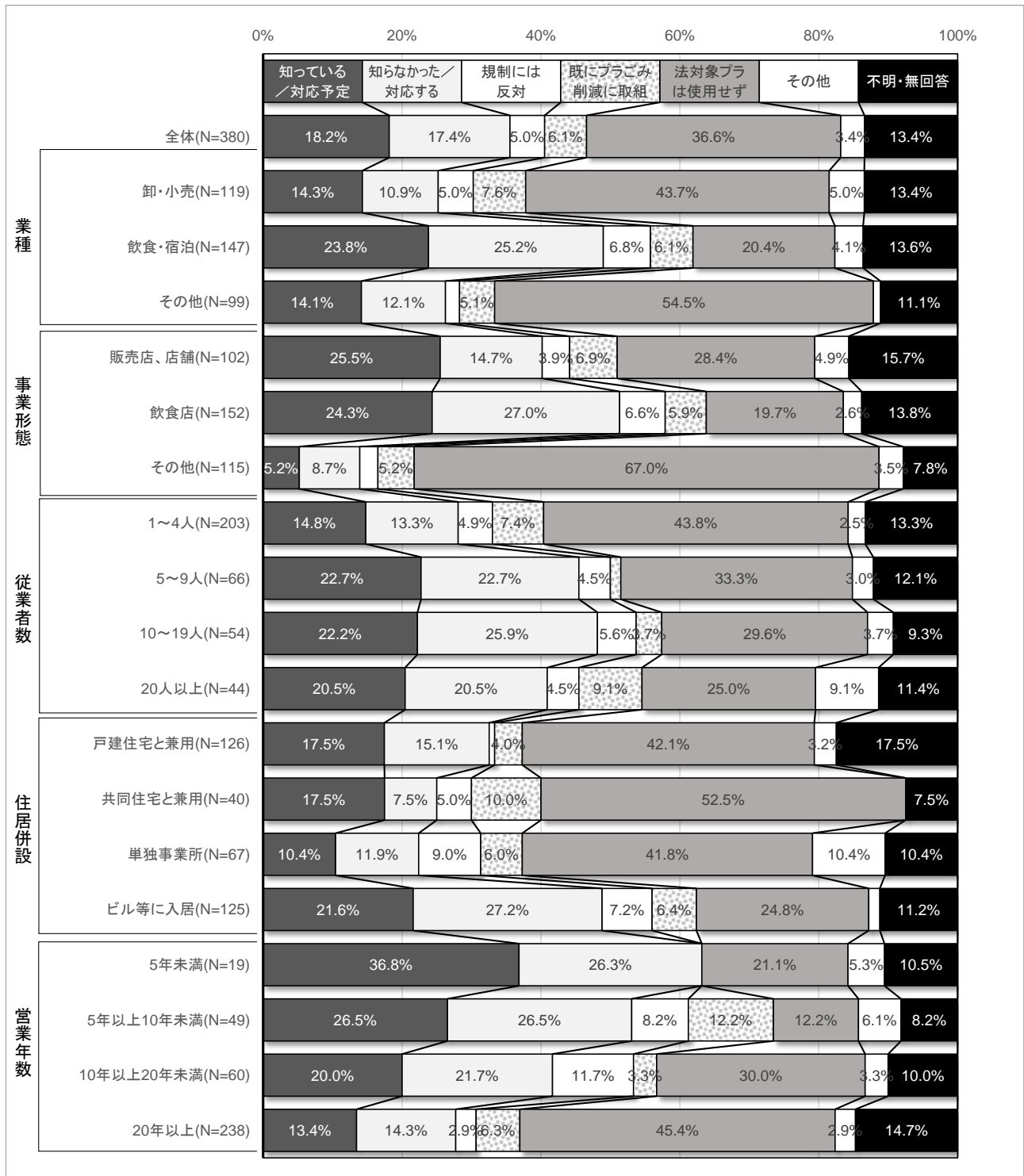


(14)問 4(2) プラスチック資源循環促進法等への対応について

①問 4(2) プラスチック資源循環促進法等への対応について (クロス集計表)

		合計	問4(2) プラスチック資源循環促進法等への対応について						不明・無回答
			知っており積極的に対応予定	知らなかったが対応せざるを得ない	消費者サービスの低下になる規制には反対	以前からプラスチックの削減に取り組んでいる	法制度の対象となるようなプラは使用していない	その他	
全体		380 (100%)	69 (18.2%)	66 (17.4%)	19 (5.0%)	23 (6.1%)	139 (36.6%)	13 (3.4%)	51 (13.4%)
業種	卸・小売	119 (100%)	17 (14.3%)	13 (10.9%)	6 (5.0%)	9 (7.6%)	52 (43.7%)	6 (5.0%)	16 (13.4%)
	飲食・宿泊	147 (100%)	35 (23.8%)	37 (25.2%)	10 (6.8%)	9 (6.1%)	30 (20.4%)	6 (4.1%)	20 (13.6%)
	その他	99 (100%)	14 (14.1%)	12 (12.1%)	2 (2.0%)	5 (5.1%)	54 (54.5%)	1 (1.0%)	11 (11.1%)
事業形態	販売店、店舗	102 (100%)	26 (25.5%)	15 (14.7%)	4 (3.9%)	7 (6.9%)	29 (28.4%)	5 (4.9%)	16 (15.7%)
	飲食店	152 (100%)	37 (24.3%)	41 (27.0%)	10 (6.6%)	9 (5.9%)	30 (19.7%)	4 (2.6%)	21 (13.8%)
	その他	115 (100%)	6 (5.2%)	10 (8.7%)	3 (2.6%)	6 (5.2%)	77 (67.0%)	4 (3.5%)	9 (7.8%)
従業者数	1～4人	203 (100%)	30 (14.8%)	27 (13.3%)	10 (4.9%)	15 (7.4%)	89 (43.8%)	5 (2.5%)	27 (13.3%)
	5～9人	66 (100%)	15 (22.7%)	15 (22.7%)	3 (4.5%)	1 (1.5%)	22 (33.3%)	2 (3.0%)	8 (12.1%)
	10～19人	54 (100%)	12 (22.2%)	14 (25.9%)	3 (5.6%)	2 (3.7%)	16 (29.6%)	2 (3.7%)	5 (9.3%)
	20人以上	44 (100%)	9 (20.5%)	9 (20.5%)	2 (4.5%)	4 (9.1%)	11 (25.0%)	4 (9.1%)	5 (11.4%)
住居併設	戸建住宅と兼用	126 (100%)	22 (17.5%)	19 (15.1%)	1 (0.8%)	5 (4.0%)	53 (42.1%)	4 (3.2%)	22 (17.5%)
	共同住宅と兼用	40 (100%)	7 (17.5%)	3 (7.5%)	2 (5.0%)	4 (10.0%)	21 (52.5%)	0 (0.0%)	3 (7.5%)
	単独事業所	67 (100%)	7 (10.4%)	8 (11.9%)	6 (9.0%)	4 (6.0%)	28 (41.8%)	7 (10.4%)	7 (10.4%)
	ビル等に入居	125 (100%)	27 (21.6%)	34 (27.2%)	9 (7.2%)	8 (6.4%)	31 (24.8%)	2 (1.6%)	14 (11.2%)
区内営業年数	5年未満	19 (100%)	7 (36.8%)	5 (26.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (21.1%)	1 (5.3%)	2 (10.5%)
	5年以上10年未満	60 (100%)	12 (20.0%)	13 (21.7%)	7 (11.7%)	2 (3.3%)	18 (30.0%)	2 (3.3%)	6 (10.0%)
	10年以上	238 (100%)	32 (13.4%)	34 (14.3%)	7 (2.9%)	15 (6.3%)	108 (45.4%)	7 (2.9%)	35 (14.7%)
	20年未満	14 (100%)	5 (35.7%)	1 (7.1%)	1 (7.1%)	0 (0.0%)	3 (21.4%)	0 (0.0%)	4 (28.6%)
	20年以上								

②問 4(2) プラスチック資源循環促進法等への対応について（クロス集計グラフ）



廃プラスチックの再資源化等に係る調査報告書

令和3年11月

発行 墨田区都市整備部環境担当 すみだ清掃事務所
〒130-0002 東京都墨田区業平五丁目6番2号
電話 03-5608-6922

調査委託 有限会社 循環資源・環境ビジョン研究所
東京都千代田区九段南 2-5-6
電話 03-3262-8608

本文は再生紙を使用